四條畷市個別施設計画【公共施設】

（２０１９～２０５０年度）

令和２（2020）年 １月策定

令和４（2022）年 10 月改訂

令和５（2023）年４月改訂

しじょうなわてし
四條畷市
SHIJONAWATE CITY

（注記）

令和５年４月改訂版は、計画策定後も継続検討としていた市庁舎や市民総合センター、四條畷南中学校跡地などの１５施設について、令和４年度に設置した議決すべき計画に関する特別委員会での議論及び市民意見公募手続を踏まえて、１５施設に関する今後の配置等を改訂したものです。

なお、本改訂は、第７章の一部のみを改訂したもので、第１章から第６章、用語集及び資料編の改訂は、次回改訂時とするため、それまでの間、第７章の一部改訂事項と他の記載事項が一致しない場合があります。

目次

第１章 個別施設計画【公共施設】の概要 1

１ 計画策定の背景..... 1
２ 計画の目的..... 1
３ 計画の位置付け..... 2
４ 計画の期間..... 3
５ 議会や市民との合意形成..... 3
６ 計画の対象施設..... 4

第２章 公共施設等を取り巻く現状と課題 5

１ 人口の推移..... 5
２ 財政の状況..... 6
（１） 歳入決算額の推移（性質別・普通会計決算） 6
（２） 歳出決算額の推移（性質別・普通会計決算） 6
（３） 公共施設整備基金の推移..... 7
３ 公共施設等の現状..... 7
（１） 施設類型別床面積の状況..... 7
（２） 施設年代別整備状況..... 8

第３章 公共施設の再編に向けた取組過程 9

第４章 公共施設再編の基本方針 13

１ 「四條畷市公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針..... 13
２ 取組の視点..... 13
３ 目標値..... 14

第５章 計画の概略..... 15

１ 再編の概略..... 15
２ 短期における公共施設の再編..... 15
（１） 非耐震施設の対策..... 15
（２） ＪＲ片町線以東・国道 163 号以南地域の防災機能の確保..... 15
３ 魅力あるまちづくりの推進..... 15
（１） 学校跡地におけるにぎわいの創出..... 15

（２）　西部地域で身近に遊べる公園の拠点整備 16
（３）　ＪＲ両駅前市有地の利活用策の検討 16
（４）　利便性の向上に向けた取組内容 17
４　公共施設の再編にかかる事業費の試算 18
（１）　既存施設を今後４０年間維持した場合の将来更新費用 18
（２）　短期［前期］による再編を実施した場合の将来更新費用 18
（３）　短期［後期］以降の再編に係る将来更新費用の目標額 19
５　計画実施に向けたロードマップ 21
（１）　西部地域 23
（２）　中部・東部地域 23

第６章　計画の推進 31

１　広域連携の推進 31
２　財源の確保 31
３　フォローアップの方法等 32

第７章　個別施設毎における今後の再編の方向性 33

１　建築物系施設 33
（１）　市民文化系施設 33
（２）　社会教育系施設 35
（３）　スポーツ・レクリエーション系施設 37
（４）　学校教育系施設 39
（５）　子育て支援施設 51
（６）　保健・福祉施設 54
（７）　行政系施設 59
（８）　公営住宅 66
（９）　公園施設 67
２　建築物を有さない施設 70
（１）　スポーツ・レクリエーション系施設 70
（２）　普通財産 73

用語集 75

資料編 76

１　計画対象施設一覧..... 77
２　再編の取組手法..... 79
３　人口の将来見通し..... 81
４　市民アンケート（回答者の属性項目に係る回答を除く。）..... 84
５　公共施設の劣化調査（公共施設の劣化診断結果（概要）より）..... 88
６　公共施設のコスト情報..... 105
７　平成３０年度個別施設計画策定に係る市民ワークショップ..... 108
８　利用率（平成２９年度実績）..... 141
９　公営住宅等の需要の見通しに基づく将来ストック量の推計..... 166

第１章 個別施設計画【公共施設】の概要

１ 計画策定の背景

全国的に高度経済成長期に整備した公共施設の多くで老朽化が進行し、近い将来、一斉に更新時期を迎えようとしています。

国においては、平成２５年１１月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）を定め、インフラを管理・所管する者に対し、当該施設の維持管理費や更新を着実に推進するための行動計画や施設ごとの個別施設計画の策定を要請しています。

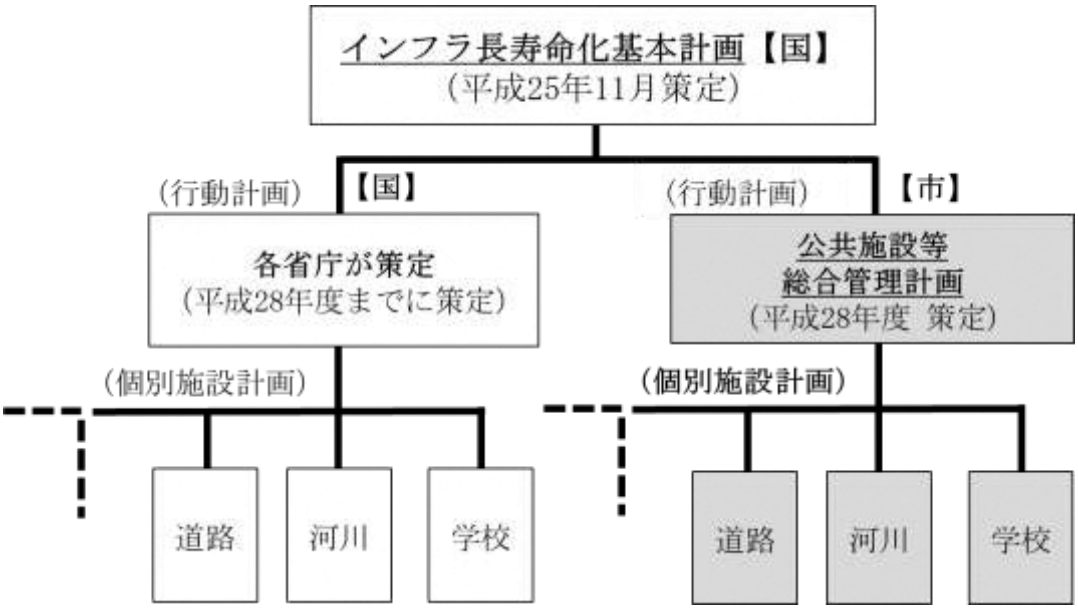


図１　インフラ長寿命化基本計画の体系

（参考：総務省［インフラ長寿命化計画の体系］）

四條畷市（以下、「本市」という。）においても、人口急増期にあたる昭和４０年代後半から５０年代前半に、学校をはじめとする多くの公共施設を整備してきましたが、現在、これらが建築後４０年から５０年余りが経過し、老朽化が進行している状況です。これら施設の老朽化に伴い事故等の発生確率が増すことにより、市民が安心、安全に公共施設サービスを受けることに支障をきたすことを懸念しています。

今後、これらの施設が、大規模な修繕や建替えなどの更新時期を次々に迎えていくことになりますが、生産年齢人口の減少による税収の減少や高齢者の増加による社会保障経費の増加などにより厳しい財政見通しであることから、保有する全ての公共施設の数と規模をそのまま維持管理し、更新していくことは困難と見込んでいます。

２ 計画の目的

国の要請を受け、平成２８年１２月に策定した「四條畷市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」という。）は、本市の公共施設の実態や取り巻く状況を踏まえ、建物をはじめ、道路、橋りょう、公園及び下水道のインフラ施設などの公共施設等を対象に、今後の基本的な方針を定めたものです。

本個別施設計画【公共施設】は、総合管理計画に基づく施設ごとの具体的な取組方針や整備計画等を示すもので、今後の人口動態や財政見通しはもとより、市民ニーズ等の変化を踏まえつつ、施設総量（総延床面積）の最適化やコンパクトな市域に見合う施設の再配置の実現を図るため、長期的な視点をもって、公共施設の更新、統廃合、複合化等の方向性を定めるものです。

次世代へ安心・安全かつ時代の要請に対応した魅力ある公共施設を引き継ぐために、施設の質と量、コストの最適化に取組み、将来的な財政負担の縮減と平準化を図ることで、持続可能な行政運営を行うことを目的に策定します。

3 計画の位置付け

平成２８年３月に策定した「第６次四條畷市総合計画」における土地利用の基本方針の一つに、「社会情勢の変化や住民ニーズに対応した公共施設の集約、複合化を含む再編、再配置を進める。」と位置付けしています。

加えて、地域における市街地像やまちづくりの方針を示した「都市計画マスタープラン」とも整合を図りながら、公共施設の再編に向けた具体的な方針を定めたうえ、各施設の方向性を示す必要があります。

また、多様化する市民ニーズに応じたサービスを維持、向上させるため、施設を建物としてだけではなく、機能として捉え、その点にも着目した公共施設再編に取組むものとします。

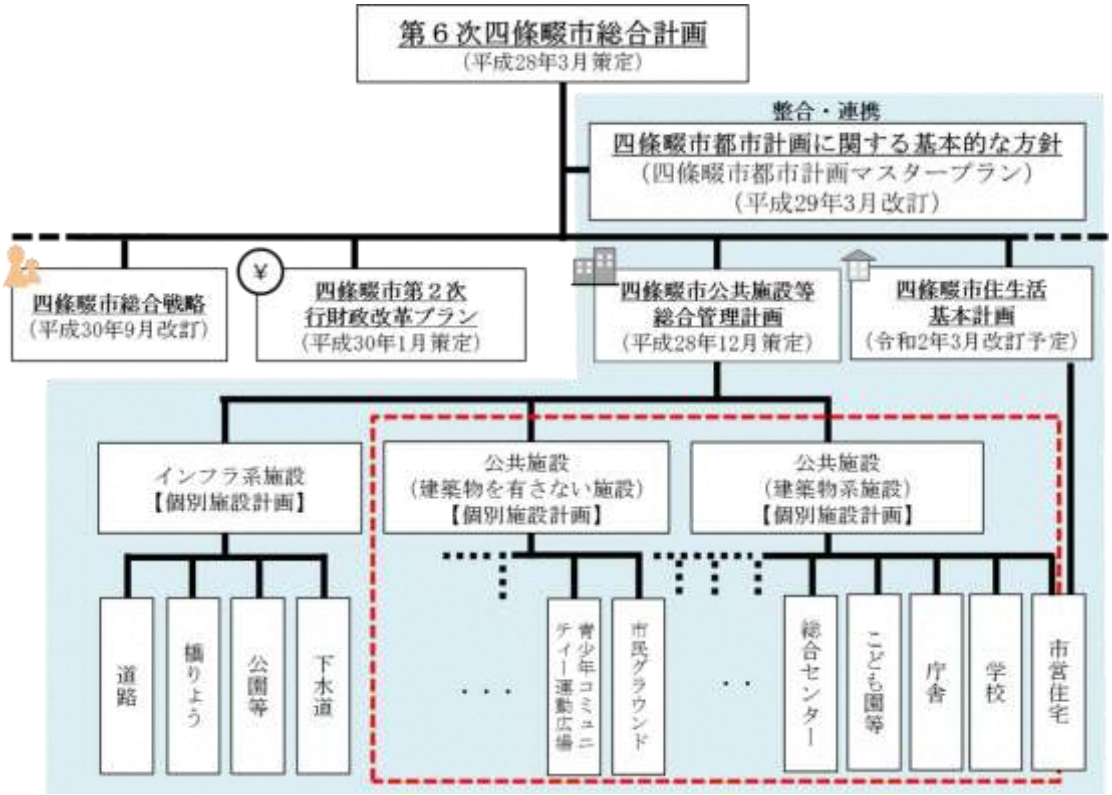


図２　個別施設計画【公共施設】の位置付け

４ 計画の期間

公共施設は様々な年代に整備され、また、数十年に亘って使用していくものであるため、長期的な視点をもって段階的に取組を進めていくものとします。

このため、計画期間は、上位計画である総合管理計画と同様に２０５０年度までとし、これを「短期（１０年以内)」、「中期（１１年～２０年以内)」、「長期（２１年以上)」の３つの期間に区分します。短期においては、計画策定後、特に緊急性の高い事業を短期［前期］に実施しますが、短期［後期］以降の取組は、短期［前期］内に内容を確定させることを目標とします。

また、本計画は、総合管理計画の見直しサイクルに合せ、概ね５年ごとに計画内容を見直しすることとしますが、今後の人口減少などの社会情勢や市民ニーズの変化、都市計画マスタープランなどの関連する計画の改訂があった場合には、本計画の進捗状況を検証したうえで、適宜見直しするものとします。

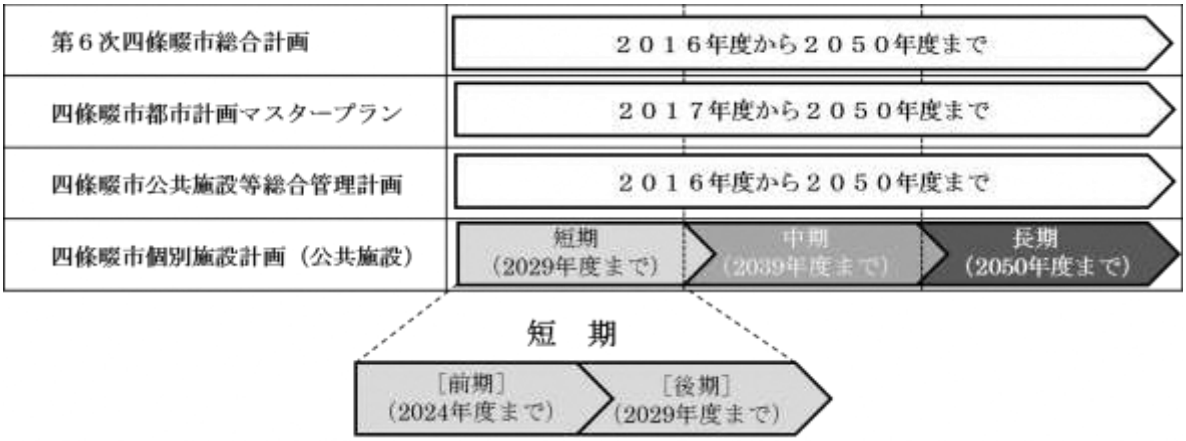


図３　計画の期間

５ 議会や市民との合意形成

本計画の対象は広範囲にわたり施設を利用している市民にとっては影響が大きい取組となることもあります。このため、計画の改訂などを行っていくうえでは、学識経験者や地域及び団体等の代表者などで構成する会議体で議論を経たうえで、以下の考えのもとで議会や市民との対話の機会を設けるなど、合意形成を図りながら取組を進めていくものとします。

（１）客観的な情報を公開する

本計画を進める過程において、客観性を持った説明となるよう、必要なデータを整備します。

また、策定プロセスの必要十分な情報をホームページに掲載するなど、情報の公開を進め、透明性の確保を図ります。

（２）議会や市民とともに考える

広報誌、ホームページへの掲載、出前講座の実施など、公共施設が抱える課題を議会や市民に知らせ、今後の公共施設のあり方を共に考えていきます。

また、この際には、わかりやすい情報を提供できるように努めていきます。

（３）段階的に合意形成を進める

計画の見直し時点において、常に最適な再編内容を検討するとともに、段階を追って丁寧に合意形成を得ていくこととします。

なお、建物の老朽化が著しい施設で早急な対応が必要な場合などは、長期的な計画とは切り離した短期的な取組として実施していくものとします。

６ 計画の対象施設

⇒資料編　Ｐ.77～Ｐ.78

本計画の対象は、庁舎、学校及び市民総合センターなど本市所有の３７施設、総延床面積１２２，０４０㎡の施設、建築物を有さないスポーツ・レクリエーション系施設及び普通財産とします。

なお、道路、橋りょう等のインフラ施設、下水道の公営企業施設は、総合管理計画の内容に則しながら、既存の計画を改訂又は新たに策定することとします。

第２章 公共施設等を取り巻く現状と課題

１ 人口の推移

本市では、昭和４０年代から大規模な宅地開発により人口が急増してきましたが、平成２２年をピークに減少に転じており、平成２７年１０月に行われた国勢調査では５６，０７５人となっています。

将来の人口は、本市人口ビジョンにおいては２０５０年時点で５１，００５人、平成２７年に比べ５，０７０人、９．０％減と予測していますが、国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という。）が行う予測では４３，７４６人、１２，３２９人、２２．０％減とより厳しい値となっています。

なお、本市人口ビジョンでは、平成２７年国勢調査の予測値を５７，６８３人としていましたが、実際はこれよりも約１，６００人少ない５６，０７５人となり、人口構成をみると、今後も６５歳以上の高齢者人口が増加する一方、生産年齢（１５歳～６４歳）人口は減少し続けると予測しています。

このようなことから、今後も人口減少や少子高齢化による人口構成の変化が進めば、これまで必要とされていた公共施設の床面積の余剰化や遊休化などの問題が起こるため、将来的な人口の変化による利用予測などを捉え、公共施設全体のあり方を検討していく必要があります。

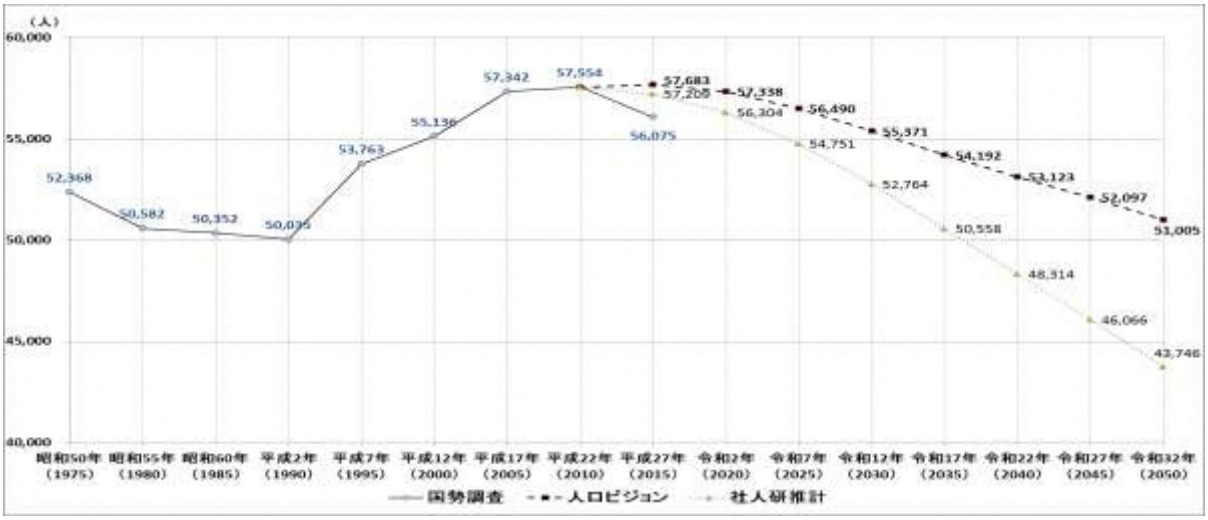


図４　人口推移と人口推計

（参考：四條畷市人口ビジョン（平成 27 年 10 月策定）をもとに作成）

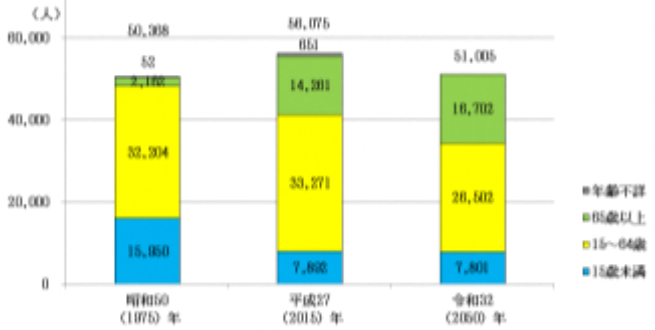


図５　年齢３区分人口の推移と推計

（参考：四條畷市人口ビジョン（平成 27 年 10 月策定）をもとに作

２ 財政の状況

（１）歳入決算額の推移（性質別・普通会計決算）

本市の普通会計の歳入の推移は、おおむね１９０億円前後で推移してきています。

市税の推移は、約６５億円から約７０億円となり、歳入全体の約３分の１を占めており、平成２９年度決算では約６９億円となっていますが、今後、生産年齢人口が減少していくに従い、減収していく見通しとなっています。

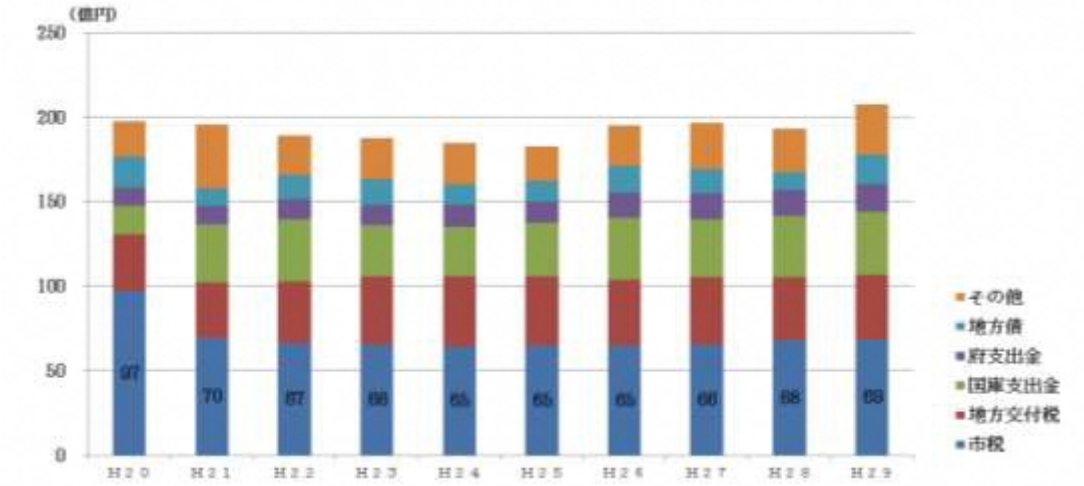


図６　歳入決算額の推移

（２）歳出決算額の推移（性質別・普通会計決算）

平成２９年度における歳出は、人件費が２８億４，０００万円で、平成２０年度に比べ、約１６億円、３５％減少したのとは対照的に、少子高齢化の進展に伴う社会保障関連費の増加により、扶助費が６０億３，０００万円で、約２７億円、８１％増となり、歳出全体に占める割合も約３０％と非常に高くなってきています。

今後も社会保障関連費は増加していく見込みであることに加え、これまで減少が続いていた人件費において、定年退職者数の減少により新陳代謝が進まないことなどの要因から、今後、人件費についても徐々に増加していく見通しになっています。

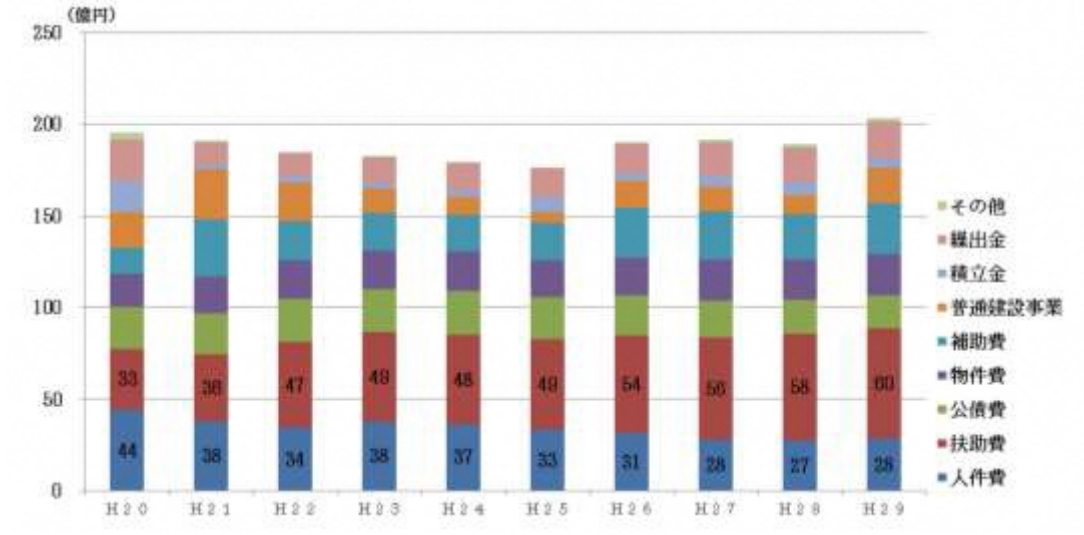


図７　歳出決算額の推移

（３）公共施設整備基金の推移

公共施設整備基金とは、公共施設の整備や修繕などに充てるために積立している財源です。

今後、市税の減収や社会保障関連費の増加にも対応していかなければならず、公共施設の整備に要する財源を確保していくことが困難になります。そのため、将来を見据えながら計画的に基金を積み増ししていくように努めてきたことから、直近５年間の基金残高は着実に増加し、平成３０年度末には２０．６億円に達する見込みです。

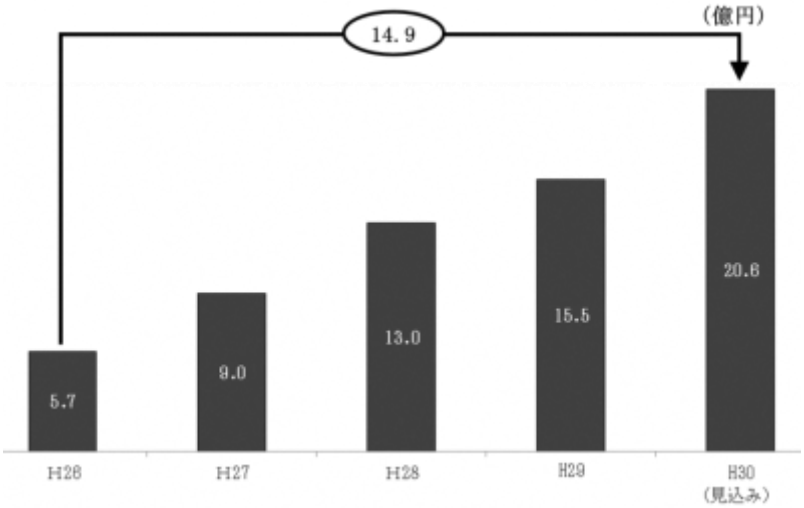


図８　公共施設整備基金の推移

３ 公共施設等の現状

（１）施設類型別床面積の状況

本市の公共施設（建築物系施設）は３７施設、総延床面積１２万２，０４０㎡で、住民１人当たりでは２．１９㎡となっていますが、将来人口を見通しと連動させた面積にしていくことを検討していく必要があります。

３７施設の内訳を見てみると、学校教育系施設が５８．７２％、行政系施設が１６．９８％、スポーツ・レクリエーション系施設などを含むその他が１２．８０％となっており、総延床面積のうち、学校教育系施設が占める割合が非常に高くなっています。

図９　施設類型別床面積の割合（平成 31 年 4 月 1 日現在）

（２）施設年代別整備状況

総延床面積のうち、旧耐震基準により建設した床面積の割合は６５．２％（７９，６１３．７９㎡）、新耐震基準により建設した床面積の割合は３４．８％（４２，４２６．６４㎡）となっています。

また、旧耐震基準の建物のうち、耐震化未実施の建物の床面積は８，６２２㎡となっており、約１割の建物の耐震性が確保できていない状況です。

なお、図１０は、公共施設等総合管理計画策定時点（平成２８年１２月）のグラフにつき、上記記述の数値と一致していません。

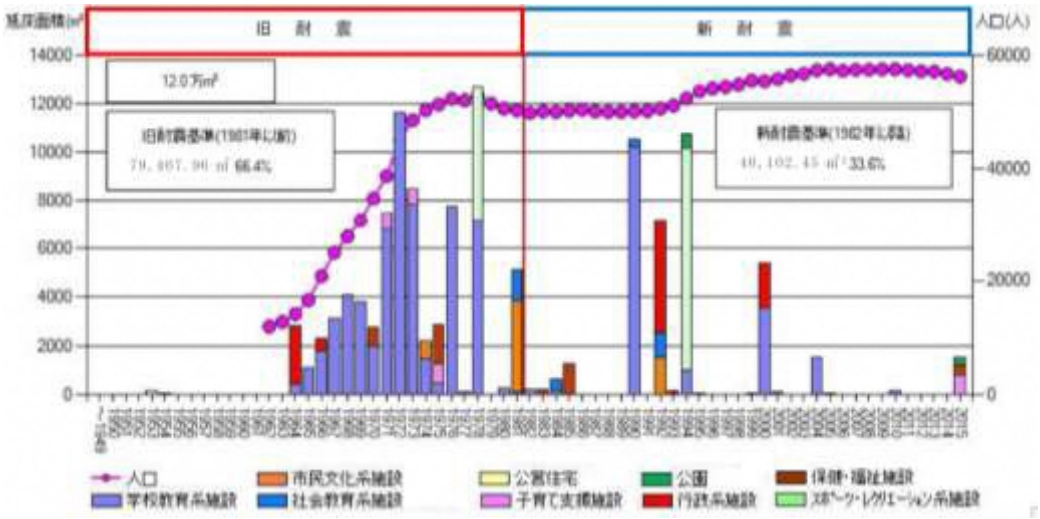


図１０　施設年代別整備状況　　（出典：四條畷市公共施設等総合管理計

【耐震化未実施の施設】

教育文化センター、市民活動センター、老人福祉センター楠風荘、四條畷市シルバー人材センター、福祉コミュニティーセンター

第３章　公共施設の再編に向けた取組過程

今後、人口減少や生産年齢人口の割合が減少していくことに伴い、税収の減少が見込まれることから、今後の社会情勢の変化を予測しつつ、市民と共にその課題に取組み、公共施設の最適な配置を実現するため、公共施設の再編に向けて取組を進めてきました。

１　市民アンケートの実施　【平成 28 年 4 月】

⇒資料編　Ｐ.84～Ｐ. 87

平成 28 年 1 月 1 日現在、四條畷市に居住する 18 歳以上の市民 2,000 名を無作為に抽出し、公共施設のあり方や方向性について、アンケート調査を実施しました。

有効配布数　1992 票
回収数　　484 票
回収率　　24.2％

２　市民まちづくりワークショップの開催　【平成 28 年 5 月～9 月】

市民 20 名と職員 10 名で合計６回のワークショップを開催し、公共施設の課題抽出や跡地活用など、今後のあり方について、議論を行いました。

３　市議会特別委員会【平成 28 年 7 月～11 月】

公共施設等総合管理計画（素案）をもとに市議会特別委員会で審議しました。

４　四條畷市公共施設等総合管理計画の策定　【平成 28 年 12 月】

上記の経過を踏まえ、行動計画の基本方針として、平成 28 年 12 月に四條畷市公共施設等総合管理計画を策定しました。

５　公共施設劣化調査の実施　【平成 29 年 7 月～平成 30 年 6 月】

⇒資料編　Ｐ.88～Ｐ.104

公共施設の再編を検討する上で、建物の劣化状況を客観的に把握することが必要なため、老朽化の状況を調査しました。主な調査内容は、次のとおりです。

【建築物劣化調査】83 棟
建築の部位、部材及び設備など有資格者（建築、電気、機械）により目視点検を実施しました。

【構造体劣化調査】66 棟
建物の長寿命化を判断するため、ＲＣ造の建物を対象に物理的耐用年数を調査しました。

６　市民ワークショップの開催　【平成 30 年 8 月～10 月】

⇒資料編　Ｐ.108～Ｐ.140

公募や市民団体から推薦された市民 20 人で合計５回のワークショップを開催し、これからの公共施設に求められる役割、あり方などについて議論を行いました。

7　第１回公共施設再編に関する市長との意見交換会の開催【平成 30 年 11 月】

四條畷市の将来人口や財政見通しなどについて説明し、公共施設の立地に関すること、集約又は分散に関すること、規模や機能に関すること、利用方法や利用手続きに関すること、疑問に思ったことや提案したいことの５点について、市民と意見交換を行いました。

合計 10 回開催し、延べ 51 名の方に参加いただきました。

8　公共施設再編（素案）の作成【平成 31 年 1～3 月】

市民ワークショップや第１回意見交換会での意見を踏まえ、４パターンの再編（素案）を作成し、各種関係機関との調整のもと、再編（素案）を３パターンに絞り込みました。

9　第２回公共施設再編に関する市長との意見交換会の開催【平成 31 年 3 月～4 月】

３パターンの再編（素案）について説明を行い、市民と意見交換を行いました。

合計 10 回開催し、延べ 161 名の方に参加いただきました。

10　四條畷市個別施設計画【公共施設】（原案）の策定【令和元年 5 月】

第２回公共施設の再編に関する市長との意見交換会の内容を踏まえ、将来負担が最も少ない再編内容を骨子に四條畷市個別施設計画【公共施設】（原案）を策定しました。

11　市民意見公募手続（パブリックコメント）の実施【令和元年 6 月～7 月】

個別施設計画【公共施設】（原案）を策定し、計画（原案）に対する意見を募集したところ、95 名の方から 205 件のご意見をいただきました。

12　第３回個別施設計画の策定に向けた市長との意見交換会の開催【令和元年 8 月】

市民意見公募手続において、計画（原案）に対して多くのご意見をいただいたことから、第３回意見交換会を開催し、計画（原案）の内容説明を行い、市民と意見交換会を行いました。

合計 5 回開催し、延べ 450 名の方に参加いただきました。

13　個別施設計画【公共施設】の策定【令和 2 年 1 月】

これまでの取組過程を踏まえて、計画（原案）の内容を一部見直しし、個別施設計画【公共施設】を策定しました。

公共施設の再編に向けた取組経過一覧表

平成27年 4月 → 平成28年 4月 → 5月～9月 → 7月～11月 → 12月 → 平成29年 7月 ～ 平成30年 6月 → 8月～10月

着手 → 市民アンケート → ワークショップ → 市議会特別委員会 → 計画策定 → 劣化度調査 → ワークショップ

無作為抽出の市民2,000名にアンケートを実施。

市民20名と市職員10名で6回のワークショップを開催。
公共施設等総合管理計画の策定にあたり、公共施設の今後のあり方を検討しました。

平成28年12月に公共施設の維持管理に関して、基本的な方針を示した公共施設等総合管理計画を策定しました。

市民20名で5回のワークショップを開催。
公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定にあたり、市民みなさんの様々な視点で未来の四條畷を考えてきました。

公共施設の劣化状況を客観的に把握することを目的に劣化診断調査を実施しました。

11月
平成31年
1月～3月
3月～4月
令和元年
5月
6月～7月
8月
令和2年
1月
意見交換会
再編（素案）の作成
意見交換会
計画（原案）策定
パブリックコメント
意見交換会
計画策定
第2回　公共施設再編に関する市長との意見交換会を10回開催しました。
市民161名（延べ人数）が参加され、公共施設再編（素案）に対して、様々な視点で、多数のご意見を伺わせていただきました。
令和2年1月に個別施設毎に今後の具体の方向性を示す、個別施設計画【公共施設】を策定しました。
第1回　公共施設再編に関する市長との意見交換会を10回実施しました。
市民51名（延べ人数）が参加され、公共施設の再編を考える上で、大切なポイントやご意見をいただきました。
第3回　個別施設計画の策定に向けた市長との意見交換会を5回実施しました。
市民450名（延べ人数）が参加され、計画（原案）に対するご意見を複数いただきました。

第４章 公共施設再編の基本方針

１ 「四條畷市公共施設等総合管理計画」に掲げる基本方針

基本方針(1) 世代間のコミュニティが繋がる魅力あるまちづくり

地域、利用者のニーズに鑑み、公共施設の機能の集約化・複合化を行い、サービス提供体制の強化を図ることで、各世代の利用者が交流し、新たなコミュニティの形成へと繋げることで、にぎわいと魅力のあるまちづくりをめざします。

基本方針(2) 災害に強い住みよいまちづくり

地域コミュニティの拠点である公共施設については、災害に強い都市基盤を形成するため、不燃化や耐震化を進めるとともに、住民生活や産業を支える道路、公共交通などの交通基盤を充実し、良好な住環境の形成へと繋がるまちづくりをめざします。

基本方針(3) 次世代に負担を先送りしない自立的なまちづくり

将来世代に負担を残さない健全な都市経営を行うとともに、住民ニーズの多様化、人口の減少や少子高齢化の進展による社会情勢の変動に柔軟に対応できる自立的なまちづくりをめざします。

２ 取組の視点

今回の再編は、将来における人口減少や厳しい財政状況を踏まえ、単に施設総量を抑制するだけでなく、施設の集約化や複合化を行うことで、利便性の向上、床面積の削減による維持修繕費等の管理コストの縮減、１つの施設を多様な世代の市民が利用することによるにぎわいの創出など、様々な効果が期待できます。

（１）施設総量（総延床面積）の最適化
（２）コンパクトな市域に見合う施設の再配置
（３）利用状況やコストを勘案した効率的な施設運営
（４）誰もが利用できる魅力ある複合施設
（５）学校跡地における安心安全の確保やにぎわい創出

３ 目標値

今後、既存施設の全てを更新し維持していくには、年間平均額として約１２億円が必要となりますが、直近１０年間（平成２０年度～平成２９年度）の公共施設にかかる投資的経費の年間平均額は約７億円となっています。

本市人口ビジョンによる人口推移を前提条件に置いて作成した財政収支見通しにおいては、歳入では生産年齢人口の減少とともに税収が減少し、歳出でも少子高齢化の影響により扶助費が増加するなどの厳しい状況であると予測しています。

このことから、投資的経費を直近１０年間と同程度の年間約７億円以内に抑制すべきとの考えにより、約４０％の費用抑制を図ることとし、この率を目標値と定め、再編を進めるものとします。

また、総延床面積を減少させることで、施設を維持するために必要となる人件費、光熱水費、清掃等委託料、修繕料などのランニングコストの抑制にも繋がるため、より一層の効率化が図れることとなり、この効果を他のソフト事業にかかる予算に使用することが可能となります。

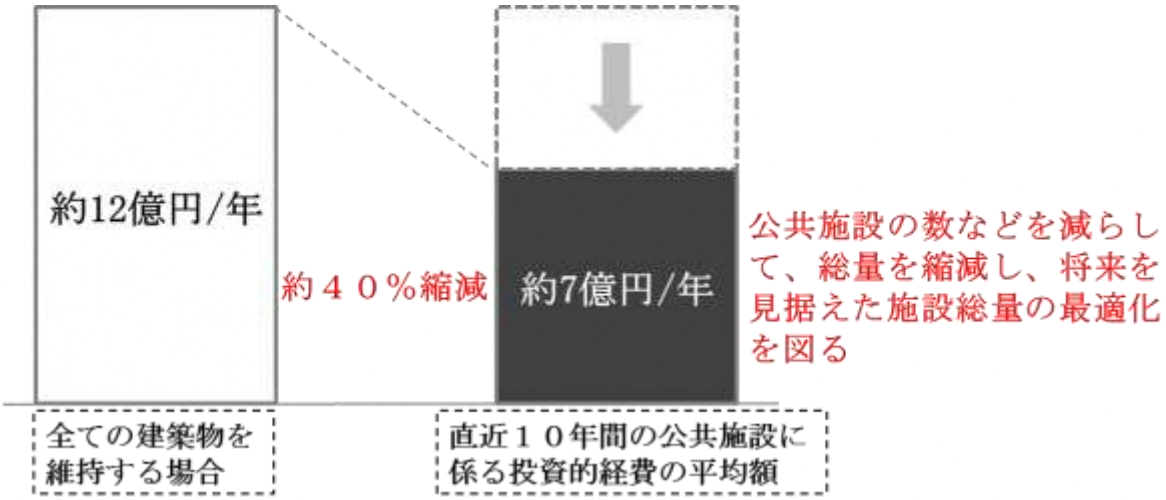


図１１　投資的経費の費用抑制

第５章 計画の概略

１ 再編の概略

公共施設の再編は、民間活力の導入、安心・安全かつ魅力ある公共施設、市民サービスの充実による利便性の向上といった視点で建物の長寿命化、施設総量の適正化を進めることにより、持続可能な財政運営を行うことができます。また、定住・交流人口増加等により地域のにぎわいを創出し、市全体の活性化を図りながら、「公共施設再編の基本方針」を基軸に市民との合意形成を図りつつ、再編を進めて行きます。

主な再編内容は次のとおりです。

- 公共施設の安心・安全を確保する。
- 四條畷南中学校跡地には、防災機能を確保する。
- 親和性の高い施設は複合化する。
- 低利用の施設や貸部屋は集約する。
- 公立のこども園及び保育所は、保育需要の動向に注視しつつ、将来的に１園とする。
- 西部地域の小学校プールは、モデル校を選定のうえ民間プールの活用を進める。

２ 短期における公共施設の再編

（１）非耐震施設の対策 基本方針(2)

旧耐震基準で建設した建築物系施設のうち、耐震性が確認されていない施設及び確保されていない施設は、耐震性が確保された施設へ移転することなどにより、安全性の確保を図ります。

（２）ＪＲ片町線以東・国道 163 号以南地域の防災機能の確保 基本方針(2)

四條畷市学校再編整備計画（平成 30 年 11 月策定）により、四條畷南中学校が平成 31 年 3 月末に廃校、四條畷東小学校が令和 2 年 3 月末に廃校となるため、ＪＲ片町線以東・国道 163 号以南地域において、防災機能の確保を図ります。

３ 魅力あるまちづくりの推進

持続可能な行政運営を行っていくためには、将来を見据えて公共施設を最適な量へしていく一方で、以前にも増して、市民が暮らしやすい、子育てしやすい環境の整備が必要です。そのための環境整備を実行可能なところから、順次、実施していきます。

（１）学校跡地におけるにぎわいの創出 基本方針(1)

四條畷南中学校跡地における防災機能の確保に合わせて、公園を整備することで、地域のにぎわいを創出します。

（２）西部地域で身近に遊べる公園の拠点整備 基本方針(1)

本市の一人あたりの公園面積は、府内の平均より高いものの、西部地域に限った場合、一人あたりの公園面積が少なくなっている状況です。

そのため、一定の地域ごとに子ども達がボール遊びできる、自由に遊べる公園（広場を含む。）を整備することにより、子ども達が安全に遊べる空間を確保し、子育てしやすい環境整備を進めます。

図１２　西部地域の公園拠点整備イメージ

（３）ＪＲ両駅前市有地の利活用策の検討 基本方針(1)

ＪＲ忍ケ丘駅前及びＪＲ四条畷駅前の市有地については、現在、民間事業者に土地を貸付けしているものの、今後においては、社会情勢や市民ニーズなどの変化を見極めつつ、駅前という好立地を活かし、子育てや社会教育施策などの魅力あるまちづくりに資する取組を展開する場所となるよう、検討を進めていきます。

（４）利便性の向上に向けた取組内容　基本方針(1)

①　公共施設予約システムの導入

公共施設を利用する場合、来館して利用手続きを行う必要がありましたが、公共施設予約システムを導入することで従来の手続きに加え、来館しなくても公共施設の空き状況の検索や予約できるようにし、利用者の満足度を高めながら、公共施設の利用の活性化を図ります。

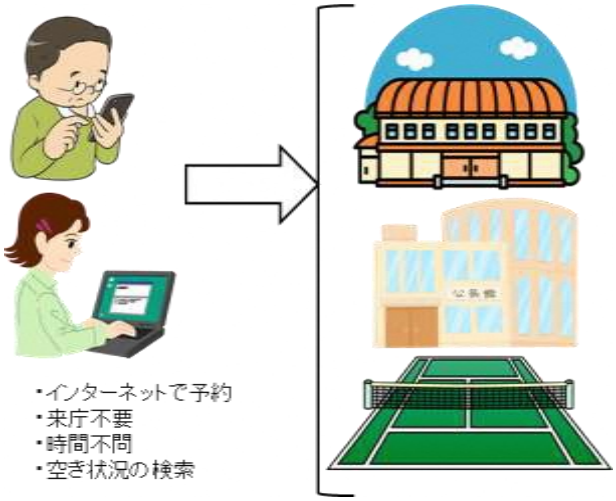


図１３　公共施設予約システムのイメージ図

②　利用の緩和

公共施設を利用しようとする場合、様々な規制などにより、これまで有償提供の利用は許可することができませんでしたが、地域づくりに繋がる物品の有償提供など、行為の緩和の検討を進めて行くことで、市民の満足度を高め、地域の活性を図ります。

また、利用の緩和に伴い、更なる公共空間の利活用が見込まれる場合には、面的整備の検討を行います。

ｵｸﾄｰﾊﾞｰ・ﾌｪｽﾄの様子
忍ケ丘駅前西側ロータリーで開催
（平成 30 年 9 月 22 日、23 日）

オズの農村マルシェの様子
北谷公園で開催
（平成 30 年 11 月 24 日）

４ 公共施設の再編にかかる事業費の試算　基本方針(3)

（１）既存施設を今後４０年間維持した場合の将来更新費用

既存公共施設（３７施設）の中規模改修、長寿命化改修及び建替にかかる将来更新費用の総額は、５１１．３億円、１年当たり平均１２．８億円と試算しています。

直近１０年間（平成２０年度から平成２９年度）の公共施設にかかる投資的経費の平均額は約７億円となっており、既存公共施設をそのまま維持、更新していこうとするには、これまでの約２倍近い予算が必要になります。

また、公共施設以外にも道路や橋りょうなどのインフラ施設の老朽化対策にも多額の予算が必要となることから、本市の財政状況を踏まえた計画的な施設の維持、更新が求められています。

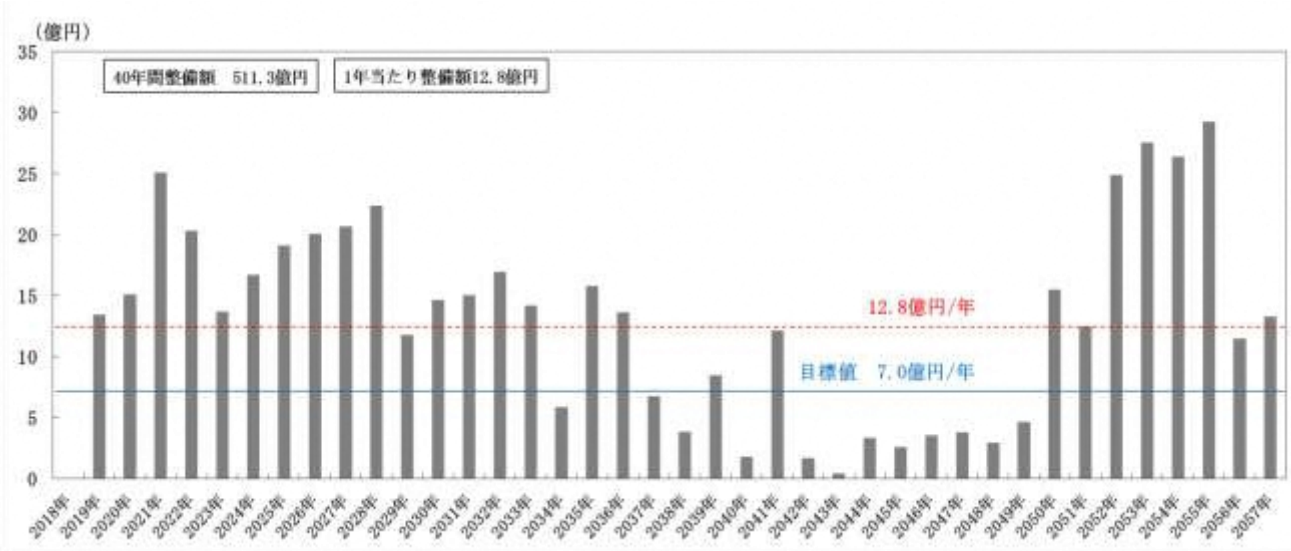


図１４　既存施設を今後 40 年間維持した場合の将来更新費用

（２）短期［前期］による再編を実施した場合の将来更新費用

次頁の試算の前提条件のもと、短期［前期］による再編を実施した場合の将来更新費用は、総額３４８．５億円、１年当たり平均８．９億円と試算しています。

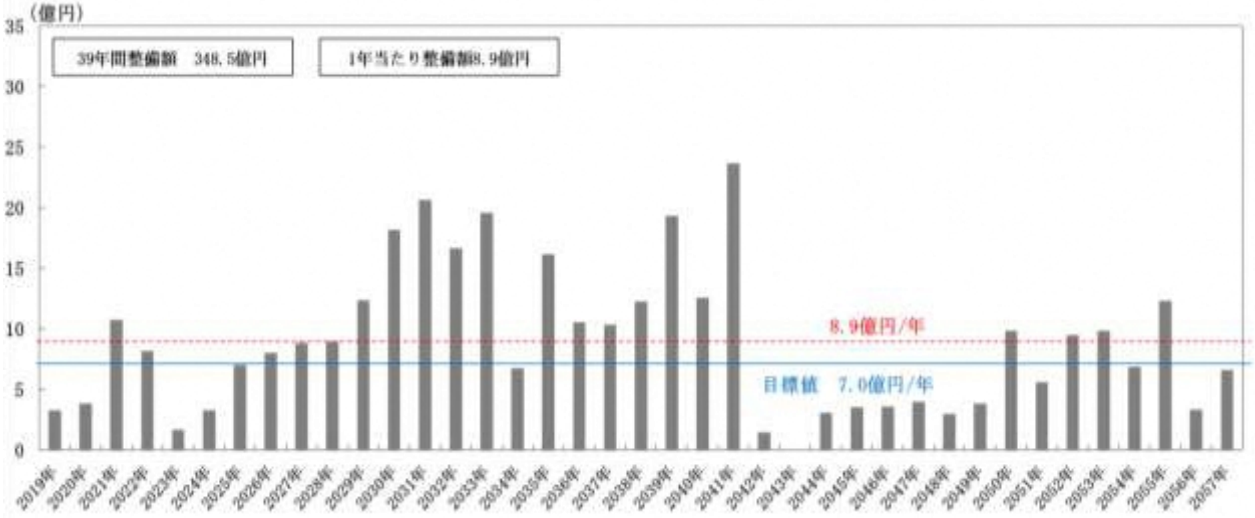


図１５　短期［前期］による再編を実施した場合の将来更新費用

（３）短期［後期］以降の再編に係る将来更新費用の目標額

公共施設に係る投資的経費を年間７億円以内に抑制するためには、今後２０５７年までの将来更新費用を２７３億円以内とする必要があります。

このため、短期［前期］における実施費用が３０．９億円であることから、投資的経費の平均額の７億円を 2019 年時点における今後の将来更新費用の目標値に設定した場合、上記の（２）においては、短期［後期］以降に係る将来更新費用を約７６億円縮減しなければなりません。

（億円）

	短期［前期］	短期［後期］	中期	長期	計画期間外	合計	
	2019～2024	2025～2029年	2030～2039	2040～2050	2051～2057		
既存施設を今後４０年間維持した場合の将来更新費用	104.3	94.0	115.3	52.3	145.4	511.3	目標値
		407.0					
短期［前期］による再編事業を実施した場合	30.9	45.1	150.3	68.3	53.9	348.5	273.0
		317.6					

目標値273.0億円＝7.0億円（年間平均目標値）×39年間（試算期間：2019～2057）

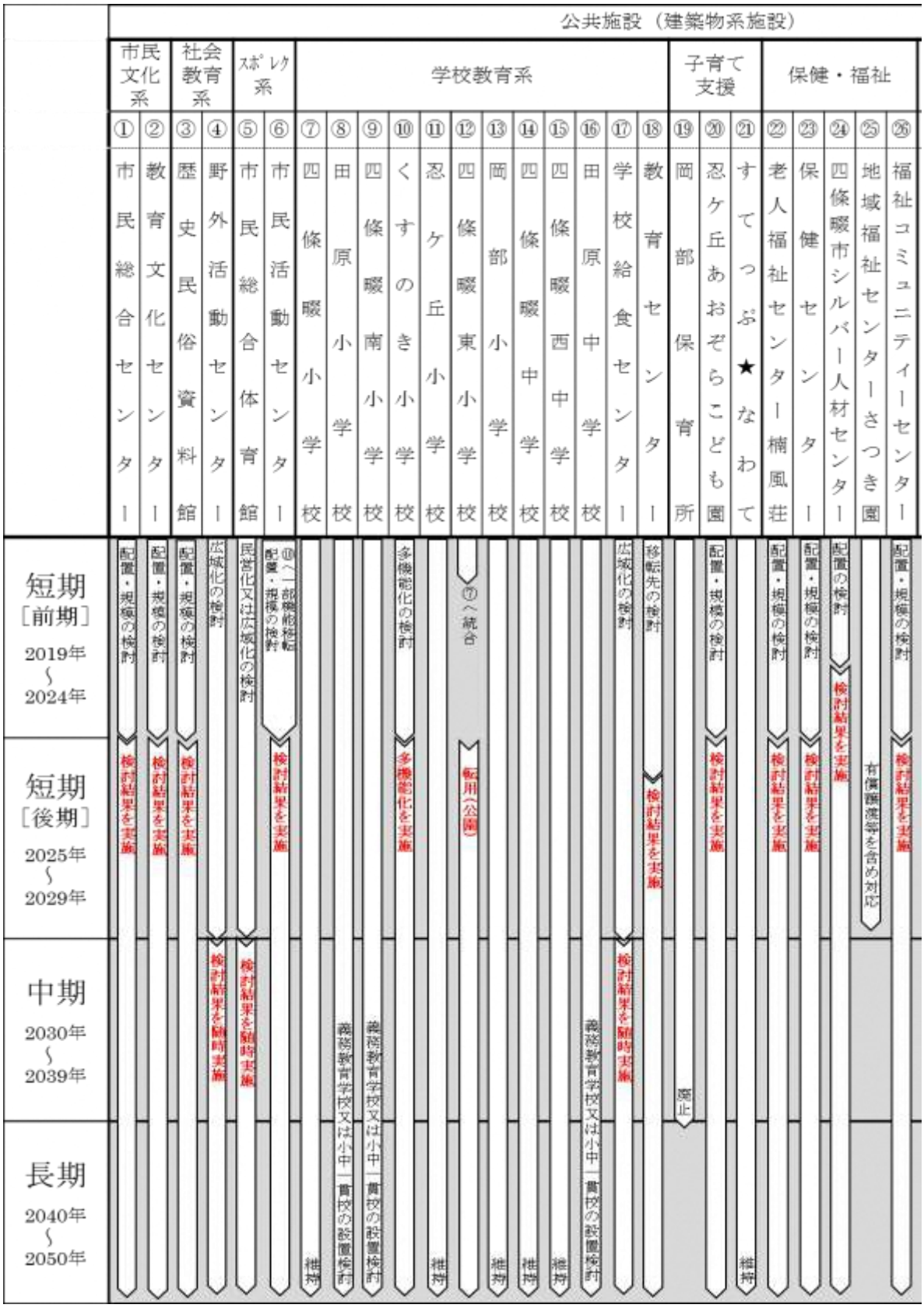
表１　短期［後期］以降の再編に係る将来更新費用の目標額

≪試算の前提条件≫

・ 将来更新費用（改築、長寿命化改修、中規模改修）の単価は、公共施設の劣化調査結果（概要）に記載の単価を用いて算定する。⇒資料編　P.100、P.101
・ 今後の方向性（配置、規模、広域化、小中一貫校等）を検討としている施設の将来更新費用は、現時点の床面積を維持する前提として算定する。
　なお、広域化を実施する施設の将来更新費用は、算定した将来更新費用に０．５を乗じる。
・ 改築時期、長寿命化改修時期、中規模改修時期は、公共施設の劣化調査結果（概要）に示す時期とする。　⇒資料編　P.98
・ 長寿命化改修工事については、将来更新費用を抑制させる必要があるため、公共施設の劣化調査結果（概要）に示す「建築年数が５０年未満］を「建築年数が４０年未満」に改め、算定している。　⇒資料編　P.98
・ 令和元年度及び令和２年度に工事予定の忍ケ丘小学校大規模改修工事には、上記４０年未満の考えを適用しない。
・ 岡部保育所は、短期［前期］において、中規模改修工事の費用を計上している。
・ 建物用途が倉庫（類するものを含む。）の建物については、軽微な修繕程度に留めるものとし、将来更新費用を計上していない。
・ 西部地域の小学校プールは、モデル校を選定のうえ、民間プールの導入を検討していくことから、プール棟に係る将来更新費用は計上していない。
・ 歴史民俗資料館の土蔵については、国指定の登録有形文化財であるため、改築の観点を設けず、２０年毎に中規模改修工事を計上している。
・ 旧四條畷南中学校（体育館を除く）、四條畷東小学校、市営南野住宅及び四條畷市総合公園管理棟に係る既存建物の将来更新費用は計上していない。

5 計画実施に向けたロードマップ

個別施設計画【公共施設】における事業の実施は、全庁をあげて取組むべき内容であるため、計画性をもって進めていかなければならないことから、ロードマップを作成する。



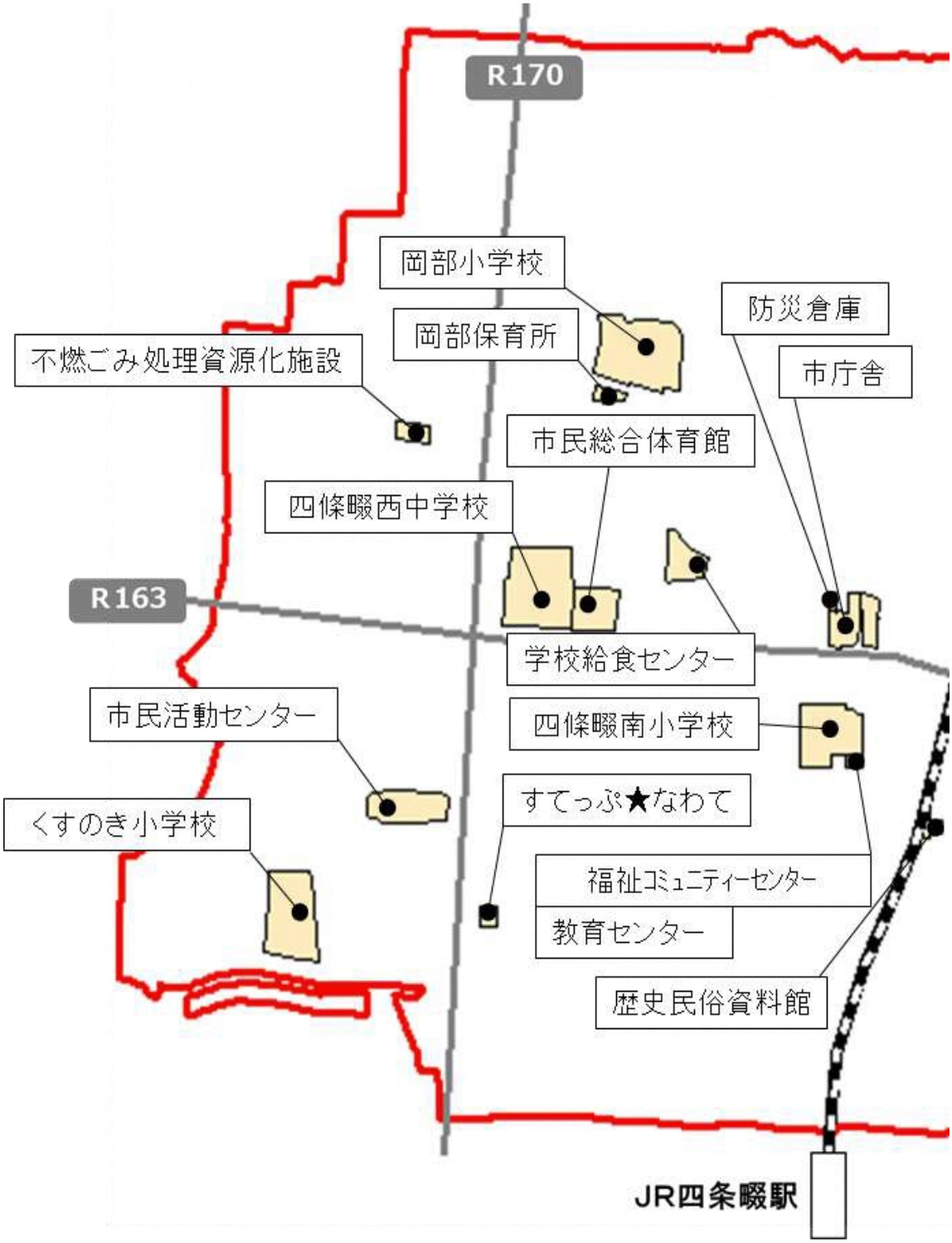
| | | |

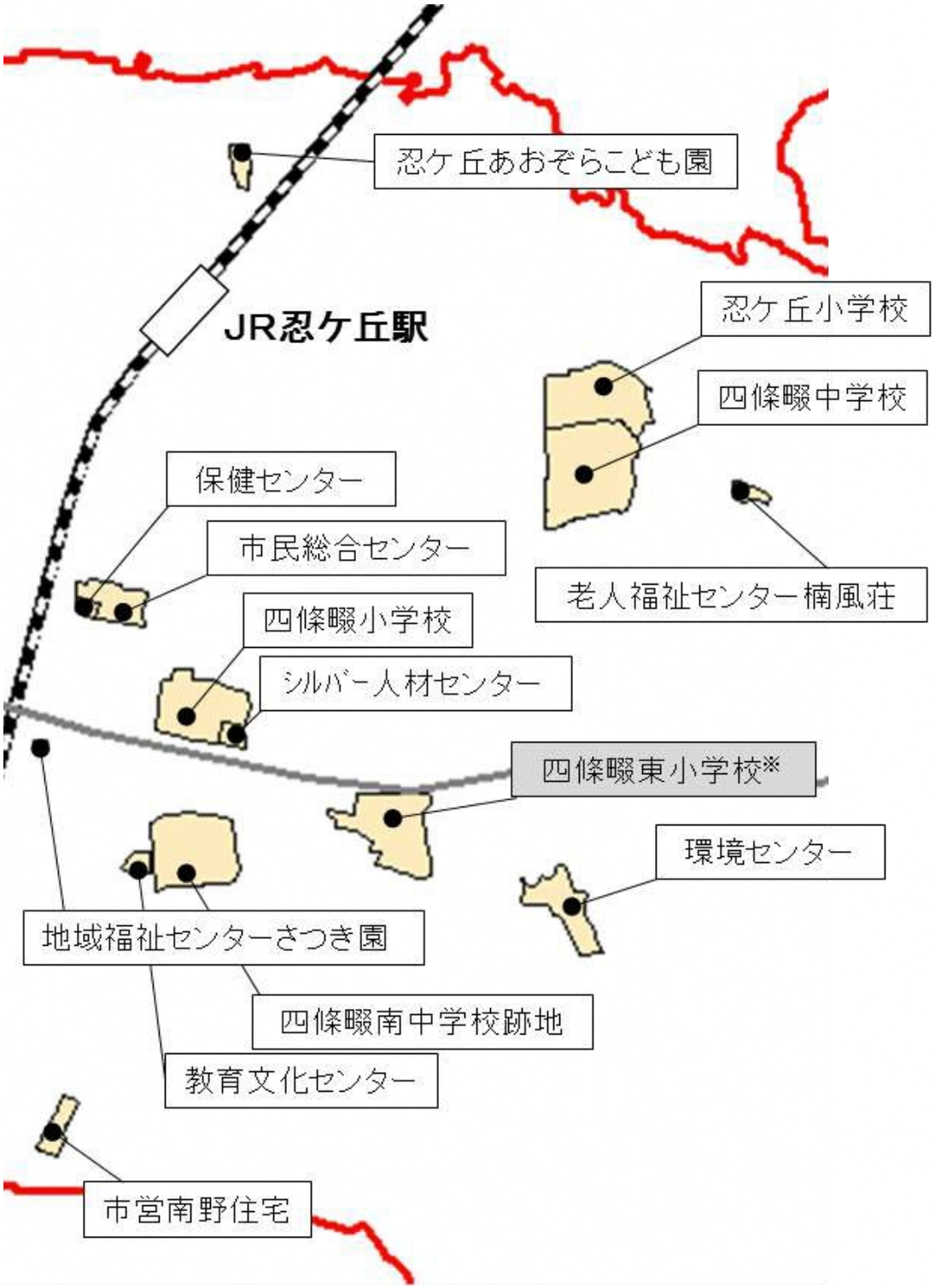
公共施設の再編による配置図

（１）西部地域

建築物系施設

現状
（2019 年度時点）

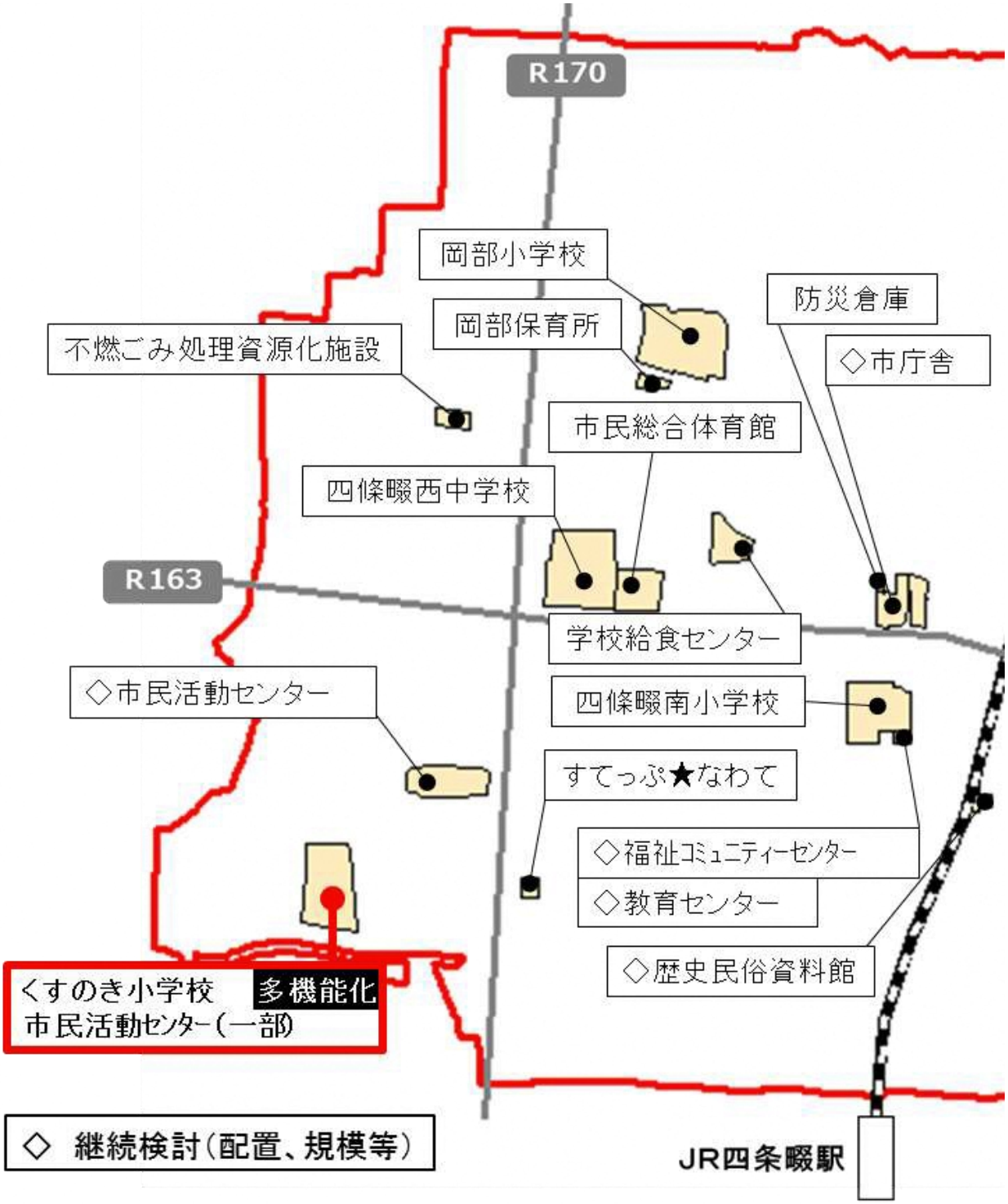




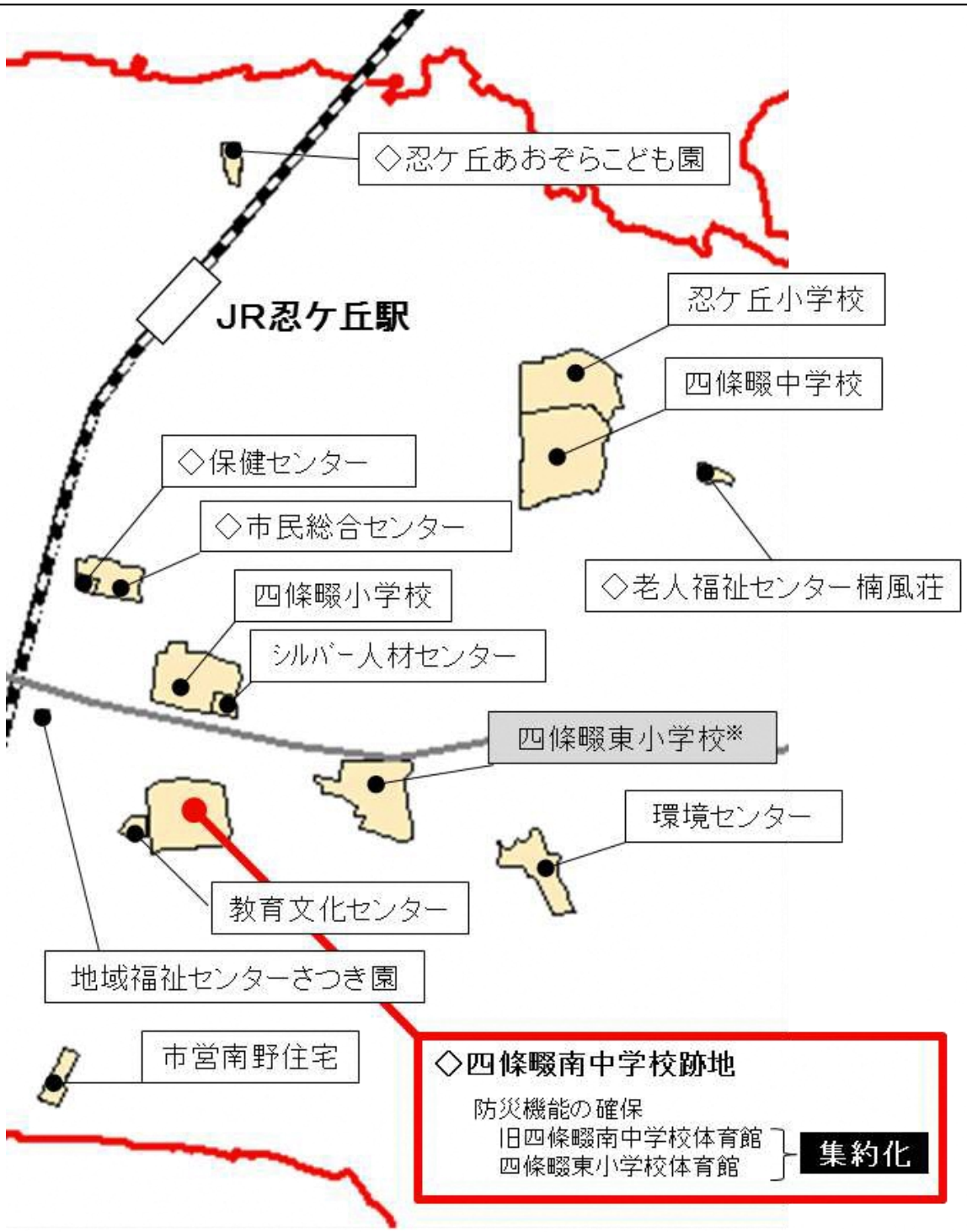
※　四條畷東小学校は令和2年3月末廃校

建築物系施設

計画期間	短期［前期］（2024 年度まで）



- **凡例** 2019 年度から 2024 年度の間に施設の配置や施設等に変更が生じた場合は、太枠内（赤色）に施設名称を強調表示し、再編の取組手法を黒背景白抜きで併記している。
- 2019 年度から 2024 年度の間に施設の配置や施設等に変更が生じた場合は、その施設名称を非表示としている。



※ 四條畷東小学校は令和2年3月末廃校

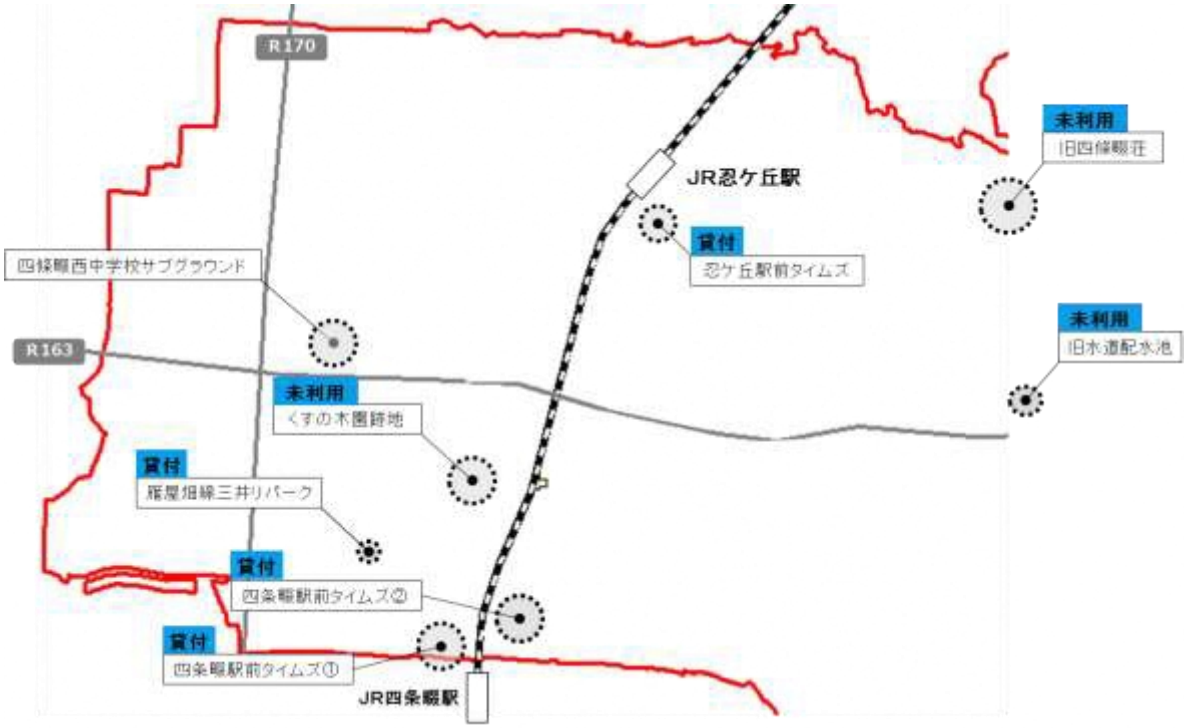
建築物を有さない施設

現状
（2019 年度時点）

２０２４年度時点において、現状との変更点はない

スポーツ・レクリエーション系施設

普通財産



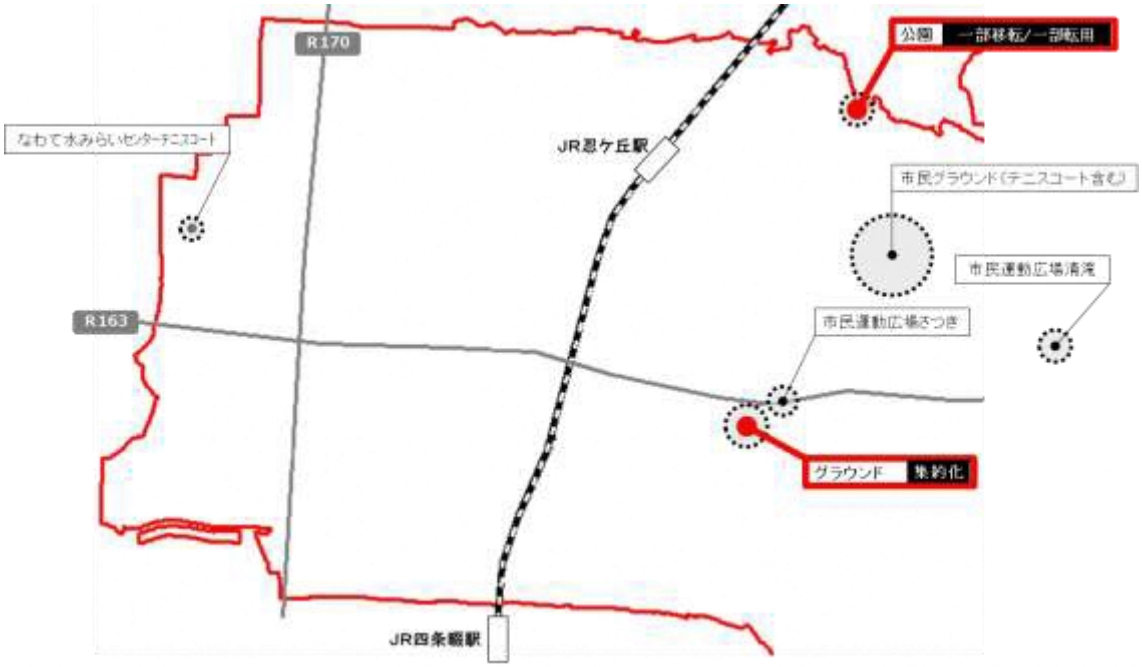
凡例

2019 年度から 2024 年度の間に施設の配置や施設等に変更が生じた場合は、太枠（赤色）太字（黒色）で施設名称を強調表示

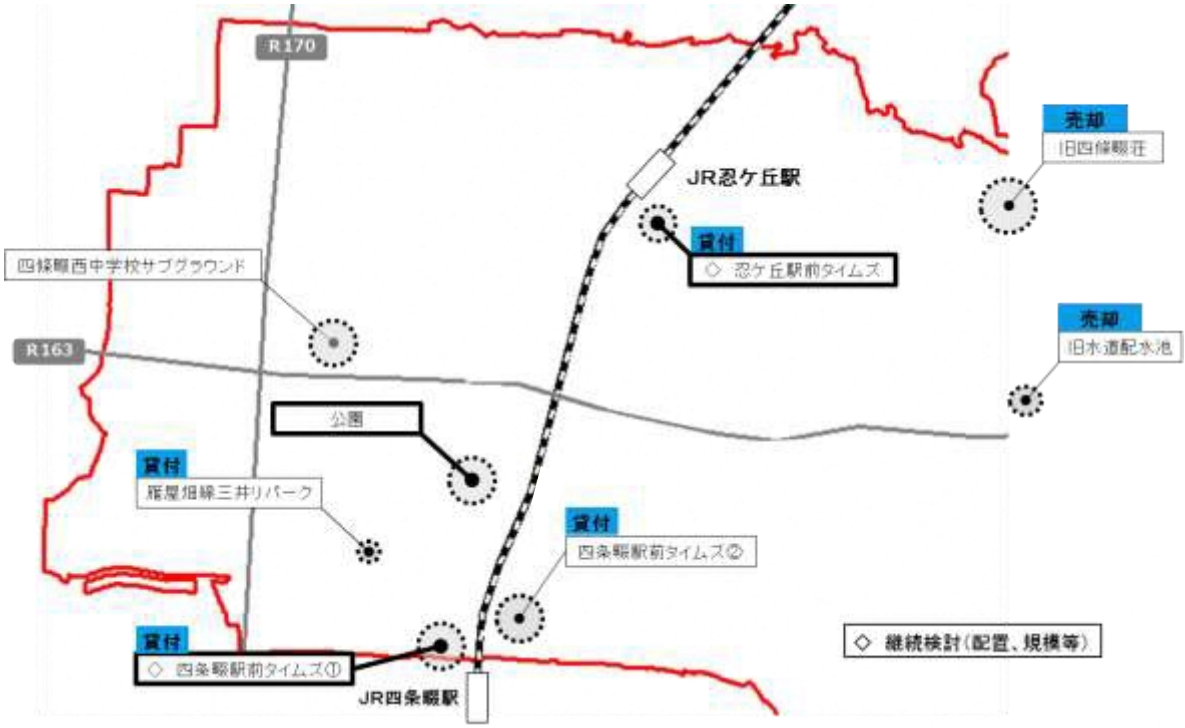
計画期間	短期（2029年度まで）

２０２９年度以降、２０５０年度まで配置に変更なし

スポーツ・レクリエーション系施設



普通財産



（２）中部・東部地域

建築物系施設

現状
(2019 年度時点)

２０２４年度時点において、
現状との変更点はない

建築物を有さない施設

普通財産

スポーツ・レクリエーション系施設

凡例

2019 年度から 2024 年度の間に施設の配置や施設等に変更が生じた場合は、太枠（赤色）太字（黒色）で施設名称を強調表示

建築物系施設

計画期間	短期（2029年度まで）	２０２９年度以降、２０５０年度まで配置に変更なし

建築物を有さない施設

普通財産

スポーツ・レクリエーション系施

第６章 計画の推進

１ 広域連携の推進

本市単独であらゆる用途の公共施設を整備し維持するのではなく、スポーツ施設等の利用範囲が広域的な施設については、大阪府や近隣市の公共施設との相互利用や民間施設を活用した公共サービスの提供なども含めた施設の最適化に取組みます。

近隣市等との公共施設の相互利用や事務の共同処理といった広域連携は、市民サービスの維持と向上に向けて有効な方法であることから、まずは行政ニーズや保有施設について、市相互の情報把握を行うなど、連携が図れるサービスについて調査、研究を進め、可能性を検討していきます。

２ 財源の確保

公共施設の更新等にあたっては、多大な費用が必要となることから、国や大阪府の補助制度を積極的に活用するとともに、市債を発行する際には、地方交付税措置の高い、より有利な事業債の活用を図ります。

併せて、ＰＰＰやＰＦＩなど様々な民間活力を導入するなど様々な手法の資金調達の実施により、財政負担の軽減を図ります。これらの導入にあたっては、ＰＰＰ/ＰＦＩ手法導入優先的検討規程を策定のうえ、これに基づき、対象事業の選定、導入検討等を図ります。

しかしながら、予測していなかった歳入の減少や歳出の増加などの財政事情により、事業の実施内容や実施年度に変更が生じる場合があります。

また、今回の再編によって移転や統廃合を進めた施設の跡地や以前から未利用となっていた用地については、売却や貸付を行うだけでなく、民間のノウハウや資金等を活かした公民連携事業の実施などにより、資産の有効活用を図っていきます。

３ フォローアップの方法等

本計画は３０年以上に亘る長期計画であるため、当初計画時における将来人口や財政の予測に変化が生じるなど、計画で定めた内容が必ずしも予定どおり全て実行できるものではありません。

今後の人口推移や財政状況はもとより、社会情勢や市民ニーズの変化にも適切に対応していかなければならないため、庁内関係部署と連携協力を行い、全庁的な共通認識のもと、取組を推進し、ＰＤＣＡサイクルにより計画の精度の向上を図り、適切な公共施設のマネジメントを行い、市長を本部長とする公共施設等総合管理計画推進本部において、半期ごとに取組の進捗を管理していきます。

なお、概ね５年ごとに計画内容を見直しすることとしますが、今後の人口減少などの社会情勢や市民ニーズの変化、都市計画マスタープランなどの関連する計画の改訂があった場合には、本計画の進捗状況を検証したうえで、適宜見直しするものとします。

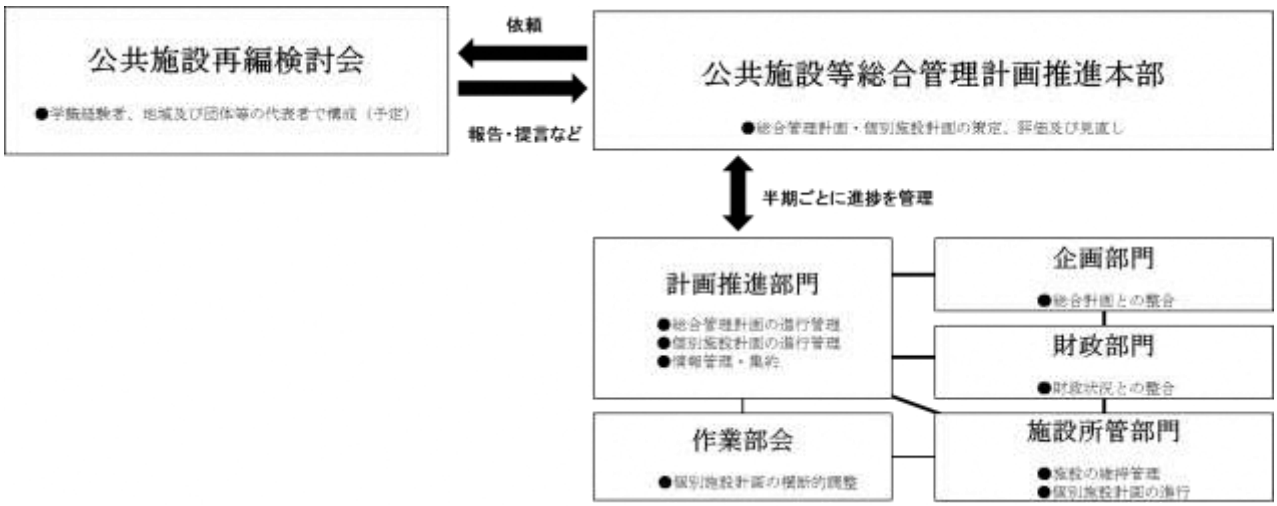


図１６　フォローアップの体制

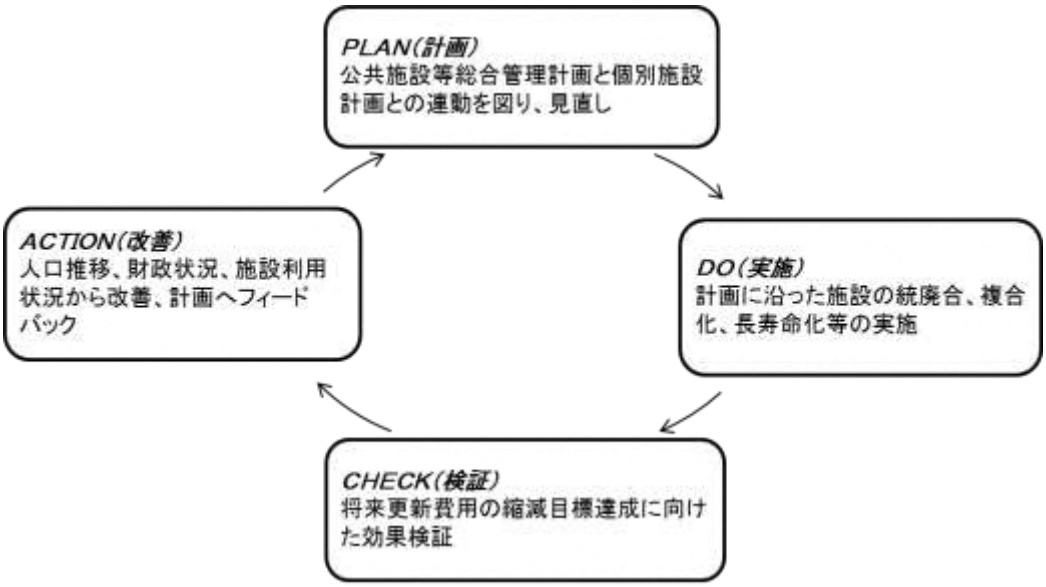


図１７　ＰＤＣＡサイクル

第７章 個別施設毎における今後の再編の方向性

１ 建築物系施設

・経過年数は、2019（令和元）年時点。

・令和５年４月改訂版で一部改訂した施設の経過年数は、2022（令和４）年時点

（１）市民文化系施設

凡　例

中 中規模改修工事　長 長寿命化改修工事　改 改築工事

※ P21、22のロードマップで「配置・規模の検討」と示した施設の工事期は記載していない。

1.　市民総合センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1981	41	8,672.33 ㎡	5,011.13 ㎡	77 台

設置目的・利用/老朽化等の状況

・市民の福祉増進と文化教養の向上に寄与するため、社会教育及び生涯学習など文化活動の拠点として設置した施設で、指定管理制度により運営している。

・現施設は設備等を含め、老朽化が進んでいる。

・　平成 29 年度から令和 3 年度までの施設全体の利用率は以下のとおりとなっており、利用の促進を図っていく必要がある。

諸室 ＼ 年度	市民ホール	展示ホール	相談室	料理室	音楽室	和室	会議室1	会議室2	会議室3	会議室4	視聴覚室	実習室	ギャラリー	平均
平成29年度	26.9%	72.4%	18.7%	20.6%	66.2%	45.4%	37.0%	42.7%	33.9%	45.1%	57.6%	38.4%	19.0%	40.3%
平成30年度	30.0%	69.3%	20.0%	19.9%	65.8%	61.8%	36.3%	42.0%	33.6%	45.1%	58.3%	30.0%	16.2%	40.6%
令和元年度	29.8%	64.4%	22.2%	18.2%	55.0%	61.8%	37.0%	42.3%	33.5%	44.2%	55.7%	27.2%	16.6%	39.1%
令和2年度	18.8%	46.7%	6.5%	4.4%	31.8%	48.4%	22.6%	23.2%	13.3%	41.1%	42.7%	26.0%	0.0%	25.0%
令和3年度	22.7%	62.1%	11.8%	13.6%	38.9%	52.0%	23.9%	26.1%	18.3%	36.8%	39.4%	23.5%	0.0%	28.4%

（注）　令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館又は開館時間の短縮を行いました。

②整備方針

方向性	・当該敷地は、西部地域の中央部に位置し、一定の面積を有していることから、資産の質と量の最適化を図るため、当該敷地に公共施設機能を集積することを基本とし、中核的施設の整備における課題を早期に整理する。 ・整理をした段階で支障等が生じる場合は、その対応策を速やかに講じていく。 ・当該敷地の再編整備にあたっては、保健センター用地等との一体利用を図る。
配置の考え方	・現敷地を基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
市民総合センター	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

2.　教育文化センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1974	48	1,557.22 ㎡	743.29 ㎡	7 台

設置目的・利用/老朽化等の状況

・市民文化の振興に寄与し、社会教育活動の向上を図るため、社会教育及び生涯学習など文化活動を行う目的により設置した施設で、指定管理者制度により運営している。

・現施設は非耐震となっており、設備等を含め、施設の老朽化が進んでいる。

・平成 29 年度から令和 3 年度までの施設全体の利用率は以下のとおりとなっており、利用の促進を図っていく必要がある。

諸室 / 年度	ホール	会議室1	会議室2	和室	平均
平成29年度	66.9%	36.5%	31.2%	38.8%	43.4%
平成30年度	64.9%	44.3%	35.4%	38.8%	45.8%
令和元年度	67.4%	39.0%	32.5%	39.0%	44.5%
令和2年度	56.6%	30.2%	19.4%	29.3%	33.9%
令和3年度	55.9%	26.1%	18.2%	25.9%	31.5%

（注）　令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館又は開館時間の短縮を行いました。

②整備方針

方向性	非耐震施設であるため安全性を確保するとともに、低利用の解消を図るため、親和性の高い施設と複合化を図る。
配置の考え方	市民総合センター用地に配置することを基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
教育文化センター	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和 5 年 4 月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

（２）社会教育系施設

3.　歴史民俗資料館

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1985	37	1,365.28 ㎡	578.72 ㎡	5 台
設置目的・利用/老朽化等の状況				

・郷土を中心とした考古資料、歴史資料及び民俗資料を収集し、調査研究を行い、これらの資料を保管・展示することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。

・平成 29 年度から令和 3 年度までの年間入館者数（常設展・特別展）は以下のとおりとなっている。

入館者	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	8,809人	9,612人	8,832人	4,369人	4,426人

（注）　令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館を行いました。

②整備方針

方向性	・国の登録有形文化財の土蔵は、これまでと同様に現地で適正保存する。 ・長寿命化改修や中規模改修などを実施し、維持する。
配置の考え方	・現状配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
本館		長		中
土蔵		中		中

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針、③更新等の時期

4.　野外活動センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９０	２９	８，０３５．２７㎡	２９８．８９㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
・野外活動の振興及び青少年の健全な育成を図ることを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。 ・平成２９年度の年間延べ利用者数は１４，４７４人となっている。			

②整備方針

方向性	広域的な利用を図っていく施設とし、近隣市との広域化を検討していく。
配置の考え方	現施設を他市と相互利用、又は他市の施設を相互利用する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
野外活動センター	広域化の検討		検討結果を随時実施	

（３）スポーツ・レクリエーション系施設

5.　市民総合体育館

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９４	２５	６，０７１．１６㎡	９，１９９．９１㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進を図るとともに、文化的生活向上に供することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。 ・平成２９年度の施設全体の利用率は約８９％となっており、公共施設のなかで最も高い利用率となっている。			

②整備方針

方向性	利用率は高いものの、施設を維持管理していくには市単独では負担が大きいので、広域的な利用促進を図っていくため、近隣市との広域化を図ることや民営化することを検討していく。
配置の考え方	現施設を他市と相互利用、又は他市の施設を相互利用する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
市民総合体育館	民営化又は広域化の検討		長	検討結果を随時実施

6.　市民活動センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1978	44	7,240.00 ㎡	5,550.55 ㎡	10 台

設置目的・利用/老朽化等の状況

・自主的な生涯学習活動及びコミュニティ活動の場を提供するため、旧北出小学校の施設を活用し、設置している。
・旧校舎は非耐震となっており、設備等を含め、施設の老朽化が進んでいる。
・体育館については、令和４年度に耐震補強等工事を実施した。
・平成 29 年度から令和 3 年度までの施設全体の利用率は以下のとおりとなっており、比較的高い利用率となっている。

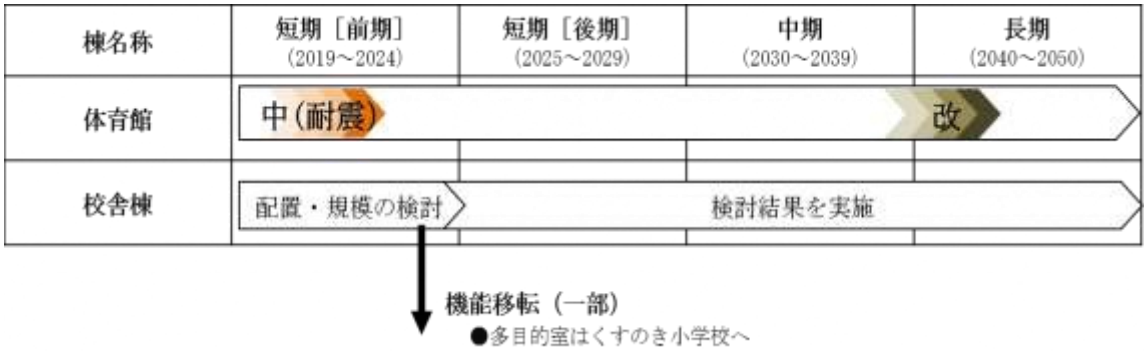
諸室 / 年度	体育館	多目的室1	多目的室2	平均
平成29年度	80.8%	63.6%	71.4%	71.9%
平成30年度	87.1%	74.3%	71.0%	77.5%
令和元年度	77.4%	64.1%	64.9%	68.8%
令和2年度	80.7%	55.1%	52.8%	62.9%
令和3年度	81.9%	61.5%	58.2%	67.2%

（注）　令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館又は開館時間の短縮を行いました。

②整備方針

方向性	・体育館は非耐震施設となっているものの、利用率が高いため、短期［ 前期 ］ に耐震化を図り、現状機能を維持する。 ・国道 170 号以西地域におけるボール遊びができる公園を整備する。 ・社会福祉協議会については、市民総合センター用地への移転を基本として協議する。 ・文化財資料に係る収蔵等の保管場所については、他の公共施設の再編により生じた余剰施設等を活用していく。
配置の考え方	・体育館は、現在配置で維持する。 ・多目的室の機能は、くすのき小学校用地へ移転させる。

③更新等の時期



※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

（４）学校教育系施設

7.　四條畷小学校

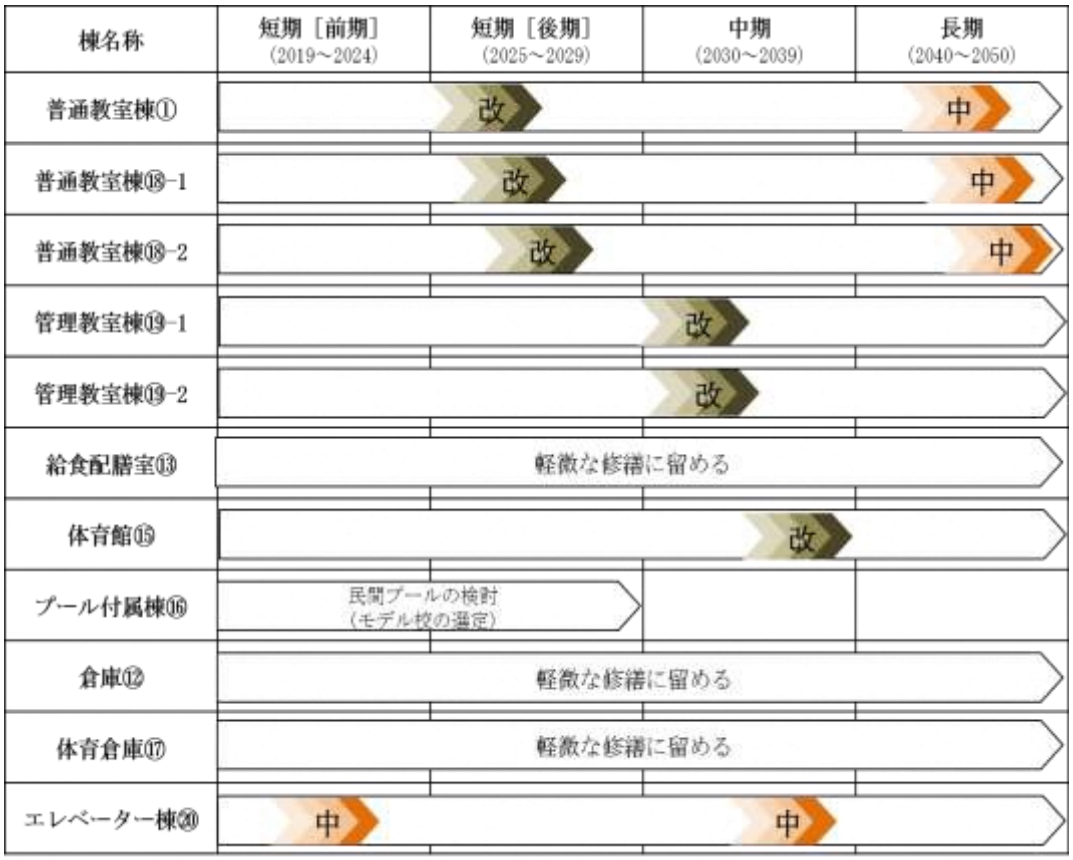
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９６５	５４	１３，８７２．００㎡	６，５４４．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・改築や中規模改修を実施し、維持する。 ・プールについては、モデル校を選定のうえ、民間プールを活用し、授業実施する。一定の検証を経て、拡大、又は各校型プールとするのかを判断していく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



8.　田原小学校

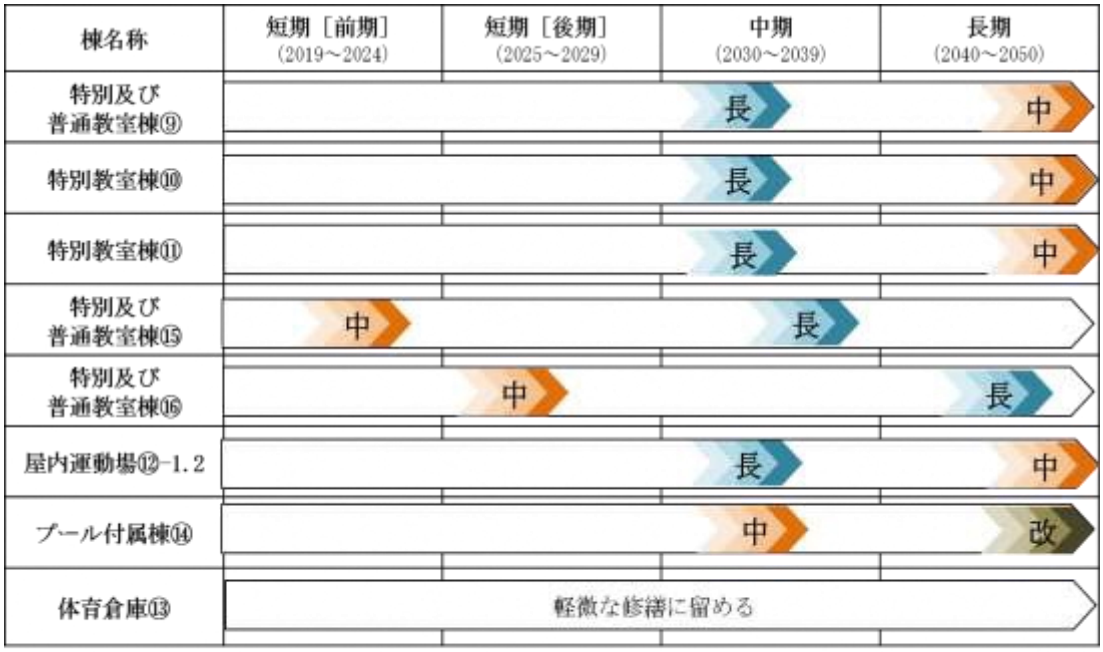
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９８９	３０	２１，３６１．００㎡	７，６６２．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・長寿命化改修や中規模改修などを実施し、維持する。 ・中長期的に義務教育学校、又は小中一貫校設置に向けて検討していく。 ・西部地域における小学校プール授業の方法見直しの状況を見極めつつ、当校におけるプールのあり方を検討していく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



※東部地域の小中学校は、中長期的に義務教育学校又は小中一貫校設置の検討を行うが、上記の更新等の時期は現状施設を維持した場合を示している。

9.　四條畷南小学校

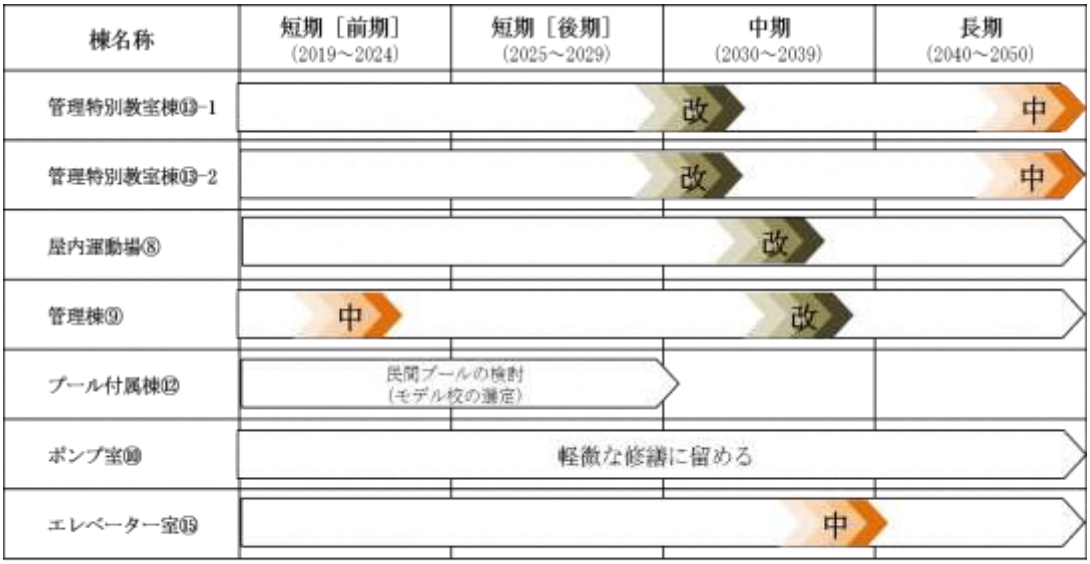
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９６９	５０	１３，３１９．００㎡	５，５８３．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・改築や中規模改修を実施し、維持する。 ・将来の年少人口の増に備え、中長期的に、当該学校敷地に義務教育学校、又は小中一貫校の設置を検討していく。 ・プールについては、モデル校を選定のうえ、民間プールを活用し、授業実施する。一定の検証を経て、拡大、又は各校型プールとするのかを判断していく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



※中長期的に義務教育学校又は小中一貫校設置の検討を行うが、上記の更新等の時期は現状施設を維持した場合を示している。

10. くすのき小学校

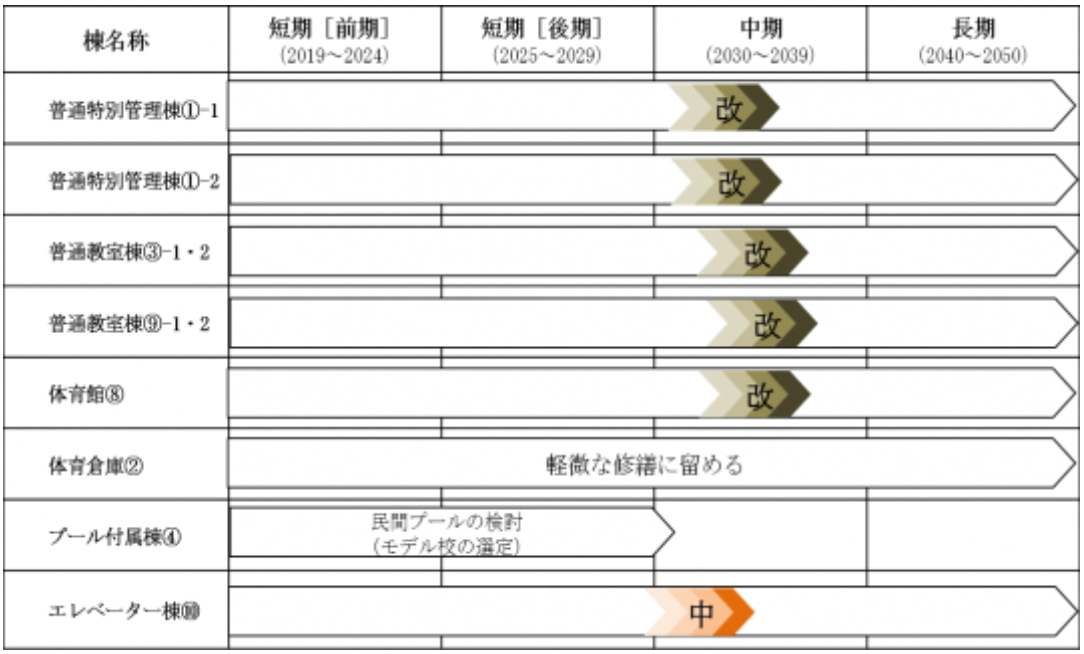
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７１	４８	１５，８９４．００㎡	６，３５１．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・改築や中規模改修を実施し、維持する。 ・市民活動センターの多目的室を空き教室等へ移転させるなど、学校の多機能化を検討していく。 ・プールについては、モデル校を選定のうえ、民間プールを活用し、授業実施する。一定の検証を経て、拡大、又は各校型プールとするのかを判断していく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



11. 忍ケ丘小学校

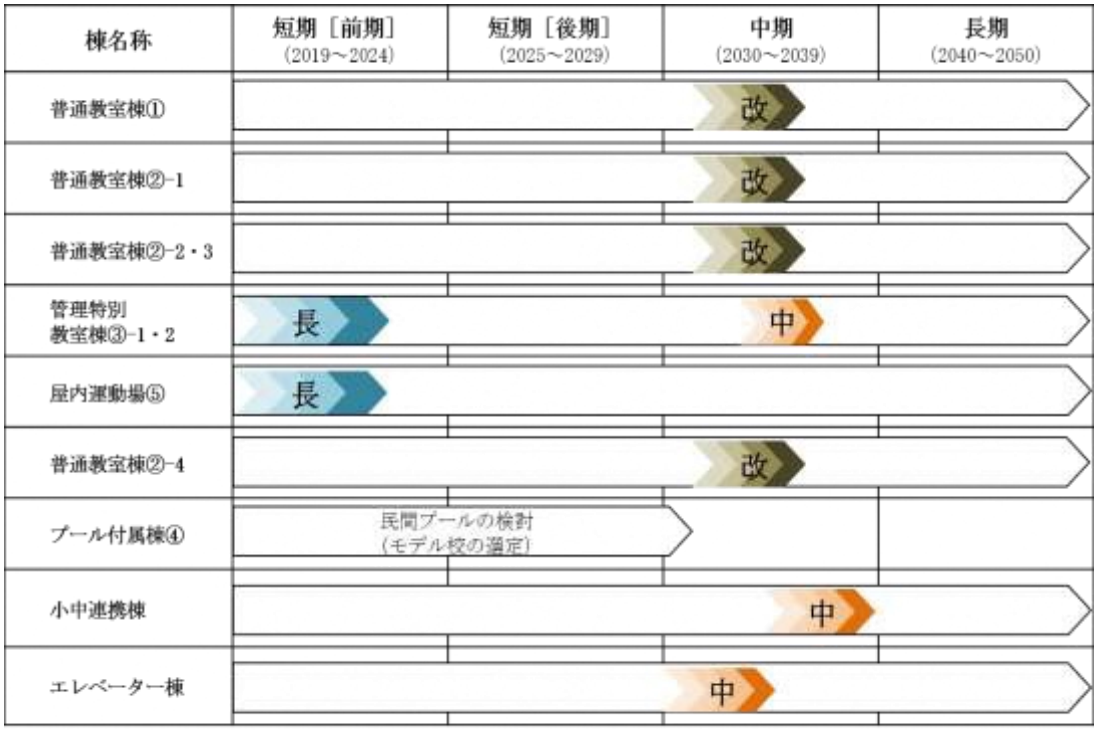
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７３	４６	１６，５８１．００㎡	６，７２７．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・改築や中規模改修を実施し、維持する。 ・プールについては、モデル校を選定のうえ、民間プールを活用し、授業実施する。一定の検証を経て、拡大、又は各校型プールとするのかを判断していく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



※小中連携棟については、四條畷中学校と共有

12. 四條畷東小学校

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７４	４５	１６，０９６．００㎡	５，９９７．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	２０２０年３月末をもって廃校とし､跡地をグラウンドとして整備する。
配置の考え方	・２０２０年４月より四條畷小学校に統合する。 ・体育館は四條畷南中学校跡地へ集約化する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
管理特別教室棟①-1・2・3	解体	転用（公園）		
普通教室棟②-1・2	解体	転用（公園）		
屋内運動場⑦	解体	転用（公園）		
プール付属棟④	解体	転用（公園）		
プロパン庫③	解体	転用（公園）		
倉庫⑧	解体	転用（公園）		
更衣室⑥	解体	転用（公園）		

↓

統廃合

●四條畷小学校へ

集約化

●体育館は四條畷南中学校跡地へ

13. 岡部小学校

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７７	４２	１９，３４５．００㎡	６，３４９．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・改築や中規模改修を実施し、維持する。 ・プールについては、モデル校を選定のうえ、民間プールを活用し、授業実施する。一定の検証を経て、拡大、又は各校型プールとするのかを判断していく。 ・西部地域で身近に遊べる公園をエリアごとに整備していくが、当校区内には一定面積以上の公共用地を保有していないため、校庭開放を視野に検討を行っていく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

14. 四條畷中学校

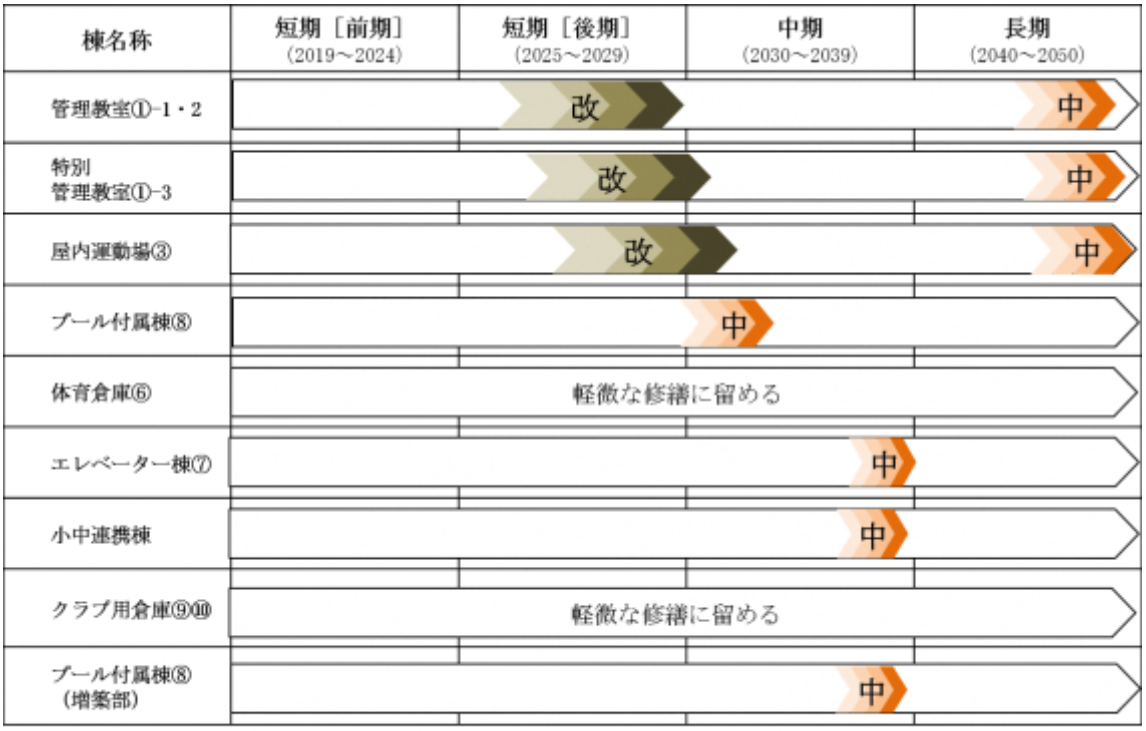
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９６７	５２	２３，４１８．００㎡	８，６３２．２８㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	改築や中規模改修を実施し、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



※小中連携棟については、忍ヶ丘小学校と共有

15. 四條畷西中学校

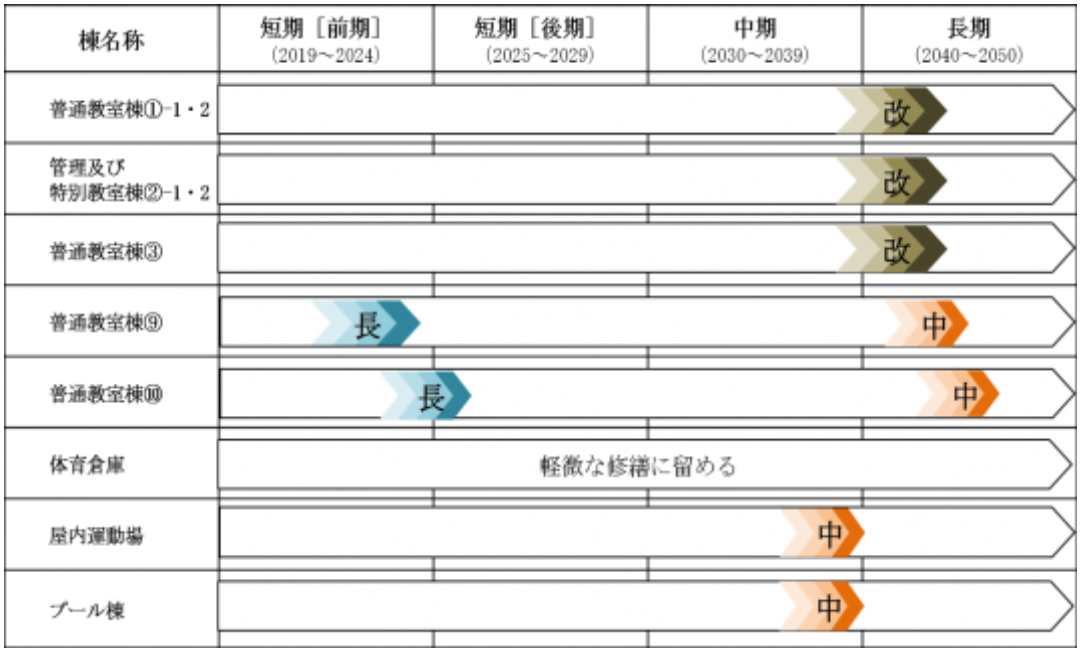
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７９	４０	１８，６２６．００㎡	８，８９６．６３㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	長寿命化改修や中規模改修などを実施し、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期



16. 田原中学校

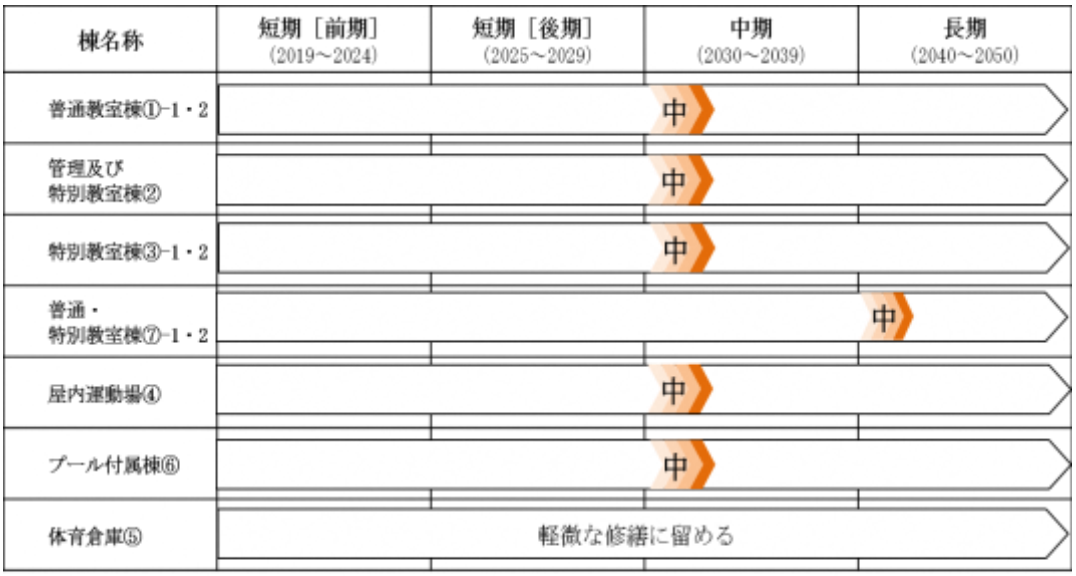
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９８９	３０	２６，６３７．００㎡	６，５０４．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
学校教育法等に基づき、安心安全な環境のもとで教育を受けるため設置している。			

②整備方針

方向性	・中規模改修を実施し、維持する。 ・中長期的に義務教育学校、又は小中一貫校設置に向けて検討していく。
配置の考え方	当分の間、現在配置で維持するが、義務教育学校、又は小中一貫校設置に向けての検討に併せ、配置も検討していく。

③更新等の時期



※東部地域の小中学校は、中長期的に義務教育学校又は小中一貫校設置の検討を行うが、上記の更新等の時期は現状施設を維持した場合を示している。

17. 学校給食センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２００１	１８	５，６２３．８６㎡	２，１０５．７２㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
・市内小中学校へ通学する児童生徒への給食の提供及び食育を行うため設置している。 ・児童生徒の減少等により、調理食数が減少してきている。			

②整備方針

方向性	少子化に伴う調理食数の減少により、遊休設備等が発生した場合、運用方法等を含めた施設の効率的な活用が求められるため、近隣市と広域連携することを検討していく。
配置の考え方	比較的新しい施設につき、直ちに改築や改修等を行う必要はないため、現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
学校給食センター	広域化の検討 中		検討結果を随時実施	中

18. 教育センター

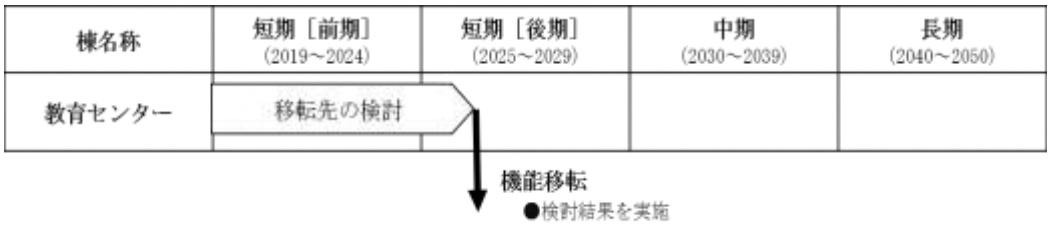
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７５	４４	―	２３３．９２㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
教育研究、人材育成の拠点として、教育研修、教育相談、学校支援に係る機能の充実を図るため、設置している。			

②整備方針

方向性	現施設は非耐震部分を含む施設と隣り合わせになっているため、安全を確保する観点から他施設に移転させる。
配置の考え方	移転先については継続検討とする。

③更新等の時期



（５）子育て支援施設

19. 岡部保育所

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７５	４４	１，３１４．７１㎡	８２２．７５㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
・保育に欠ける子どもの保育を行い、その健全な心身の発達を図るため、設置している。 ・定員数は９０人			

②整備方針

方向性	年少人口減少に伴う保育需要の減少により、約２０年後に廃止を見込むが、今後の保育需要の動向により適宜判断していく。
配置の考え方	当分の間、現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
岡部保育所	中		廃止	

20. 忍ケ丘あおぞらこども園

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1971	51	3,564.00 ㎡	1,350.55 ㎡	7 台
設置目的・利用/老朽化等の状況				
・小学校就学前の子どもに対する保育及び教育並びに保護者に対する子育て支援の総合的な提供を行うため、設置している。 ・定員数は１９８人				

②整備方針

方向性	・年少人口減少に伴う保育需要の減少により、約２０年後には岡部保育所を廃止することを視野にいれているが、公立園は１園残すため、当園は維持する。 ・老朽化が進展している園舎等を早期に建替整備する。 ・早期の建替整備に支障等が生じる場合は、その対応策を速やかに講じていく。
配置の考え方	現敷地を基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
しのぶ棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		
あおぞら棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

21. すてっぷ★なわて

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２０１５	４	１，２５４．５０㎡	１，２３５．８７㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
・子育て中の保護者や子ども、障がい児や発達支援が必要な子どもとその保護者に対する支援を行うため、設置している。 ・子育て支援センターと児童発達支援センターの２つの用途の複合施設となっている。			

②整備方針

方向性	中規模改修を実施し、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
すてっぷ★なわて			中	

（６）保健・福祉施設

22. 老人福祉センター楠風荘

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1975	47	1,395.75 ㎡	794.33 ㎡	7 台

設置目的・利用/老朽化等の状況

・高齢者の心身の健康を保持し、健全で安らかな生活を送ることを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。

・ 平成 29 年度から令和 3 年度までの年間延べ利用者数は以下のとおりとなっている。

利用者	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	29,901人	29,789人	27,005人	9,434人	12,247人

（注） 令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館又は開館時間の短縮を行いました。

②整備方針

方向性	非耐震施設であるため安全性を確保するとともに、利用の活性化を図るため、親和性の高い施設と複合化を図る。
配置の考え方	市民総合センター用地に配置することを基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
老人福祉センター楠風荘	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

23. 保健センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1985	37	1,278.43 ㎡	1,272.60 ㎡	5 台
設置目的・利用/老朽化等の状況				
・各種がん検診、乳幼児健診など市民の健康保持増進を目的に設置している。 ・乳幼児健診やがん検診の実施日において、市民総合センターの駐車場を30 台程度使用している。 ・がん検診では、1 年度に 10 日程度、検診バスを 2 台から 4 台配置している。				

②整備方針

方向性	・行政サービスの利便性の向上を図るため、親和性の高い施設と複合化を図る。 ・当該敷地は、市民総合センター用地の再編整備に合わせ、一体利用を図っていく。
配置の考え方	市民総合センター用地に配置することを基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
保健センター	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和 5 年 4 月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

24. 四條畷市シルバー人材センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1969	53	1,335.55 ㎡	768.05 ㎡	16 台
設置目的・利用/老朽化等の状況				
・高齢者の臨時的かつ短期的な就業等の機会を確保し、提供する事業を行う公益社団法人として運営している。 ・本市の旧学校給食センターを施設改修し、事業を行っている。				

②整備方針

方向性	現施設は非耐震施設となっているため、安全を確保する観点から他の公共施設に移転させる。
配置の考え方	市民総合センター用地に配置することを基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
四條畷市 シルバー人材センター	配置の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

25. 地域福祉センターさつき園

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９８３	３６	５８１．００㎡	２０８．０５㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
障がい者の自立支援と福祉の増進を図ることを目的に、「簡易心身障害者通所授産施設」とし設置したが、現在は社会福祉法人に床貸しを行っている。			

②整備方針

方向性	公平性の観点などから、原則として、公共施設としての役割は終える。
配置の考え方	本施設は公共としての役割は終えるものの、当該場所において民間事業者が行うサービス利用を受ける方に影響があることから、土地及び建物を有償譲渡することも視野に、丁寧な対応に努める。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
地域福祉センターさつき園	有償譲渡等を含め対応			

26. 福祉コミュニティーセンター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1975	47	647.00 ㎡	765.60 ㎡	5 台

設置目的・利用/老朽化等の状況

・高齢者、障がい者、児童等の社会参加を促進するとともに、ボランティア活動の育成を図ることなどを目的に設置している施設で、指定管理者制度で運営している。

・現施設は非耐震となっており、駐車場も狭い。

・平成 29 年度から令和 3 年度までの施設全体の利用率は非常に低く、利用の促進を図る必要がある。

諸室 / 年度	第1活動室	第2活動室	第3活動室	集会室	ふれあいルーム	プレイルーム	平均
平成29年度	33.8%	20.6%	29.6%	26.1%	20.3%	14.6%	24.2%
平成30年度	33.2%	19.2%	36.2%	26.9%	19.2%	14.7%	24.9%
令和元年度	31.4%	22.6%	33.6%	33.1%	18.4%	13.6%	25.5%
令和2年度	26.5%	13.1%	24.8%	38.1%	15.8%	14.4%	22.1%
令和3年度	25.0%	10.6%	37.4%	31.9%	13.8%	12.4%	21.9%

（注） 令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館又は開館時間の短縮を行いました。

②整備方針

方向性	非耐震施設であるため安全性を確保するとともに、低利用の解消を図るため、親和性の高い施設と複合化を図る。
配置の考え方	市民総合センター用地に配置することを基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
福祉コミュニティーセンター	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

（７）行政系施設

27. 市庁舎

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1964	58	7,048.12 ㎡	5,800.74 ㎡	58 台
設置目的・利用/老朽化等の状況				
様々な行政サービスを提供する主たる事務所として設置している。				

②整備方針

方向性	行政サービスの利便性の向上を図るため、親和性の高い施設と複合化を図る。
配置の考え方	市民総合センター用地に配置することを基本とする。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
本館	配置・規模の検討	検討結果を実施		
エレベーター棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		
プレハブ棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		
中庭棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		
東別館	配置・規模の検討	検討結果を実施		
北別館	配置・規模の検討	検討結果を実施		
第一付属棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		
第二付属棟	配置・規模の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

28. グリーンホール田原

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1992	30	2,574.40 ㎡	4,310.90 ㎡	68 台（地下 30 台、屋外 38 台）

設置目的・利用/老朽化等の状況

・様々な行政サービスを提供する主たる事務所、図書館、地域活動を行うための貸室を兼ね備えた、東部地域における拠点施設とし設置している。

・平成 29 年度から令和 3 年度までの施設全体の利用率は以下のとおりとなっており、利用の促進を図っていく必要がある。

諸室 / 年度	なるなるホール	会議室1	会議室2	会議室3	視聴覚室	和室	実習室	料理室	平均
平成29年度	54.8%	30.4%	43.0%	28.6%	49.9%	52.9%	22.3%	9.9%	36.5%
平成30年度	51.0%	26.6%	38.4%	32.1%	47.4%	51.8%	24.2%	9.1%	35.1%
令和元年度	50.7%	25.7%	37.9%	32.2%	46.2%	53.0%	24.7%	7.9%	34.8%
令和2年度	50.5%	27.1%	37.3%	28.0%	33.8%	44.6%	20.7%	9.6%	31.5%
令和3年度	37.1%	25.3%	34.3%	27.6%	38.1%	32.8%	10.8%	4.4%	26.3%

（注） 令和元年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館又は開館時間の短縮を行いました。

②整備方針

方向性	・スマートシティの推進や東部地域活性化の取組状況等を踏まえつつ、東部地域における拠点施設の充実に向けて検討していく。 ・東部の中心に位置する東部商業拠点において、魅力ある商業拠点の形成や行政サービスの充実が公民連携により図れる場合は、新たな展開を検討していく。
配置の考え方	・現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
グリーンホール田原	当面維持（適宜、東部地域の情勢・状況等に応じて検討）			

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針、③更新等の時期

29. 防災倉庫

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９８	２１	６０１．７１㎡	３１７．４３㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
災害発生時の非常用食料や資機材などを保管することを目的に設置している。			

②整備方針

方向性	軽微な修繕に留め、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
防災倉庫	軽微な修繕に留める			

30. 防災行政無線中継局

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９３	２６	８８．００㎡	５．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
防災行政無線を東部地域に伝達することを目的に設置している。			

②整備方針

方向性	軽微な修繕に留め、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
防災行政無線中継局	軽微な修繕に留める			

31. 不燃ごみ等処理資源化施設

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２０００	１９	１，８１４．００㎡	８７５．６８㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
市内で収集され、又は自己搬入で持ち込まれた粗大ごみ等を一時的に保管することを目的に設置しましたが、四條畷市交野市清掃施設組合が整備した新ごみ処理施設の稼働に伴い、一時保管場所としての機能は大きく減少している。			

②整備方針

方向性	新ごみ処理施設の稼働に伴い、当施設は廃止する。
配置の考え方	当施設は廃止する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
不燃ごみ等処理資源化施設	廃止※			

※廃止は建物のみで、用地は活用方法を検討する。

32. 環境センター

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２０００	１９	９，７００．００㎡	９７６．７９㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
市内で排出されるし尿及び浄化槽汚泥を公共下水道に放流することを目的に設置しており、現在、本市以外にも門真市のし尿等も受入れ処理している。			

②整備方針

方向性	広域的な利用を図っていく施設であるため、近隣市との広域化を検討していく。
配置の考え方	現施設を他市と相互利用、又は他市の施設を相互利用する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
環境センター	中 広域化の検討		検討結果を随時実施	中

33. 四條畷南中学校跡地

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積	駐車区画数
1972	50	20,323.00 ㎡	8,392.00 ㎡	20 台
設置目的・利用/老朽化等の状況				

・当中学校敷地内にあるとされる活断層の正確な位置を調査すべく、2018 年 4 月から休校とし、その後、策定した学校再編整備計画のなかで、当中学校は 2019 年 4 月から廃校となった。

・令和 2 年度から、再編整備に着手するまでの間の暫定利用としてグラウンドの貸出しを行っており、利用率は以下のとおりである。

諸室 / 年度	グラウンド
令和2年度	41.2%
令和3年度	39.0%

（注） 令和2年度から令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、一定期間の臨時休館を行いました。

②整備方針

方向性	・ＪＲ片町線以東、国道１６３号以南の地域の防災機能を確保するため、当該跡地を活用し、避難所の確保を図る。 ・新たな避難所機能を有する施設を整備するまでの間、既存校舎において、避難所機能の充実を図る。 ・ボール遊びができる公園を整備する。
配置の考え方	当該跡地の体育館機能と四條畷東小学校の体育館機能を集約させ、多機能型体育館を整備する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
四條畷南中学校跡地	防災機能の確保 利活用の検討	検討結果を実施		

※令和５年４月改訂版で一部改訂
改訂箇所：①施設概要、②整備方針

（８）公営住宅

34. 市営南野住宅

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９５３	６６	３，２７４．２１㎡	２８１．００㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
昭和２８年に発生した台風１３号による権現川の水害による被災者用住宅として設置している。			

②整備方針

方向性	市営住宅については、建築から相当年経過し、著しく老朽化していることに加え、災害復旧住宅としては一定の役割を終えたと考える。また、国土交通省が提供するストック推計プログラムの推計結果により、将来的には低廉かつ質が確保できる住宅等の総数が著しい困窮年収未満の世帯数を上回る見通しとなることから、それまでのセーフティネットとしての住宅は府営住宅及び民間賃貸住宅等を活用していくものとし、市営住宅は廃止する。
配置の考え方	当施設は廃止する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］（2019～2024）	短期［後期］（2025～2029）	中期（2030～2039）	長期（2040～2050）
市営南野住宅	廃止			

（９）公園施設

35. 戎公園管理棟

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９４	２５	２０，０００．０７㎡	２６６．７１㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
都市公園を管理するために設置し、地元の協力を得ながら管理している。			

②整備方針

方向性	建替を実施し、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
戎公園管理棟			改	

36. 北谷公園管理棟

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９５	２４	２４，１９７．５０㎡	２８１．３０㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
都市公園を管理するために設置し、地元の協力を得ながら管理している。			

②整備方針

方向性	長寿命改修を実施し、維持する。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
北谷公園管理棟			長	

37. 四條畷市総合公園管理棟

①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２０１５	４	２０，６００．００㎡	２９１．４９㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
都市公園を管理するために設置し、管理委託方式により運営している。			

②整備方針

方向性	人工芝運動場と多目的グラウンドを整備し、運営しているが、今後はＰＰＰにより公園施設の一体的な維持管理・利活用など検討をしていく。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］(2019～2024)	短期［後期］(2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
四條畷市総合公園管理棟	多機能化（ＰＰＰ）の検討	多機能化（ＰＰＰ）を実施		

2 建築物を有さない施設

（1）スポーツ・レクリエーション系施設

38. 青少年コミュニティー運動広場

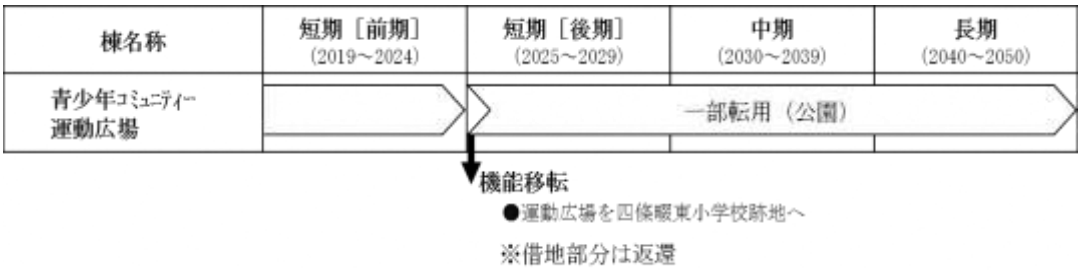
①施設概要

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９９６	２３	６，０００．００㎡	㎡
設置目的・利用/老朽化等の状況			
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。			

②整備方針

方向性	球技を行う運動広場部分は四條畷東小学校跡地に移転させ、当該広場は公園として再整備する。
配置の考え方	公園として維持する。

③更新等の時期



①施設概要

39. なわて水みらいセンターテニスコート

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２０１１	８	２，９７２．６７㎡	㎡
設置目的・利用状況			
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。			

40. 市民グラウンド

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９７９	４０	２０，０００．００㎡	㎡
設置目的・利用状況			
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。			

41. 市民運動広場清滝

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９８９	３０	３，４００．００㎡	㎡
設置目的・利用状況			
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。			

42. 市民運動広場さつき

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
１９８０	３９	３，０００．００㎡	㎡
設置目的・利用状況			
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的に設置した施設で、指定管理者制度により運営している。			

43. 田原テニスコート

建築年度	経過年数	敷地面積	延床面積
２００９	１０	２，０４０．６４㎡	㎡
設置目的・利用状況			
スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康及び体力の増進に資することを目的に設置した施設で、直営により運営している。			

②整備方針【39~43 まで共通事項】

方向性	現状どおりとする。
配置の考え方	現在配置で維持する。

③更新等の時期

棟名称	短期［前期］ (2019～2024)	短期［後期］ (2025～2029)	中期 (2030～2039)	長期 (2040～2050)
なわて水みらいセンターテニスコート				
市民グラウンド（テニスコートを含む）				
市民運動広場清滝				
市民運動広場さつき				
田原テニスコート				

（２）普通財産

44. 四条畷駅前タイムズ①

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
１，９１３．１３㎡	今後の利活用の検討については、短期［後期］において検討することとし、それまでの間は現状の利活用を継続していくものとする。

※令和５年４月改訂版で利活用方針を改訂。

45. 忍ケ丘駅前タイムズ

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
１，０１３．５８㎡	今後の利活用の検討については、短期［後期］において検討することとし、それまでの間は現状の利活用を継続していくものとする。

※令和５年４月改訂版で利活用方針を改訂。

46. 四条畷駅前タイムズ②

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
１，５０４．３９㎡	民間に貸付を行う。

47. 雁屋畑線三井リパーク

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
１６６．５７㎡	民間に貸付を行う。

48. くすのき園跡地

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
２，０８９．２５㎡	ボール遊びができる公園を整備する。 ただし、中長期的に四條畷南小学校敷地に義務教育学校又は小中一貫校を設置するとなった際には、当該跡地を活用する。

49. 旧四條畷荘

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
５，６４７．２５㎡	西部地域の北東部の市境に位置しており、公共施設用地として利活用が難しいと判断した。 ただし、敷地西側の既存擁壁の安全性を確認したうえで、売却の可否を最終判断する。

50. 旧水道配水池

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
７５７．６㎡	当該地は、前面道路と高低差があり、西部地域の東端に位置していることから、公共施設用地として利活用が難しいと判断したため、売却する。

51. UR 寄附土地

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
３７，０５２．２６㎡	売却を行うことを前提とするも、ＰＰＰ事業などの可能性も検討していく。

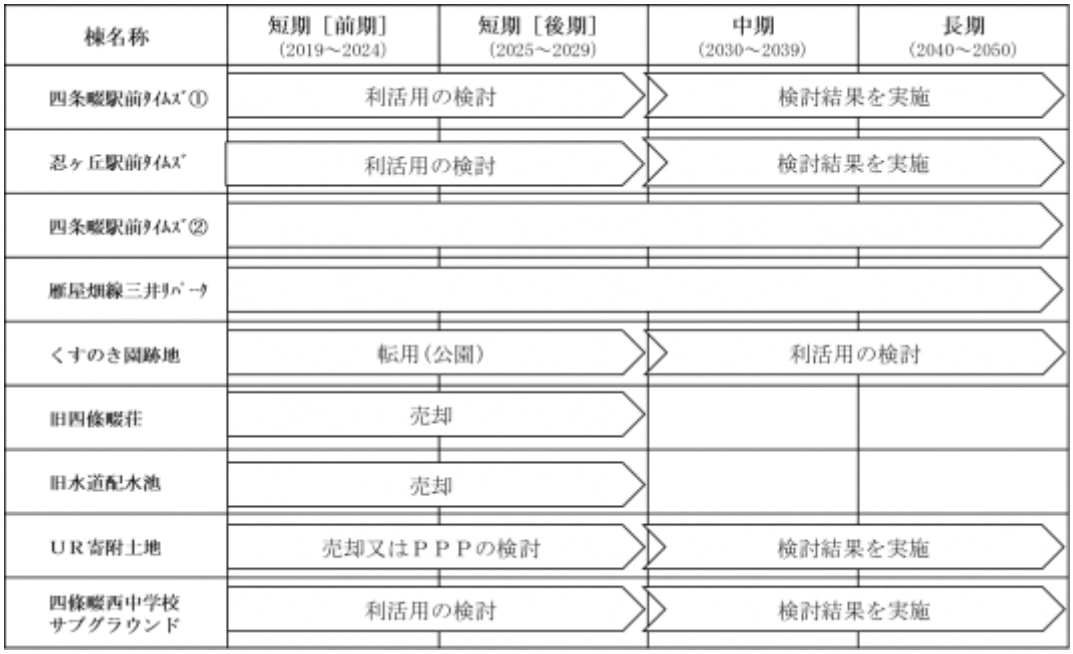
52. 四條畷西中学校サブグラウンド

①利活用方針

敷地面積	利活用方針
１，２４８．３７㎡	今後の利活用の検討については、短期［後期］において検討することとし、それまでの間は現状の利活用を継続していくものとする。

※令和５年４月改訂版で利活用方針を改訂。

②利活用等の時期【44～52 まで】



※令和５年４月改訂版で、四条畷駅前タイムズ①、忍ケ丘駅前タイムズ、四條畷西中学校サブグラウンドの利活用等の時期を改訂

用語集

RC 造	Reinforced Concrete の略。鉄筋コンクリート造のこと。
物理的耐用年数	建物躯体や構成材が物理的あるいは科学的原因により劣化し、要求される限界性能を下回る指数。
集約化	同一または類似の機能を有する施設を集め、一つの施設として整備すること。
複合化	他の用途・機能を有した施設を合わせて、一つの施設として整備すること。
投資的経費	施設の建設工事や大規模改修工事などの資本の形成をなし、支出の効果が長期に亘る経費のこと。
将来更新費用	今後の公共施設等の更新に係る費用のこと。この費用を試算し、地方公共団体の財政の将来推計を考える上で参考とする。
広域化	複数の地方公共団体の区域を越えて、行政事務を共同で処理すること。共同処理による事務の効率化や、施設維持のコスト削減を目的とする。
PPP	Public Private Partnership の略。公共と民間が共同して公共サービスを効率的かつ効果的に提供する事業化手法のこと。
PFI	Private Finance Initiative の略。公共サービスに民間の資金、経営能力及び技術能力を導入し、公共が直接実施するよりも効率的かつ効果的に公共サービスを調達すること。
指定管理者制度	公共施設のより効果的・効率的な管理を行うため、その施設の管理に民間の能力を活用するとともに、その適正な管理を確保する仕組を整備し、住民サービスの向上や経費の節減等を図ること。
ストック推計	将来（30 年程度）の中長期の時点における世帯数等の推計を基に、公営住宅の施策対象（本来階層及び裁量階層）の世帯数を推計し、そのうち自力では最低居住面積水準を達成することが著しく困難な年収である世帯を推計する手法のこと。
住宅セーフティネット	低所得者、障がい者、高齢者、外国人、子育て世帯、ひとり親世帯、犯罪被害者等、独力で住宅を確保することが困難な状態にある世帯が、その所得や家族、身体等の状況に関わらず、最低限の安全なくらしを保証するために誰でも住宅を確保できる環境を整える仕組みのこと。

資料編

1　計画対象施設一覧

（1）建築物系施設

施設番号	建物名	施設類型		建築年度	経過年数	敷地面積（㎡）	建物総延床面積（㎡）
		大分類	中分類				
1	市民総合センター	市民文化系施設	文化施設	1981	38	8,672.33	5,011.13
2	教育文化センター	市民文化系施設	文化施設	1974	45	1,557.22	743.29
3	歴史民俗資料館	社会教育系施設	博物館等	1985	34	1,365.28	492.08
4	野外活動センター	社会教育系施設	事務所	1990	29	8,035.27	298.89
5	市民総合体育館	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	1994	25	6,071.16	9,199.91
6	市民活動センター	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	1978	41	7,240.00	5,550.55
7	四條畷小学校	学校教育系施設	学校	1965	54	13,872.00	6,544.00
8	田原小学校	学校教育系施設	学校	1989	30	21,361.00	7,662.00
9	四條畷南小学校	学校教育系施設	学校	1969	50	13,319.00	5,583.00
10	くすのき小学校	学校教育系施設	学校	1971	48	15,894.00	6,351.00
11	忍ケ丘小学校	学校教育系施設	学校	1973	46	16,581.00	6,897.28
12	四條畷東小学校	学校教育系施設	学校	1974	45	16,096.00	5,997.00
13	岡部小学校	学校教育系施設	学校	1977	42	19,345.00	6,349.00
14	四條畷中学校	学校教育系施設	学校	1967	52	23,418.00	8,632.28
15	四條畷西中学校	学校教育系施設	学校	1979	40	18,626.00	8,896.63
16	田原中学校	学校教育系施設	学校	1989	30	26,637.00	6,504.00
17	学校給食センター	学校教育系施設	その他学校施設	2001	18	5,623.86	2,105.72
18	教育センター	学校教育系施設	その他学校施設	1975	44	－	233.92
19	岡部保育所	子育て支援施設	幼・保・こども園	1975	44	1,314.71	822.75
20	忍ケ丘あおぞらこども園	子育て支援施設	幼・保・こども園	1971	48	3,564.00	1,350.55
21	すてっぷ★なわて	子育て支援施設	幼児・児童施設	2015	4	1,254.50	1,235.87
22	老人福祉センター楠風荘	保健・福祉施設	高齢福祉施設	1975	44	1,395.75	794.33
23	保健センター	保健・福祉施設	保健施設	1985	34	1,278.43	1,272.60
24	四條畷市シルバー人材センター	保健・福祉施設	その他社会福祉施設	1969	50	1,335.55	768.05
25	地域福祉センターさつき園	保健・福祉施設	その他社会福祉施設	1983	36	581.00	208.05
26	福祉コミュニティーセンター	保健・福祉施設	その他社会福祉施設	1975	44	647.00	765.60
27	市庁舎	行政系施設	庁舎等	1964	55	7,048.12	5,800.74
28	グリーンホール田原	行政系施設	庁舎等	1992	27	2,574.40	4,310.90
29	防災倉庫	行政系施設	その他行政系施設	1998	21	601.71	317.43
30	防災行政無線中継局	行政系施設	その他行政系施設	1993	26	88.00	5.00
31	不燃ごみ等処理資源化施設	行政系施設	その他行政系施設	2000	19	1,814.00	875.68
32	環境センター	行政系施設	その他行政系施設	2000	19	9,700.00	976.79
33	四條畷南中学校跡地	行政系施設	その他行政系施設	1972	47	20,323.00	8,392.00
34	市営南野住宅	公営住宅	公営住宅	1953	66	3,274.21	252.91
35	戎公園管理棟	公園施設	公園施設	1994	25	20,000.07	266.71
36	北谷公園管理棟	公園施設	公園施設	1995	24	24,197.50	281.30
37	四條畷市総合公園管理棟	公園施設	公園施設	2015	4	20,600.00	291.49
合　　計						345,306.07	122,040.43

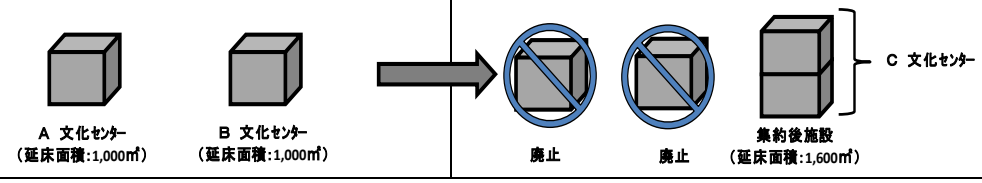
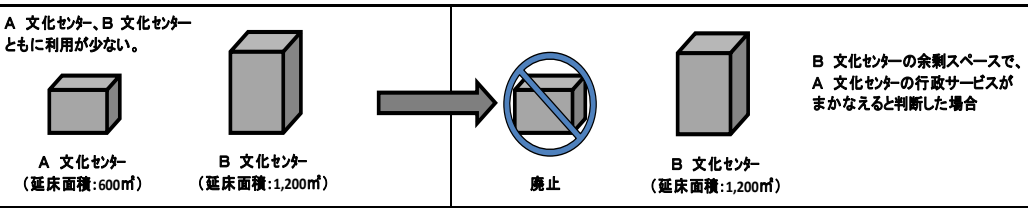
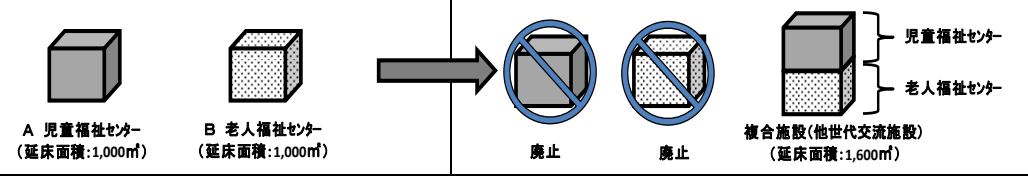
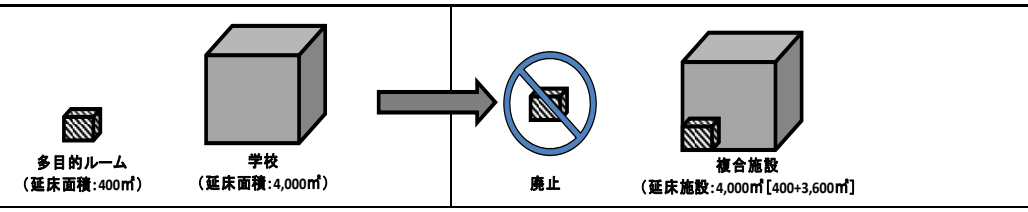
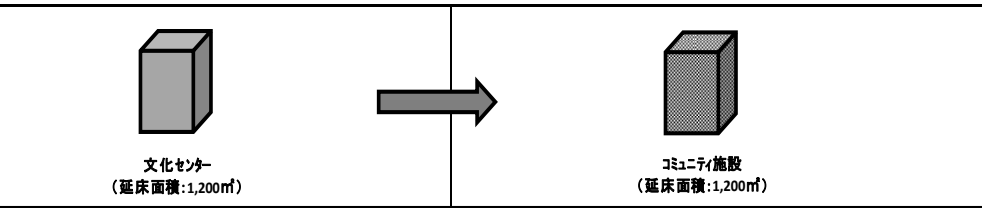
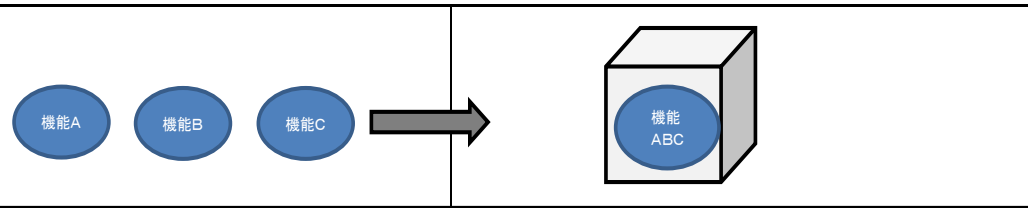
※2019年4月1日時点

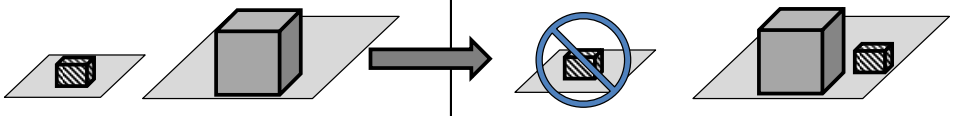
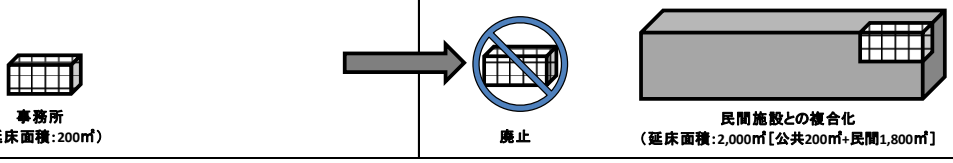
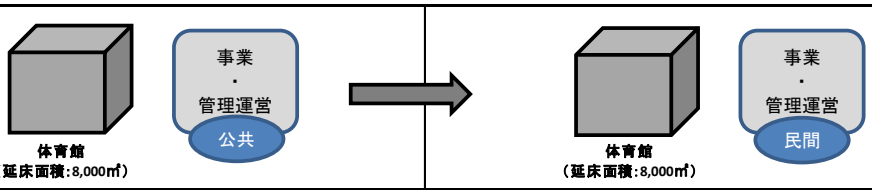
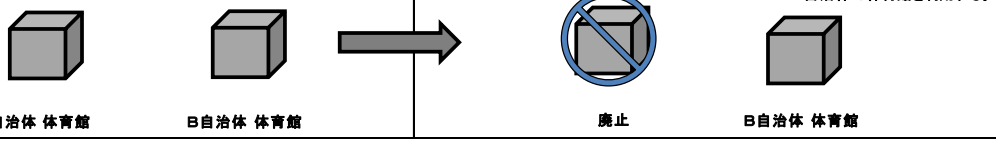
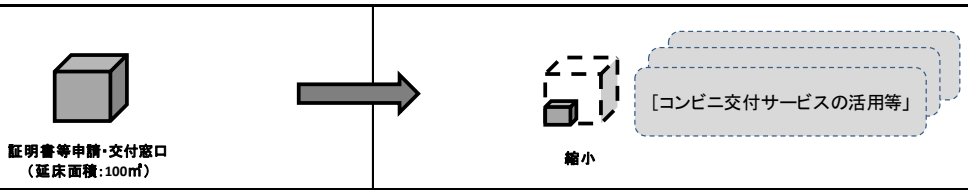
（２）建築物を有さない施設

施設番号	建物名	施設類型		開設年度	敷地面積（㎡）
		大分類	中分類		
38	青少年コミュニティー運動広場	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	1996	6,000.00
39	なわて水みらいセンターテニスコート	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	2011	2,972.67
40	市民グラウンド（テニスートを含む）	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	1979	20,000.00
41	市民運動広場清滝	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	1989	3,400.00
42	市民運動広場さつき	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	1980	3,000.00
43	田原テニスコート	ｽﾎﾟﾚｸ施設	ｽﾎﾟｰﾂ施設	2009	2,040.64
44	四条畷駅前タイムズ①	普通財産		－	1,913.13
45	忍ケ丘駅前タイムズ	普通財産		－	1,013.58
46	四条畷駅前タイムズ②	普通財産		－	1,638.49
47	雁屋畑線三井リパーク	普通財産		－	166.56
48	くすのき園跡地	普通財産		－	2,089.25
49	旧四條畷荘	普通財産		－	5,494.33
50	旧水道配水池	普通財産		－	757.60
51	UR寄附土地	普通財産		－	37,052.26
52	四條畷西中学校サブグラウンド	普通財産		－	1,248.37
合		計			88,786.88

※2019年4月1日時点

2　再編の取組手法

取組の手法	取組のイメージ	
	実施前	実施後
集約化 （建替統合）		
	既存の<u>同種又は類似</u>の公共施設を<u>統合</u>し、<u>一体の施設</u>として<u>再整備（建替）</u>する。	
集約化 （機能集約）		
	既存の<u>同種又は類似</u>の公共施設で、<u>1施設に機能集約が可能と判断</u>した場合、<u>一方の施設を廃止して統合</u>する。	
複合化 （建替合築）		
	既存の<u>異なる種類</u>の公共施設を<u>合築</u>し、<u>これらの機能を有した複合施設</u>として<u>再整備（建替）</u>する。	
複合化 （用途変更）		
	既存の<u>異なる種類</u>の公共施設で、<u>一方の施設にある余剰スペースの用途変更</u>で、<u>もう一方の施設の機能確保が可能と判断</u>された場合、<u>後者の施設を廃止して統合</u>する。	
転用		
	既存の公共施設を<u>改修</u>し、<u>他の施設として利用</u>する。	
多機能化		
	<u>ソフト面</u>の観点から、<u>1つのスペース</u>を<u>異なる用途（機能）</u>で<u>共同・相互利用</u>する。	

取組の手法	取組のイメージ	
	実施前	実施後
併設		
	既存の<u>異なる用途の公共施設</u>を、<u>一方の公共施設の敷地内</u>に<u>再整備（建替）</u>する。	
民間施設の活用		
	既存の<u>同種又は類似</u>の公共施設を<u>統合</u>し、<u>一体の施設</u>として<u>再整備（建替）</u>する。	
主体の変更		
	<u>事業の実施主体</u>や、<u>施設の管理運営主体</u>について、<u>指定管理者制度の導入</u>、<u>民営化等</u>により、<u>民間事業者へ変更</u>する。	
広域化		
	<u>一つの自治体区域を越えて連携</u>し、<u>事務の共同処理</u>（事業統合、<u>施設の共同設置</u>、施設管理の共同化、管理の一体化等）を行う。	
サービス提供方法の変更		
	<u>事業そのもののサービスのあり方</u>等を踏まえ、<u>ICTの活用</u>等により、<u>施設を前提としないサービス提供方法</u>へ<u>変更</u>する。	

３ 人口の将来見通し

（１）大字別将来人口・人口増減率の推計概要

四條畷市における人口の将来見通しの把握として、人口ビジョンの将来人口推移の考え方をベースとして、コーホート要因法によって 2010 年から 2050 年までの５年ごとの大字別年齢３区分別人口（15 歳未満人口、15～64 歳人口、65 歳以上人口）を推計しました。大字別人口は、住民基本台帳人口の 2010 年３月末及び 2015 年３月末データを採用しました。

また、2010 年時点の人口を基準とした人口増減率を推計しました。

（２） 大字別将来人口・人口増減率の推計結果

推計した大字別の人口及び2010年を基準とした人口増減率を以下に示します。

ほとんどの大字で市の傾向と同様に人口減少していますが、増加傾向や横ばいのところも見られます。年齢３区分人口でも同様の傾向で、生産年齢人口（15～64歳人口）の減少幅が大きくなっています。

大字	【全年代】上段:人口(人)、下段:人口増減率								
	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
大字南野	23	23	23	23	22	21	20	18	17
	1.00	1.00	1.00	1.00	0.96	0.91	0.87	0.78	0.74
南野一丁目	1,007	956	934	901	864	823	788	755	722
	1.00	0.95	0.93	0.90	0.86	0.82	0.78	0.75	0.72
南野二丁目	2,059	1,988	1,980	1,953	1,909	1,861	1,813	1,764	1,712
	1.00	0.97	0.96	0.95	0.93	0.90	0.88	0.86	0.83
南野三丁目	397	398	388	376	363	354	345	333	323
	1.00	1.00	0.98	0.95	0.92	0.89	0.87	0.84	0.81
南野四丁目	1,321	1,196	1,164	1,119	1,062	1,005	949	897	855
	1.00	0.91	0.88	0.85	0.80	0.76	0.72	0.68	0.65
南野五丁目	849	837	841	837	828	818	805	785	763
	1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.96	0.95	0.93	0.90
南野六丁目	635	593	586	576	561	542	521	501	483
	1.00	0.93	0.92	0.91	0.88	0.85	0.82	0.79	0.76
江瀬美町	1,947	2,006	1,988	1,951	1,903	1,843	1,793	1,753	1,721
	1.00	1.03	1.02	1.00	0.98	0.95	0.92	0.90	0.88
雁屋北町	1,382	1,273	1,252	1,212	1,159	1,104	1,060	1,019	982
	1.00	0.92	0.91	0.88	0.84	0.80	0.77	0.74	0.71
雁屋南町	1,831	1,699	1,667	1,615	1,556	1,502	1,454	1,413	1,369
	1.00	0.93	0.91	0.88	0.85	0.82	0.79	0.77	0.75
雁屋西町	411	375	367	358	344	329	316	306	299
	1.00	0.91	0.89	0.87	0.84	0.80	0.77	0.74	0.73
北出町	1,505	1,409	1,366	1,314	1,255	1,198	1,150	1,110	1,079
	1.00	0.94	0.91	0.87	0.83	0.80	0.76	0.74	0.72
二丁通町	1,339	1,384	1,377	1,358	1,332	1,300	1,266	1,235	1,208
	1.00	1.03	1.03	1.01	0.99	0.97	0.95	0.92	0.90
楠公一丁目	856	752	721	681	636	589	550	516	484
	1.00	0.88	0.84	0.80	0.74	0.69	0.64	0.60	0.57
楠公二丁目	636	612	596	578	562	548	533	519	505
	1.00	0.96	0.94	0.91	0.88	0.86	0.84	0.82	0.79
米崎町	1,954	1,867	1,842	1,789	1,720	1,654	1,590	1,524	1,462
	1.00	0.96	0.94	0.92	0.88	0.85	0.81	0.78	0.75
塚脇町	325	348	341	334	326	317	307	297	287
	1.00	1.07	1.05	1.03	1.00	0.98	0.95	0.91	0.88
大字中野	3,648	3,768	3,892	3,981	4,032	4,074	4,125	4,162	4,163
	1.00	1.03	1.07	1.09	1.11	1.12	1.13	1.14	1.14
中野一丁目	488	481	478	472	463	453	443	434	426
	1.00	0.99	0.98	0.97	0.95	0.93	0.91	0.89	0.87
中野二丁目	337	323	328	331	334	336	338	339	340
	1.00	0.96	0.97	0.98	0.99	1.00	1.00	1.01	1.01
中野三丁目	760	727	739	747	752	755	759	756	744
	1.00	0.96	0.97	0.98	0.99	0.99	1.00	0.99	0.98
中野新町	1,190	1,179	1,167	1,143	1,116	1,081	1,047	1,015	985
	1.00	0.99	0.98	0.96	0.94	0.91	0.88	0.85	0.83
中野本町	2,280	2,343	2,371	2,378	2,373	2,359	2,340	2,313	2,276
	1.00	1.03	1.04	1.04	1.04	1.03	1.03	1.01	1.00
美田町	1,215	1,168	1,146	1,111	1,061	1,005	951	904	865
	1.00	0.96	0.94	0.91	0.87	0.83	0.78	0.74	0.71
大字蔀屋	230	241	244	245	244	240	236	232	226
	1.00	1.05	1.06	1.07	1.06	1.05	1.03	1.01	0.98
蔀屋本町	1,129	1,041	1,027	1,006	981	951	921	890	861
	1.00	0.92	0.91	0.89	0.87	0.84	0.82	0.79	0.76
蔀屋新町	221	209	209	206	200	193	185	180	175
	1.00	0.95	0.94	0.93	0.91	0.87	0.84	0.81	0.79
大字清瀧	1,910	1,937	1,958	1,964	1,963	1,960	1,956	1,949	1,934
	1.00	1.01	1.03	1.03	1.03	1.03	1.02	1.02	1.01
清滝中町	1,724	1,781	1,759	1,723	1,675	1,629	1,591	1,555	1,518
	1.00	1.03	1.02	1.00	0.97	0.94	0.92	0.90	0.88
清滝新町	1,541	1,349	1,290	1,206	1,108	1,010	931	872	829
	1.00	0.88	0.84	0.78	0.72	0.66	0.60	0.57	0.54
大字岡山	284	271	278	281	282	282	284	286	286
	1.00	0.95	0.98	0.99	0.99	0.99	1.00	1.01	1.01

大字	【全年代】上段：人口（人）、下段：人口増減率								
	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
岡山一丁目	1,180	1,159	1,129	1,087	1,033	980	937	900	867
	1.00	0.98	0.96	0.92	0.88	0.83	0.79	0.76	0.74
岡山二丁目	2,022	1,963	1,964	1,941	1,905	1,863	1,823	1,781	1,742
	1.00	0.97	0.97	0.96	0.94	0.92	0.90	0.88	0.86
岡山三丁目	496	476	469	459	446	436	430	425	420
	1.00	0.96	0.95	0.92	0.90	0.88	0.87	0.86	0.85
岡山四丁目	1,316	1,182	1,183	1,172	1,154	1,129	1,108	1,086	1,062
	1.00	0.90	0.90	0.89	0.88	0.86	0.84	0.83	0.81
岡山五丁目	1,274	1,283	1,254	1,219	1,174	1,126	1,082	1,044	1,011
	1.00	1.01	0.98	0.96	0.92	0.88	0.85	0.82	0.79
岡山東一丁目	698	660	669	670	668	661	652	637	618
	1.00	0.95	0.96	0.96	0.96	0.95	0.93	0.91	0.89
岡山東二丁目	755	714	708	696	682	669	655	643	627
	1.00	0.95	0.94	0.92	0.90	0.89	0.87	0.85	0.83
岡山東三丁目	1,421	1,466	1,495	1,513	1,525	1,536	1,547	1,551	1,527
	1.00	1.03	1.05	1.06	1.07	1.08	1.09	1.09	1.07
岡山東四丁目	818	777	761	744	726	710	696	681	663
	1.00	0.95	0.93	0.91	0.89	0.87	0.85	0.83	0.81
岡山東五丁目	1,524	1,450	1,452	1,441	1,418	1,390	1,365	1,347	1,327
	1.00	0.95	0.95	0.95	0.93	0.91	0.90	0.88	0.87
大字砂	1,532	1,523	1,544	1,552	1,550	1,539	1,526	1,520	1,513
	1.00	0.99	1.01	1.01	1.01	1.00	1.00	0.99	0.99
大字逢阪	34	30	26	22	18	14	11	8	6
	1.00	0.88	0.77	0.64	0.52	0.41	0.31	0.24	0.18
大字下田原	584	557	534	511	490	467	445	421	401
	1.00	0.95	0.91	0.88	0.84	0.80	0.76	0.72	0.69
大字上田原	537	555	522	491	461	434	413	395	379
	1.00	1.03	0.97	0.91	0.86	0.81	0.77	0.74	0.71
田原台一丁目	701	697	710	720	725	727	726	721	710
	1.00	0.99	1.01	1.03	1.03	1.04	1.04	1.03	1.01
田原台二丁目	702	718	735	751	763	773	781	784	785
	1.00	1.02	1.05	1.07	1.09	1.10	1.11	1.12	1.12
田原台三丁目	1,042	1,006	1,011	1,007	998	988	976	960	939
	1.00	0.97	0.97	0.97	0.96	0.95	0.94	0.92	0.90
田原台四丁目	740	703	713	714	709	701	691	677	661
	1.00	0.95	0.96	0.96	0.96	0.95	0.93	0.92	0.89
田原台五丁目	757	754	753	752	747	742	736	728	719
	1.00	1.00	0.99	0.99	0.99	0.98	0.97	0.96	0.95
田原台六丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	–	–	–	–	–	–	–	–	–
田原台七丁目	735	699	710	716	715	711	704	686	663
	1.00	0.95	0.97	0.97	0.97	0.97	0.96	0.93	0.90
田原台八丁目	1,109	1,265	1,277	1,284	1,285	1,281	1,278	1,271	1,256
	1.00	1.14	1.15	1.16	1.16	1.16	1.15	1.15	1.13
田原台九丁目	910	997	1,023	1,040	1,052	1,064	1,075	1,082	1,077
	1.00	1.10	1.12	1.14	1.16	1.17	1.18	1.19	1.18
さつき丘	918	906	938	964	984	1,008	1,035	1,058	1,068
	1.00	0.99	1.02	1.05	1.07	1.10	1.13	1.15	1.16
緑風台	406	381	383	382	378	373	367	357	348
	1.00	0.94	0.94	0.94	0.93	0.92	0.90	0.88	0.86

４ 市民アンケート（回答者の属性項目に係る回答を除く。）

（１）調査の目的

本市の公共施設については、これまで高度成長期の人口増加や行政需要の変化に合せて積極的に整備してきましたが、時の流れとともに老朽化が進んでいます。また、予測される人口減少、少子高齢化における人口構造の変化、厳しい財政状況などにより、公共施設を取り巻く環境は大きく変化することが想定されます。

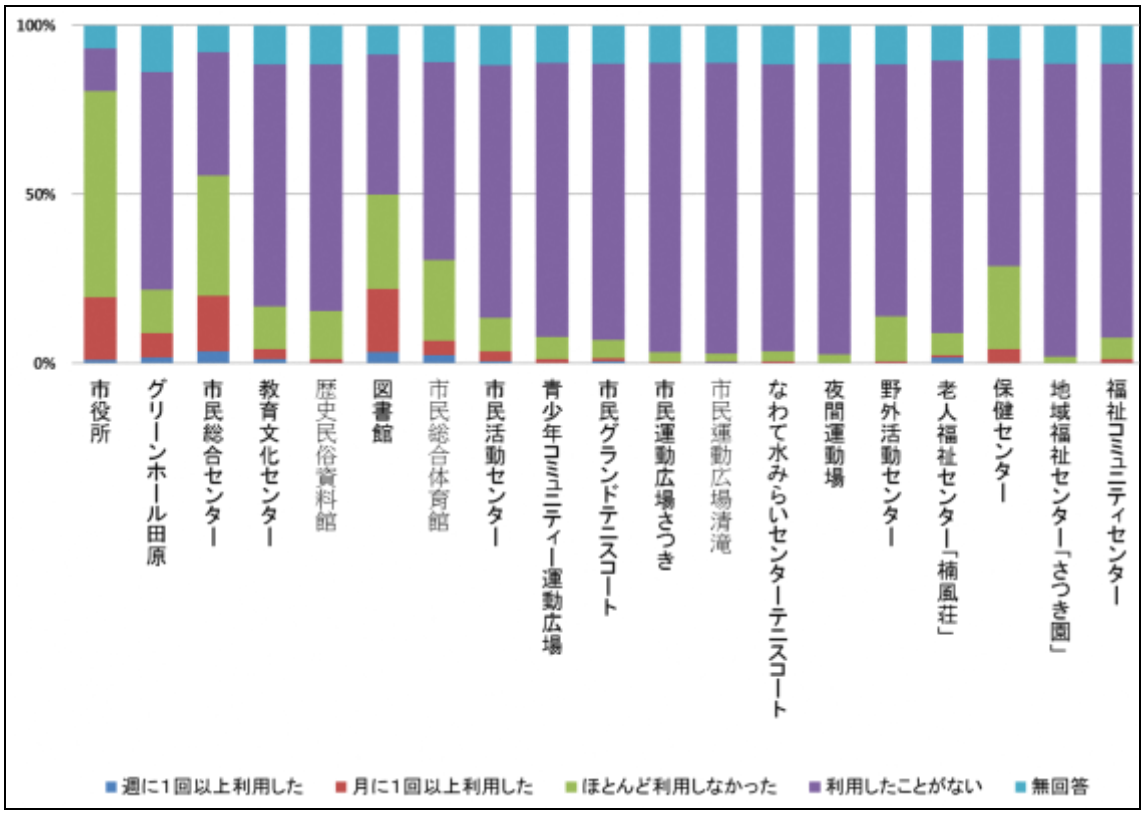
このような中、本市では今後の公共施設のあり方や方向性を示すための、四條畷市公共施設等総合管理計画の策定に取り組んでいるところです。策定にあたっては、できるだけ広く市民の皆様からご意見等を聴取し、計画策定の参考にさせていただくために、郵送によるアンケート調査を実施させていただきました。

（２）調査方法

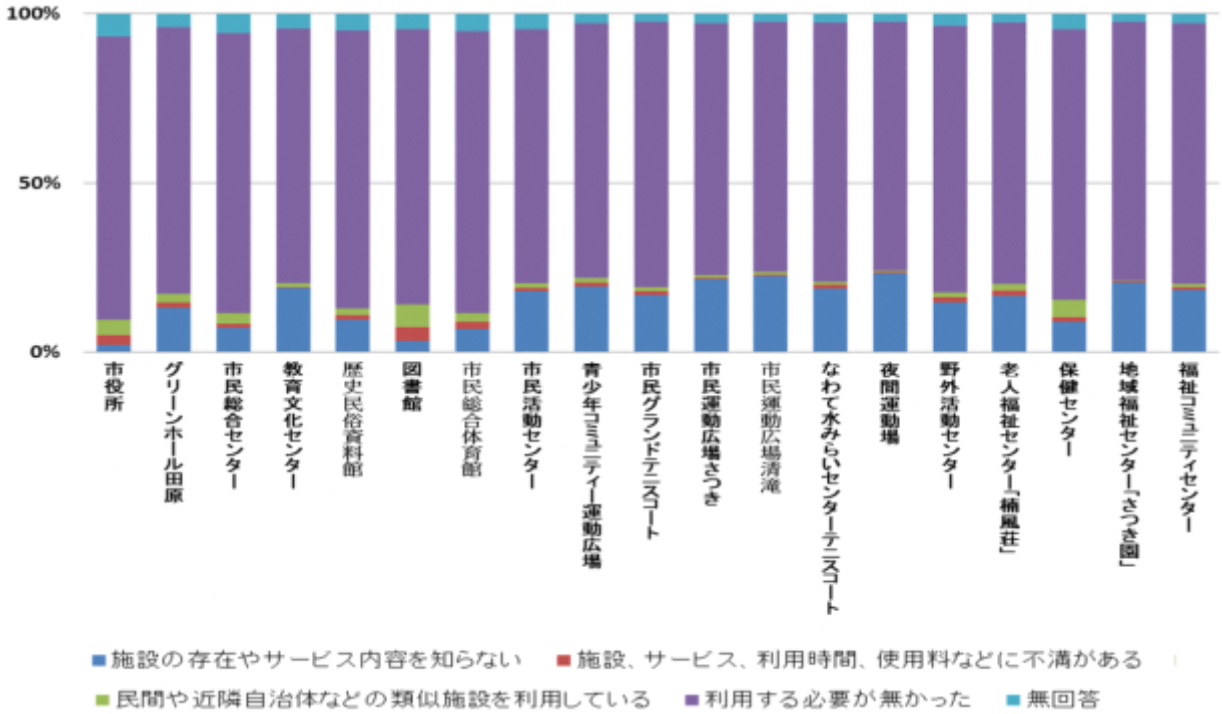
対象者	平成 28 年 1 月 1 日現在、四條畷市に居住する 18 歳以上の市民 2,000 名 ※住民基本台帳より無作為抽出
期間	平成 28 年 4 月 1 日から平成 28 年 4 月 22 日まで
調査方法	郵送による配布・回収
配布数	2,000 票（有効配布数 1,992 票）
回収数	484 票　※5 月末日までの到着分を含む
回収率	24.20％（配布数に対する回収率の割合）

（３）アンケートの回答

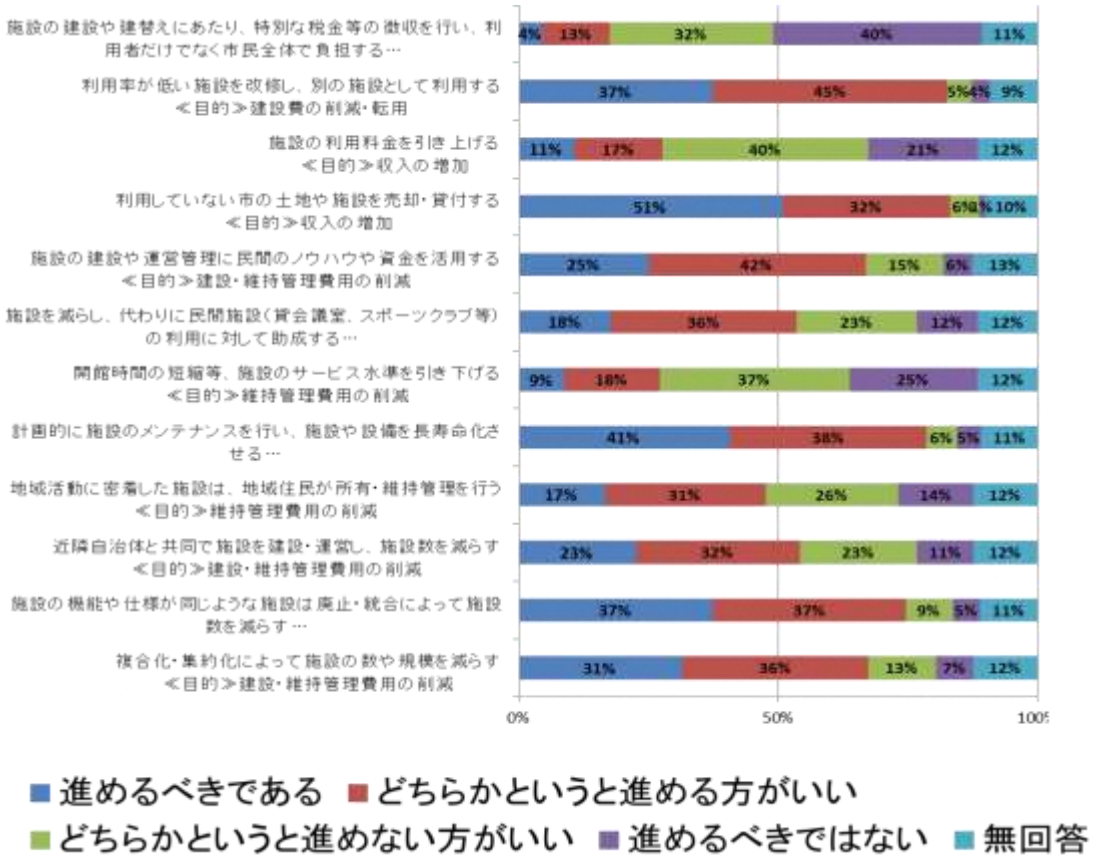
問１０　あなたは直近の１年間で次の公共施設をどのくらい利用しましたか。（全体）



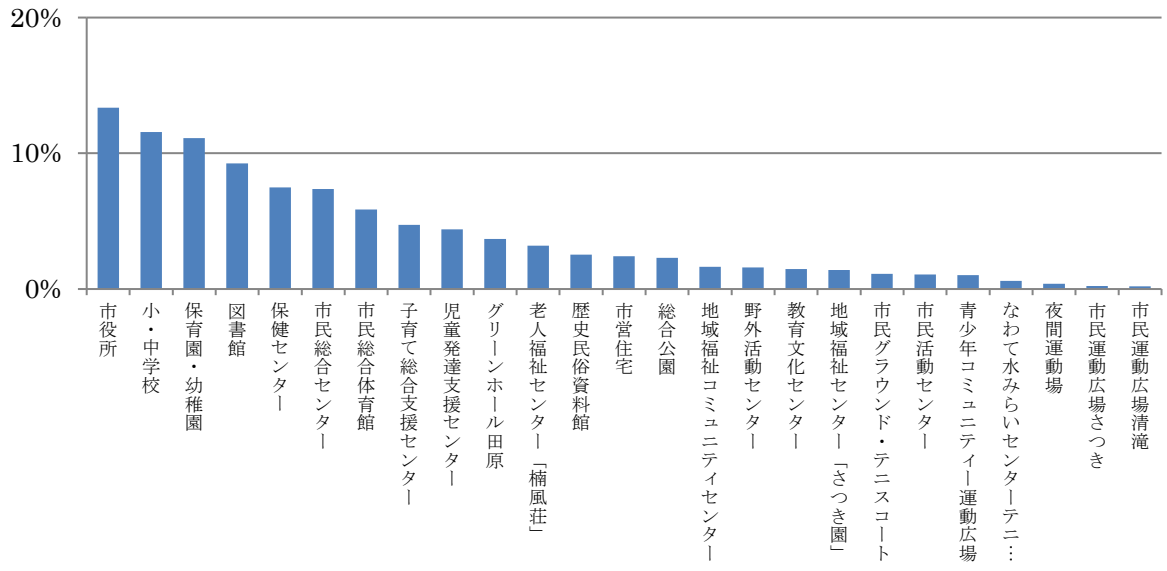
問１１　前問で、「3. ほとんど利用しなかった」「4. まったく利用しなかった」を回答された方にお聞きします。その理由は主にどのようなことでしょうか。



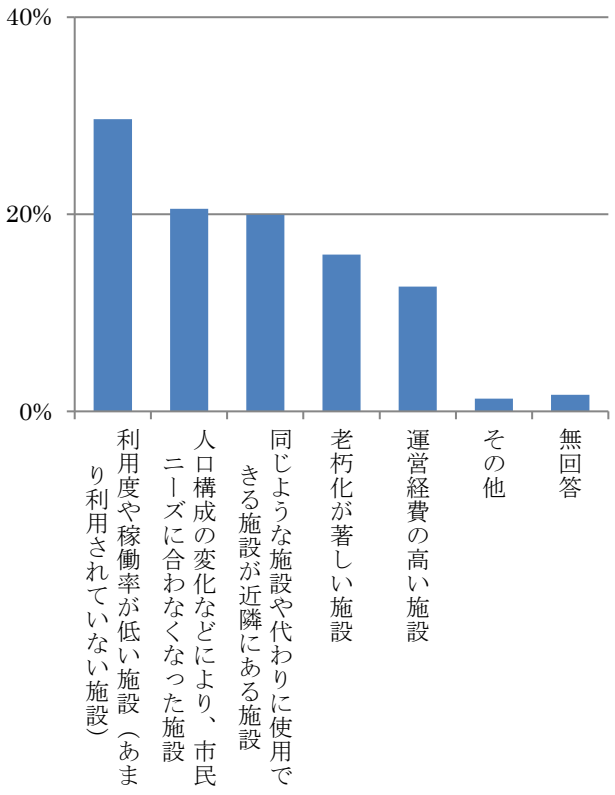
問１２　今後、公共施設の修繕や更新（建替え）に必要な財源が不足してくることが予想されるため、様々な視点で検討していくことが必要です。例えば、次の方策について、あなたはどう思いますか。



問１３　今ある公共施設を全て維持できなくなった場合、市が将来に渡り優先的に維持するべきと考える公共施設を選んでください。



問１４　公共施設にかかる経費を縮減するために、公共施設の総量（施設数）を減らさなければならない場合、どのような施設を削減していけば良いと思いますか。（複数選択可）



利用度や稼働率が低い施設（あまり利用されていない施設）	391
人口構成の変化などにより、市民ニーズに合わなくなった施設	271
同じような施設や代わりに使用できる施設が近隣にある施設	263
老朽化が著しい施設	210
運営経費の高い施設	167
その他	17
無回答	22
合計	1,319

５ 公共施設の劣化調査（公共施設の劣化診断結果（概要）より）

公共施設の劣化調査結果（概要）

平成３０年　８月四條畷市　総務部　施設再編室

公共施設の劣化調査結果（概要）

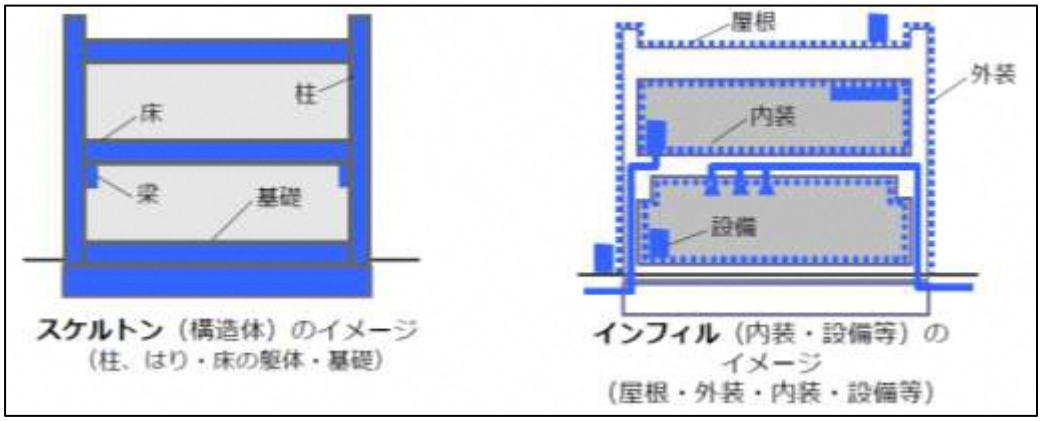
四條畷市では、市が保有する公共施設等について、今後の人口減少と少子高齢化の進展、厳しい財政状況を踏まえ、長期的な視点をもって総合的かつ計画的な管理を進めるための基本指針となる「公共施設等総合管理計画」を平成２８年１２月に策定しました。

今後は、この計画に基づき、将来の需要予測を踏まえ、建物の再配置や公共施設等の維持更新費用の縮減と平準化など適正な維持管理を図っていくため、個別施設ごとの計画を平成３１年度に策定する予定です。

個別施設ごとの計画策定にあたり、現在の建物の老朽化の進み具合を明らかにするために、平成２９・平成３０年度に公共建築物状況調査を行いました。

その調査結果にふれる前に建物の構造の基本的知識をここで紹介します。建物を分解してみると（図表１）のとおり大きく２つに分けることができます。容易に変更できないため建物の寿命に直接的な影響がある柱や梁（はり）などの骨組みとなる部分をスケルトン（構造体）といい、定期的に更新するため寿命に直接的な影響がない屋根や外装、内装、設備等の装備部分をインフィル（内装・設備等）と言います。スケルトンの劣化状況を調査することで、建物が物理的にどのくらいの期間使用できるか、つまり、物理的（構造的）耐用年数を知ることができます。また、インフィルの劣化状況を調査することで、スケルトンを保護する部材の劣化状況や建物の安全性・建物の陳腐（ちんぷ）化を知ることができます。

【図表１】建物構造をスケルトンとインフィルに分解した図



■　構造体劣化調査

建物の長寿命化を判断するための構造体劣化調査については、ＲＣ造の建物の物理的耐用年数調査として実施しました。四條畷市が保有する公共施設を延床面積でみると、約８０％がＲＣ造で、そのうちの約７０％が小学校・中学校の義務教育機能施設で、学校教育施設の長寿命化の可否は再配置を進める中で非常に重要なデータとなります。

【図表２　鉄筋コンクリート造構造体劣化調査】

構造体劣化調査は、「公共施設等総合管理計画」の対象とした３７施設のうち、建築して間もない施設（すてっぷ★なわて、四條畷市総合公園管理棟）、建築後、一定期間の経過により老朽化が明らかに認められる施設（忍ケ丘あおぞらこども園（あおぞら棟）、市営南野住宅）、建物の用途が倉庫等である施設（学校施設の倉庫棟など）などを除く鉄筋コンクリート造の建物（６６棟）を対象に実施しました。

構造体劣化調査は、前ページ（図表２）に示す工程で実施しました。

まず「コンクリート壁のコア抜き」から始まり、次に、１棟あたり３か所から抜いたコアを、専用機械でコンクリートの強度を（圧縮強度試験）を調査するとともに、薬品を使用してコンクリートの中性化深さ測定の試験を行います。

ＲＣ造の建物は、アルカリ性のコンクリートに巻かれていることで鉄筋の腐食を防いでいるのですが、コンクリートの中性化（アルカリ性→酸性）が進んでいる場合、鉄筋が腐食している可能性がありますので、中性化が進んでいる場合は、コンクリート壁をハツリ、鉄筋の一部をむき出しにして目視により鉄筋の腐食状態を確認しました。

■ 建築物劣化調査

四條畷市では、「国家機関の建築物等の保全に関する基準の実施に係る要領（平成１７年６月１日国営管第５９号、国営保第１１号。）別表の調査項目を参考に構造体劣化調査を実施した建物（６６棟）にＳ造、W造などの建物（１７棟）を加えた建物（８３棟）を調査の対象としました。

建築物劣化調査では、建築、電気、機械の有資格者による目視調査で調査項目の判定を行い、建物の部位・部材及び設備など、１０項目の区分に取りまとめしました。

■ 調査結果

（１）構造体劣化調査

①コンクリートの圧縮強度

コンクリートの圧縮強度が 13.5N/mm2 を超える場合は、長期間の使用に必要な強度を備えていると判断し、調査した結果、対象棟数６６棟全てでその強度が保たれていました。

②コンクリートの中性化深さ

中性化深さが３０mm 以上の場合、中性化が進み、内部の鉄筋が腐食しているおそれがあると判断し、調査した結果、対象棟数６６棟のうち、１０棟の建物で中性化深さが３０mm 以上ありました。

③鉄筋の腐食状況

中性化深さが 30mm 以上の場合は、内部の鉄筋が腐食しているおそれがあると判断し、調査した結果、腐食状況の評価グレードⅠが８棟、評価グレードⅡが２棟の結果となり、鉄筋の腐食は、あまり進んでいないことを確認できました。

【図表３　鉄筋の腐食状況の評価】

グレード	基準
Ⅰ	黒皮の状態又は錆は有るがｺﾝｸﾘｰﾄに錆の付着無し
Ⅱ	部分的に浮き錆有り、小面積の斑点状である
Ⅲ	断面欠損無し、鉄筋全周辺、全長に錆有り
Ⅳ	断面欠損が生じている

（２）建築物劣化調査

有資格者の建築担当者（二級建築士で７年以上の実務経験者）、電気設備担当者（２級電気工事施工管理技士で１０年以上の実務経験者）機械設備担当者（建築設備士）の目視調査により調査し、老朽化状況の判定を行い、建物の部位・部材及び設備など、１０項目の区分に取りまとめし、図表４に基づき評価しました。

【図表４　劣化状況の評価】

評価	評価基準	評価点
A	概ね良好	20点
B	局所、部分的に劣化が見られるが安全上、機能上の問題は無い	14点
C	随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上に低下の兆しが見られる	8点
D	劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題が有り、早急な対応が求められる	2点

また、部位により建築物の安全性や機能性に及ぼす影響がことなることから、部位の重み係数を３段階で定めます。

【図表５　劣化状況の評価】

重み係数	部位の重み判断基準
1.00	特に安全性に関わる部位（屋根、外壁）
0.50	計画保全が望ましい部位（外部開口部、電気設備、給排水設備、空調設備）
0.25	事後保全でよい部位（その他外部、内部、その他設備、外構）

保全度は、図表４で求めた評価点に図表５で求める重み係数を乗じます。

■ 老朽化状況の評価

構造体劣化調査及び建築物劣化調査の結果を、評価区分に応じて数値化を行い、建物毎に老朽化度合いを把握するための指標として、健全度を算出いたしました。

健全度は、躯体性能の項目１００点、建物の部位・部材及び設備の項目１００点で算定し、保全度の数値が高いものは老朽化が進んでおらず、数値が低いものは老朽化が進んでいます。

通し番号（棟数）	通し番号（棟数）	施設概要						建築年度（西暦）	調査年度（西暦）	経過年数	耐震診断	耐震補強
		施設名	建物名	延床面積（㎡）	地上階	地下階	構造					
1	1	市民総合センター		5,011.13	3		RC	1981	2018	37	済	済
2	2	教育文化センター		743.29	2		RC	1975	2018	43	未	未
3	3	歴史民俗資料館	本館	492.08	2		RC	1985	2018	33		
4		歴史民俗資料館	土蔵	148.00	2		W	1907	2018	111		
5	4	野外活動センター		298.89	1		S	1990	2018	28		
6	5	市民総合体育館		9,199.91	4		RC	1995	2018	23		
7	6	市民活動センター	校舎棟	4,680.41	3		RC	1979	2018	39	済	未
8		市民活動センター	屋内運動場	870.14	2		RC	1979	2018	39	済	未
9	7	四條畷小学校	普通教室棟	465	3		RC	1965	2018	53	済	済
10		四條畷小学校	普通教室棟	1,112	3		RC	1966	2018	52	済	済
11		四條畷小学校	普通教室棟	1,251	3		RC	1968	2018	50	済	済
12		四條畷小学校	管理教室棟	2,012	3		RC	1971	2018	47	済	済
13		四條畷小学校	管理教室棟	504	3		RC	1972	2018	46	済	済
14		四條畷小学校	給食配膳室	120	3		S	2001	2018	17		
15		四條畷小学校	体育館	878	2		RC	1977	2018	41	済	済
16		四條畷小学校	プール附属棟	130	1		CB	1981	2018	37		
17	8	田原小学校	特別及び普通教室棟	2,019	3		RC	1990	2018	28		
18		田原小学校	特別教室棟	781	3		RC	1990	2018	28		
19		田原小学校	特別教室棟	977	3		RC	1990	2018	28		
20		田原小学校	特別及び普通教室棟	1,002	3		RC	1995	2018	23		
21		田原小学校	特別及び普通教室棟	1,537	3		RC	2005	2018	13		
22		田原小学校	屋内運動場	1,191	2		RC	1990	2018	28		
23		田原小学校	プール附属棟	86	1		CB	1990	2018	28		
24	9	四條畷南小学校	管理特別普通教室棟	1,868	3		RC	1969	2018	49	済	済
25		四條畷南小学校	管理特別普通教室棟	2,604	3		RC	1969	2018	49	済	済
26		四條畷南小学校	屋内運動場	731	2		RC	1974	2018	44	済	済
27	10	くすのき小学校	普通特別管理棟	1,726	3		RC	1971	2018	47	済	済
28		くすのき小学校	普通特別管理棟	2,311	3		RC	1971	2018	47	済	済
29		くすのき小学校	普通教室棟	870	3		RC	1973	2018	45	済	
30		くすのき小学校	管理教室棟	472	3		RC	1975	2018	43	済	
31		くすのき小学校	体育館	663	2		RC	1973	2018	45	済	済
32	11	忍ヶ丘小学校	普通教室棟	1,361	3		RC	1973	2018	45	済	済
33		忍ヶ丘小学校	普通教室棟	507	3		RC	1973	2018	45	済	済
34		忍ヶ丘小学校	普通教室棟	1,193	3		RC	1973	2018	45	済	済
35		忍ヶ丘小学校	管理特別教室棟	2,557	4		RC	1973	2018	45	済	済
36		忍ヶ丘小学校	屋内運動場	853	2		RC	1975	2018	43	済	済
37	12	四條畷東小学校	管理特別教室棟	2,838	4		RC	1974	2018	44	済	済
38		四條畷東小学校	普通教室棟	2,061	3		RC	1974	2018	44	済	済
39		四條畷東小学校	屋内運動場	755	2		RC	1977	2018	41	済	済
40	13	岡部小学校	管理棟	1,484	3		RC	1977	2018	41	済	
41		岡部小学校	普通特別管理棟	2,967	3		RC	1977	2018	41	済	済
42		岡部小学校	管理教室棟	555	2		RC	1977	2018	41	済	

RC	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
LGS	軽量鉄骨造
CB	コンクリート造
W	木造

コンクリートの圧縮強度の平均値 (N/mm2)	コンクリート中性化深さ（mm） 屋外 調査箇所	屋外 箇所ごとの平均値	屋内 調査箇所	屋内 箇所ごとの平均値	鉄筋目視 調査箇所	鉄筋の腐食度	鉄筋のかぶり厚さ	試算上の区分	躯体性能 躯体 (100)	劣化状況評価 ア 屋上・屋根 (20)	イ 外壁 (20)	ウ 外壁開口部 (10)	エ 外部その他 (5)	オ 内部（室内） (5)	カ 外構 (5)	キ 電気設備 (10)	ク 給排水設備 (10)	ケ 空調設備 (10)	コ その他設備 (5)	小計（ア～コ） (100)
32.3	3	1.8						長寿命化Ⅰ	70	8	8	4	0.5	3.5	2	7	7	7	5	52.0
35.1	3	2.7	2	0.4				長寿命化Ⅰ	67	2	8	10	0.5	2	5	7	7	4	5	50.5
26.8	3	13.5						長寿命化Ⅰ	73	14	14	10	5	3.5	3.5	7	7	7	5	76.0
									73	14	8	7	5	3.5	5	7	7	7	5	68.5
29.9	2	4.0	1	10.0				長寿命化Ⅰ	85	8	8	10	2	3.5	2	7	7	10	5	62.5
28.1	3	19.1						長寿命化Ⅰ	67	8	8	1	2	2	2	7	7	7	5	49.0
45.1	3	15.6						長寿命化Ⅰ	69	8	8	7	5	2	2	7	10	10	5	64.0
28.8	1	0.3	3	17.2					68	20	8	4	5	2	2	7	7	7	3.5	65.5
32.4	1	0.0	3	5.8					70	8	20	10	5	3.5	2	7	7	7	3.5	73.0
26.3	2	1.3	2	23.1					64	20	14	4	5	2	2	7	4	7	3.5	68.5
19.4	3	6.6	1	2.1				長寿命化Ⅰ	67	2	20	10	5	2	2	7	7	7	3.5	65.5
19.1	3	12.8	2	35.5	1	Ⅰ	60.0	長寿命化Ⅱ	58	20	20	10	0.5	5	2	7	7	7	3.5	82.0
									85	20	8	10	5	5	2	7	10	10	3.5	80.5
36.4	3	6.3	1	10.6				長寿命化Ⅰ	71	20	14	4	5	5	2	7	10	7	3.5	77.5
									76	14	14	7	5	5	2	7	7	10	3.5	74.5
30.4	3	15.2						長寿命化Ⅰ	82	20	14	10	3.5	3.5	2	7	10	10	5	85.0
36.2	3	10.6						長寿命化Ⅰ	82	2	20	10	5	3.5	2	7	10	10	3.5	73.0
31.5	3	3.8						長寿命化Ⅰ	82	20	20	10	3.5	3.5	2	7	10	10	3.5	89.5
29.3	3	5.7						長寿命化Ⅰ	85	20	20	10	2	5	2	7	10	10	3.5	89.5
34.9	3	2.8						長寿命化Ⅰ	92	20	8	10	5	2	2	7	4	10	3.5	71.5
23.9	3	18.4						長寿命化Ⅰ	81	20	14	10	5	3.5	2	7	10	10	3.5	85.0
									82	20	14	10	5	5	2	7	10	10	5	88.0
24.2	3	1.6						長寿命化Ⅰ	64	14	14	7	2	2	2	7	4	7	3.5	62.5
30.5	3	1.8						長寿命化Ⅰ	64	8	14	7	0.5	2	2	7	7	7	3.5	58.0
30.6	3	1.6	2	37.0	1	Ⅰ	65.0	長寿命化Ⅱ	58	14	14	10	5	3.5	2	7	10	7	3.5	76.0
41.6	2	1.2	3	1.1				長寿命化Ⅰ	70	14	20	10	5	3.5	0.5	7	10	7	3.5	80.5
20.6	3	4.1						長寿命化Ⅰ	70	14	14	10	3.5	3.5	0.5	7	7	7	3.5	70.0
30.7	2	0.1	1	0.6				長寿命化Ⅰ	71	20	20	10	3.5	5	0.5	7	7	7	3.5	83.5
21.7	2	1.6	1	8.4				長寿命化Ⅰ	73	14	14	10	5	5	0.5	7	10	7	3.5	76.0
19.4	3	7.6	3	46.3	1	Ⅱ	95.0	長寿命化Ⅱ	61	20	14	7	5	3.5	0.5	7	7	7	3.5	74.5
29.1	3	16.8	1	0.9				長寿命化Ⅰ	68	14	20	10	5	3.5	2	7	10	7	5	83.5
26.5	3	23.2	1	2.9				長寿命化Ⅰ	67	20	20	10	5	5	2	7	10	10	5	94.0
19.8	3	29.4						長寿命化Ⅰ	64	14	14	10	5	3.5	2	7	10	7	5	77.5
22.1	3	30.5			1	Ⅰ	30.0	長寿命化Ⅱ	55	8	8	4	2	2	2	7	4	7	5	49.0
23.6	3	30.3			1	Ⅱ	55.0	長寿命化Ⅱ	65	8	8	4	5	2	2	7	10	10	5	61.0
25.9	3	31.6	1	11.4	1	Ⅰ	80.0	長寿命化Ⅱ	55	14	8	4	3.5	2	3.5	7	7	7	5	61.0
23.5	3	39.8			1	Ⅰ	80.0	長寿命化Ⅱ	58	20	8	4	3.5	3.5	3.5	7	7	7	5	68.5
23.1	3	11.4	1	26.4				長寿命化Ⅰ	66	20	8	7	5	3.5	3.5	7	10	7	5	76.0
35.1	3	20.4						長寿命化Ⅰ	71	20	20	10	5	5	5	10	10	7	5	97.0
26.1	3	31.5			1	Ⅰ	85.0	長寿命化Ⅱ	63	20	20	10	5	5	5	10	10	7	5	97.0
36.1	3	25.4						長寿命化Ⅰ	69	20	20	10	5	5	5	10	10	7	5	97.0

凡例

	A評価　概ね良好
	B評価　局所、部分的に劣化が見られるが安全上、機能上の問題はない
	C評価　随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上に低下の兆しが見られる
白字	D評価　劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急な対応が求められる

通し番号		施設概要						建築年度（西暦）	調査年度（西暦）	経過年数	耐震診断	耐震補強
		施設名	建物名	延床面積（㎡）	地上階	地下階	構造					
43	13	岡部小学校	屋内運動場	833	2		RC	1977	2018	41	済	済
44	14	四條畷中学校	管理教室棟	3,690	4		RC	1967	2018	51	済	済
45		四條畷中学校	管理教室棟	2,228	4		RC	1968	2018	50	済	済
46		四條畷中学校	屋内運動場	1,176	1		RC	1970	2018	48	済	済
47		四條畷中学校	プール付属棟	176	1		S	2011	2018	7		
48	15	四條畷南中学校	普通教室及び特別教室棟	2,000	4		RC	1972	2018	46	済	済
49		四條畷南中学校	普通教室及び特別教室棟	2,127	4		RC	1972	2018	46	済	済
50		四條畷南中学校	普通教室及び特別教室棟	2,739	4		RC	1972	2018	46	済	済
51		四條畷南中学校	屋内運動場	1,155	2		RC	1973	2018	45	済	済
52	16	四條畷西中学校	普通教室棟	1,706	4		RC	1979	2018	39	済	済
53		四條畷西中学校	管理及び特別教室棟	3,208	4		RC	1979	2018	39	済	済
54		四條畷西中学校	普通教室棟	986	4		RC	1979	2018	39	済	済
55		四條畷西中学校	普通教室棟	254	3		RC	1982	2018	36		
56		四條畷西中学校	普通教室棟	169	2		RC	1984	2018	34		
57	17	田原中学校	普通教室棟	976	4		RC	1990	2018	28		
58		田原中学校	管理及び特別教室棟	1,835	4		RC	1990	2018	28		
59		田原中学校	管理教室棟	849	3		RC	1990	2018	28		
60		田原中学校	管理教室棟	1,396	4		RC	2001	2018	17		
61		田原中学校	屋内運動場	1,182	2		RC	1990	2018	28		
62		田原中学校	プール付属棟	206	1		RC	1990	2018	28		
63	18	学校給食センター		2,105.72	2		S	2001	2018	17		
64	19	忍ヶ丘あおおぞらこども園（しのぶ棟）		689.55	2		RC	1972	2018	46	済	済
65	20	岡部保育所		822.75	2		RC	1976	2018	42	済	済
66	21	老人福祉センター楠風荘		794.33	2		RC	1976	2018	42	未	未
67	22	保健センター		1,272.60	3		RC	1986	2018	32		
68	23	四條畷市シルバー人材センター		768.05	1		S	1970	2018	48	未	未
69	24	地域福祉センターさつき園		208.05	1		S	1983	2018	35		
70	25	福祉コミニティーセンター		765.60	2		RC	1976	2018	42	済	未
71	26	市庁舎	北別館	514.00	2		RC	1967	2018	51	済	済
72		市庁舎	EV棟	39.24	3		S	1993	2018	25		
73		市庁舎	プレハブ棟	68.18	1		LGS	1993	2018	25		
74		市庁舎	中庭棟	166.57	1		S	1993	2018	25		
75		市庁舎	本館（西棟）	2,332.00	3		RC	1964	2018	54	済	済
76		市庁舎	本館（東棟）									
77		市庁舎	東別館	2,310.97	3		S	1992	2018	26		
78	27	グリーンホール田原		4,310.90	3	1	RC	1992	2018	26		
79	28	防災倉庫		317.43	2		S	1999	2018	19		
80	29	防災行政無線中継局		5.00	1		LGS	1994	2018	24		
81	30	環境センター		976.79	2	1	S	2001	2018	17		
82	31	戎公園管理棟		266.71	1		W	1994	2018	24		
83	32	北谷公園管理棟		281.30	2		RC	1995	2018	23		

RC	鉄筋コンクリート造
S	鉄骨造
LGS	軽量鉄骨造
CB	コンクリート造
W	木造

コンクリートの圧縮強度の平均値 (N/mm2)	コンクリート中性化深さ（mm） 屋外 調査箇所	屋外 箇所ごとの平均値	屋内 調査箇所	屋内 箇所ごとの平均値	鉄筋目視 調査箇所	鉄筋の腐食度	鉄筋のかぶり厚さ	試算上の区分	①躯体性能 躯体 (100)	②劣化状況評価 ア 屋上・屋根 (20)	イ 外壁 (20)	ウ 外壁開口部 (10)	エ 外部その他 (5)	オ 内部（室内） (5)	カ 外構 (5)	キ 電気設備 (10)	ク 給排水設備 (10)	ケ 空調設備 (10)	コ その他設備 (5)	小計（ア～コ） (100)
32.4	3	20.1						長寿命化Ⅰ	68	20	14	10	5	5	5	10	10	7	5	91.0
38.9	3	11.3	2	2.2					68	8	20	7	3.5	0.5	2	7	7	7	3.5	65.5
36.0	3	12.1							70	20	14	10	5	3.5	2	7	10	7	3.5	82.0
31.1	3	18.9						長寿命化Ⅰ	68	14	14	10	3.5	3.5	2	7	7	7	3.5	71.5
									92	20	14	10	3.5	5	2	7	10	10	3.5	85.0
35.5	3	23.8						長寿命化Ⅰ	66	20	20	10	5	0.5	3.5	7	7	7	5	85.0
39.1	3	14.7	1	20.9				長寿命化Ⅰ	71	14	8	10	0.5	5	3.5	7	10	7	5	70.0
33.9	3	26.1						長寿命化Ⅰ	65	20	14	4	3.5	2	3.5	7	10	7	5	76.0
22.3	3	2.2	1	74.6	1	Ⅰ	75.0	長寿命化Ⅱ	63	20	14	10	0.5	3.5	3.5	7	10	7	5	80.5
29.1	3	17.9						長寿命化Ⅰ	74	14	14	7	5	3.5	2	7	7	7	5	71.5
26.1	3	21.7						長寿命化Ⅰ	72	14	20	10	3.5	3.5	2	7	7	7	5	79.0
30.0	3	18.5						長寿命化Ⅰ	73	20	20	10	5	5	2	7	10	7	5	91.0
20.4	3	32.1			1	Ⅰ	45.0	長寿命化Ⅱ	66	20	14	10	5	5	2	7	10	7	5	85.0
29.9	3	19.9						長寿命化Ⅰ	76	20	20	10	5	5	2	7	10	7	5	91.0
30.6	3	10.7						長寿命化Ⅰ	82	20	14	10	5	3.5	3.5	7	7	7	5	82.0
28.4	3	14.3						長寿命化Ⅰ	82	8	20	7	3.5	2	3.5	7	7	7	5	70.0
27.9	3	16.2						長寿命化Ⅰ	75	14	14	10	5	5	3.5	7	7	7	5	77.5
39.6	3	1.1						長寿命化Ⅰ	89	14	14	10	5	5	3.5	7	7	10	5	80.5
27.1	3	23.8						長寿命化Ⅰ	72	20	14	10	5	3.5	3.5	7	7	7	5	82.0
38.0	3	12.9						長寿命化Ⅰ	82	20	14	10	5	3.5	3.5	7	10	7	3.5	83.5
									85	20	20	10	5	5	5	7	10	10	5	97.0
18.3	3	6.6	1	14.9				長寿命化Ⅰ	69	14	8	4	3.5	3.5	2	7	7	7	5	61.0
42.8	3	0.7	1	0.8				長寿命化Ⅰ	67	20	20	10	3.5	3.5	5	7	7	7	5	88.0
39.8	3	10.5	2	18.9				長寿命化Ⅰ	67	8	8	10	0.5	5	3.5	7	7	7	3.5	59.5
27.6	3	2.2						長寿命化Ⅰ	80	2	8	7	0.5	0.5	5	7	7	7	5	49.0
									70	14	20	10	5	5	3.5	7	7	7	5	83.5
									70	20	20	10	5	5	5	7	7	7	5	91.0
29.5	3	5.5	1	0.0				長寿命化Ⅰ	73	2	20	10	0.5	2	5	7	7	7	5	65.5
38.7	3	2.0	1	0.4					70	8	14	4	3.5	3.5	3.5	7	7	10	5	65.5
									76	20	14	7	3.5	5	5	7	7	10	5	83.5
									65	8	14	10	3.5	5	5	7	7	10	5	74.5
									70	20	8	10	5	2	5	7	7	10	5	79.0
14.9	2	6.2	2	9.1					61	8	8	7	3.5	2	3.5	7	7	7	5	58.0
20.1	2	1.8	3	15.7					61	8	8	7	3.5	2	3.5	7	7	7	5	58.0
									77	20	14	7	3.5	3.5	5	7	4	7	5	76.0
33.3			3	9.3				長寿命化Ⅰ	84	14	14	10	5	3.5	5	7	7	7	5	77.5
									83	14	20	10	3.5	3.5	3.5	7	10	10	5	86.5
									69	14	14	10	5	5	5	10	10	7	5	85.0
									85	14	14	10	5	3.5	5	7	10	10	5	83.5
									94	20	20	7	5	3.5	3.5	7	10	7	5	88.0
34.3	3	14.9						長寿命化Ⅰ	85	20	14	7	3.5	3.5	3.5	7	10	7	5	80.5

凡例

	A評価　概ね良好
	B評価　局所、部分的に劣化が見られるが安全上、機能上の問題はない
	C評価　随所、広範囲に劣化が見られ、安全上、機能上に低下の兆しが見られる
白字	D評価　劣化の程度が大きく、安全上、機能上に問題があり、早急な対応が求められる

■ 将来更新費用の算出

構造体劣化調査と建築物劣化調査の結果を踏まえ、将来更新費用を算出するために、目標耐用年数や改修工事・改築工事の単価について検討しました。

（１）目標耐用年数の設定

目標耐用年数の設定にあっては、日本建築学会の「建築物の耐久計画に関する考え方」を参考にしました。

【図表５　目標耐用年数表】

建物構造		目標耐用年数
鉄筋コンクリート造		80年以上 （※60年）
鉄骨鉄筋コンクリート造		
鉄骨造	重量鉄骨	60年
	軽量鉄骨	40年
木造		40年
コンクリートブロック造		60年

鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の目標耐用年数は、中性化対策工事の実施により、躯体の寿命を延命又は回復することが可能と考えられることから、【図表７】目標耐用年数の級の区分の範囲の上限値以上を目標耐用年数に設定します。

ただし、現時点において築後５０年以上のものは、残存年数を考慮し、費用対効果の観点から目標耐用年数を６０年といたしました。

鉄骨造、木造及びコンクリートブロック造の目標耐用年数につきましては、鉄筋コンクリート造と違い躯体の寿命を延命又は回復するための工事が容易ではないことから、【図表７】の代表値を目標耐用年数に設定いたしました。

【図表６建築物全体の望ましい目標耐用年数の級】

構造種別 ＼ 用途	鉄筋コンクリート造 鉄骨鉄筋コンクリート造		鉄骨造			ブロック造 れんが造	木造
			重量鉄骨		軽量鉄骨		
	高品質の場合	普通の品質の場合	高品質の場合	普通の品質の場合			
学校・官庁	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y60以上
住宅・事務所・病院	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y40以上
店舗・旅館・ホテル	Y100以上	Y60以上	Y100以上	Y60以上	Y40以上	Y60以上	Y40以上
工場	Y40以上	Y25以上	Y40以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上	Y25以上

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

【図表７　目標耐用年数の級の区分の例】

級	目標耐用年数				
	代表値	範囲			下限値
Y150	150年	120	～	200年	120年
Y100	100年	80	～	100年	80年
Y60	60年	50	～	80年	50年
Y40	40年	30	～	50年	30年
Y25	25年	20	～	30年	20年

出典：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

（２）長寿命化について

将来更新費用の算定にあたり長寿命化が可能な建物は次の条件をすべて満たす場合は、長寿命化への対応が可能と判断しました。

①構造が鉄筋コンクリート造

②建築年数が５０年未満

③圧縮強度の平均値が１３．５N/㎟を超える

④中性化深さが３０mm 未満又は中性化深さが３０mm 以上であっても鉄筋腐食状況の評価グレードがⅠ又はⅡである

（３）将来更新費用の算出

本調査で対象とした公共建築物の将来更新費用の推計を、次の条件のもと行いました。

①　試算条件

（ア）　試算期間

調査年度から４０年間

（イ）　対象費用

中規模改修費、長寿命化改修費、改築費

（ウ）　改築時期、中規模改修時期、長寿命化改修時期

A) 改築は、建物構造毎に「図表５　目標耐用年数」に示す年数に達した時点で行うものとします。

B) 中規模改修は、２０年毎に実施するものとします。

C) 長寿命化改修は、４０年で実施するものとします。

D) 現時点で、既に中規模改修又は長寿命化改修の時期を経過している場合は次のとおりとします。

i.次に予定している工事の実施まで１０年を超えている場合、２０１９年度に工事（中規模改修又は長寿命化改修）を実施するものとします。

ii.次に予定している工事の実施まで１０年を超えていない場合、次の工事の実施時期が近いため、工事は実施しないものとします。

（エ）　工事費

工事費は、（カ）単価表に記載の単価に延床面積を乗じて得た額とします。

（オ）　　工事期間

工事期間は次のとおりとし、財政負担の平準化を図ります。

工事種別	期間	工事費の計上方法
改築	３年	３年で按分
長寿命化改修	２年	２年で按分
中規模改修	１年	当該年度

※ただし、２０１９年度に工事が集中することから、工事費の計上を１０年間に分散させています。

（カ）　　単価表

単価表は、次のとおりとします。

A）長寿命化改修単価表

	項目	行政系 市民文化系 社会教育系施設	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｼｮﾝ系 保健・福祉施設	学校教育系 子育て支援施設
躯体	中性化対策	15千円/㎡	15千円/㎡	15千円/㎡
仕上・設備改修	屋上・屋根	19千円/㎡	15千円/㎡	13千円/㎡
	外壁	30千円/㎡	24千円/㎡	20千円/㎡
	外部開口部	66千円/㎡	52千円/㎡	44千円/㎡
	外部その他	4千円/㎡	3千円/㎡	3千円/㎡
	内部（室内）	51千円/㎡	40千円/㎡	34千円/㎡
	外構	7千円/㎡	6千円/㎡	5千円/㎡
	電気設備	31千円/㎡	25千円/㎡	21千円/㎡
	給排水設備	30千円/㎡	24千円/㎡	20千円/㎡
	空調設備	19千円/㎡	15千円/㎡	13千円/㎡
	その他設備	3千円/㎡	2千円/㎡	2千円/㎡
長寿命化単価総額		275千円/㎡	221千円/㎡	190千円/㎡

※ただし、中性化対策が不要の場合の長命化単価総額は、上記の総額から15千円/㎡を減じた額とします。

B）中規模改修単価表

	項目	行政系 市民文化系 社会教育系施設	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｼｮﾝ系 保健・福祉施設	学校教育系 子育て支援施設
建築改修	屋上・屋根	19千円/㎡	15千円/㎡	13千円/㎡
	外壁	30千円/㎡	24千円/㎡	20千円/㎡
	外部その他	4千円/㎡	3千円/㎡	3千円/㎡
	内部（室内）	51千円/㎡	40千円/㎡	13千円/㎡
設備改修	電気設備	31千円/㎡	25千円/㎡	15千円/㎡
	給排水設備	30千円/㎡	24千円/㎡	8千円/㎡
	空調設備	19千円/㎡	15千円/㎡	13千円/㎡
中規模改修単価総額		184千円/㎡	146千円/㎡	85千円/㎡

C）改築単価表

項目	行政系 市民文化系 社会教育系施設	ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｼｮﾝ系 保健・福祉施設	学校教育系 子育て支援施設
改築(建替え+解体)	400千円/㎡	360千円/㎡	300千円/㎡

② 長寿命化改修工事を実施しない場合の試算条件

長寿命化改修工事による効果額を確認するため、長寿命化改修工事を実施しない場合の将来更新費用の推計を、次の条件のもと行いました。

(ア)試算期間

①試算条件と同じ

(イ)対象費用

中規模改修費、改築費

(ウ)改築時期、中規模改修時期

A) 改築は、①試算条件と同じ。ただし、鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造は 60 年で改築するものとします。

B) 中規模改修は、①試算条件と同じ。

C) 現時点で、既に中規模改修の時期を経過している場合は、①試算条件と同じ。

(エ)工事費

工事費は、①試算条件と同じ。

(オ)工事期間

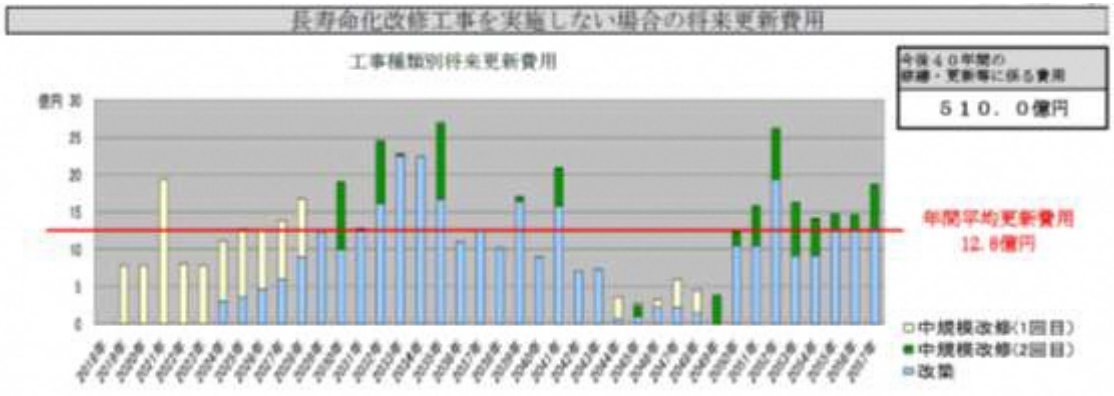
工事期間は、①試算条件と同じ。

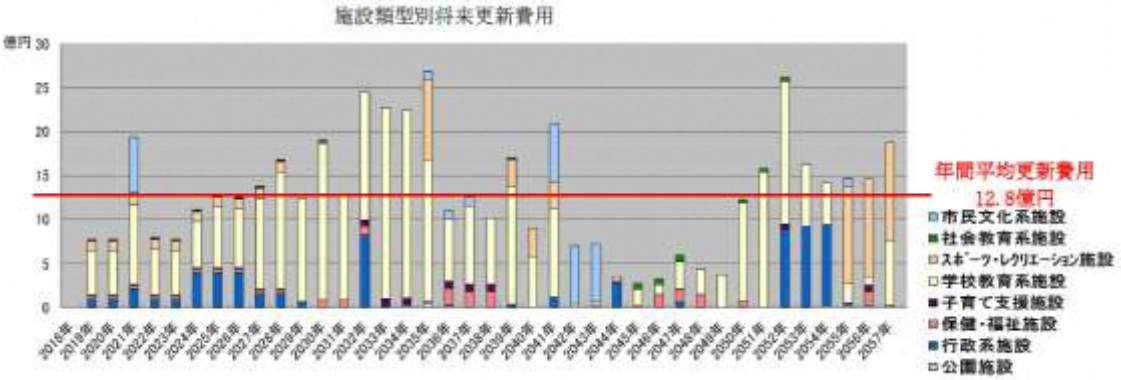
(カ)単価表

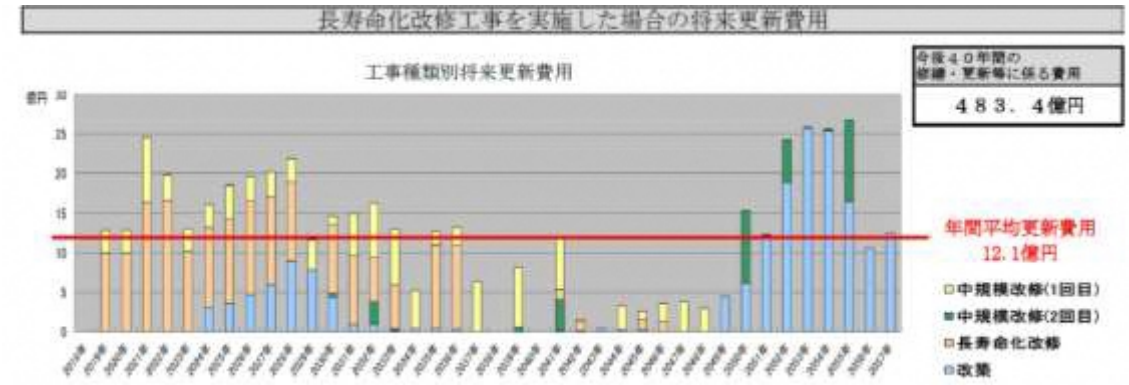
単価表は、①試算条件と同じ。

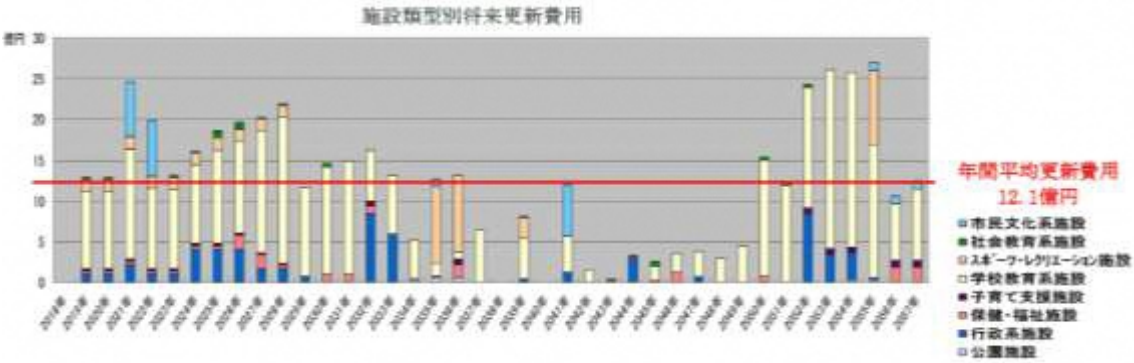
（４）将来更新費用の比較（概算）

今後４０年間の修繕・更新等にかかる将来費用の推計を行った結果、長寿命化改修工事を実施しなかった場合と実施した場合の将来更新費用は、次のとおりです。









長寿命化改修工事を実施しなかった場合の今後４０年間の将来更新費用の総額は、５１０億円、長寿命化改修工事を実施した場合は、４８３．４億円となりました。

長寿命化改修工事を実施した場合、２６．６億円の削減効果が表れる結果となりました。

将来更新費用（長寿寿命化改修工事なし）	５１０．０億円	（12.8 億円/年）
将来更新費用（長寿寿命化改修工事あり）	４８３．４億円	（12.1 億円/年）
削　減　額	２６．６億円	（ 0.7 億円/年）

※試算は、事業費ベースの比較であり、国庫補助、交付税措置等の条件は考慮しておりません。

※試算は、機械的に算出しているため、過去の工事履歴は考慮していません。

件　　名	公共建築物状況調査業務委託
契約期間	平成２９年７月２０日　から　平成３０年６月３０日　まで
契約金額	７６,８９０,６００円（うち取引にかかる消費税及び地方消費税の額 5,695,600 円）
受　　注 者	大阪府大阪市北区大淀中一丁目８番５号 ㈱建綜研（けんそうけん）

劣化診断調査の考え方をもとに、個別施設計画【公共施設】の対象施設を全て長寿命化した場合の将来更新費用は、本編Ｐ20　図 21　建築物系施設を今後 40 年間全て維持した場合の将来更新費用となります。

また、公共施設の再編を実施した場合の将来更新費用には、以下の費用は含まれていないため、実施の段階においては、以下の費用を見込んで取組まなければなりません。

（将来更新費用に含まれていないその他費用）

上記の将来更新費用には、次の西部地域の公園の拠点整備及び建替を伴わない建物解体費用は含まれていません。

➢ 公園整備費

四條畷南中学校跡地	2.4 億円
市民活動センター跡地	1.1 億円
四條畷東小学校跡地	3.2 億円
青少年コミュニティー運動広場	0.6 億円
くすのき園跡地	0.4 億円
合　計	7.7 億円

➢ 解体費用

四條畷東小学校	1.8 億円
市民活動センター	1.4 億円
合　計	3.2 億円

※なお、上記以外に廃止や建替統合の移転などにより、現施設を使用しない建物は、PPP での活用や建物付きの売却や貸付を優先的に検討するため、現時点での解体費用は将来更新費用に含まれていません。

6 公共施設のコスト情報

公共施設のコスト

※平成27～29年度の決算額を平均した金額

	市民文化系施設、社会教育系施設、スポレク施設	学校教育系施設	子育て支援施設、保健・福祉施設	行政系施設、公営住宅、公園施設	全施設
フロー	2,824万円/年	1億1,129万円/年	2,621万円/年	5,628万円/年	2億2,202万円/年
ストック	1億6,756万円/年	4億7,523万円/年	5,120万円/年	1億4,900万円/年	8億4,299万円/年
合計	1億9,580万円/年	5億8,652万円/年	7,741万円/年	2億528万円/年	10億6,501万円/年

上記の１０億6,５０１万円は、平成２７～２９年度歳出決算平均額１９０億2,０７０万円の５．６％を占めている。

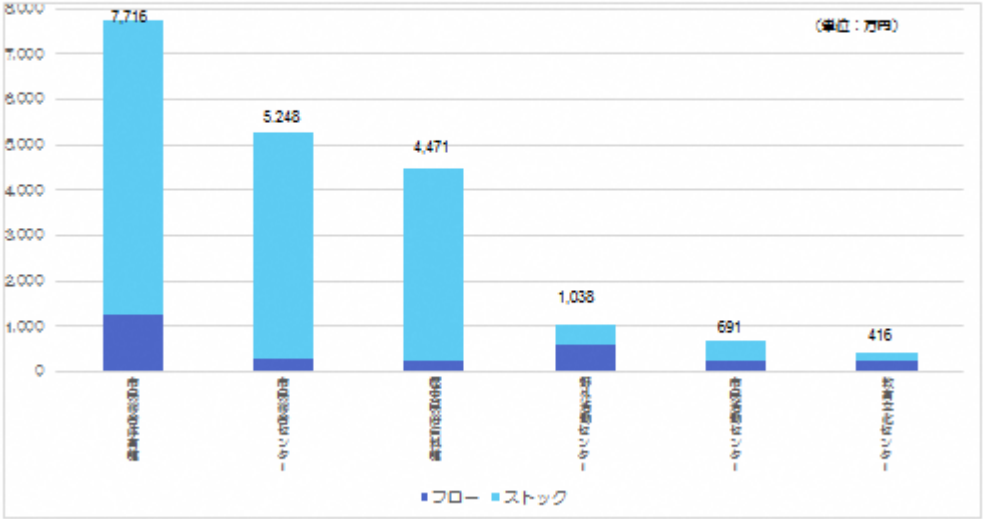
フロー：施設を運営するためにかかるコストをいいます。消耗品費、燃料費、光熱水費、手数料、人件費（施設管理に係る部分）の歳出合計から施設の使用料、広告収入の歳入合計を差し引いた金額です。

ストック：施設を維持するためにかかるコストをいいます。修繕料、施設維持管理委託料（清掃委託、警備委託、設備機器点検委託など）、工事請負費、備品購入費、減価償却費の合計です。

20

公共施設のコスト

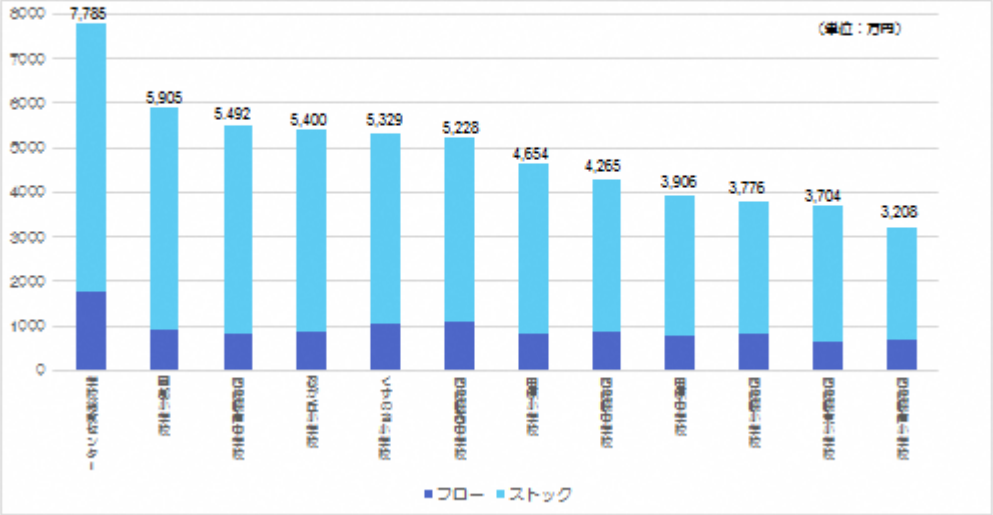
市民文化系施設、社会教育系施設、スポーツレクリエーション施設（1億9,580万円/年）



21

公共施設のコスト

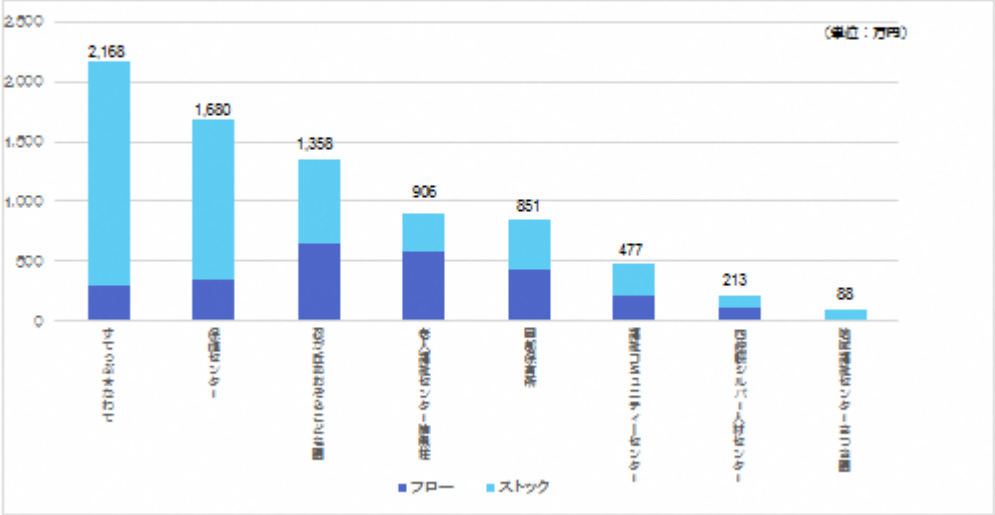
学校教育系施設（5億8,652万円/年）



22

公共施設のコスト

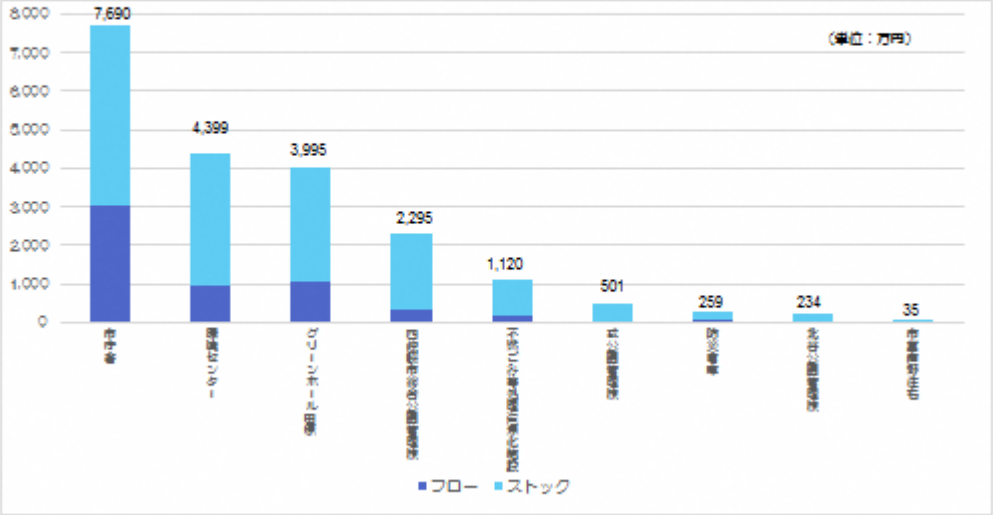
子育て支援施設、保健・福祉施設（7,741万円/年）



23

公共施設のコスト

行政系施設、公営住宅、公園施設（2億528万円/年）



24

７　平成３０年度個別施設計画策定に係る市民ワークショップ

平成 30 年度四條畷市個別施設計画策定に係る市民ワークショップ

報　告　書

平成 30 年 11 月

１　市民ワークショップの概要

（１）目的

高度経済成長期に建設した公共施設やインフラ施設の老朽化が進行し、一斉に更新時期を迎える現況にあるものの、今後も厳しい財政状況が続くものと予測しています。このような事態に適切に対応していくためには、長期的な視点をもって更新、統廃合、長寿命化などの検討を行い、財政負担を可能な限り軽減･平準化していく必要があります。

また、平成 28 年 12 月に策定の「四條畷市公共施設等総合管理計画」を踏まえ、公共施設ごとに今後における具体の方向性を示す個別施設計画を策定する検討の段階から、市民の意見や提案などを取り入れて進めていくことが必要です。

これからの公共施設に求められる役割、あり方等を一緒に考えることを目的とし、市民ワークショップを開催しました。

なお、今回、学校教育施設については、別に教育委員会が市民との意見交換会などを行い、再編整備計画を策定していくため、議論の対象外としました。

（２）開催スケジュール

<table>
<tr><th></th><th>日時</th><th>会場</th><th>テーマ</th></tr>
<tr><td>第 1 回</td><td>平成 30 年 8 月 8 日
（木）
19:00～21:00</td><td>市役所本館
3 階委員会室</td><td>公共施設の課題
これからの公共施設に対して求めるもの</td></tr>
<tr><td>第 2 回</td><td>平成 30 年 8 月 22 日
（水）
19:00～21:00</td><td>市役所東別館 2 階 201 会議室</td><td rowspan="2">分野ごとの公共施設のあり方</td></tr>
<tr><td>第 3 回</td><td>平成 30 年 9 月 19 日
（水）
19:00～21:00</td><td>同上</td></tr>
<tr><td>第 4 回</td><td>平成 30 年 10 月 3 日
（水）
19:00～21:00</td><td>同上</td><td rowspan="2">今後の公共施設の再編案</td></tr>
<tr><td>第 5 回</td><td>平成 30 年 10 月 10 日
（水）
19:00～21:00</td><td>市役所本館
3 階委員会室</td></tr>
</table>

（３）参加者の状況

公募市民 9 名、市民団体から推薦された方 11 名の合計 20 名で進行しました。

<table>
<tr><th rowspan="2"></th><th colspan="6">年齢構成</th><th colspan="2">性別構成</th><th rowspan="2">計</th></tr>
<tr><th>20 歳代</th><th>30 歳代</th><th>40 歳代</th><th>50 歳代</th><th>60 歳代</th><th>70 歳代以上</th><th>男性</th><th>女性</th></tr>
<tr><td>人　数</td><td>1 人</td><td>2 人</td><td>4 人</td><td>1 人</td><td>6 人</td><td>6 人</td><td>14 人</td><td>6 人</td><td>20 人</td></tr>
<tr><td>構成比</td><td>5%</td><td>10%</td><td>20%</td><td>5%</td><td>30%</td><td>30%</td><td>70%</td><td>30%</td><td></td></tr>
</table>

氏名	団体名または公募	班
市林　朋代	公募	1
平田　光司	公募	1
西川　益美	公募	2
福住　修一	公募	2
山本　啓一郎	公募	2
小島　明	公募	3
長谷川　和子	公募	3
今村　弘久	公募	4
久世　裕貴	公募	4
西村　敏夫	老人クラブ連合会	1
堀　悦子	体育協会	1
龍後　美幸	青少年指導員協議会	1
杉原　信行	区長会	2
山口　明子	文化協会	2
島岡　五十二	スポーツ少年団本部	3
中川　清治	区長会	3
中道　一成	商工会青年部	3
澤野　誠	商工会青年部	4
田中　實	学校安全協議会	4
福永　エミ子	おもちゃライブラリー	4

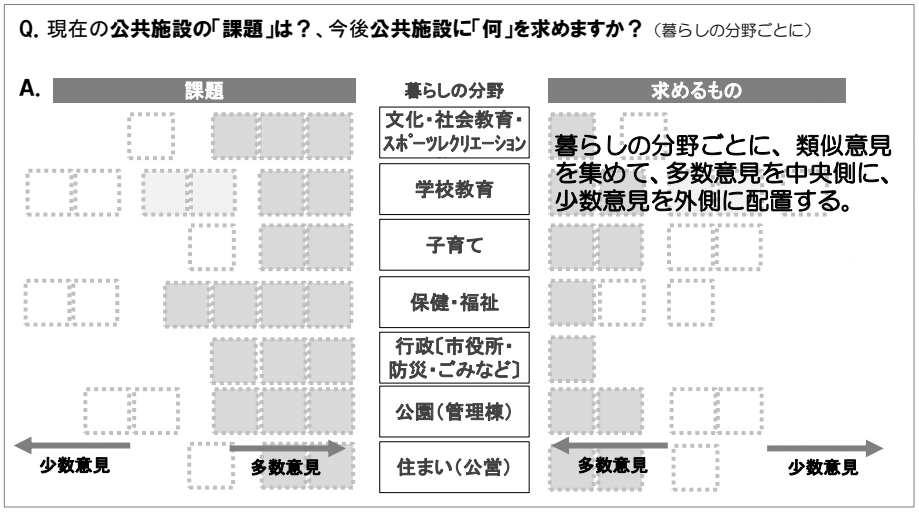
（4）結果の概要

※本結果は、ワークショップで提示された条件の下で提案された案です。

①第１回　（参加者　20 人）

時間	第１回　内容（WS 司会：ファシリテーター）
19:00～	開会
19:05～	公共施設の現状など概要説明（市から）
19:30～	ファシリテーターによる会の目標と進め方解説
19:35～	ファシリテーターによる参加者紹介
19:40～	ワーク１（Q 現在の公共施設の「課題」は？今後「何」を求めるか？）
20:20～	ワーク２（類似意見並び替え）
20:40～	発表（各４分×４グループ）
20:56～	ファシリテーターによる次回予告
21:00	閉会

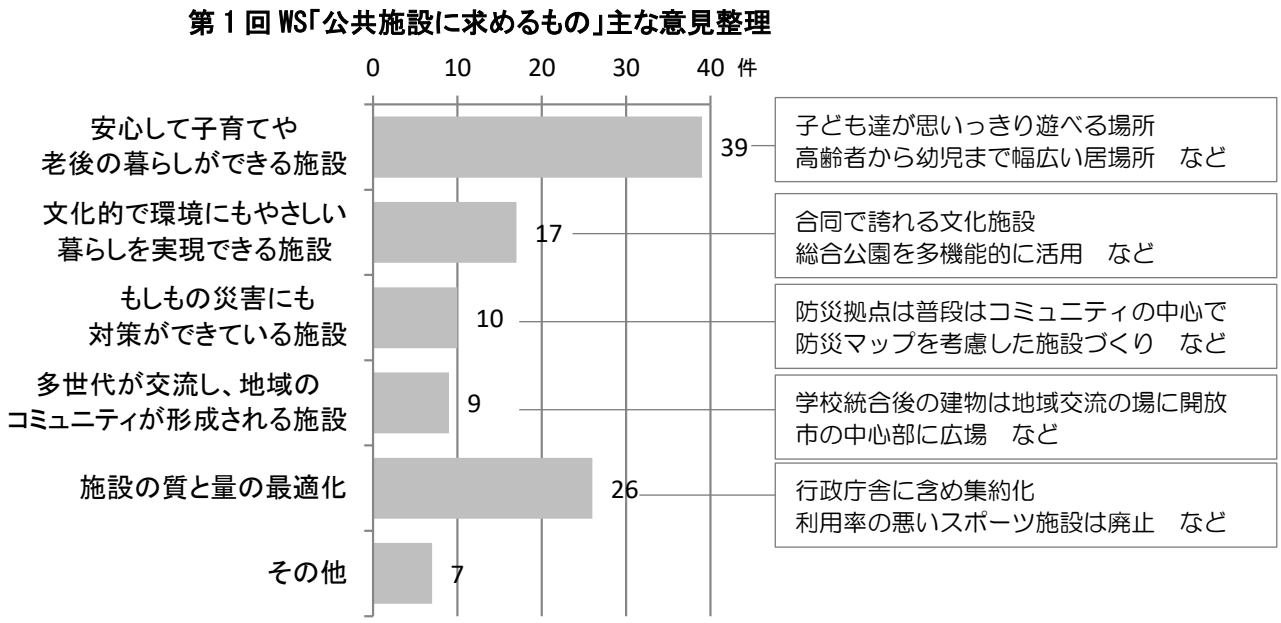
現在の公共施設の「課題」と、今後公共施設に「何」を求めるかについて７つの暮らしの分野ごとに考え、多数意見と少数意見に整理しました。



第１回 WS「公共施設の課題」主な意見整理

暮らしの分野	課題
文化・社会教育・ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	利用するには便が悪い、場所がわかりにくい 気軽に体育・文化行動できない
学校教育	避難所なのに耐震に不安がある トイレ問題（地域の方の利用も想定）
子育て	子どもがボール遊びする場所がない 休日診療の病院、病気の場合に預かる保育園が少ない
保健・福祉	介護施設が地区によって偏っている 福祉施設の配置バランス
行政 （市役所・防災・ごみなど）	防災放送が聴こえない 防災拠点(避難所)をもっと近く(細かく)に 避難場所の安全快適の確保 市庁舎が古い、老朽化で危険な空間の建て替え
公園 （管理棟）	スポーツセンターが山側へ偏っており利用できない 子どもが安心して遊べる公園が少ない
住まい（公営）	古い

結果について、大きく５つの視点を持って整理しました。



②第２～３回

第２回　（参加者　18 人）

時間	第２回　内容（WS 司会：ファシリテーター）
19:00	開会
19:05～	ファシリテーターによる第１回記録報告と進め方解説
19:15～	ワーク（Q 各分野の公共施設のあり方）
20:05～	ワーク（Q 各分野の公共施設のあり方）
20.50～	作業報告（到達点・宿題・気づき）
20:55～	ファシリテーターによる次回予告
21:00	閉会

第３回　（参加者　15 人）

時間	第３回　内容（WS 司会：ファシリテーター）
19:00	開会
19:00～	副市長挨拶
19:02～	市からの説明
19:08～	ファシリテーターによる第２回記録報告と進め方解説
19:10～	ワーク１（Q 各分野の公共施設のあり方　前回引き続き／発表まとめ）
20:05～	ワーク２（各班発表 20 分／意見交換 30 分）
20:55～	ファシリテーターによる次回予告
21:00	閉会

第１回の「求めるもの」実現に向けて、暮らしの分野ごとに必要なことを検討しました。

人口減少を見据えた
施設の質と量の最適化
の中で「求めるもの」を
確保するために、
四條畷市民（主人公）カード
を使いながら「必要なこと」を、
施設ごとにポストイットに
記入して貼ってください

第 2～3 回 WS「求めるものの実現に向けて必要なこと（あり方）」主な意見整理

		１班	２班	４班
市民文化系	市民総合ｾﾝﾀｰ、教育文化ｾﾝﾀｰ	子どもから大人まで楽しく集える場所	多目的に使える小ホール 1000 人以上収容できるホールを中核に	文化活動運営の充実
社会教育系	歴史民俗資料館、野外活動ｾﾝﾀｰ	体感・体験できる場所	世代間交流で昔遊びを伝承できる場所	・活動内容は充実している が建物が難あり！ ・キャンプ等が出来る様に
ｽﾎﾟｰﾂ・ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設	市民総合体育館、市民活動ｾﾝﾀｰ	楽しく健康的で出会いのある場	市域の交流ができる学校対抗スポーツ大会出来る場所	・メンテナンスが必要 ・PR が足りない
子育て支援施設	保育所・認定こども園(2)、すてっぷ★なわて	保護者は送迎しやすく子どもは環境の良い施設	18 歳まで利用できる 子どもの居場所作り	子ども数に応じて迅速に対応出来る様に
保健・福祉施設	老人福祉ｾﾝﾀｰ、保健ｾﾝﾀｰ、ｼﾙﾊﾞｰ人材ｾﾝﾀｰ、地域福祉ｾﾝﾀｰ、福祉ｺﾐｭﾆﾃｨｰｾﾝﾀｰ	交通手段を考えて１か所にまとめる	各地域に密着した総合施設にする	効果的な配置
行政系施設	市庁舎、ｸﾞﾘｰﾝﾎｰﾙ田原、防災倉庫、防災行政無線中継局、不燃ごみ等処理資源化施設、環境ｾﾝﾀｰ	頑丈な施設	・外国人が気軽に相談できる窓口設置 ・避難所の充実(楽しい 非難の工夫)	・必要あり充実させていく ・放送全域に聞こえる ・土砂災害対策
公営住宅	市営南野住宅	―	・学生コンペでリノベーション ・取り壊して、保育	将来廃止（も検討）

		１班	２班	４班
			所を含む複合施設	
公園施設	公園施設管理棟等（3）	学校再編に合わせ廃校に大きな公園（ﾎｰﾙ）	市民のお祭りができる世代を超えて集える公園	効果的な配置、子ども達が気軽に使える所に
学校教育系	小学校（7）、中学校（4）、給食セター	・国道 163 号と JR で４地区に分ける ・自治会も学校に合わ せて再編成	空き教室を使って世代間や多文化交流の場	・廃校の校舎は多目的なコミュニティの場に ・売却不可 ・充実してほしい（給食センター）

第 2～3 回 WS「求めるものの実現に向けて必要なこと（あり方）」　3 班結果（独自の切り口で検討）

防災	人命を救う施設(公共建築物)であることをしっかり認識 大スピーカー、サイレン、高台(海抜 15m～)
空き施設	稼働率の高い施設、集約化・複合化・多目的
子どもの視点	街ごとテーマパーク。どこでも学べる、子どもが楽しめる。 おもしろい人のフル活用
高齢者	65 歳以上の人が活き活きできる場所を多数つくる。 魚釣りのできるプールの開設
公共交通	Maas(マース)・交通革命(自動運転、空飛ぶ自動車など ・・・市域をスミズミまで使える革命)
文化自然	飯盛山にモノレールで登れるようにして山上をにぎやかに！ 室池の水際を楽しくする
サッカーチーム	総合運動公園を活かした、街のヒーローの創出・市民の選手(J3→J2→J1)
大小中学校	大規模な小中学校での街ごとおまつり会場にも活用
広場	税優遇により空家解体後の土地を広場にして市民でメンテナンスする楽しい場所に

③第 4～5 回

第４回　（参加者　17 人）

時間	第４回内容（WS 司会：ファシリテーター）
19:00	開会
19:00～	ファシリテーターによる第 3 回記録報告と進め方解説
19:15～	ワーク（公共施設マップ検討）
20:05～	ワーク（公共施設マップ検討）
20:45	各班検討状況報告（各 2 分）
20:55～	ファシリテーターによる次回予告
21:00	閉会

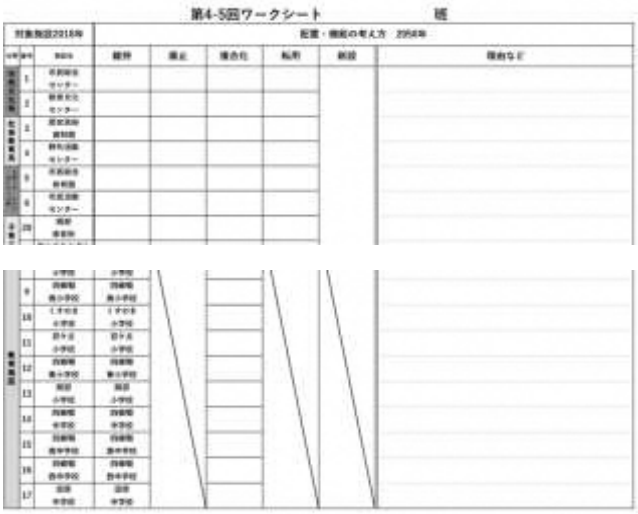
第５回　（参加者　18 人）

時間	第５回　内容（WS 司会：ファシリテーター）
19:00	開会
19:00～	ファシリテーターによる第 4 回記録報告（コスト含む）と進め方解説
19:10～	ワーク（公共施設マップ検討）
20:00～	ワーク（発表用取りまとめ）
20:20～	市長挨拶
20:21～	各班検討状況報告（各 4 分）＋ 各準備・内容確認（ﾌｧｼﾘﾃｰﾀｰ）・班記念写真（2 分）
20:45～	市長感想
20:50～	集合写真（全体）
20:55～	アンケート記入
21:00	閉会

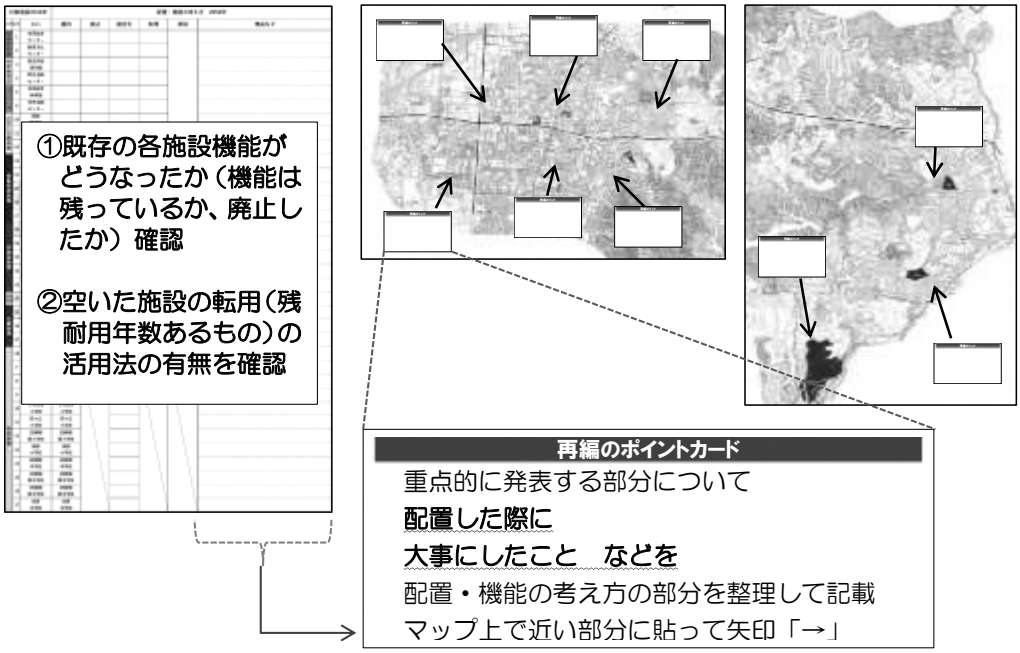
これまでの「分野ごとの公共施設のあり方」を受けて、2050 年の四條畷市を想像し再編マップにまとめました。

第４、５回では、各施設の配置・機能の考え方を「維持」「廃止」「複合化」「転用」「新設」の５つの方向で整理して、それぞれに理由を示していただくルールで作業を進めました（但し、教育施設はすべて維持として、複合化のみ選択可としました）。

検討に当たっては、財政予測、当該施設の耐用年数や利用率などの状況も確認しながら、複合化などで移転した場合の跡地活用に至るまで検討しました。



施設再編マップは、第４回に整理した方向性を検討した一覧表をマップに落としたものです。



2　各班の記録

記録は原文を使用

（1）公共施設の課題と求めるもの　分野ごとのあり方　【1班】

①市民文化系・社会教育系・スポーツ・レクリエーション施設

（市民総合ｾﾝﾀｰ、野外活動ｾﾝﾀｰ、市民総合体育館　など）

課題

- スポーツ施設が少ない
- トイレの整備
- 総合センターの大ホールの稼働率は？
- 図書館がなんか変な匂いがする
- 高齢者がスポーツできる広い公園が無い(山より西)

求めるもの

- 市の魅力として自然をアピールできるような施設
- 子ども達がボール遊び（自由に）できる場所
- ボール遊び、花火などができる広場(スペース)
- 撮影、スタジオ、YouTube
- 動物園：珍しい動物
- 空調等、完備、空調の設置率は？

市民文化系施設のあり方　子どもから大人まで楽しく集える場所

- 中高生の自習場、畷の子と勉強したいと思ってる子もいっぱいいる(多分)
- 総合センター会議室だけでなく、子どもの楽しめる教室等の開放
- 文化センター遊具を多く造ってほしい
- 自分たちのみで通える様な近くに施設があれば(安全性)
- 市民文化利用できるコミュニティセンターが欲しい
- 施設名からそこが何をするところかわからない。→わかりやすい名前、各場所にある
- ホームパーティできるキッチンつき/行けば楽しい、気楽に教室がある/カードゲームのコーナー、ボードゲームなど(将棋、碁、マージャン)
- 余っているから、地元の人が使っている→2か所程度にまとまってはどうか？
- スタジオ撮影

社会教育系施設あり方　体感・体験できる場所

ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設のあり方　楽しく健康的で出会いのある場

- 子どもは休日高齢者は平日に使う、運動施設が欲しい
- スポーツ施設が高い所にある／中心部にほしい
- もっと室池周辺を利用できる手立てが必要
- 子どもの才能を伸ばすスポーツ教室を
- アフター5を四條畷で過ごせる様な所は？
- 市民文化系、社会教育系、保健福祉系の施設は大きなところに一か所あれば良いのでは？ただ交通手段は考える必要あり
- 色んな施設がコンパクトにまとまって1カ所にあると良い
- 野外活動センターは市街地に下ろして子ども達が放課後に訪れたり、学校行くのがしんどい子が訪れたり平日の市民利用できるように

②子育て支援施設（保育所、すてっぷ★なわて　など）

課題

- 子どもがボール遊びできる公園が無い
- プレイパークがあるとよい
- 公立の保育園、幼稚園が少ない
- ボール遊びができる場所が無い
- 待機児童

求めるもの

- 親水池が欲しい
  (市内の小学校は夏休みのプール開放ない)
- 駅に近い保育所
- 自然あふれる場所にある保育所　⇒
  駅前からバスで連れていってくれるような
  (駅前ステーション)
- 子育て中の方の集い
- 最新の子どもの遊び場

子育て支援施設のあり方　保護者は送迎しやすく子どもは環境の良い施設

- 保護者的には駅近の保育所が便利だろう
  仕方ないけど狭い部屋で外遊びもできないのは可哀そう
- 駅近に保育ステーションルームがあって保護者はそこに送迎(園バスで移動)
  日中子どもたちは自然のあるところで過ごす

③保健・福祉施設（老人福祉センター、保健センター　など）

課題

- 介護施設が地区によって偏っている
- 各地区の自治公民館のレベルがバラバラ
  （地区まかせ）
- 利用方法がわからない、分かりにくい
- 独居老人の見守りを誰がするのか

求めるもの

- ボランティアの人員が減っているのでは
  今後が心配
- ペットの保護してくれるところ
- 福祉の利用の方法の広報を大

保健・福祉施設のあり方　利用者がわかりやすいように／交通手段を考えて良い施設を２、３か所にまとめる

- 交通手段(コミュニティバス)を考えて、シニアが行けば安心できる場所を１カ所にまとめてあったら良い
- 交通手段を考えて良い施設を２、３か所にまとめる
- 施設名から何をするかわからない→わかりやすい名前にする/各地域に要るのはわかるけど
- 「老人」とつくと利用者が限定される。しかも、今どき老人って・・・。

④行政系施設（市庁舎、グリーンホール田原　など）

課題

- 防災放送・無線が聴こえない
  ↓
  高齢の方でもスマフォなどを活用して情報を得てもらったら？
- ゴミ回収の時間がバラバラ
- 市役所北側の橋が狭い拡げるべき

求めるもの

- 核シェルター
- 駅前に出張所があるとよい
- 災害時に強い対策本部(災害に強いまちづくり)
- 高齢者に優しい建物(市役所)
- これからプラスチックの廃却が問題となる
  今から対策を！

行政系施設のあり方	頑丈な施設
	―

⑤公園施設（戎公園管理棟　等）

課題

- スポーツセンターが山側へ偏っており利用できない
- 夜間の電灯(暗い)
- 市街地に公園が無い

求めるもの

- 公園のトイレは汚くて使いづらい。いっそ無くして近くのコンビニなどに委託料払ってトイレ貸してもらったら？
- 犯罪がないように
- 四條畷の中心部に誰もが（子ども、高齢者、中年）憩える、大きな公園が必要。
- 無料で飲み物が飲める場所
- 総合公園の活用をもっと考えて。ガイドマップに載るくらい素敵に。

公園施設のあり方	学校の再編に合わせて廃校にする学校を大きな公園に
	・国道 163 号の高架化、ボール遊び(涼しい)できる公園、ゲートボール場との時間を分けての共存。 ・岡部川の堤防に桜並木を作って欲しい ・自然の多い所を活用すればよい公園として ・学校の再編に合わせて廃校にする学校を大きな公園に(ボールあそび)

⑥公営住宅（市営南野住宅）

課題

- 古い
- 府営住宅が老朽化し空室も多い。どうするのか？
- 府営もあるのにいる？

求めるもの

- バリアフリーを検討
- 府営住宅は見晴らしも良く当初は人気あった。もっと良い点をいかすべき

公営住宅のあり方　（未決定）

- 清滝団地(府営)の利用は？　(建て替えか、別途利用か？)

⑦学校教育系施設（小学校、中学校　など）

課題

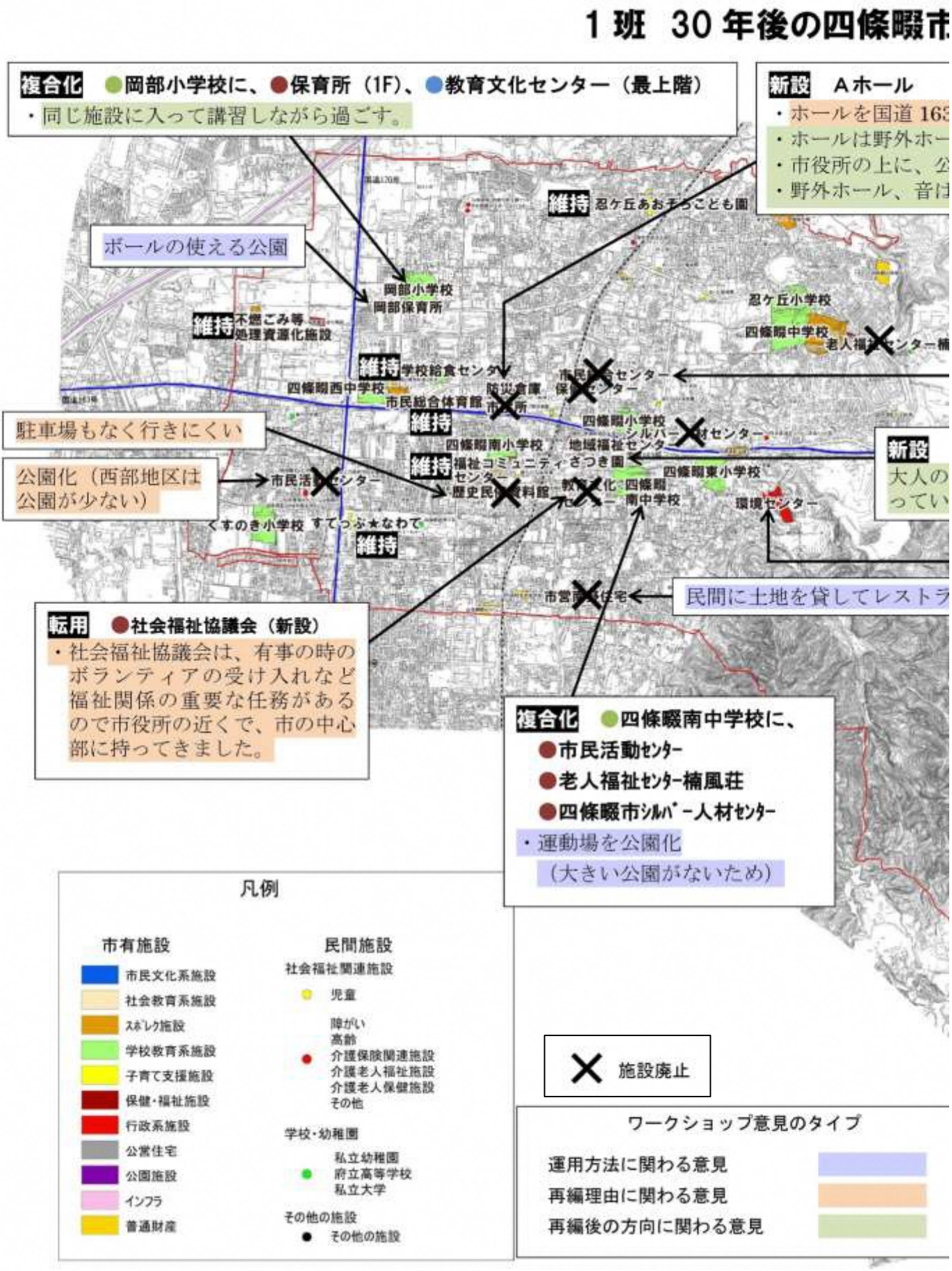
- 設備が古い（水道）
- 学年１クラスしかない学校生活はどうかと思う
- 建物の古さ
- 田原中や南中のトイレがものすごく臭くて汚い
- 遊具の安全性

求めるもの

- 個室の図書館の自習スペースがいつもいっぱいなので、中高生が使える自習スペース
- 学校間の人数がアンバランス（平準化）
- 自由に使えるパソコン

学校教育系施設のあり方　国道 163 号と JR で４地区に分ける／自治会も学校に合わせて再編成

- 自治会も学校区に合わせて再編成
- 学校は避難所にもなる／設置場所注意



※本マップは、将来人口や財政収支の見通しを前提とした条件の下で提案された案です。

市の公共施設マップ

163 号沿いに。他市から車できやすい。
ホールでも良い。音はイヤホンできく。ビニールプールに入りながら。
、公民館。ふだんは会議室、音楽堂、料理室・・・有事の際は核になる施設
音はイヤホンで。出会いの場になる。

転用 ●図書館、●公民館、●保健ｾﾝﾀｰ、●市庁舎、●防災倉庫

・市役所は人口が減ったら小さくても良いなら総合ｾﾝﾀｰと市庁舎は一緒でも良い。
人口減るので全て半分のスペースで、資料はデータ化して省スペース。

設 ●地域福祉ｾﾝﾀｰさつき園

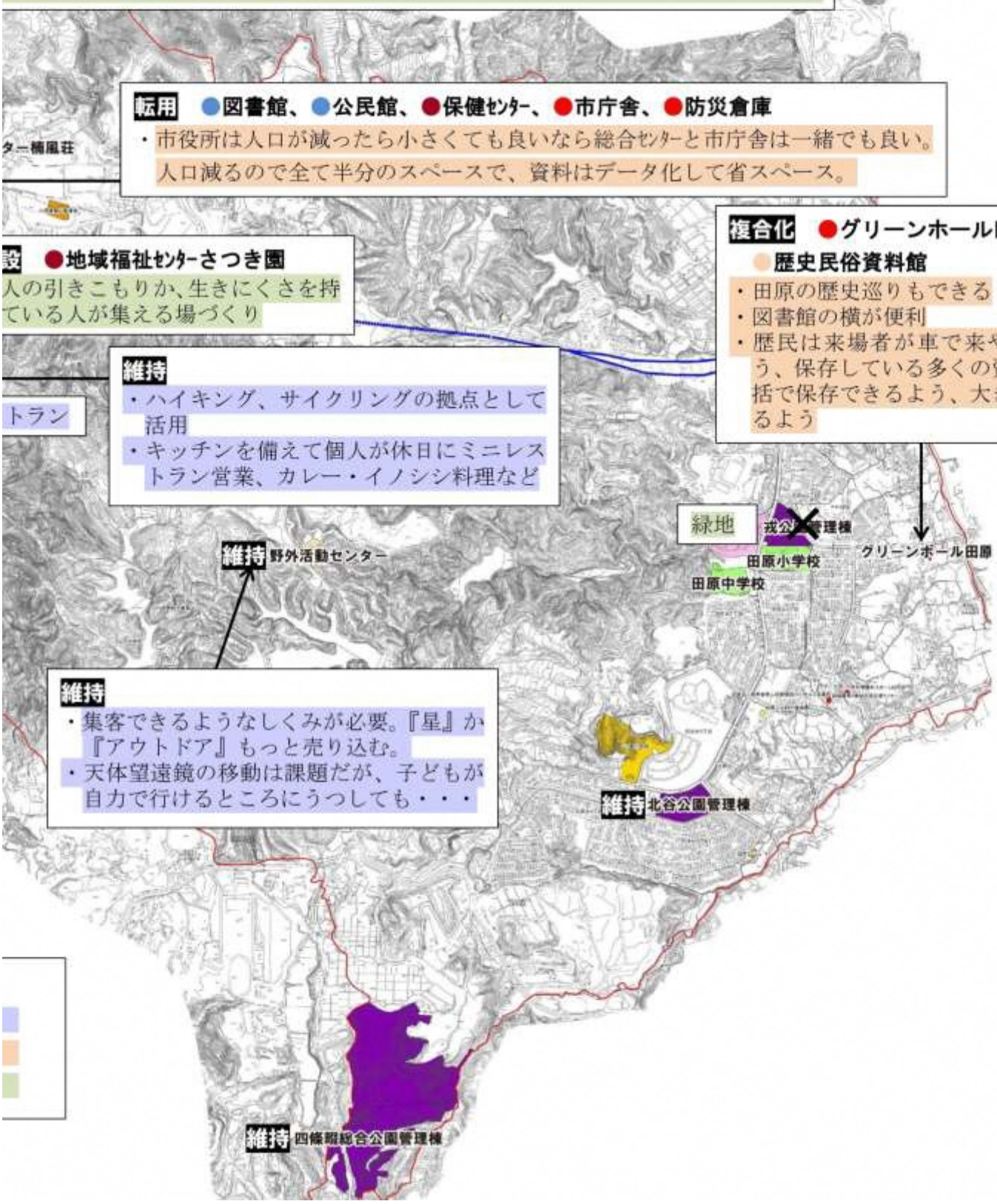
人の引きこもりか、生きにくさを持
ている人が集える場づくり

複合化 ●グリーンホール田原に
●歴史民俗資料館

・田原の歴史巡りもできる
・図書館の横が便利
・歴民は来場者が車で来やすいよう、保存している多くの資料が一括で保存できるよう、大きく使えるよう

維持

・ハイキング、サイクリングの拠点として活用
・キッチンを備えて個人が休日にミニレストラン営業、カレー・イノシシ料理など



維持

・集客できるようなしくみが必要。『星』か『アウトドア』もっと売り込む。
・天体望遠鏡の移動は課題だが、子どもが自力で行けるところにうつしても・・・

（2）公共施設の課題と求めるもの　分野ごとのあり方　【2班】

①市民文化系・社会教育系・スポーツ・レクリエーション施設

（市民総合センター、野外活動センター、市民総合体育館　など）

課題

- 歴史民俗資料館にアクセスしづらい
- 体育館は田原地区から使いづらい。バスが無い。
- 野外活動ｾﾝﾀｰは平日利用したくてもバス停が遠い
- 総合センターのイベント講習会等利用したくても田原地区からは都合のいい時間帯のバスが無い
- 歴史民俗資料館の利用状況からの見直し
- どこに何があるか市民の方々に充分に周知されていない
- 場所が分かりづらい
- 図書館の多角化（寝屋川駅の図書館は活気にみちていた）
- 図書館の規模が小さい

求めるもの

- 市民ﾎｰﾙ等音響等の向上
- 展示ﾎｰﾙ規模の小ﾎｰﾙ
- 野外活動ｾﾝﾀｰ自然を利用したｲﾍﾞﾝﾄを希望
- 教育文化ｾﾝﾀｰ・野外活動ｾﾝﾀｰ、外でできるDIY、野外料理
- 教育文化ｾﾝﾀｰ・野外活動ｾﾝﾀｰ、同施設に花をと入り入れたｲﾍﾞﾝﾄを希望
- 利用率の悪いｽﾎﾟｰﾂ施設の撤去

市民文化系施設のあり方　多目的に使える小ホール／1000 人以上収容できるホールを中核に

- 総合センターの収容人数を 1,000 人以上に
- クラブ発表などに向く 100～200 人規模の収容の小ホール、教文センターのホールの充実とか演奏、文楽、能 etc…文化的鑑賞会の授業に使ってほしい。
- 子ども達だけで参加できるイベント／そこに行くと友達がいるような小さいイベントでもいい
- 図書館：調べ物がもっとできるように蔵書数を増やす
- 中学生同士・高校生同士の交流会の場
- 高齢者だけでなく多くの世代がつどう活動
- 小学生、市民が全施設を回るツアーを考えて！
- 公園を生かしてガーデニング、野菜の育て方など生活に密着した講習会
- 公園感覚で利用できたらな
- 市民活動センター老朽のため、早急に対策をする
- すべての施設に対してコミュニティバスの案内をしてほしい

社会教育系施設あり方　世代間交流で昔遊びを伝承できる場所

- 歴史を実感できる展示　→　ビジュアルな手法を取り入れて
- 学校の社会見学：四條畷の歴史を小学生でもわかりやすく紹介する
- 子どもの社会見学や野外学習に使いたい
- 毎週昔遊びや風習などをおしえてほしい
- 自然の事をおしえて！今だったらせみの鳴き声で、せみの種類など
- 休日に気軽に行けて遊べる施設
- 目的外使用：野外活動センターで DIY ワークショップ
- 昔遊びを伝える/自然の物から何かを作る、を伝える

ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ施設のあり方　市域の交流ができる学校対抗のスポーツ大会が出来る場所

- 中学校、保育園、小学校対抗のスポーツ大会／学校対抗スポーツ大会
- 市内の学校のスポーツ交流会
- スポーツ選手を呼んでスポーツを教えてほしい
- スポーツにとらわれず自然観察をしてもいいのでは／いろんなまつぼっくりがいっぱい
- 市民活動ｾﾝﾀｰをリサイクルセンターに　食器市、リユース市など年何回かだけなので常時営設
- 親子で出来るスポーツ
- 福祉センターだけでなく、スポーツ施設で健康運動/野外でしてほしい

②子育て支援施設（保育所、すてっぷ★なわて　など）

課題

- 田原地区に保育所が少ない
- 保育所の充実／駅近い保育園
- すてっぷなわての存在を市民に知られていない
- 子育て支援の充実
- 病気の子どもを見てくれる保育園が少ない（すぐ一杯になる）

求めるもの

- 老人と子どもふれあいスペース
- 子どもを遊ばせる場所

子育て支援施設のあり方

18 歳まで利用できる子どもの居場所作り

- 子育て支援の充実にはすてっぷ★なわては素晴らしい施設です
- 兄弟一緒に預けられる施設
- 20:00 まで預けられる保育所を増やしてほしい
- 子育ての情報拠点となる施設がほしい
- 駅前に保育園
- 外国人の子どもも気軽に入所出来る
- 1 日単位で気軽に預けられる保育園
- いつでも子育ての相談が出来る場所
- 自習室の充実
- 市営住宅を保育所との複合設定使用/民活利用で

③保健・福祉施設（老人福祉センター、保健センター　など）

課題

- 休日診療の充実
- （楠風荘・福祉コミュニティセンター・シルバー人材センター、さつき園）どういうふうに利用したらいいかわからない
- 使ってもらう工夫／情報発信

求めるもの

- 高齢者から幼児まで中広い居場所づくり
- 犬のマナー教室を四季ごとに行って楽しめるイベントを希望
- 独居の方の見守りと話し相手
- 傾聴できる設備

保健・福祉施設のあり方

各地域に密着した総合施設にする

- たて割り行政をなくしてイキイキしている施設
- 似たような役割の施設がある。集約すべき。
- 夜間診察の実施
- 在留外国人が交流出来る場所
- シルバー人材センターの逸材からいろんなことを学ぶ講習会とかしてほしい
- 健康診断を受けやすい環境
- 各年代に向けての栄養指導
- 老人とかいう名称をつけない
- 寝たきりゼロ、ひきこもりゼロの町づくり：アクティブシニア
- 気軽に集える場所が欲しい

④行政系施設（市庁舎、グリーンホール田原　など）

課題

- 防災拠点(避難所)をもっと近く(細かく)に
- 防災案内の外国人への対応

求めるもの

- 防災拠点は多角的な場所
- 防災拠点は畳敷きに即座に変化する
- 防災拠点は普段はコミュニティの中心で
- 避難場所市民総合センターに(東小から)
- 防災⇒避難所に避難しやすい状態にする
- ゴミ　楽しみながらゴミを減量できるワークショップの開催
- 市庁舎　おしゃれな耐震の鉄骨などを考える

行政系施設のあり方　外国人の方が気軽に相談できる窓口の設置／避難所の充実(楽しく非難できる工夫)

- 権現川の旧水道水取水地に複数の水車で小水力発電を行い小さな滝をつくりエコ学習と休憩所
- 空いてる部屋を学習室にしてほしい！
- 防災のあり方を弱者の身に立って
- 避難所にはキッチン・トイレなどを最低必要事項にする
- 社会人が必要とする講座（例：手帳の書き方/会議の進め方/ﾌﾟﾚｾﾞﾝの仕方/名刺の使い方など）
- グリーンホールの日曜日の料理室の利用が悪いので、リハビリセンターに来ている外国人の方から料理を学びたい
- 学び続けるシニア／人に教えるシニア／人生 100 年自力で生きることを目指すシニア
- 防災無線をはっきり伝わるように！！
- 活動の場が欲しい
- 外国人の方々との交流/外国人の方が気軽に相談できる窓口

⑤公園施設（戎公園管理棟　など）

課題

- 公園の数が少ない
- 公園に子どもの遊べるような施設を
- 子どもが安心して遊べる公園が少ない
- サッカー、テニス近くの公園の利用者が低いので考える(プール)
- えびす公園、北谷公園申し込みをわかりやすくしてほしい

求めるもの

- 皆がいきやすい場所に公園をつくる
- 貸花壇１人 3.3 ㎡ぐらいのスペースで公園管理の低コスト化
- 市の中心部に広場がいる（施設はトイレくらい）
- 総合公園をスポーツだけでなく自然観察のイベントの開催にしてほしい
- 総合公園にアクセスしづらい、バスを増やす。

公園施設のあり方　市民のお祭りができる世代を超えて集える公園

- 「〇〇」の聖地と言われるような施設　ex.ドローン
- ボール遊びが出来る公園が欲しい
- 遊びにお金がかからない、工夫できる施設
- 雁屋畑線に桜を植樹して桜並木通りにする(歩行者天国)
- トーベヤンソン公園の理念を持つ公園にしよう
- 公園を広くして多目的に使えるように
- キャンプやバーベキューの出来る公園を！！
- 子どもの意見を取り入れた公園
- 世代を超えて集える公園
- 市民のお祭りができるような公園
- 公園の利用をアピール。どう利用していいかわからない
- 公園管理棟で公園整備の公園整備ボランティアの育成や募集など拠点
- 市民の集いを開催できるぐらいのﾌﾘｰｽﾍﾟｰｽ：多目的公園

⑥公営住宅（市営南野住宅）

課題
- 市民の方々に存在を知られていない

求めるもの
- リノベーション→市民や学生にしてもらう
- 外国人に住みやすい町づくり
- 市営住宅の老朽化を考える→撤去

公営住宅のあり方　学生コンペでリノベーション／取り壊して、保育所を含む複合施設

- 学生コンペでリノベーション
- 住宅を取り壊し、住民を府営へ

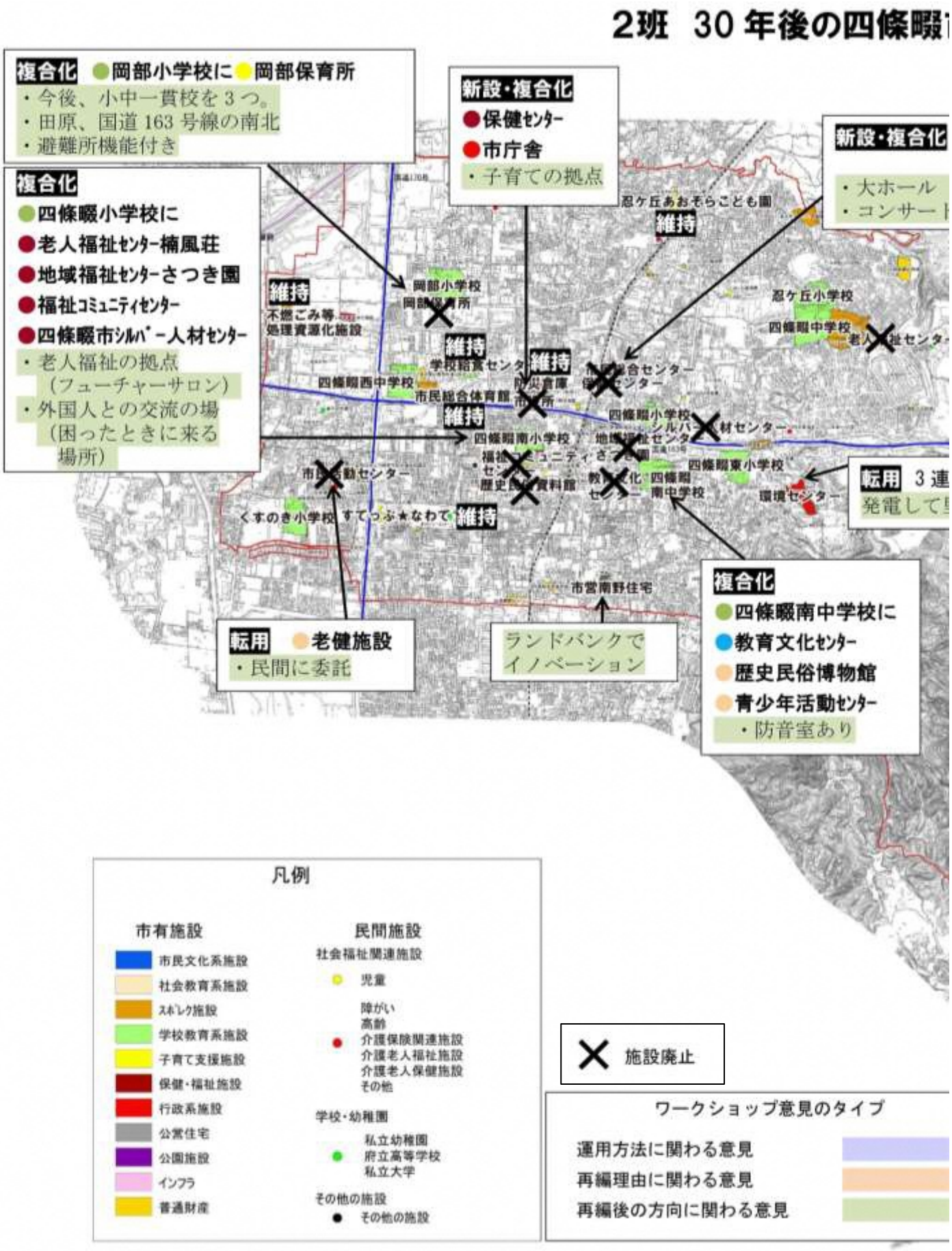
⑦学校教育系施設（小学校、中学校　など）

課題
- 避難所となるのに耐震に不安がある
- 子どもの居場所は子ども達も運営に参加する
- 子どもの意見を取り入れた施設運営
- 情報の共有

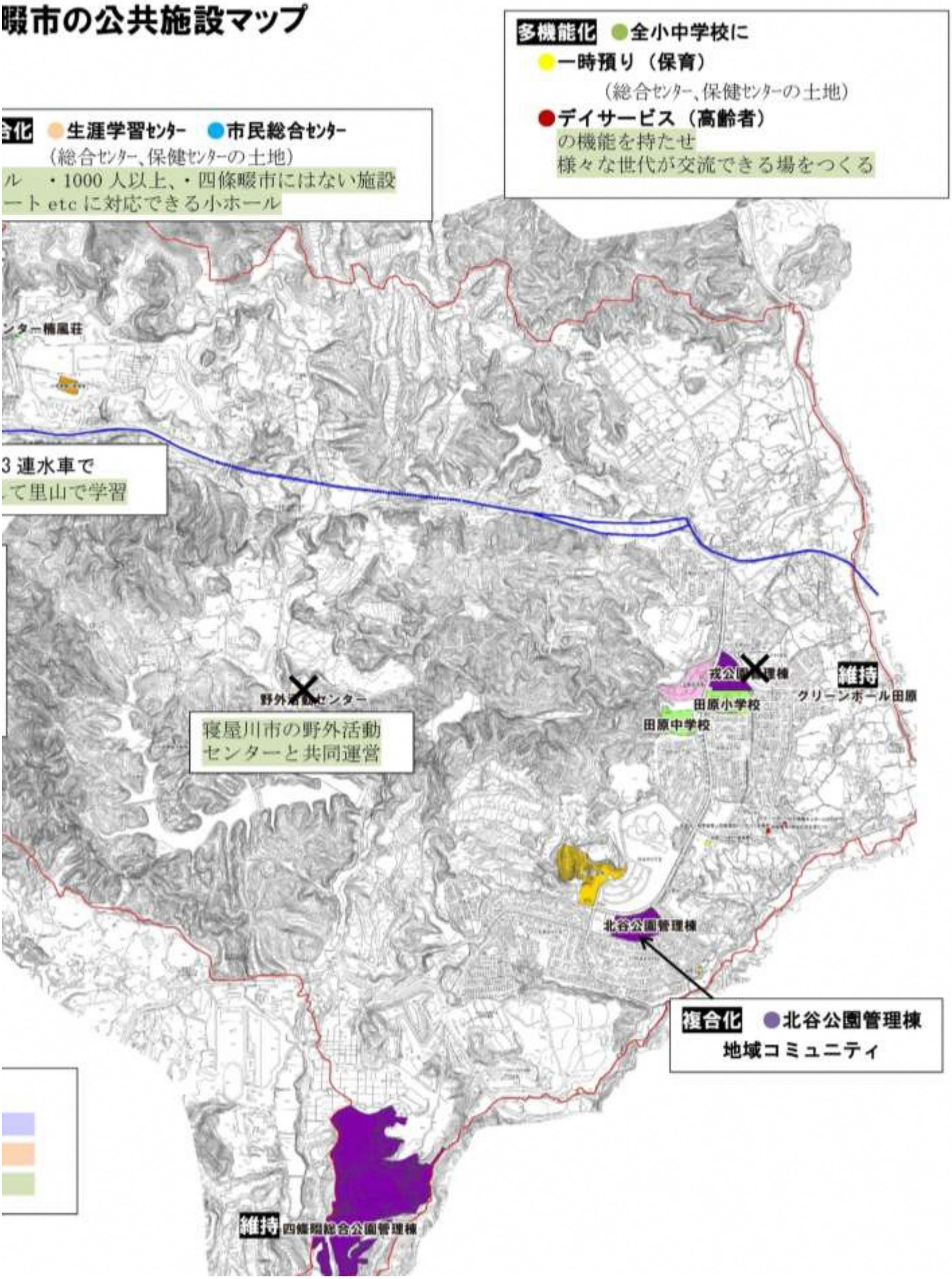
求めるもの
- 体育館にエアコンをつける
- 運動場の一般利用(遊び場)
- 廃校の利用、空き教育室の利用、活用
- 小中一貫校の学校づくり

学校教育系施設のあり方　空き教室を使って世代間や多文化交流の場

- 国道 R163 号線南地域の小中一貫校の建設により、子育てを中心にすえた街づくり
- 放課後も校庭で遊べる学校
- 小学校の校庭開放
- 空き教室を使って世代間交流
- みんなで学校をきれいにする



※本マップは、将来人口や財政収支の見通しを前提とした条件の下で提案された案です。


暖市の公共施設マップ
多機能化 ●全小中学校に
●一時預り（保育）
（総合センター、保健センターの土地）
●デイサービス（高齢者）
の機能を持たせ
様々な世代が交流できる場をつくる
化 ●生涯学習センター ●市民総合センター
（総合センター、保健センターの土地）
ル ・1000 人以上、・四條畷市にはない施設
ート etc に対応できる小ホール
ンター楠風荘
3 連水車で
て里山で学習
野外活動センター
寝屋川市の野外活動
センターと共同運営
田原小学校
田原中学校
維持
クリーンポール田原
北谷公園管理棟
複合化 ●北谷公園管理棟
地域コミュニティ
維持 四條畷総合公園管理棟

①市民文化系・社会教育系・スポーツ・レクリエーション施設

（市民総合センター、野外活動センター、市民総合体育館　など）

課題

- 子どもがボール遊びする場所が少ない。公園ではボール遊び禁止場所が多い
- 子どもの遊び場がない
- コンサートできる場所が少ない
- 総合センターのトイレが古い
- 野外活動センターが遠く行けない
- どの施設に行くのも不便／車がないと行けない

求めるもの

- ボール遊びができる学校の開放が必要と思う。クラブ等に入っていない人でも使える。
- 誇れる文化施設を使ってもらいたい
- ミニコンサートができる場所をつくる
- 総合センター建て替え又は改修

市民文化系施設のあり方

- 自由に使える部屋がない（総合センター）
- 洋式トイレが欲しい
- ゲートボール場が欲しい
- 図書館の本の充実
- シニアの楽園を創ってほしい
- 全ての施設に洋式トイレ化
- 音楽と大笑いの街四條畷を実現したい（角さん、南光さん・・・）
- 大阪ブランドのるつぼをめざす　／ごちゃごちゃの街　／心の通じる暖かい街
- 総合センター耐震／強度がない／早々に施策が必要

社会教育系施設のあり方

- 飯盛城を世界に発信する、確信と覚悟を持って市民一丸となって盛り上げる
- 街ごとシェアハウス／職住・介護・医療・保育・大学、ジム、仮眠、ホテル、病院、保育所
- 観光の目玉を決めて人が来るような施策が必要
- 強い目玉をつくる　天下統一飯盛城の再現など
- 30 年先をゴールに再配置／機能の再設定をすべき
- 日常的に集まれる場所が避難場所であり、ゴミステーションとして

スポーツ･レクリエーション施設のあり方

- 公共施設循環無料バス(将来自動運転 EV に)当面はシニア職員等が運転
- 市活の狙い目的が不明-明確にする／廃校をとりあえず使うために名前をつけている
- おもろい人が多い街／みんなスターのステージを用意
- 環境、教育、ゴミの処理・・・市としての目玉が欲しい

②子育て支援施設（保育所、すてっぷ★なわて　など）

課題

- 時間外でも安心して預かってもらえる施設が無い
- 休日に子どもが病気になっても見てもらえる病院がほしい
- 子どもが病気の場合預かる保育園が少ない。PR が不足している。

求めるもの

- 街のあらゆる場所が子どもの好奇心を満たす場にしたい

子育て支援施設のあり方

- ほんとうに困っているお母さんが相談できるカウンセラーが必要
- 街ごとテーマパーク／街ごと商店街／街ごと学校、どこでも学べる
- 子育て支援：他市よりすぐれているメリットが必要

③保健・福祉施設（老人福祉センター、保健センター　など）

課題

- 福祉活動が地域任せになっている
- 買い物難民の対象が急がれる。高齢化で買い物にいけない。
- 隣近所の人の様子がわからない

求めるもの

- 高齢者と子どもと大学生とサラリーマンと主婦が、みんなふれあえる場所を日常的につくる。

保健・福祉施設のあり方

- スケルトン空間の最重要なインフィルは人間そのもの／社会システムが重要／ハコの中身は人
- 空間と空間を自由自在に稼働できる新方面システム開発　（「てんとう虫」の実証実験）

④行政系施設（市庁舎、グリーンホール田原　など）

課題

- 地域の避難所が少ない
- 避難所が遠い利用できない
- 避難場所の安全快適の確保が必要、耐震性・生活性
- 防災グッズの保管地域に拠点が無い
- 防災訓練の場が少ない（地震の場合・土砂災害の場合）
- 防災無線が聴こえない
- 老朽化で危険な空間の建て替えをどうするか

求めるもの

- 無駄のない空間利用(施設＋新設)
- 30 年先の市の姿を考えて 30 年間の施設計画を立てる
- 公共建築物をタテ割の整備、維持管理でなく横通しのフレキシブルなアイディアで再配置
- スケルトン、フレキシブル、楽しく安全で
- 四條畷神社の鳥居のシンボルが消えた。代替のシンボルを建てよう。
- ゴミを市内で完全処分を目指す
- 公営リサイクルセンターの設立(県営の地域の民間で実施)

行政系施設のあり方

- 街ごとシェア：空間は固定だが遊ばせずフル稼働に活用すべし
- 市役所の機能別に窓口が違うので市民に判りやすくしてほしい
- 買いもの難民が増加する／具体的な方策が必要
- シルバーの力で他市から視察が来るような取り組みを・・・
- 消防団の役割が不明／見直し時期ではないか
- 全員消防団！　大規模広域災害へのサバイバル方法はこれしかない！
- 全ての公共施設を防災センターの一部として配置すべき
- 市の中で防災倉庫を管理する場所を設定すべき／どこにどれだけあるかわからない
- 防災サバイバル都市、キャンプ生活、市民必須マスター
- 防災は自主ではなく『公』で
- 防災無線聞こえない　防災無線の音量、サイレン、聞こえることが大切
- 地域ごとに避難所を決める
- 南海地震に対応する避難所

⑤公園施設（戎公園管理棟　など）

課題

- 公園トイレがあるところにはイタズラがある
- 市民が憩える公園が少ない

求めるもの

- 日常的に活用頻度の高い公園と公園管理棟を再整備する

公園施設のあり方

- 山が荒れはてている。山の管理する専門者が必要。
- ハイキングコースが荒れている。管理の人が必要。
- 歴史をかえる天下統一のシンボル／飯盛山にリフトを（スキー場とかのお下がり）
- 西部地区のど真ん中に大多目的広場を
- 空地の開発
- 大盆踊り大会の開催
- お祭りの統一：一発大きいのを天神祭か祇園祭りか飯盛祭りか

⑥公営住宅（市営南野住宅）

課題

- 今後どうするのですか？
- 必要？

求めるもの

- スケルトン構造にし、広く公募し、新たな需要に応える

公営住宅のあり方

- 入居できる市営住宅がない／必要な人が入れる市営住宅を作る
- たち退き後、売却

⑦学校教育系施設（小学校、中学校　など）

課題

- トイレ問題（地域の運動会で高齢者が利用する際、和式トイレが使い辛い人がいる。）
- 四條畷市で誇れる特色のある学校を検討すべき。人材削減で統合再編すべきではないと思う。
- 他地域から四條畷に住みたいと思われるような教育環境の整備してもらいたい。

求めるもの

- 偏差値が上がる教育レベルの向上。先生の質向上。
- 他市・近隣の学校見学会
- 小中一貫校の検討
- 体育館のトイレを洋式にしてほしい
- 通学路の安心・安全問題は再討論が必要

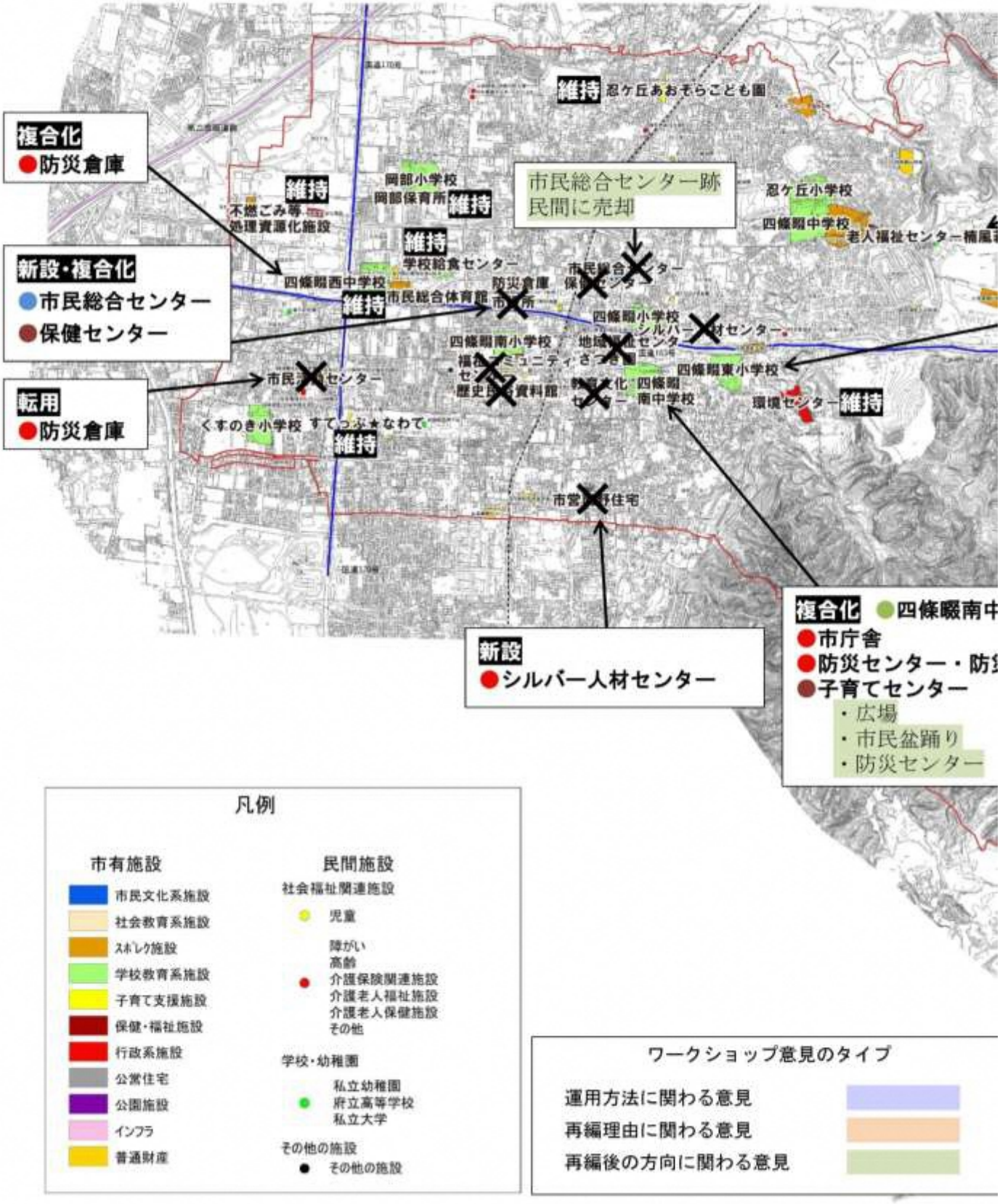
学校教育施設のあり方

- 子ども達がいじめられていることを相談できる場所、カウンセラーが常時受け入れできる
- まちの中心に大・小中学校を１つつくり、快適おもしろスクールバスで通学する
- 電通大の開放（立命茨木は市と学校がうまくやってる）
- 市民総合センター、市民総合体育館、教育文化センター、市庁舎、歴史民俗資料館を１か所に！

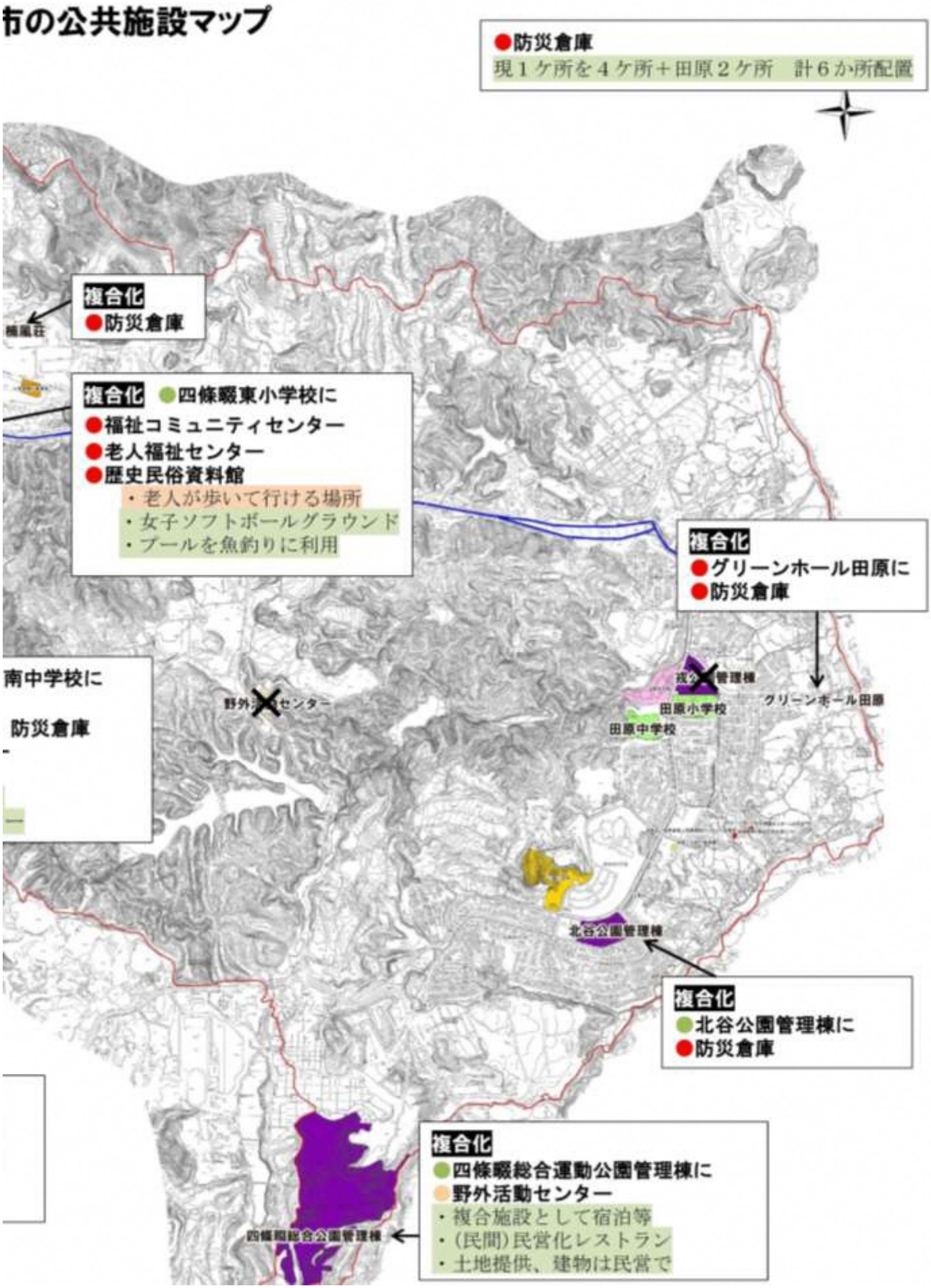
3班の公共施設のあり方を考える9つのテーマ

防災	人命を救う施設(公共建築物)であることをしっかり認識 しっかり伝えられる大スピーカー、サイレン、高台(海抜 15m～)
空施設	稼働率の高い施設、集約化・複合化・多目的
子どもの視点	街ごとテーマパーク／どこでも学べる、子どもが楽しめる おもしろい人のフル活用
高齢者	65 歳以上の人が活き活きできる場所を多数つくる 魚釣りのできるプールの開設
公共交通	Maas（マース）・交通革命 (自動運転、空飛ぶ自動車・・・市域をスミズミまで使える革命)
文化自然	飯盛山にモノレールで登れるようにして山上をにぎやかに！ 室池の水際を楽しくする
サッカーチーム	総合運動公園を活かした、街のヒーローの創出・市民の選手!(J3→J2→J1!)
大小中学校	大小中学での街ごとおまつり会場にも活用
広場	税優遇により空家解体後の土地を広場にして市民でメンテナンスする楽しい場所に

3班　30年後の四條畷市の



市の公共施設マップ


●防災倉庫
現１ケ所を４ケ所＋田原２ケ所　計６か所配置
複合化
●防災倉庫
複合化　●四條畷東小学校に
●福祉コミュニティセンター
●老人福祉センター
●歴史民俗資料館
・老人が歩いて行ける場所
・女子ソフトボールグラウンド
・プールを魚釣りに利用
複合化
●グリーンホール田原に
●防災倉庫
南中学校に
防災倉庫
田原小学校
田原中学校
グリーンホール田原
北谷公園管理棟
複合化
●北谷公園管理棟に
●防災倉庫
複合化
●四條畷総合運動公園管理棟に
●野外活動センター
・複合施設として宿泊等
・(民間)民営化レストラン
・土地提供、建物は民営で
四條畷総合公園管理棟

①市民文化系・社会教育系・スポーツ・レクリエーション施設
（市民総合センター、野外活動センター、市民総合体育館　など）

課題

- 文化に触れる場所が四條畷にはあまりない。
- (スポーツ)子ども達が思いきり遊べる空間がない
- 市民総合センターのホールのあり方（小ホール必要）
- 利用率を上げることを考えていない
- 北谷公園・駐車場の台数・制限が少ない
- 野外活動センター：素晴らしい活動内容なのに施設は貧弱で使いにくい
- 学生が活動できる施設というのは数少ない／特に文化施設

求めるもの

- 大きなホール１か所だけでなく小規模な文化施設が数多く欲しい
- 均等分散と集約化
- 若い人が参加できるイベントを増やす
- 中学スポーツ団体の増加
- 洋式トイレ各施設

市民文化系施設のあり方　文化活動運営の充実

- 教育文化センター：学力向上の事業
- 市民総合センター：学校の集約化
- 気軽に文化活動ができるセンター
- 文化意識を高める工夫する
- 市民総合センター、教育文化センター：建て替えし、文化系センターに
- 教育文化センター：子育て世代に対して充実した事業を増やし、更に情報発信の強化
- すべての世代が利用できる施設を求める
- 市民総合センター：施設内では無料 wifi、市民が集いやすい Café
- 教育文化センターは公民館に移行できないか？（教育文化センターは廃止）
- 市民総合センター：シニアが活躍できる場所を設置し、シルバー人材センターの廃止(事務所・移転)
- 市民総合センターは今の配置で良い
- 各世代交流の場として市民総合センターを建て替えて点在する公共施設を集約、駅も近く市の中心になりうるのではないか

社会教育系施設あり方　活動内容は充実しているが建物が難あり！／キャンプ等が出来る様に

- 統廃合したところへ歴史民俗資料館を移設する／南小、東小
- 市の歴史を学べる施設に（民俗資料館）
- 歴史民俗資料館は施設に観光バス・乗用車の駐車場確保、市外の方にも観てもらう
- 野外活動センターを広げ、小川を造る／宿泊施設を新設したらペイするか？／野外活動センターは名称の変更してキャンプ場として充実させれば利用者が増えるのでは？
- 歴史民俗資料館は移設→スペースの拡大／廃校校庭を使うか？⇒歴史資料館は史跡があり、現場所でないと意味がない
- 全ての世代において歴史民俗資料館は必要であるが場所が悪い／市民総合センターへの集約施設の１つだと思う
- 歴史資料館、野外活動センター各々1 つで良い

スポーツ・レクリエーション施設のあり方　メンテナンスが必要／PR が足りない

- 市民総合体育館は必要（メンテナンス要）　市民総合体育館の配置は現状のまま
- 市民活動センターは不要

②子育て支援施設　（保育所、すてっぷ★なわて　など）

課題
- 行政の支援は良くできているように感じる
- 計画的に建設されていない？
- 子ども達が思いっきり遊べる場所が無い

求めるもの
- 地域のつながりを深めた地域ぐるみの子育てを！
- 地域分散化とキャパのバランス感
- 子どもが遊べる場所

子育て支援施設のあり方　子ども数に応じて迅速に対応出来る様にしてほしい

- 市民プールをつくってほしい／子育て支援のため
- “待機児童 0”を確保する
- 市駅近辺にバランス良く、保育所・認定こども園を配置する？

③保健・福祉施設　（老人福祉センター、保健センター　など）

課題
- 福祉施設の配置バランスは妥当か？
- 保健所　市と府のダブルスタンダード

求めるもの
- 行政庁舎に含め集約化
- 福祉の在宅に外出できない人の移送してあげる交通(車）を市として考えてほしい。

保健・福祉施設のあり方　効果的な配置

- シニアが気軽に通える地理的に便利な施設があれば！
- 福祉センターの機能・中身の明確化・市民 PR
- 地理的にバランスを考慮した配置
- 現在の場所での楠風荘は廃止　⇒　楠風荘は廃止しにくい。別の第二楠風荘を作る

④行政系施設　（市庁舎、グリーンホール田原　など）

課題

- 市庁舎が古い(除く田原)

求めるもの

- 行政庁舎の統合(田原は現状)
- 防災マップを考慮した施設づくり
- 生活ゴミのステーション化(例：生駒市)
- 防災のためにも用水路を道路として埋め立てて欲しい。通学路を広くしてほしい。

行政系施設のあり方　必要あり、充実させていく／放送全域に聞こえるように／土砂災害対策

- 市民の総合病院をつくってほしい
- 市庁舎の建替え／レストラン（商工会）
- １つの建物の中でいろんな活動が出来る様になれば！
  子育ても、老人も、学生も、みんなが集まれる場所に
- 学校統廃合で使えなくなった学校は総合コミュニティーセンターにして全ての世代の市民が使える場所に
- 防災無線が全域に行きわたること！
- 土砂災害危険区域の対策推進

⑤公園施設　（戎公園管理棟　など）

課題

- 立派な公園なのに利用率が悪い場所が悪い
- 総合公園の場所に不満
- 総合公園の認知度が低い

求めるもの

- 総合公園にお金かけない(売却)
- 街の中心に公園をつくる

公園施設のあり方　効果的な配置、子ども達が気軽に使える所に

- 子ども達が歩いて通える場所に、住宅地の近くに欲しい
- 総合公園不要　／　総合公園は転売
- 総合公園を利用しやすい場所に（例：廃校敷地)

⑥公営住宅　（市営南野住宅）

課題
- 公営住宅の存在を知らない

求めるもの
- 空家利用して地域の交流の場に
- 民間力を活用されているか？空き家の増加
- 公営住宅は手放す　UR に移行

公営住宅のあり方　将来廃止

- 市営住宅は必要ない　空き室対策に予算をあてるべき
- 市営住宅は無くしていく方法を

⑦学校教育　（小学校、中学校　など）

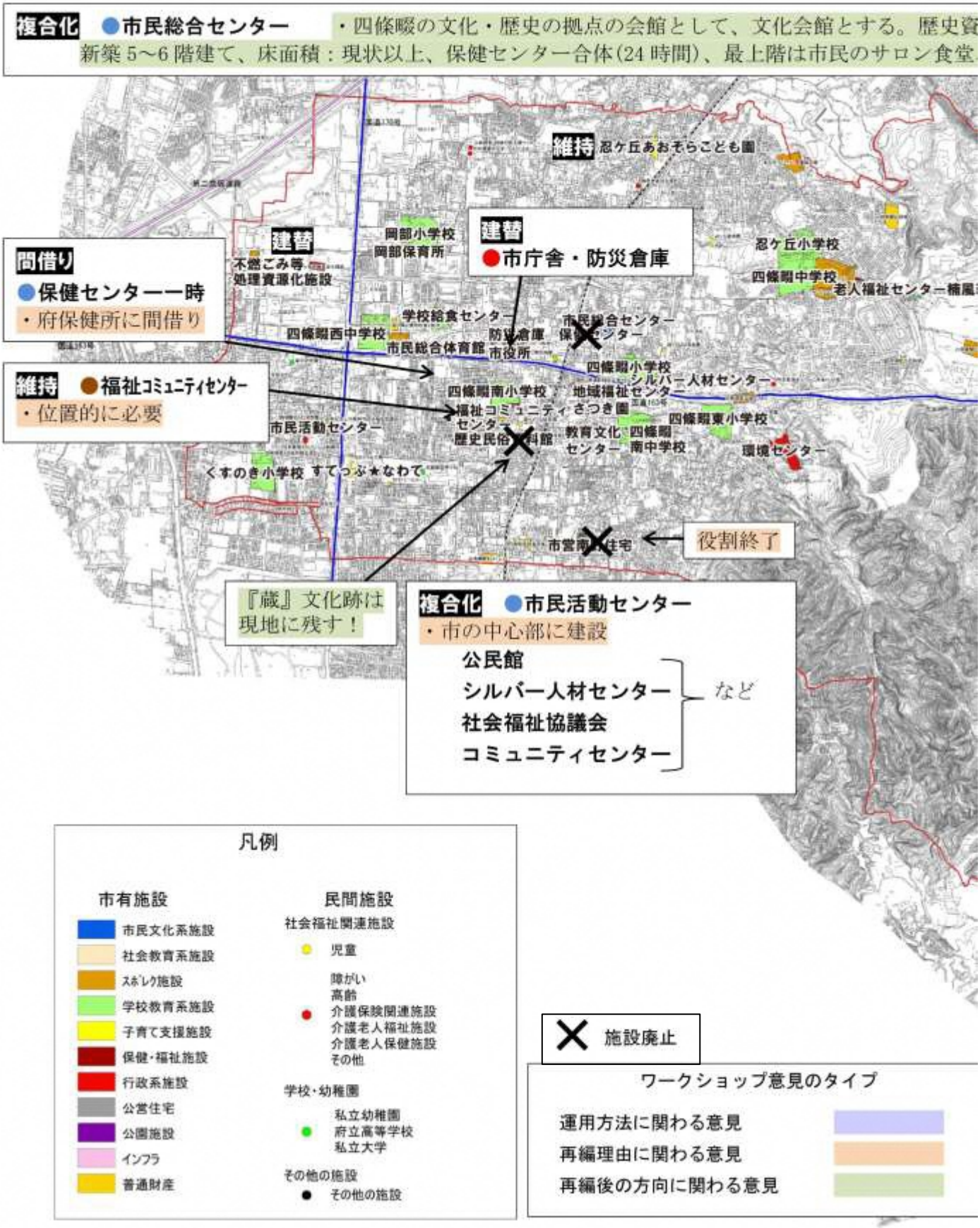
課題
- 市の端に施設がありすぎる
- 校区情報(現在)
- 校区割で地区が分散される
- 中学から私立に増えている(少子化対策)

求めるもの
- 小学校において人口減少で子どもが少なくなるので小学校を統廃合、南・東小学校を 1 校に
- 学校統合された後の建物を地域の交流の場に開放して欲しい
- 整理統合とユニークな学校施設(小中一貫校)

学校教育系施設のあり方　廃校の校舎は多目的なコミュニティの場に／売却不可／充実してほしい（給食センター）

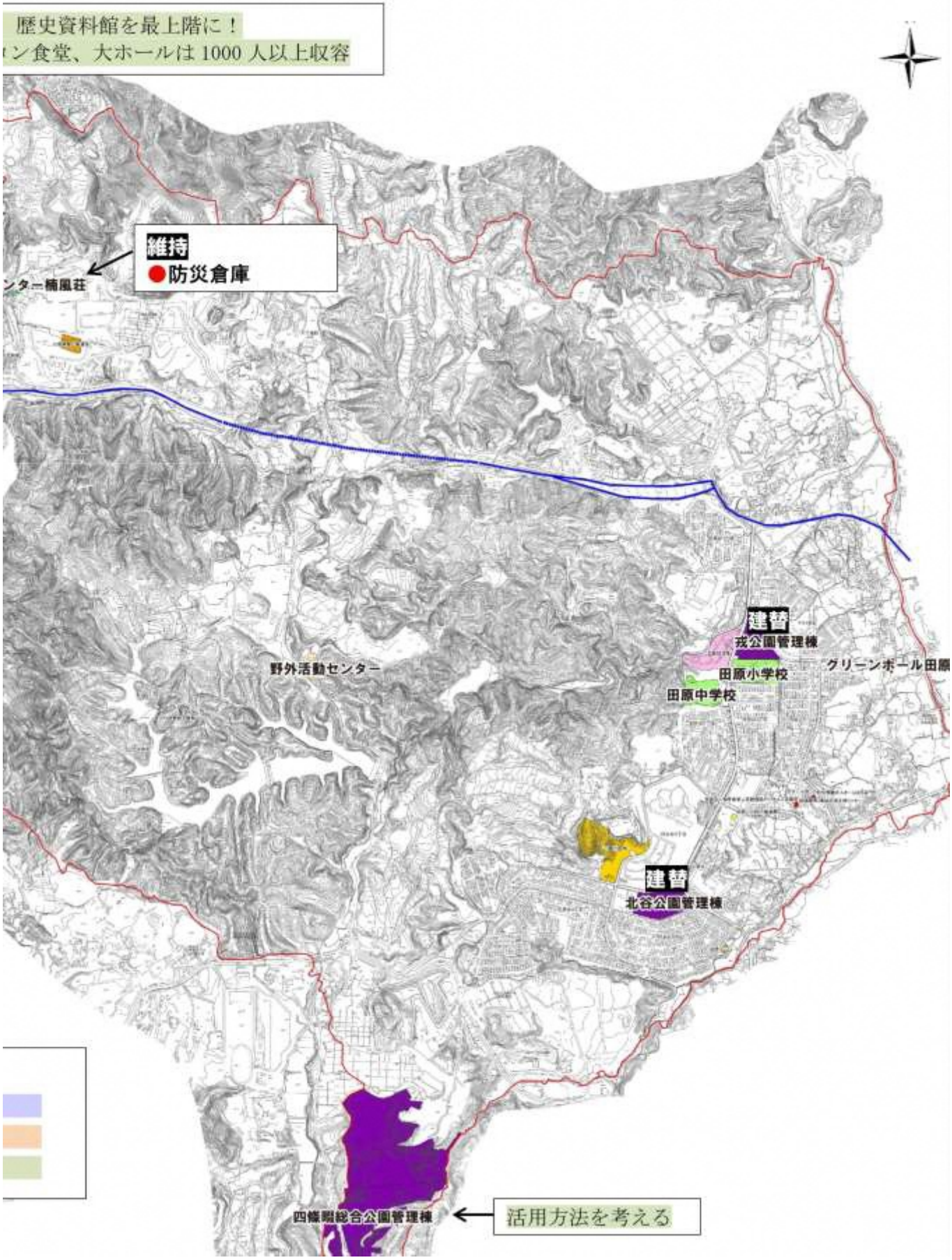
- 学校→廃校の場合、福祉施設へ
- 総合センターは現状、メンテナンス

4班　30 年後の四條畷市の



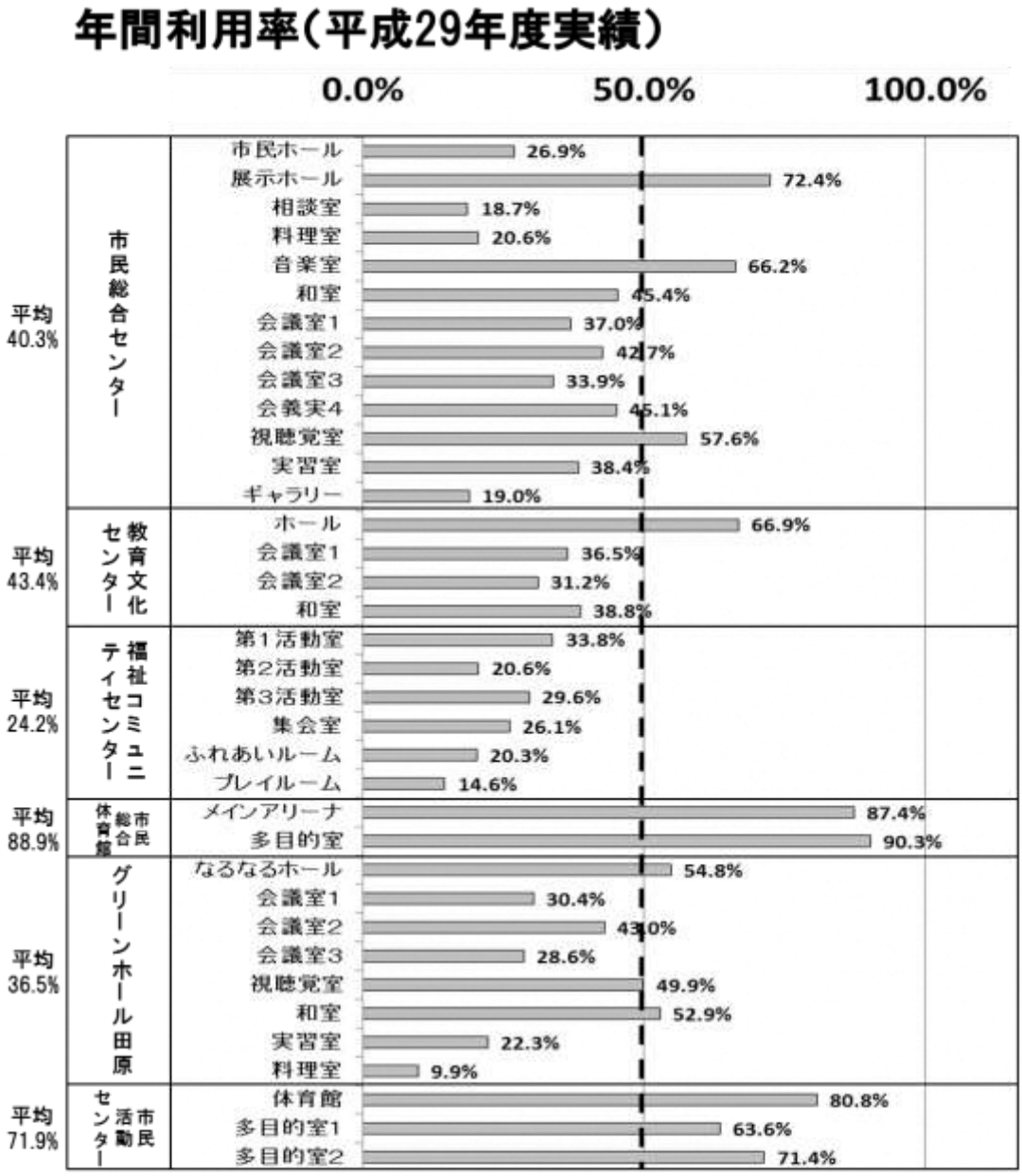
※本マップは、将来人口や財政収支の見通しを前提とした条件の下で提案された案です。

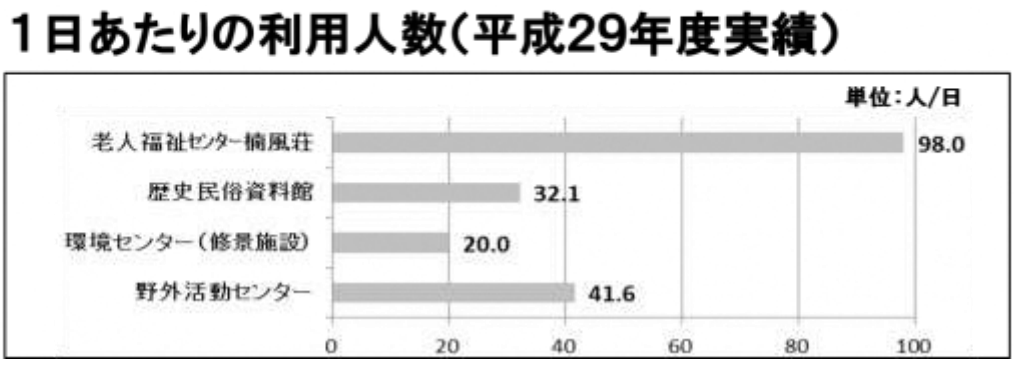
瞰市の公共施設マップ


歴史資料館を最上階に！
ン食堂、大ホールは 1000 人以上収容
維持
●防災倉庫
ンター楠風荘
野外活動センター
建替
戎公園管理棟
田原小学校
田原中学校
グリーンポール田原
建替
北谷公園管理棟
四條畷総合公園管理棟
活用方法を考える

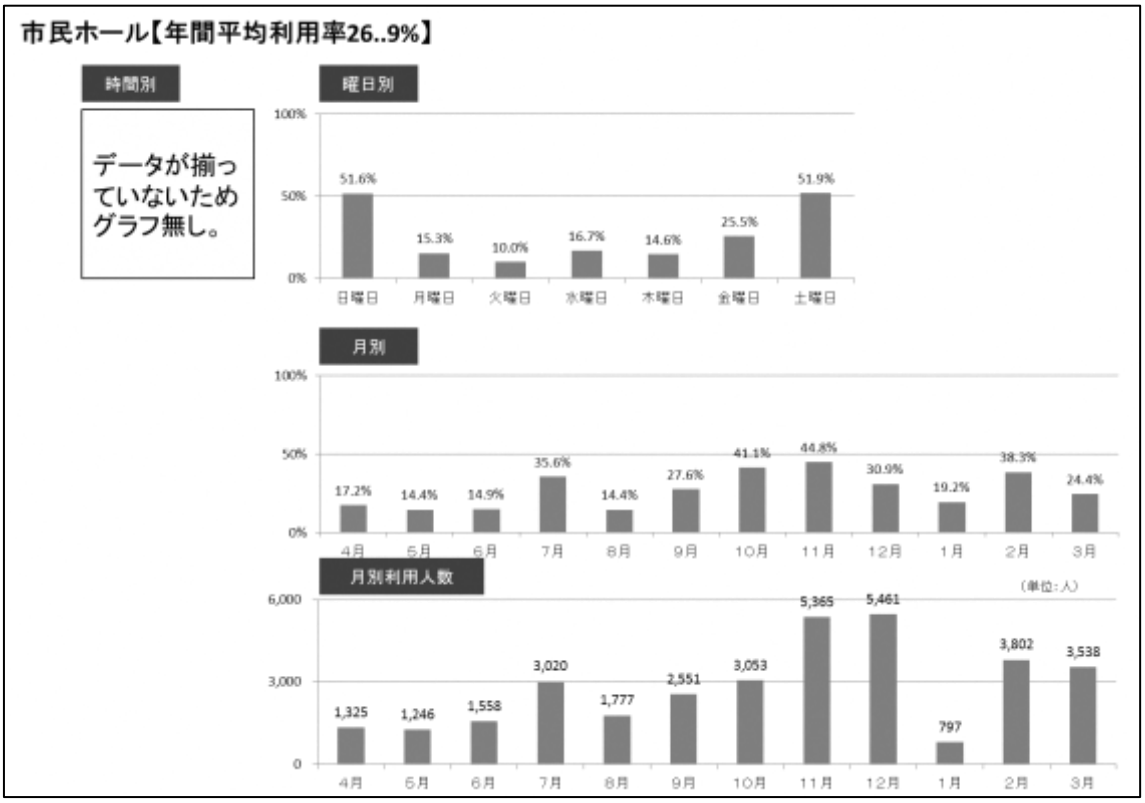
８ 利用率（平成２９年度実績）

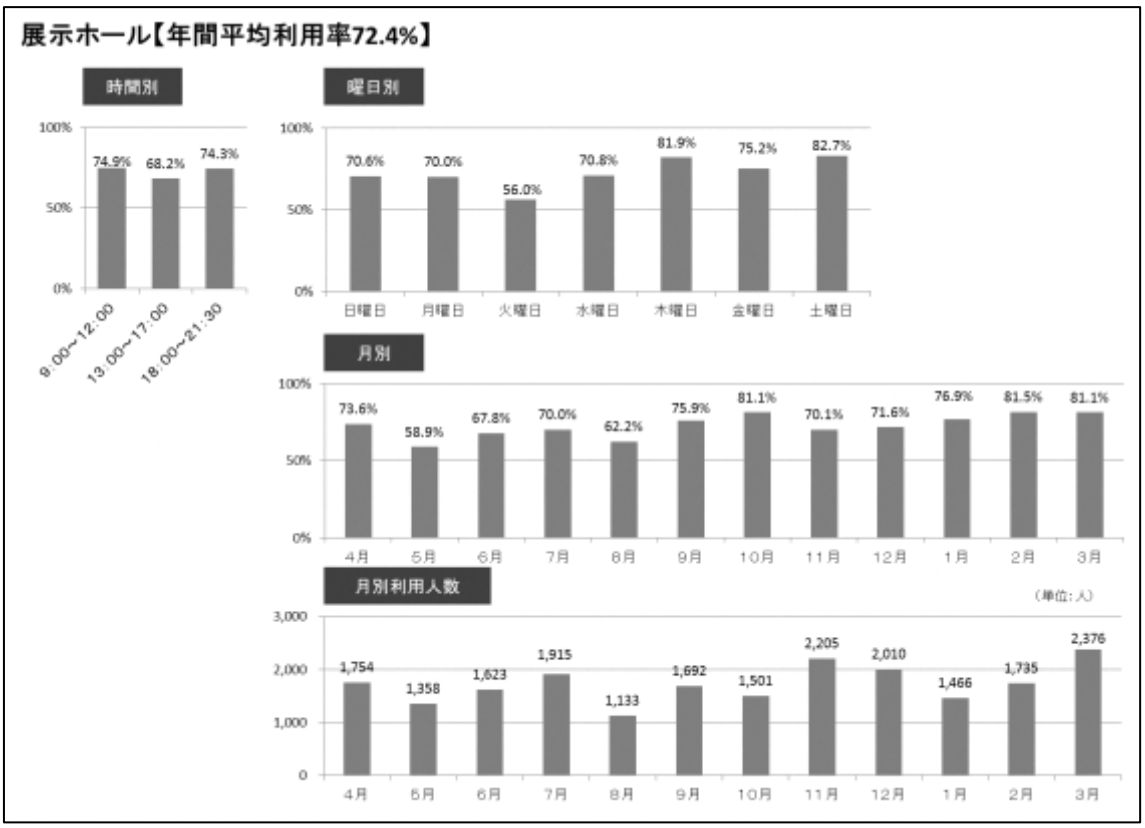
平成２９年度における各施設の年間利用率と利用率を算定できない施設は一日あたりの利用人数を示しています。市民総合体育館や市民活動センターの年間平均利用率は高いものの、５割に満たない施設が複数存在しています。

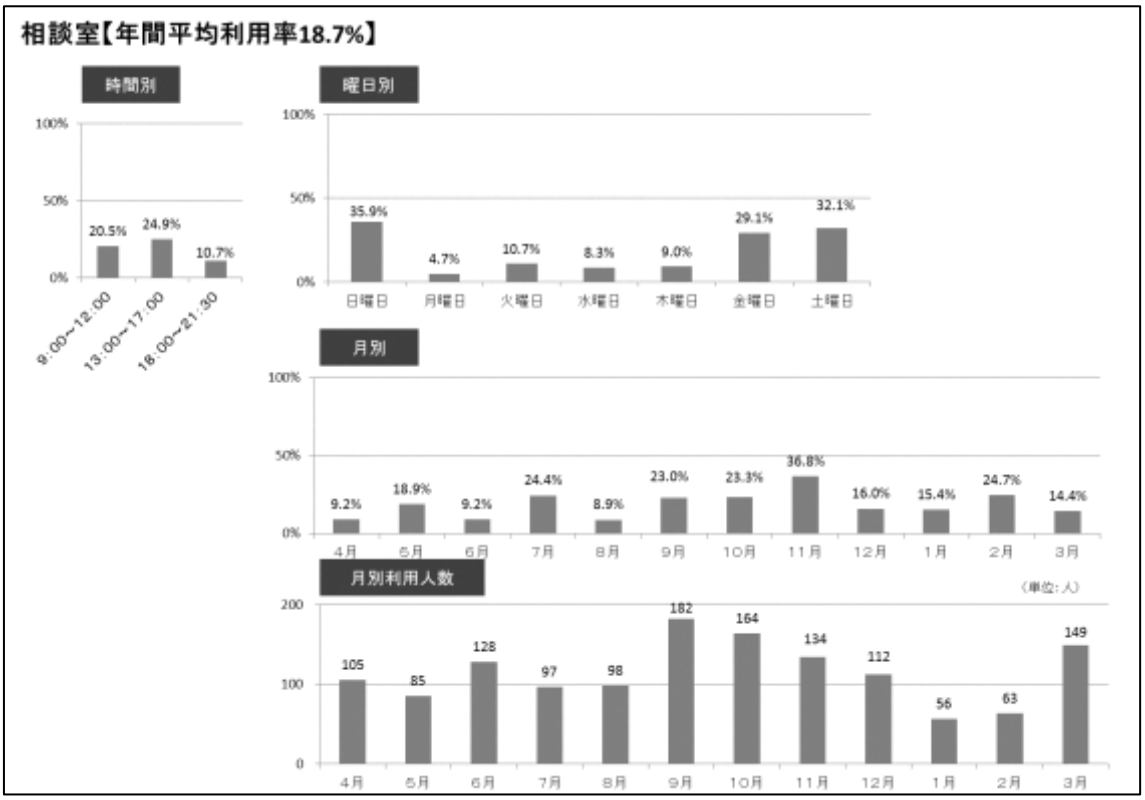


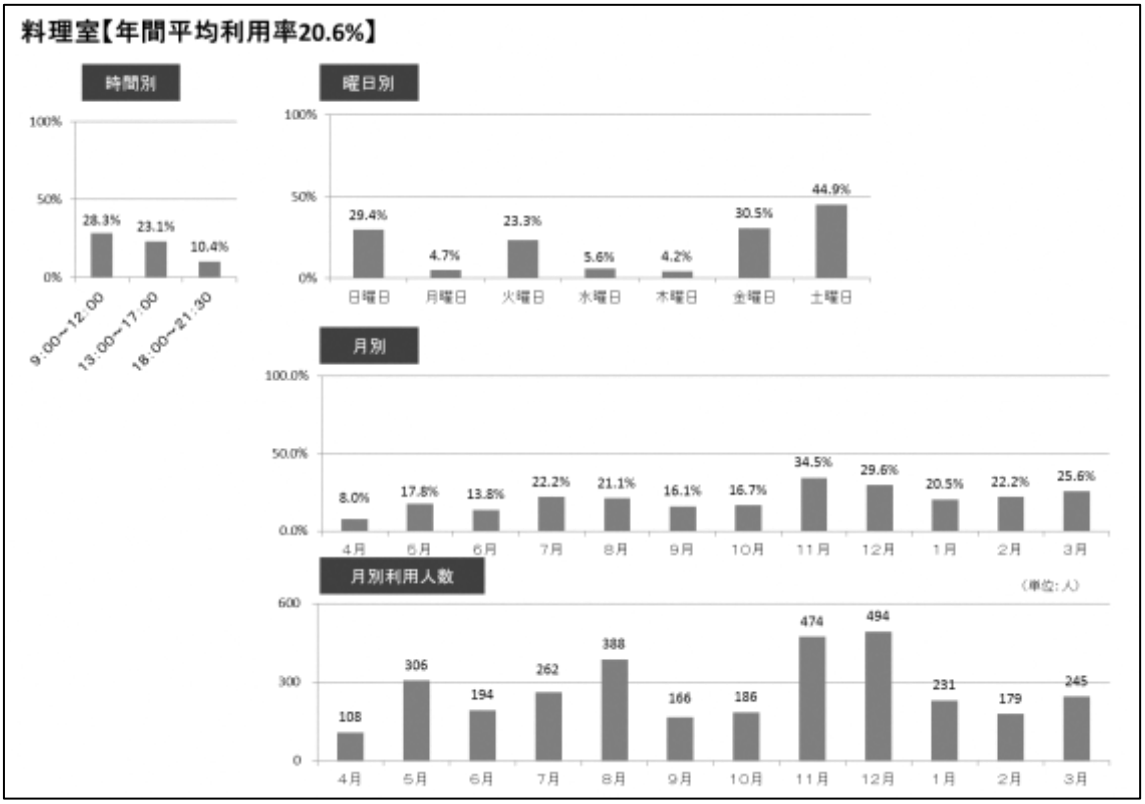


（１）市民総合センター　【年間平均利用率 40.3%】

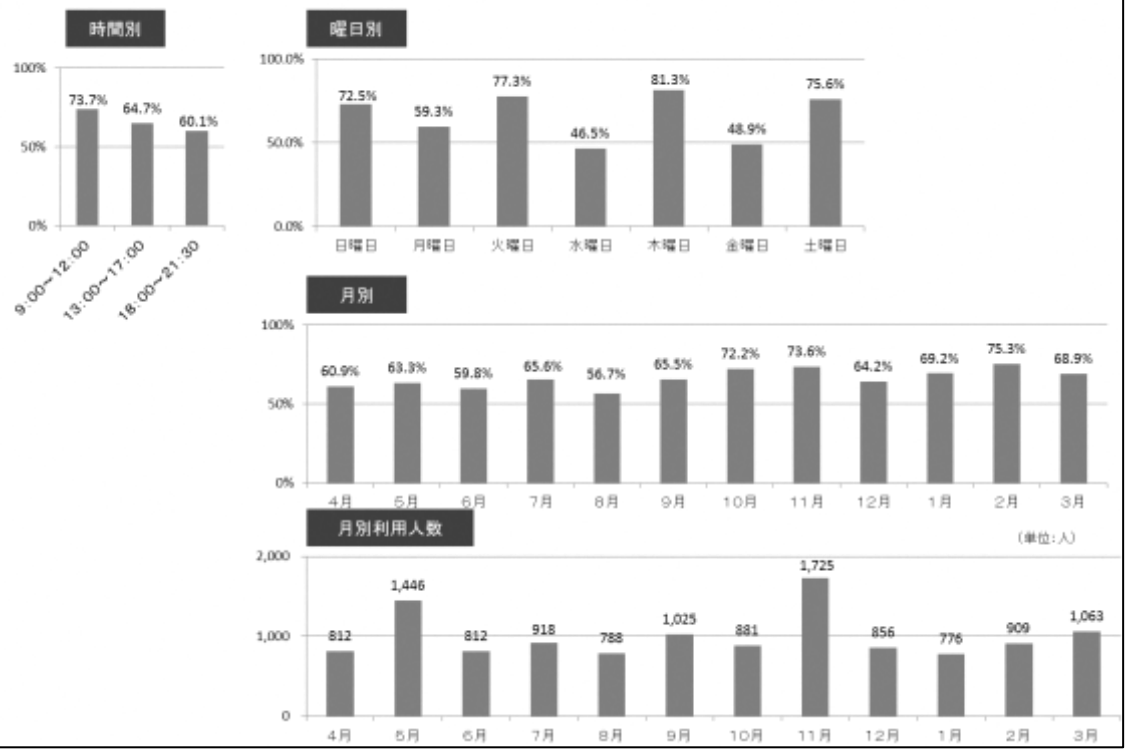




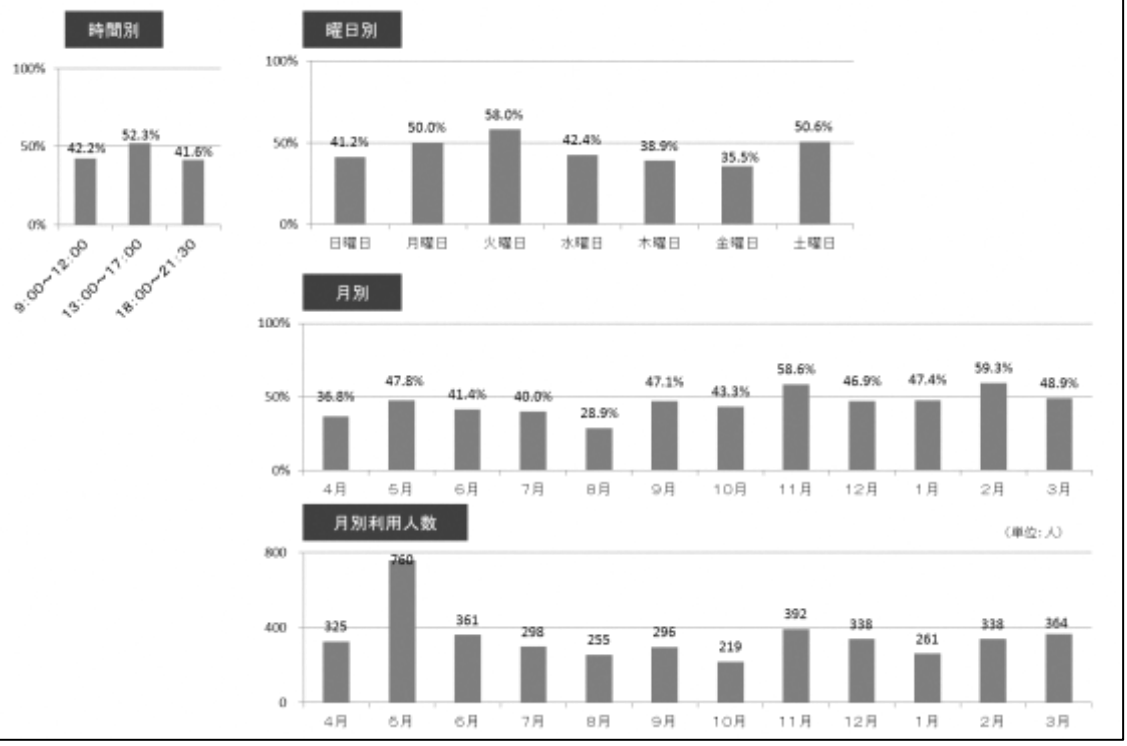

相談室【年間平均利用率18.7%】
時間別
100%
50%
0%
20.5%
24.9%
10.7%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
35.9%
4.7%
10.7%
8.3%
9.0%
29.1%
32.1%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
9.2%
18.9%
9.2%
24.4%
8.9%
23.0%
23.3%
36.8%
16.0%
15.4%
24.7%
14.4%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
200
100
0
105
85
128
97
98
182
164
134
112
56
63
149

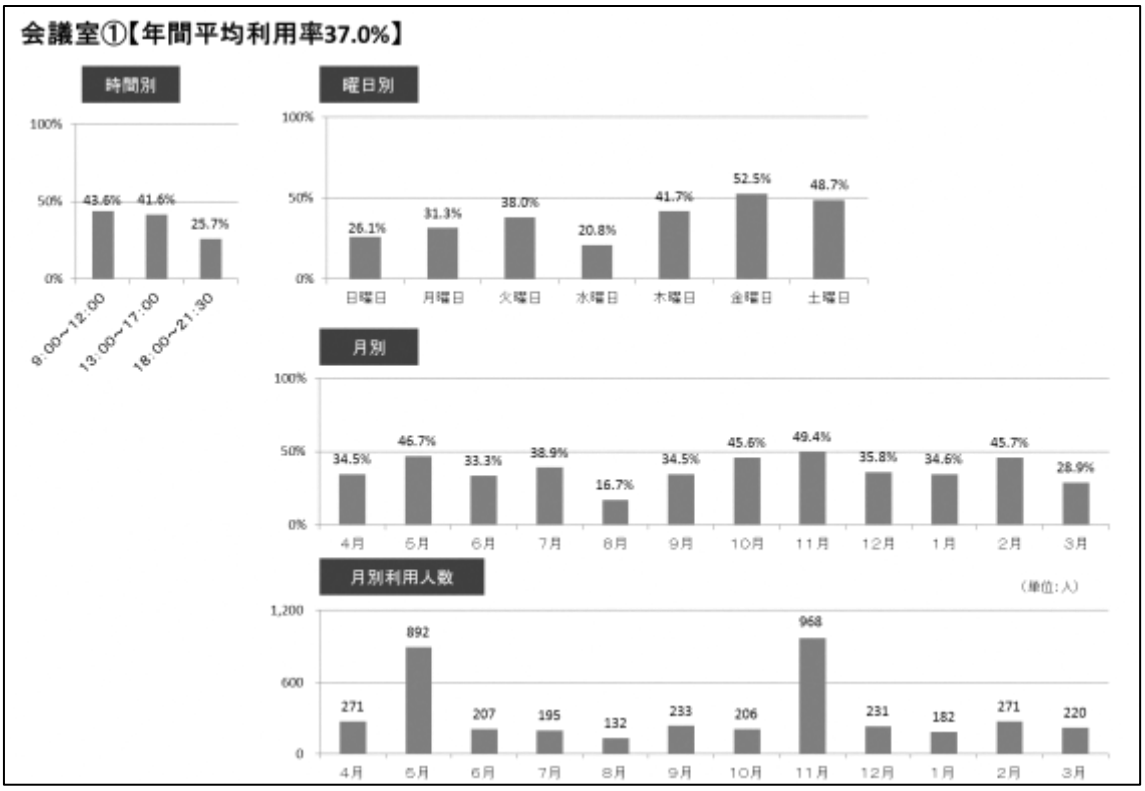

料理室【年間平均利用率20.6%】
時間別
100%
50%
0%
28.3%
23.1%
10.4%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
29.4%
4.7%
23.3%
5.6%
4.2%
30.5%
44.9%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
100.0%
50.0%
0.0%
8.0%
17.8%
13.8%
22.2%
21.1%
16.1%
16.7%
34.5%
29.6%
20.5%
22.2%
25.6%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
600
300
0
108
306
194
262
388
166
186
474
494
231
179
245

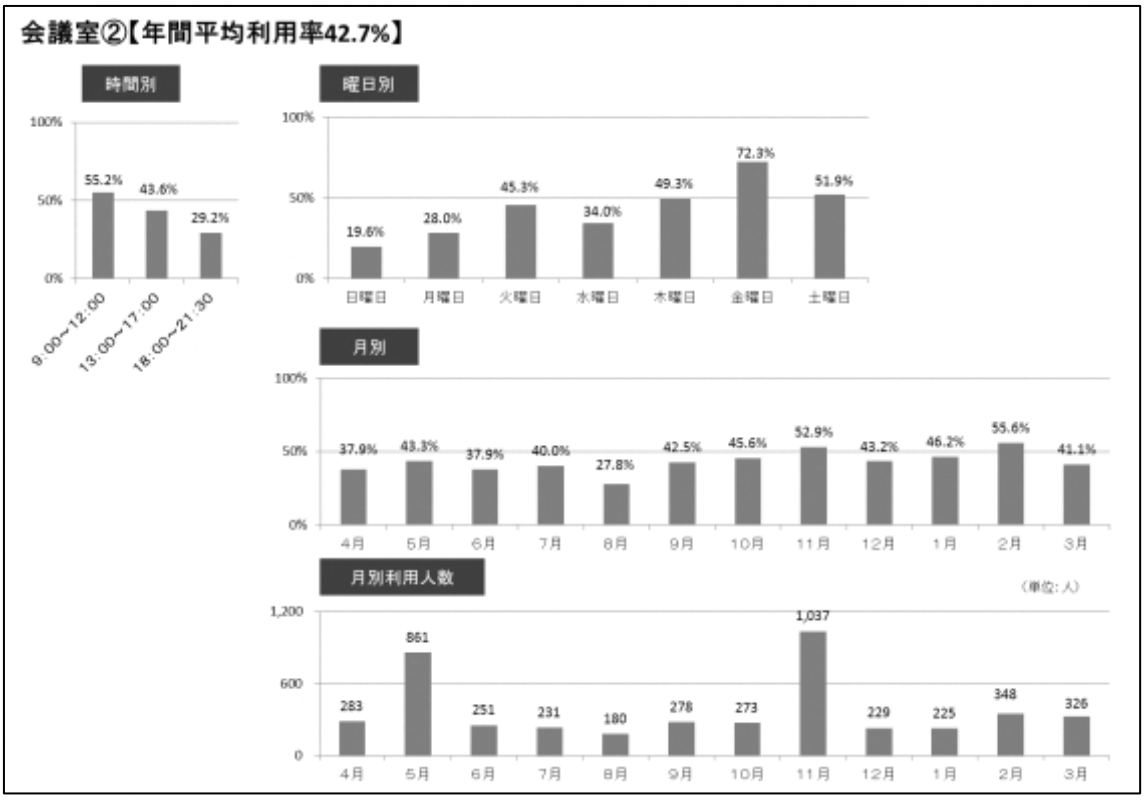
音楽室【年間平均利用率66.2%】

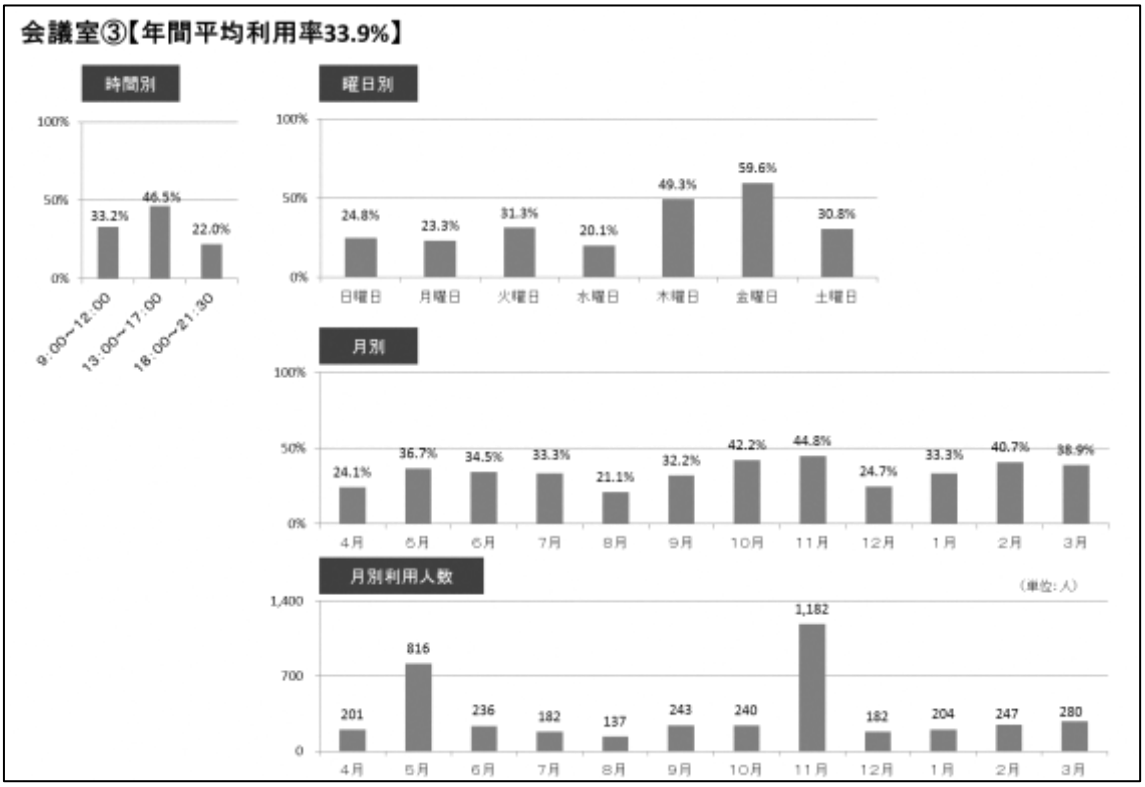


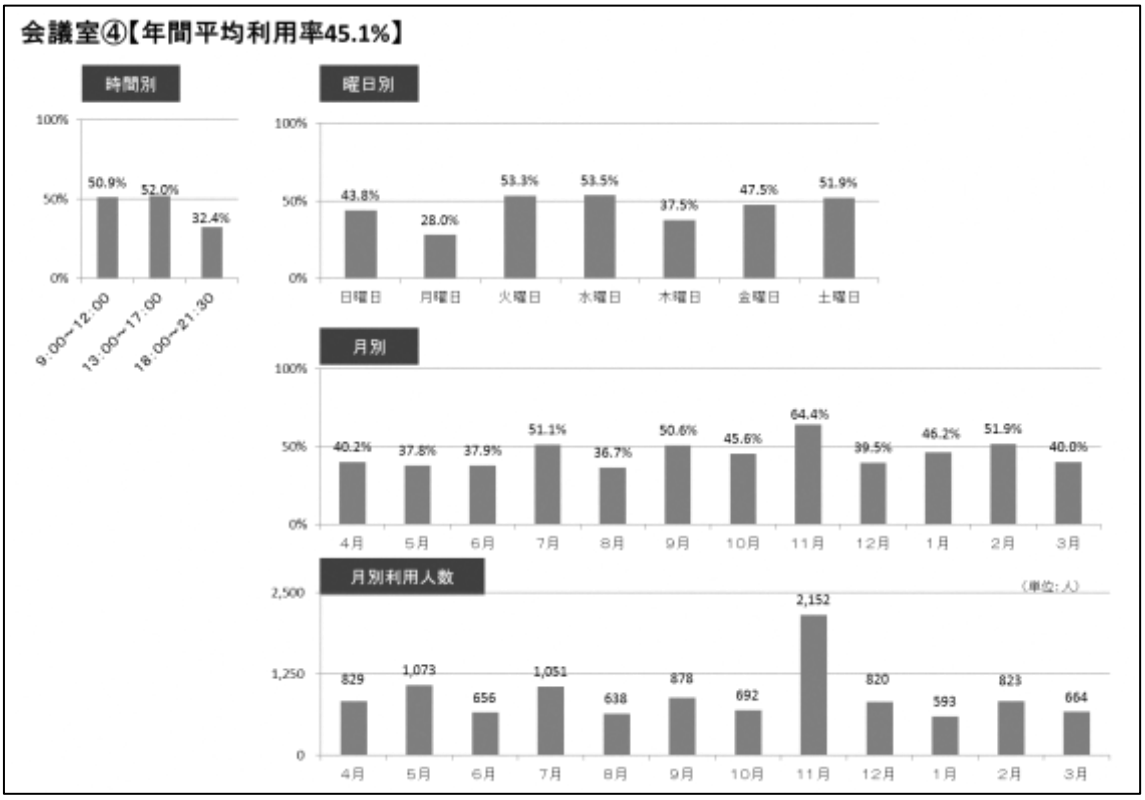
和室【年間平均利用率45.4%】

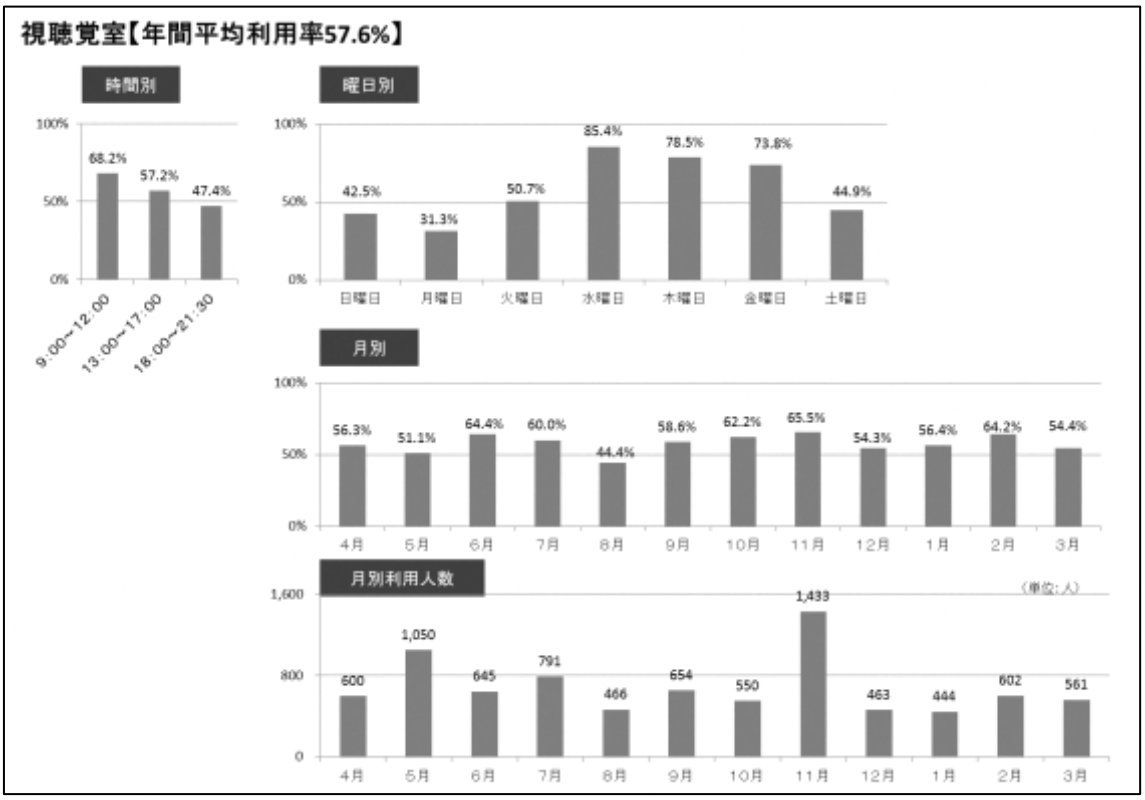


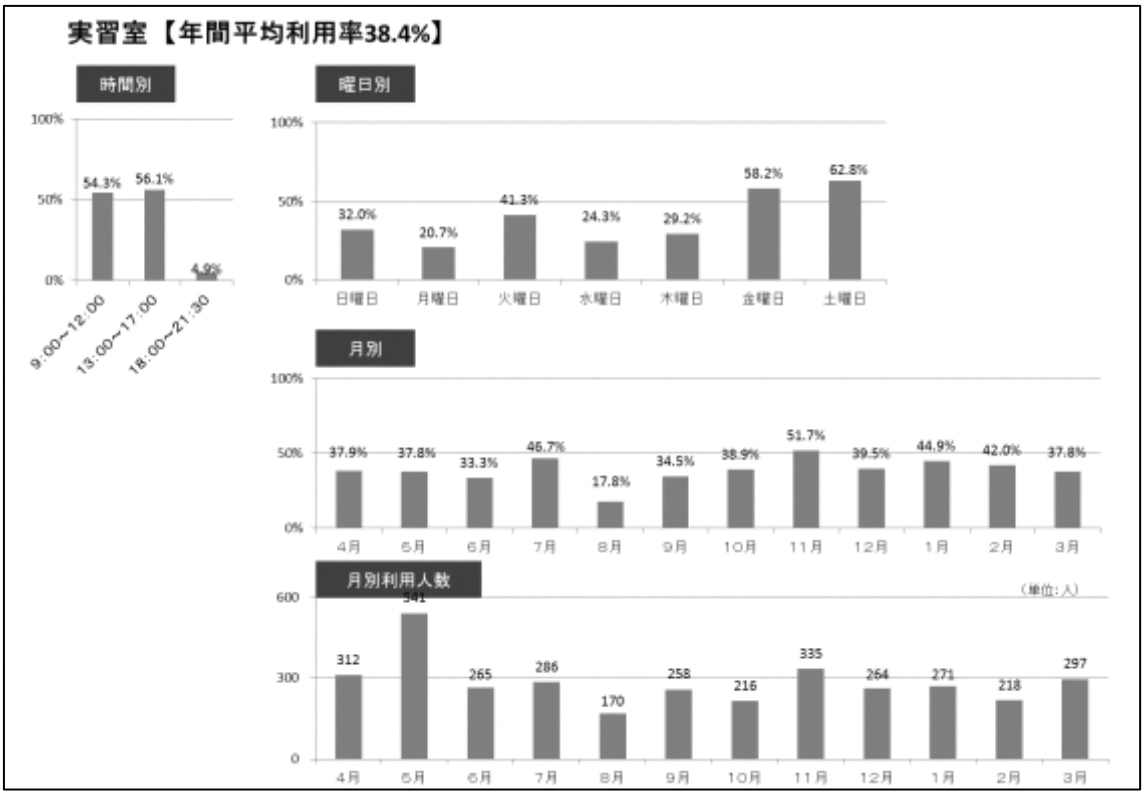

会議室①【年間平均利用率37.0%】
時間別
100%
50%
0%
43.6%
41.6%
25.7%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
26.1%
31.3%
38.0%
20.8%
41.7%
52.5%
48.7%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
34.5%
46.7%
33.3%
38.9%
16.7%
34.5%
45.6%
49.4%
35.8%
34.6%
45.7%
28.9%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
（単位：人）
1,200
600
0
271
892
207
195
132
233
206
968
231
182
271
220

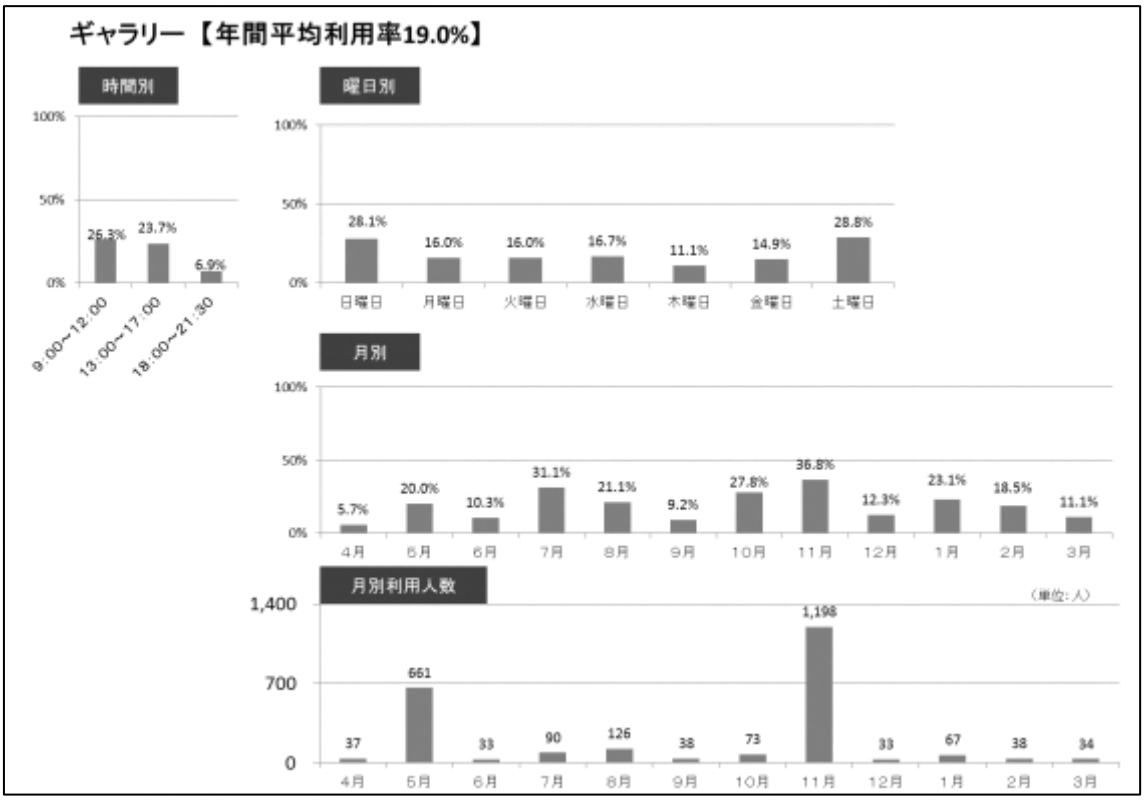

会議室②【年間平均利用率42.7%】
時間別
100%
50%
0%
55.2%
43.6%
29.2%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
19.6%
28.0%
45.3%
34.0%
49.3%
72.3%
51.9%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
37.9%
43.3%
37.9%
40.0%
27.8%
42.5%
45.6%
52.9%
43.2%
46.2%
55.6%
41.1%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
（単位：人）
1,200
600
0
283
861
251
231
180
278
273
1,037
229
225
348
326


会議室③【年間平均利用率33.9%】
時間別
100%
50%
0%
33.2%
46.5%
22.0%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
24.8%
23.3%
31.3%
20.1%
49.3%
59.6%
30.8%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
24.1%
36.7%
34.5%
33.3%
21.1%
32.2%
42.2%
44.8%
24.7%
33.3%
40.7%
38.9%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
1,400
700
0
201
816
236
182
137
243
240
1,182
182
204
247
280

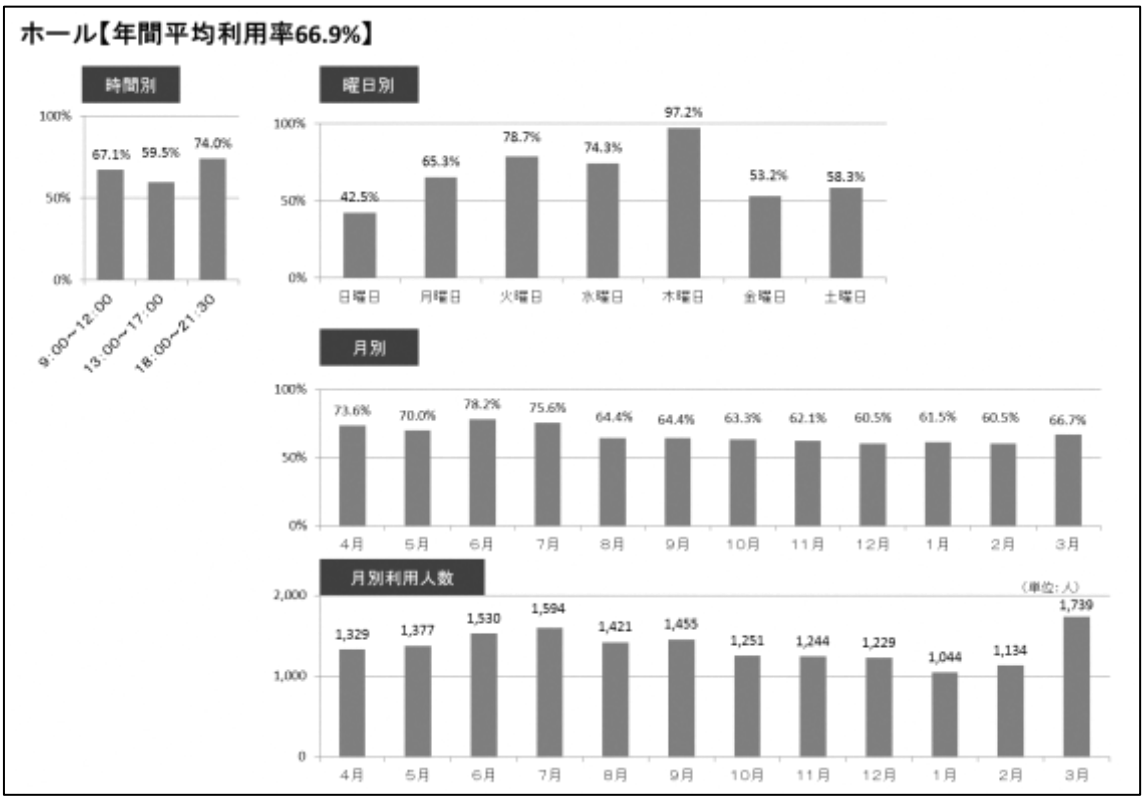

会議室④【年間平均利用率45.1%】
時間別
100%
50%
0%
50.9%
52.0%
32.4%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
43.8%
28.0%
53.3%
53.5%
37.5%
47.5%
51.9%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
40.2%
37.8%
37.9%
51.1%
36.7%
50.6%
45.6%
64.4%
39.5%
46.2%
51.9%
40.0%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
2,500
1,250
0
829
1,073
656
1,051
638
878
692
2,152
820
593
823
664

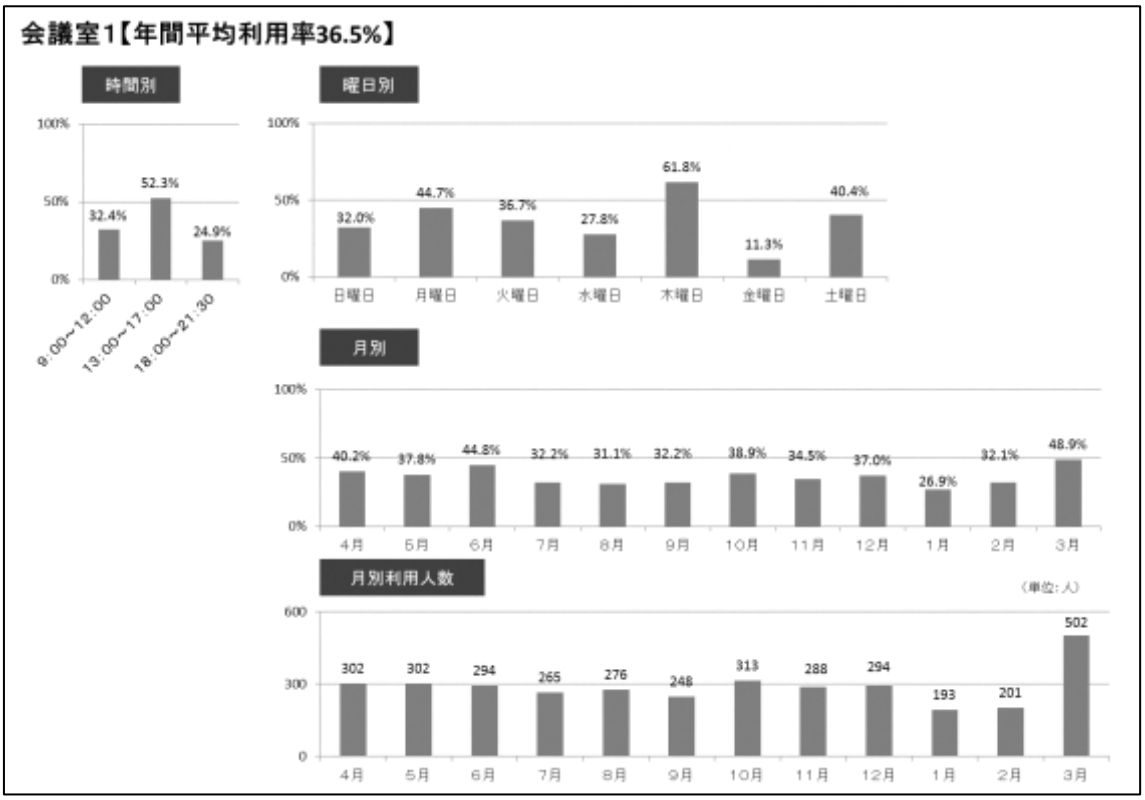

視聴覚室【年間平均利用率57.6%】
時間別
68.2%
57.2%
47.4%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
42.5%
31.3%
50.7%
85.4%
78.5%
73.8%
44.9%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
56.3%
51.1%
64.4%
60.0%
44.4%
58.6%
62.2%
65.5%
54.3%
56.4%
64.2%
54.4%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
（単位：人）
600
1,050
645
791
466
654
550
1,433
463
444
602
561

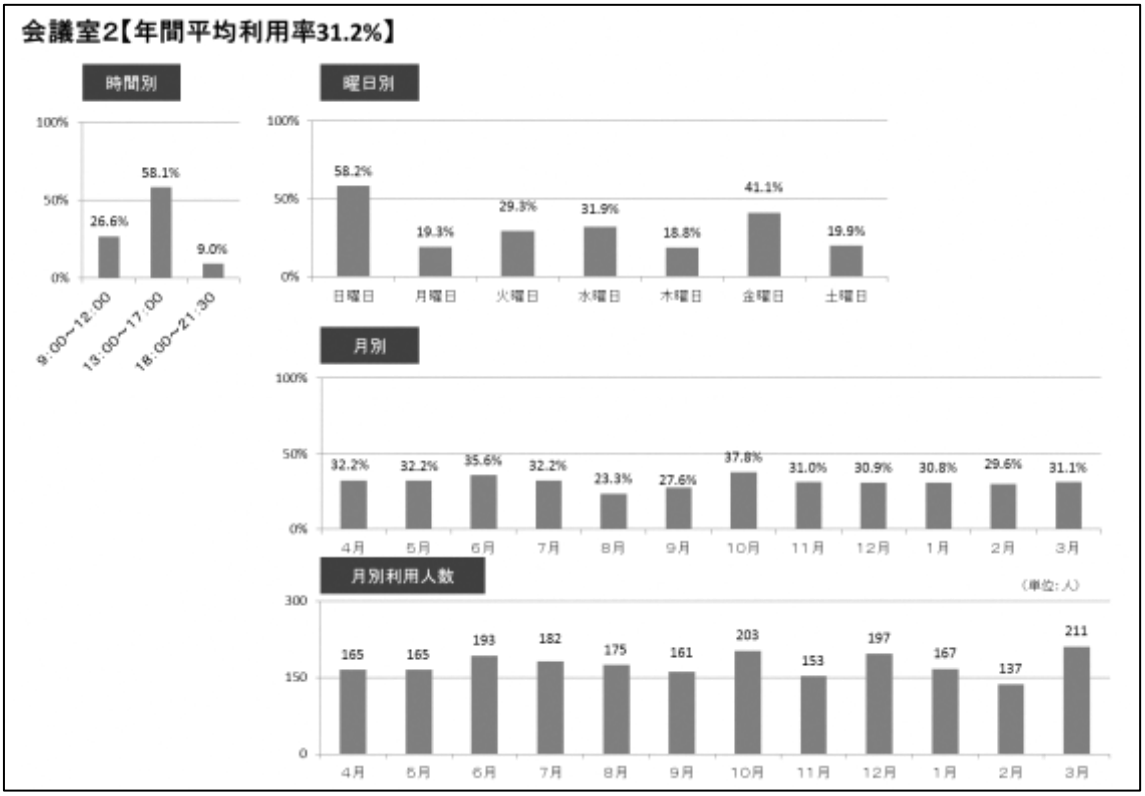

実習室【年間平均利用率38.4%】
時間別
54.3%
56.1%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
32.0%
20.7%
41.3%
24.3%
29.2%
58.2%
62.8%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
37.9%
37.8%
33.3%
46.7%
17.8%
34.5%
38.9%
51.7%
39.5%
44.9%
42.0%
37.8%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
（単位：人）
312
541
265
286
170
258
216
335
264
271
218
297

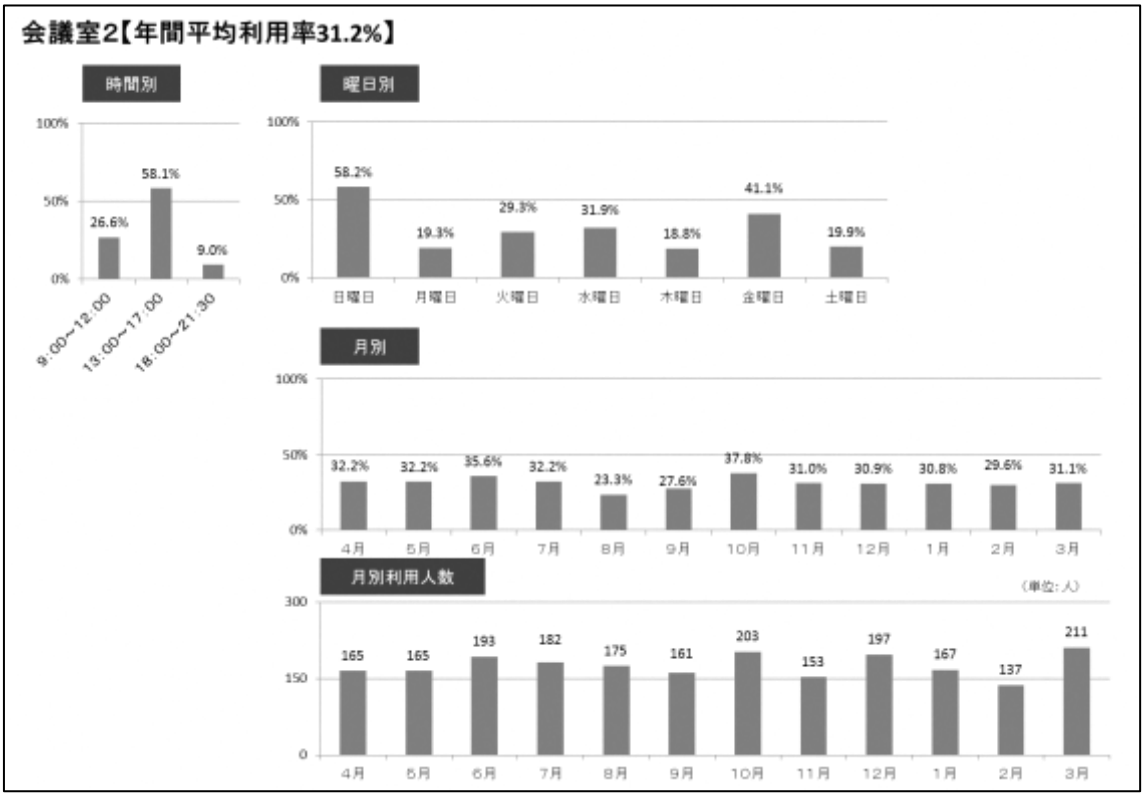


（２）教育文化センター【年間平均利用率 43.4%】

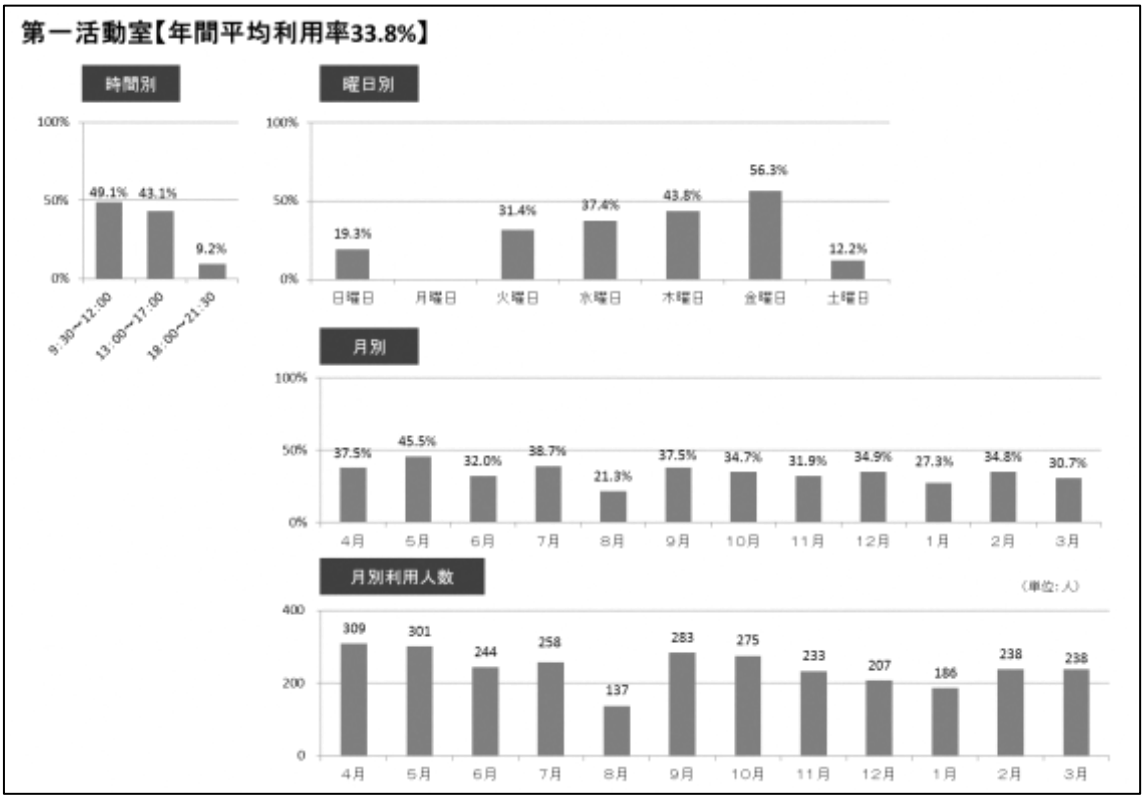



会議室1【年間平均利用率36.5%】
時間別
100%
50%
0%
32.4%
52.3%
24.9%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
32.0%
44.7%
36.7%
27.8%
61.8%
11.3%
40.4%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
40.2%
37.8%
44.8%
32.2%
31.1%
32.2%
38.9%
34.5%
37.0%
26.9%
32.1%
48.9%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
600
300
0
302
302
294
265
276
248
313
288
294
193
201
502

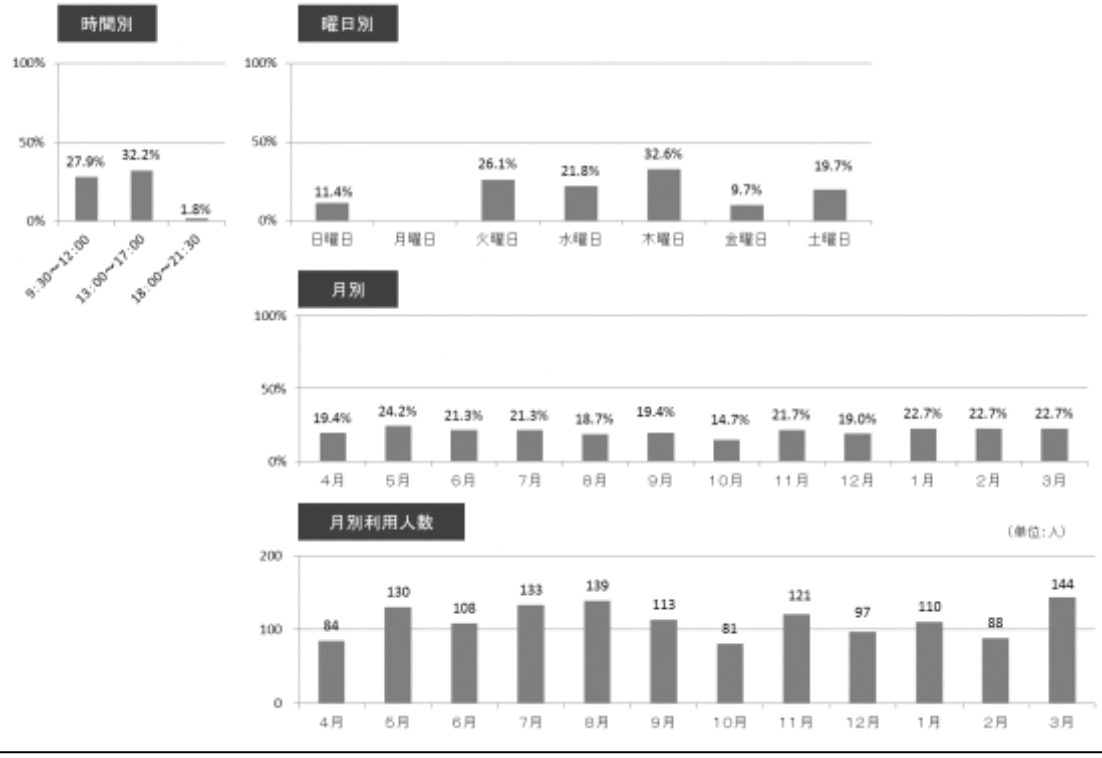

会議室2【年間平均利用率31.2%】
時間別
100%
50%
0%
26.6%
58.1%
9.0%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
58.2%
19.3%
29.3%
31.9%
18.8%
41.1%
19.9%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
32.2%
32.2%
35.6%
32.2%
23.3%
27.6%
37.8%
31.0%
30.9%
30.8%
29.6%
31.1%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
300
150
0
165
165
193
182
175
161
203
153
197
167
137
211



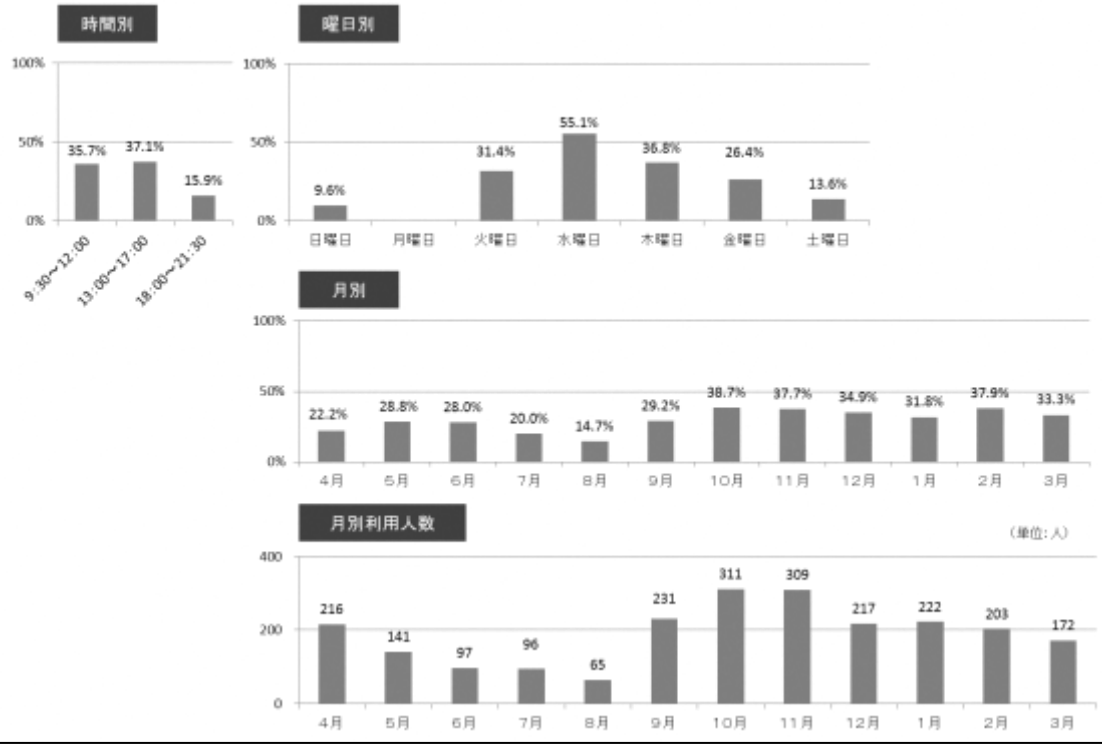
（３）福祉コミュニティーセンター【年間平均利用率 24.2%】



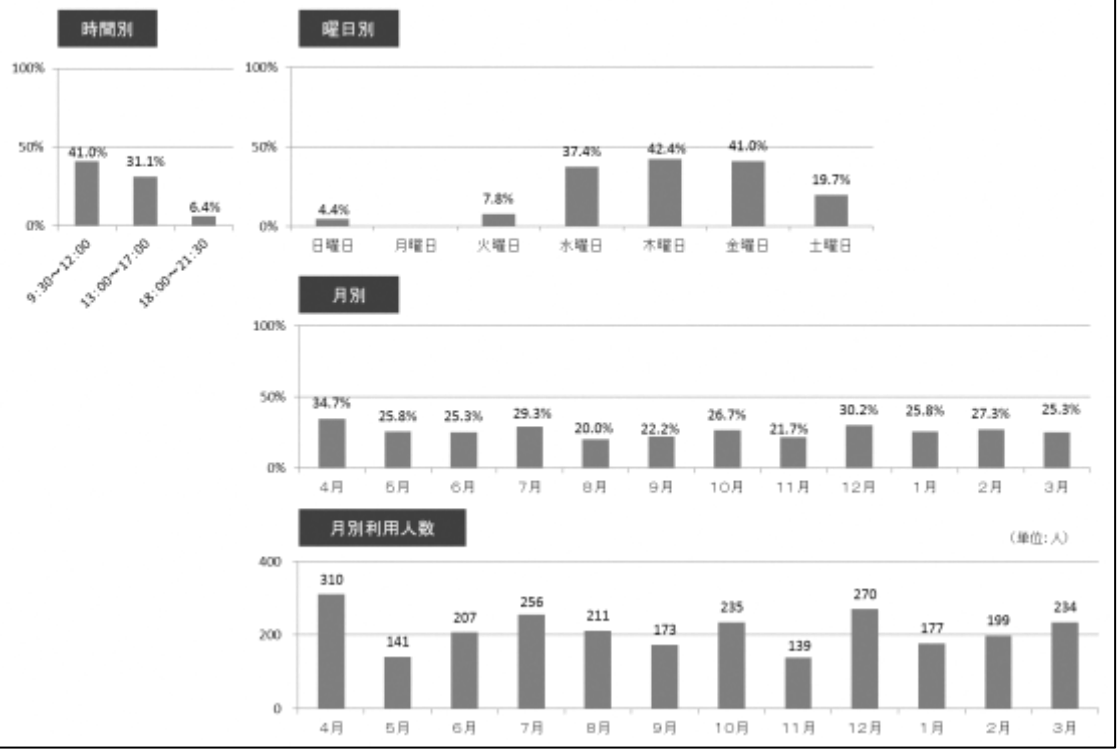
第二活動室【年間平均利用率20.6%】



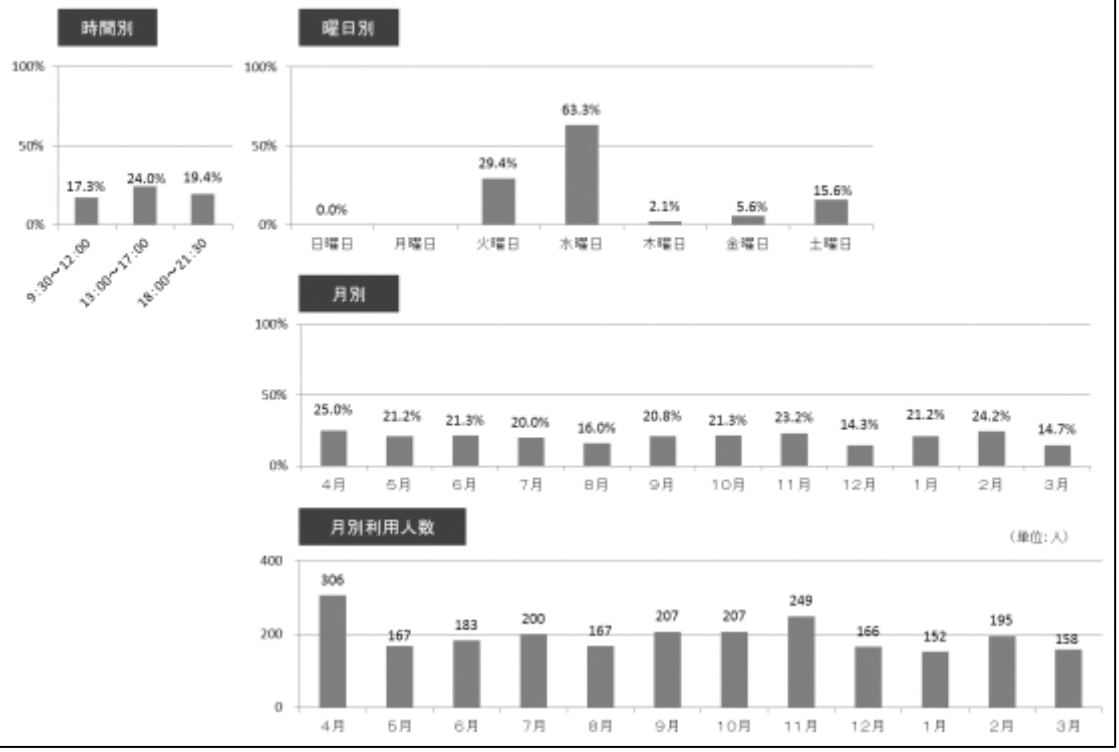
第三活動室【年間平均利用率29.6%】

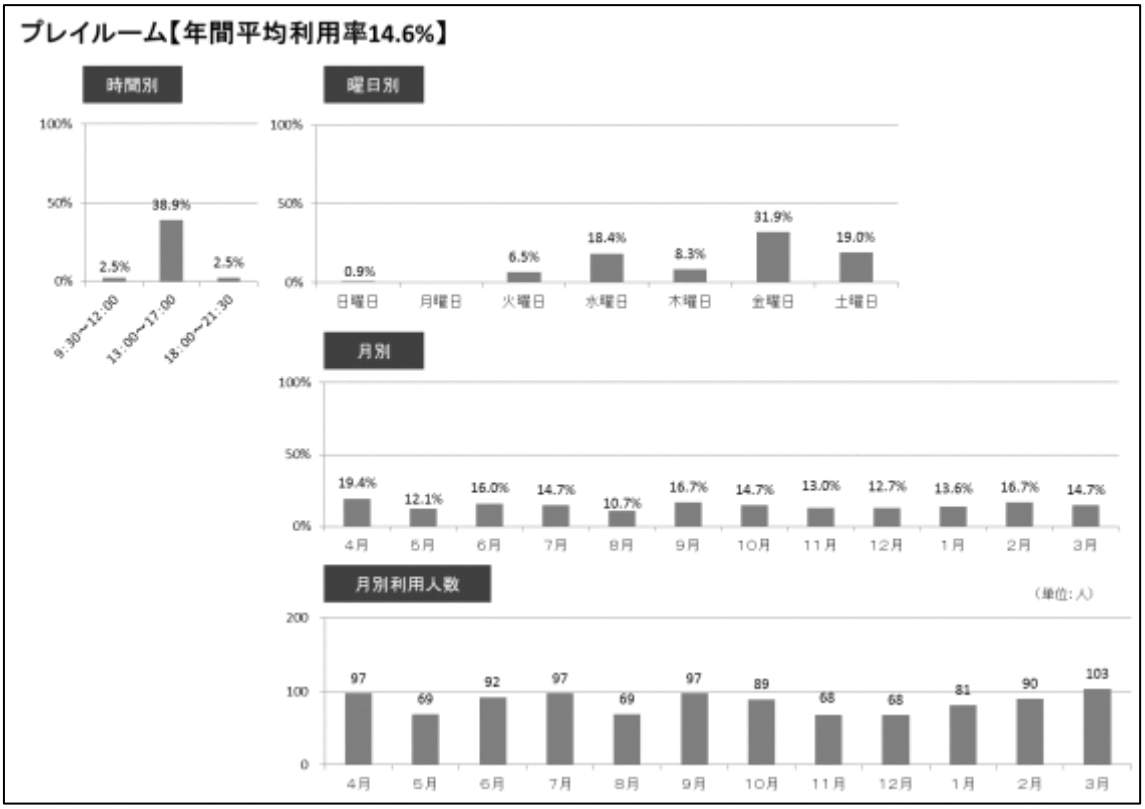


集会室【年間平均利用率26.1%】

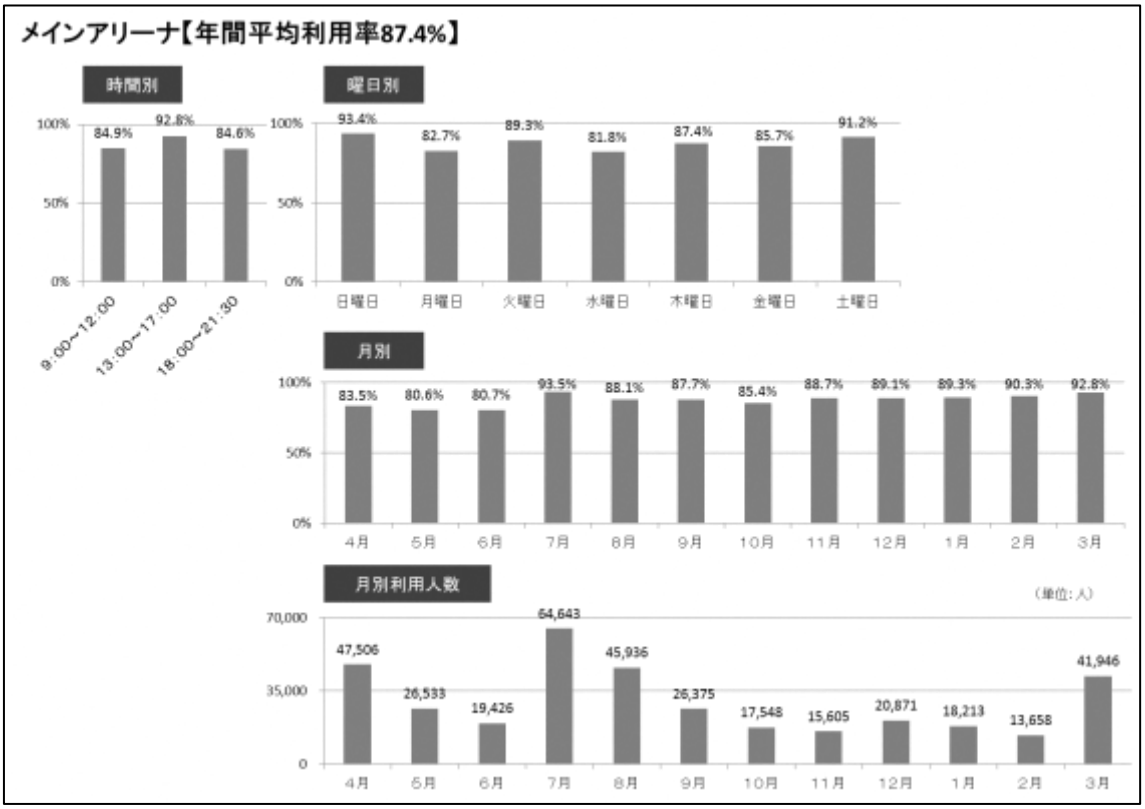


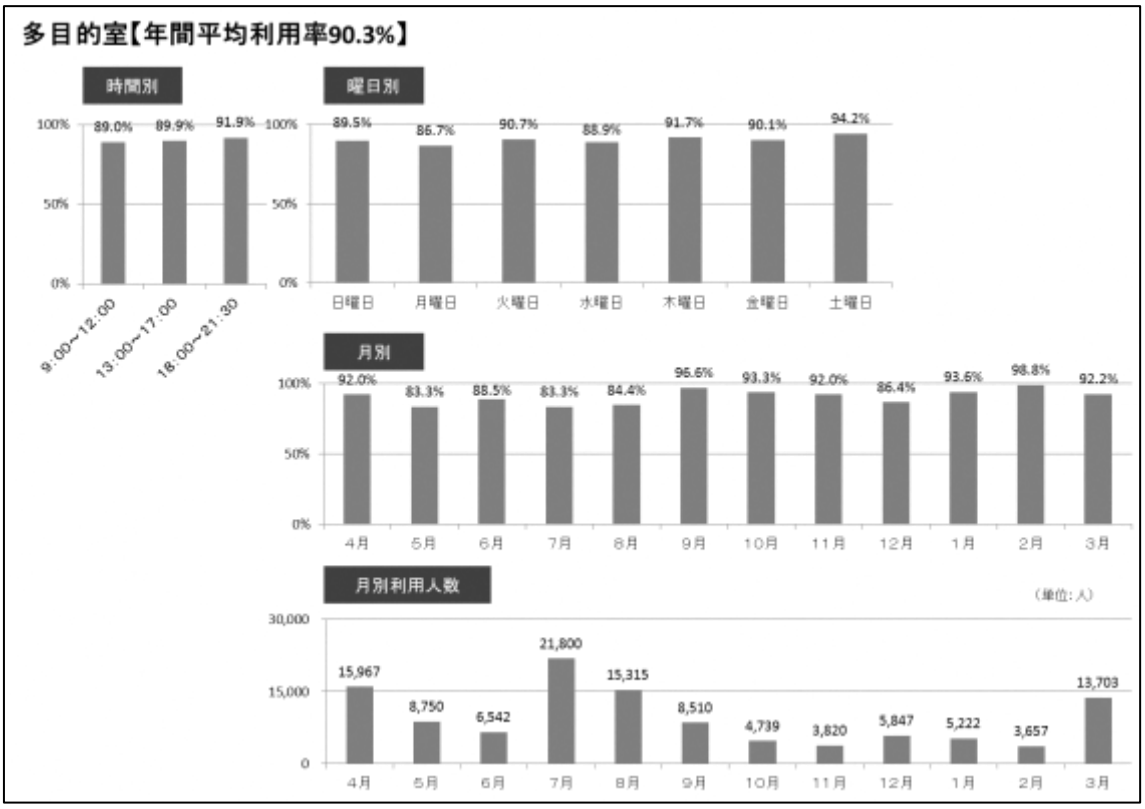
ふれあいルーム【年間平均利用率20.3%】



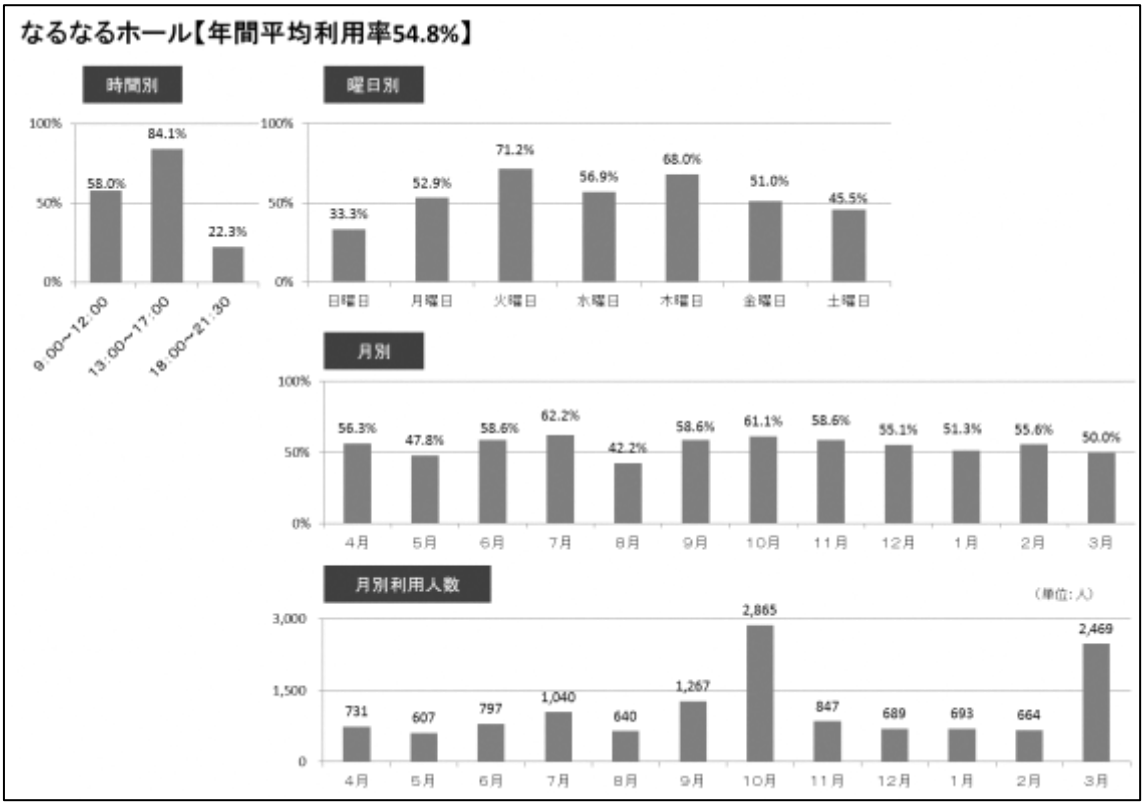


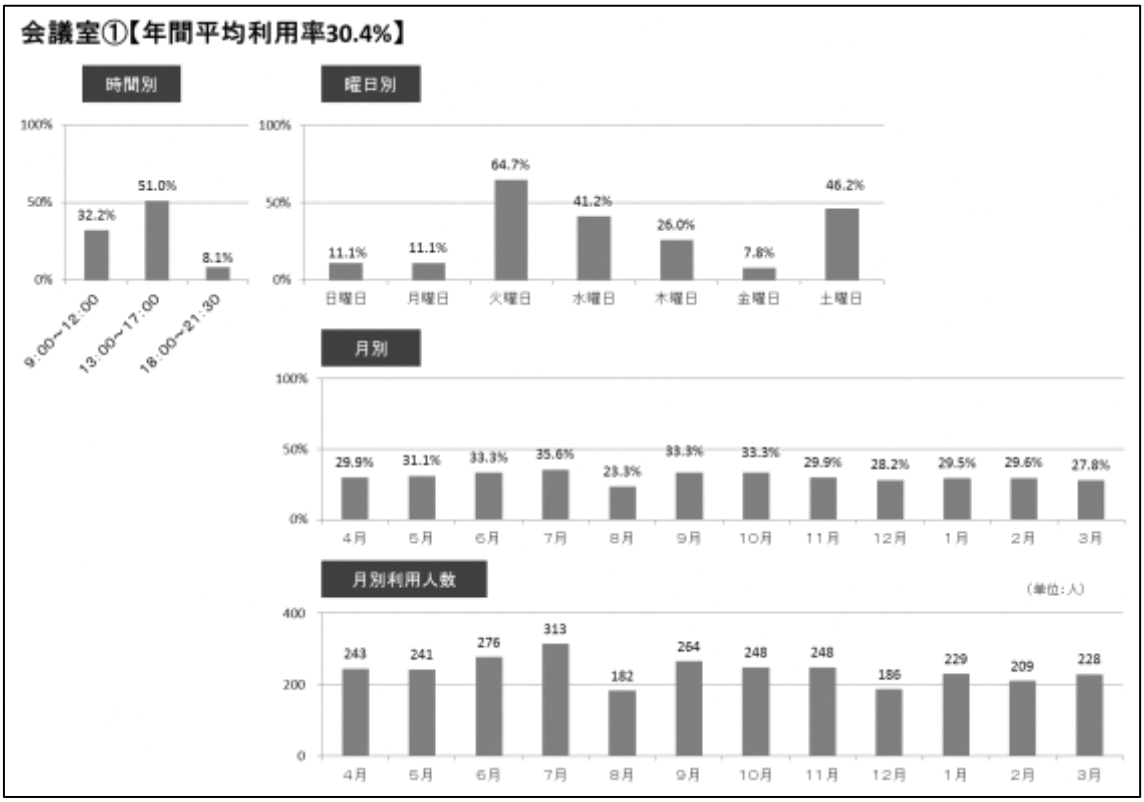
（４）市民総合体育館【年間平均利用率 88. 9%】

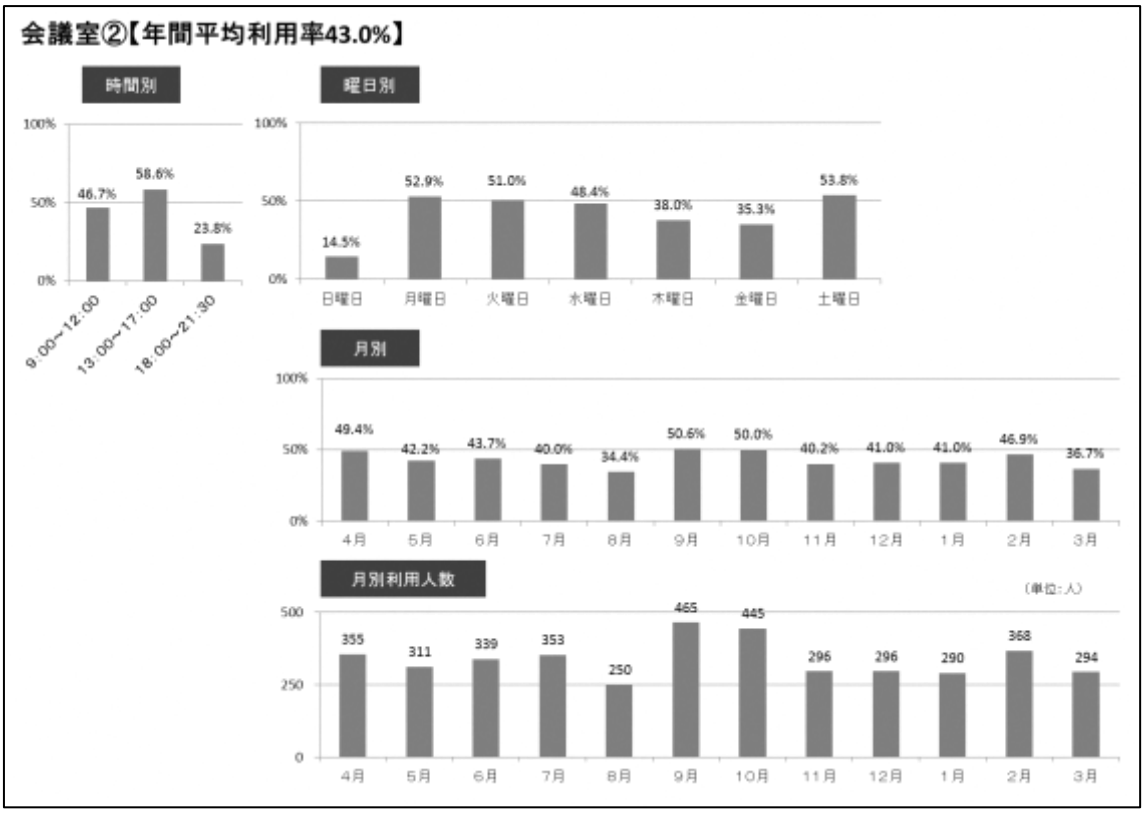




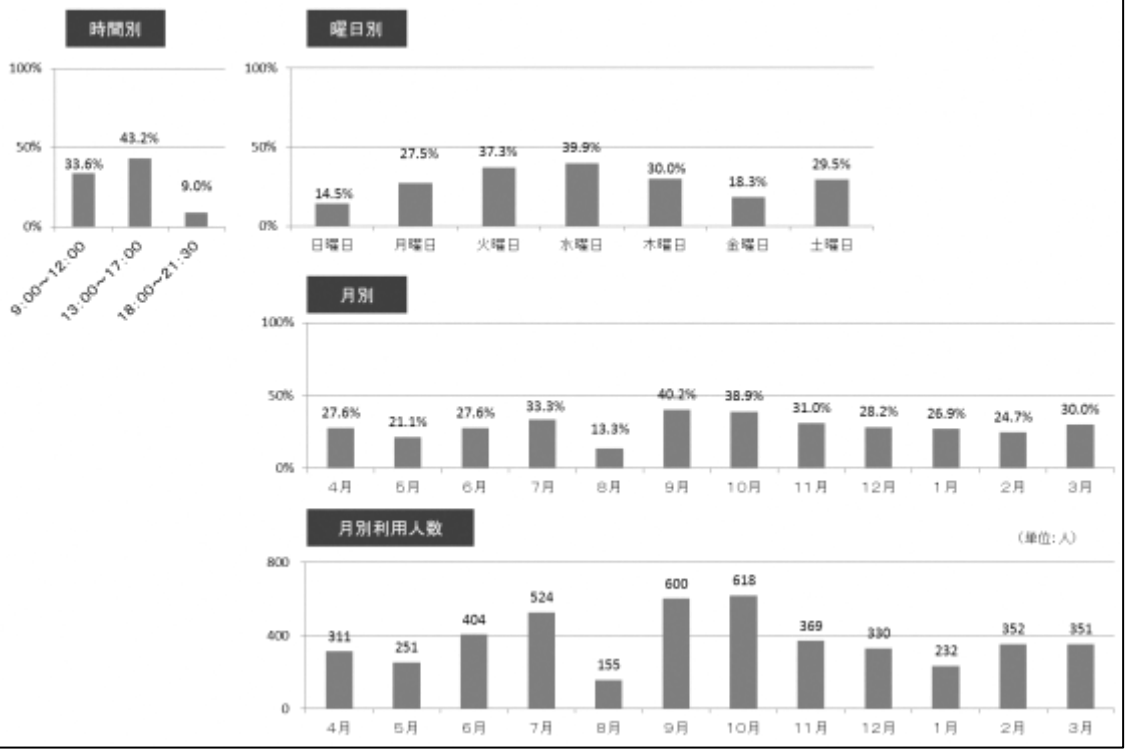
（５）グリーンホール田原【年間平均利用率 36.5%】



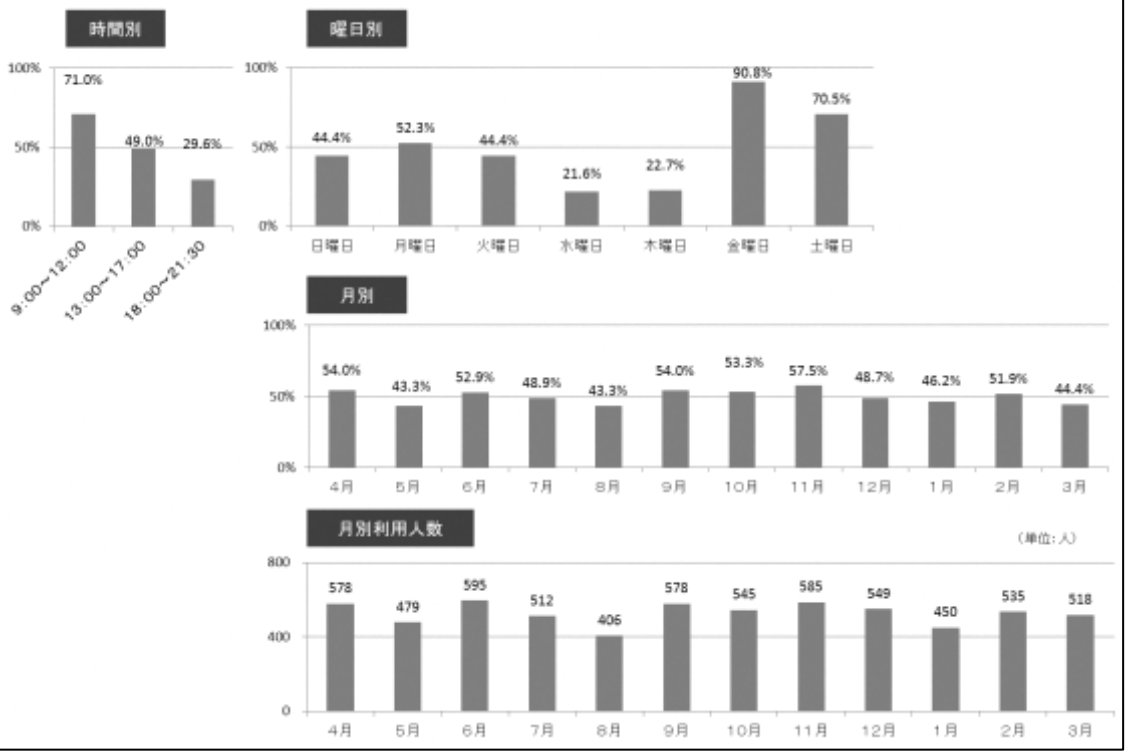

会議室①【年間平均利用率30.4%】
時間別
100%
50%
0%
32.2%
51.0%
8.1%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
100%
50%
0%
11.1%
11.1%
64.7%
41.2%
26.0%
7.8%
46.2%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
100%
50%
0%
29.9%
31.1%
33.3%
35.6%
23.3%
33.3%
33.3%
29.9%
28.2%
29.5%
29.6%
27.8%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
400
200
0
243
241
276
313
182
264
248
248
186
229
209
228
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

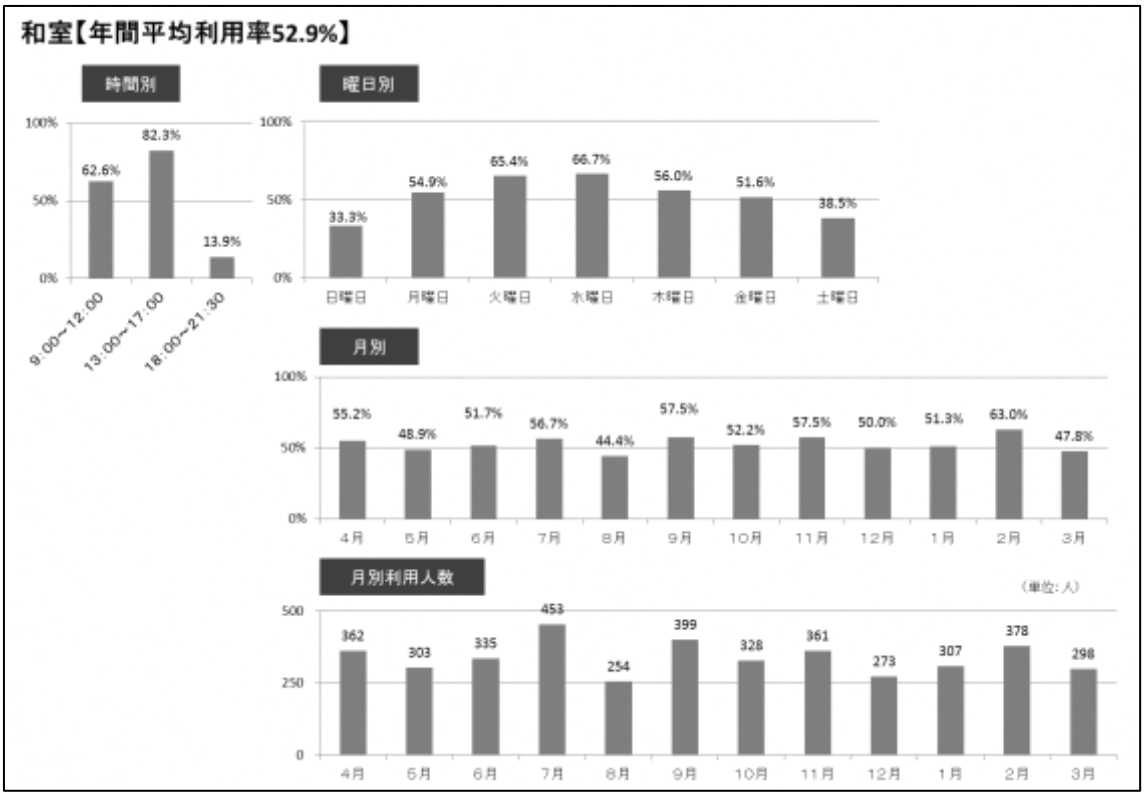

会議室②【年間平均利用率43.0%】
時間別
100%
50%
0%
46.7%
58.6%
23.8%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
100%
50%
0%
14.5%
52.9%
51.0%
48.4%
38.0%
35.3%
53.8%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
100%
50%
0%
49.4%
42.2%
43.7%
40.0%
34.4%
50.6%
50.0%
40.2%
41.0%
41.0%
46.9%
36.7%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
500
250
0
355
311
339
353
250
465
445
296
296
290
368
294
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

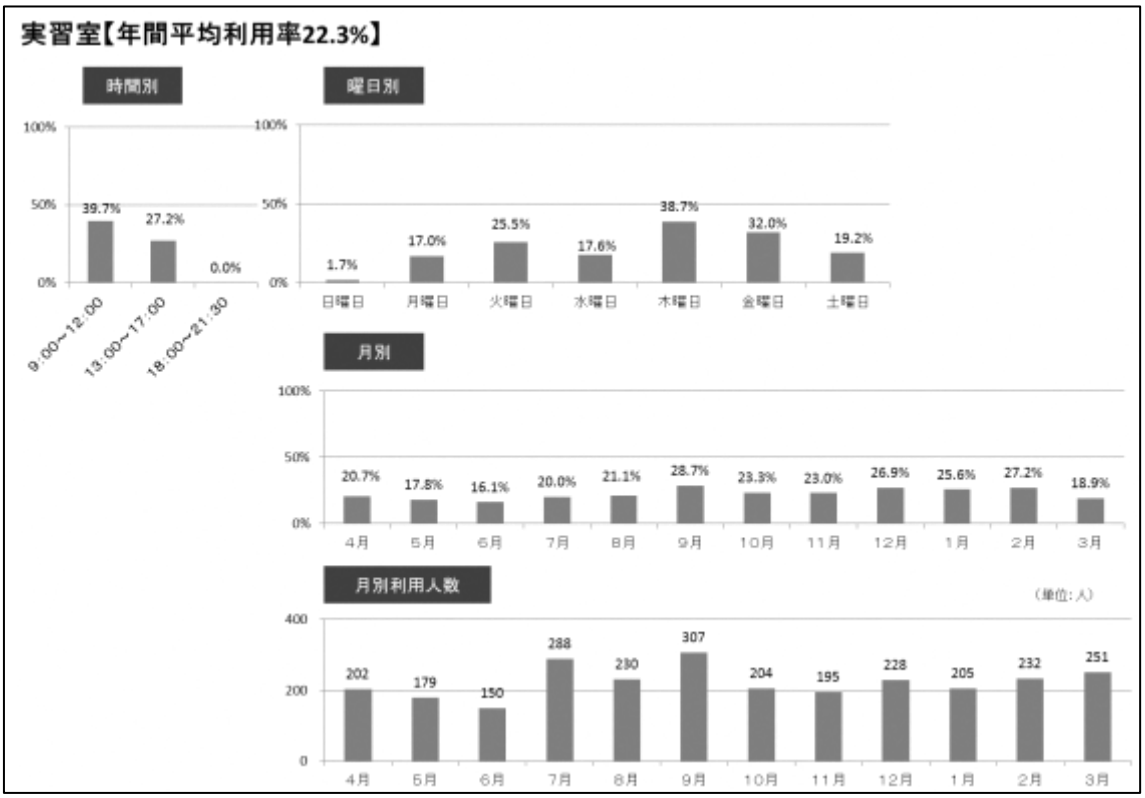
会議室③【年間平均利用率28.6%】

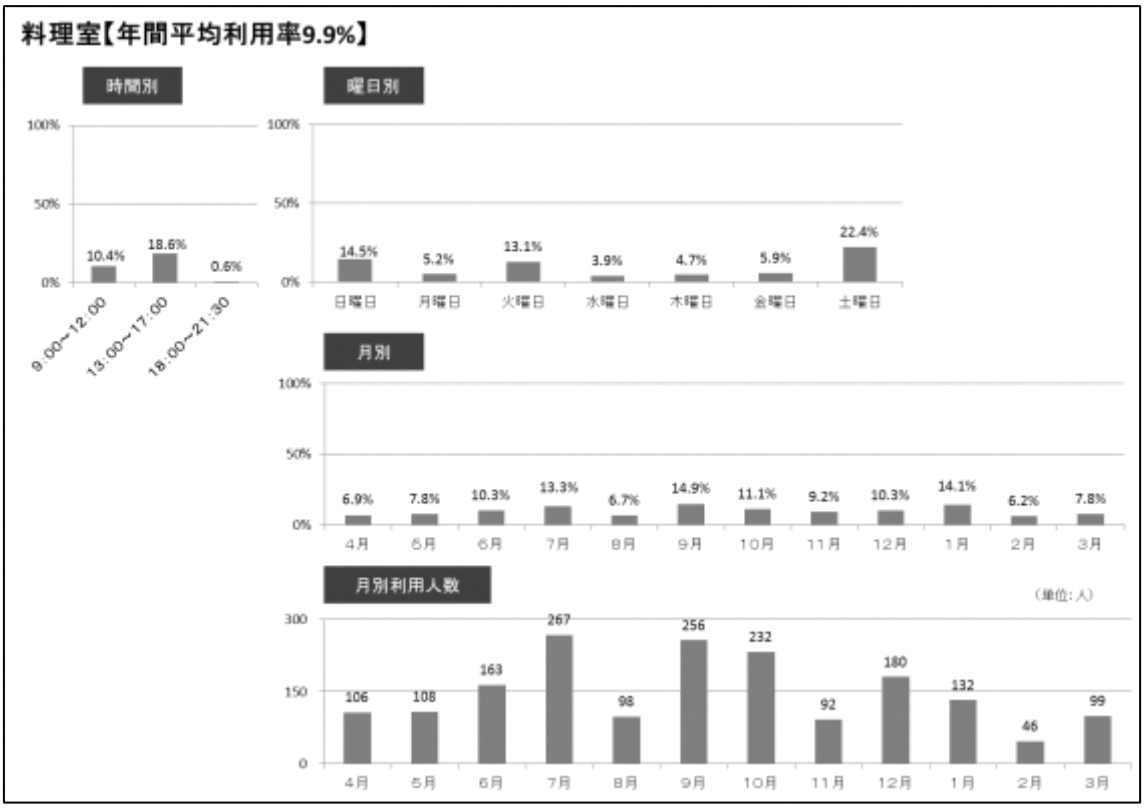


視聴覚室【年間平均利用率49.9%】

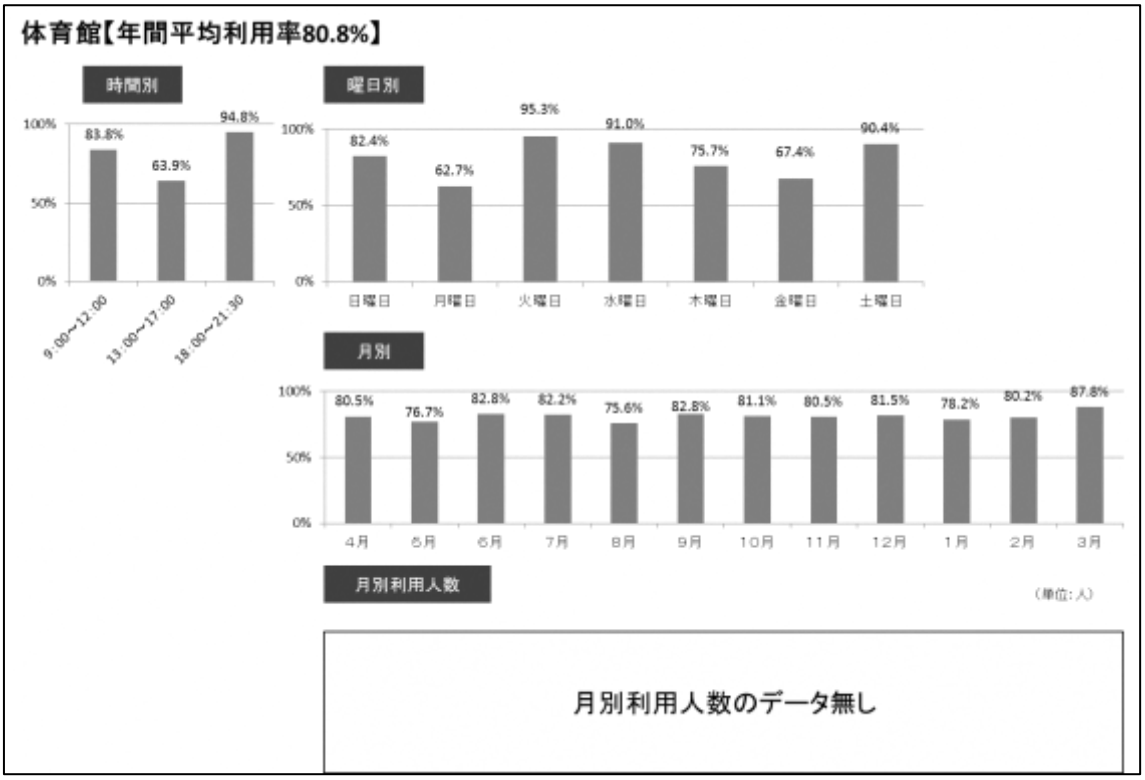



和室【年間平均利用率52.9%】
時間別
100%
50%
0%
62.6%
82.3%
13.9%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
33.3%
54.9%
65.4%
66.7%
56.0%
51.6%
38.5%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
55.2%
48.9%
51.7%
56.7%
44.4%
57.5%
52.2%
57.5%
50.0%
51.3%
63.0%
47.8%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
500
250
0
362
303
335
453
254
399
328
361
273
307
378
298

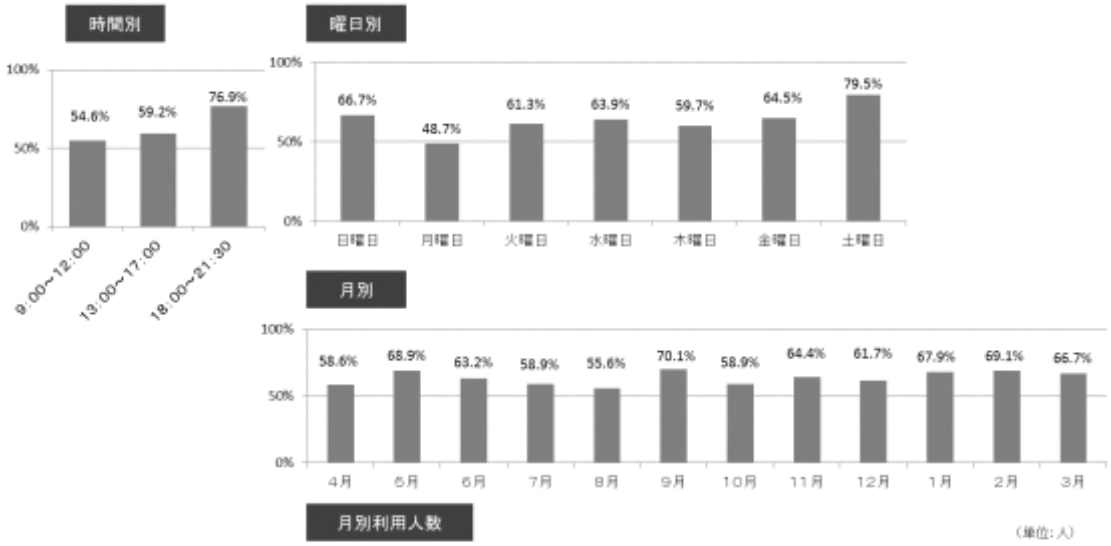

実習室【年間平均利用率22.3%】
時間別
100%
50%
0%
39.7%
27.2%
0.0%
9:00~12:00
13:00~17:00
18:00~21:30
曜日別
1.7%
17.0%
25.5%
17.6%
38.7%
32.0%
19.2%
日曜日
月曜日
火曜日
水曜日
木曜日
金曜日
土曜日
月別
20.7%
17.8%
16.1%
20.0%
21.1%
28.7%
23.3%
23.0%
26.9%
25.6%
27.2%
18.9%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
月別利用人数
(単位:人)
400
200
0
202
179
150
288
230
307
204
195
228
205
232
251



（６）市民活動センター【年間平均利用率 71.9%】

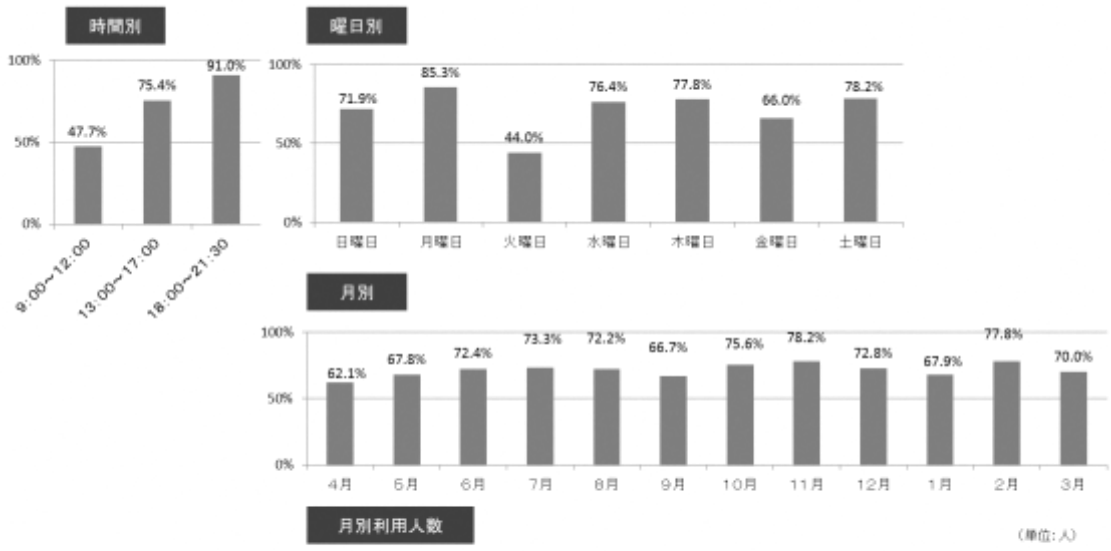


多目的室（1）【年間平均利用率63.6%】



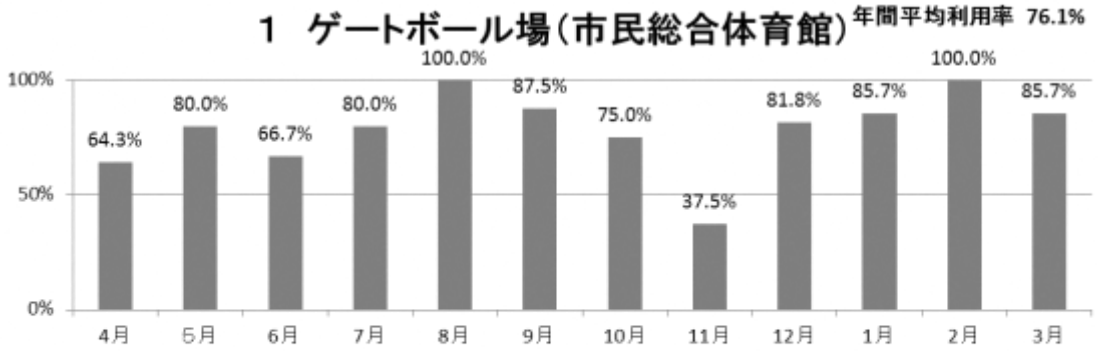
月別利用人数のデータ無し

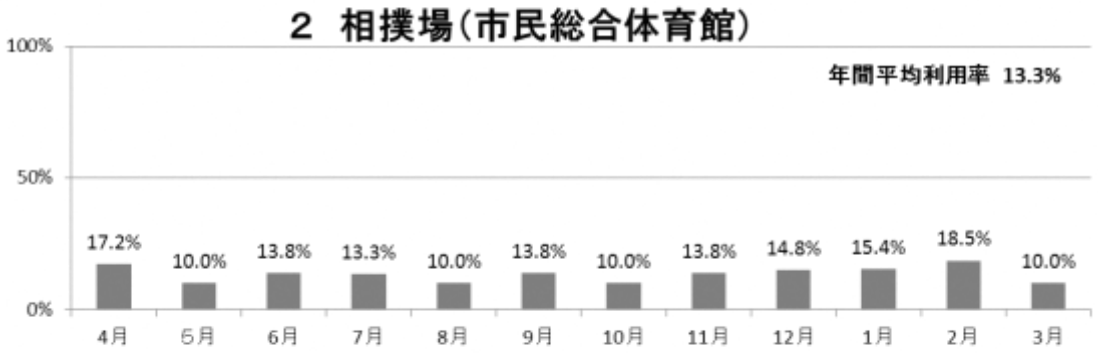
多目的室（2）【年間平均利用率71.4%】

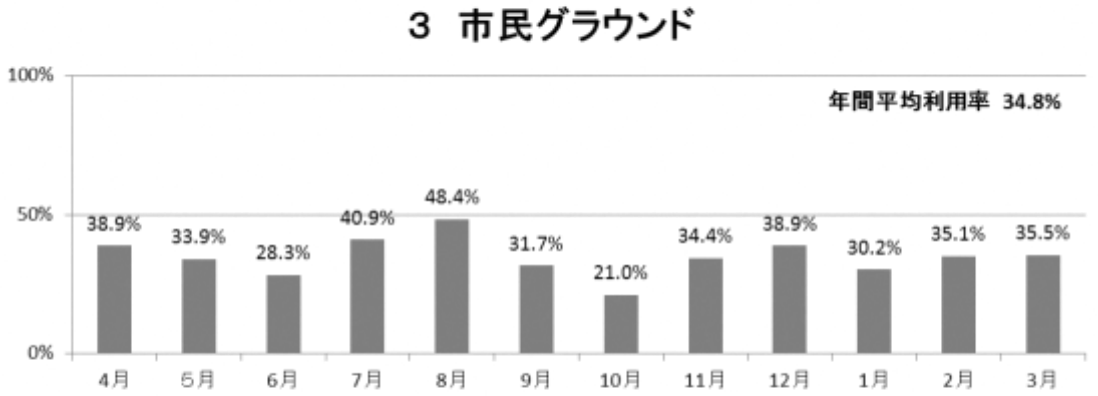


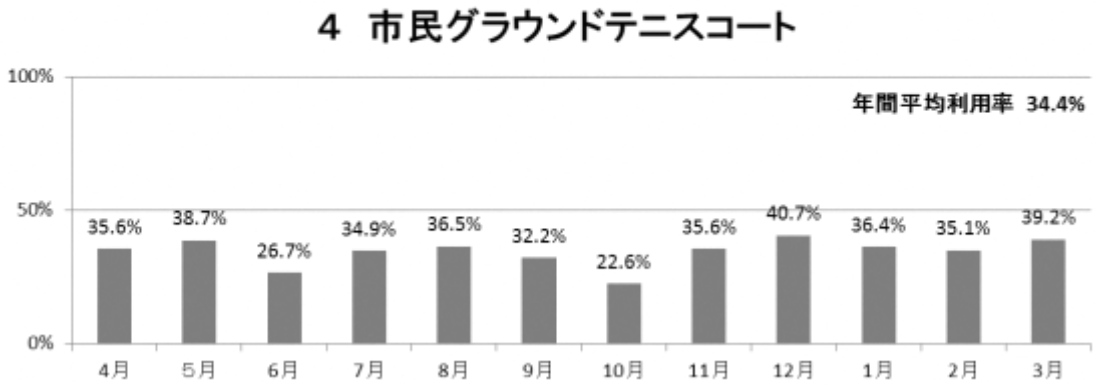
月別利用人数のデータ無し

（７）屋外施設

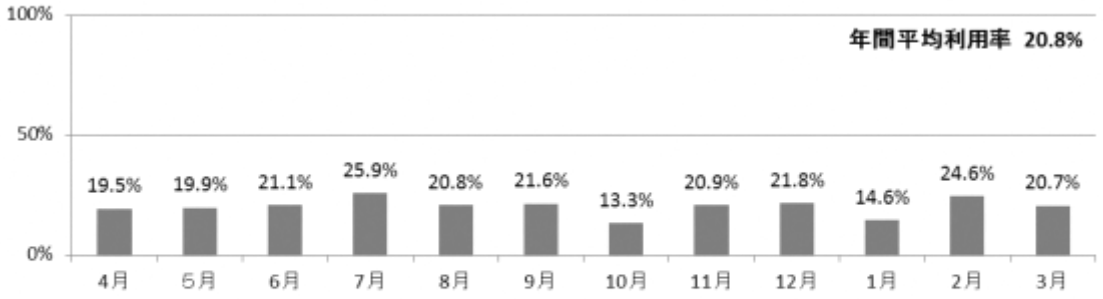

１　ゲートボール場（市民総合体育館）
年間平均利用率 76.1%
100%
50%
0%
64.3%
80.0%
66.7%
80.0%
100.0%
87.5%
75.0%
37.5%
81.8%
85.7%
100.0%
85.7%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


２　相撲場（市民総合体育館）
年間平均利用率 13.3%
100%
50%
0%
17.2%
10.0%
13.8%
13.3%
10.0%
13.8%
10.0%
13.8%
14.8%
15.4%
18.5%
10.0%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

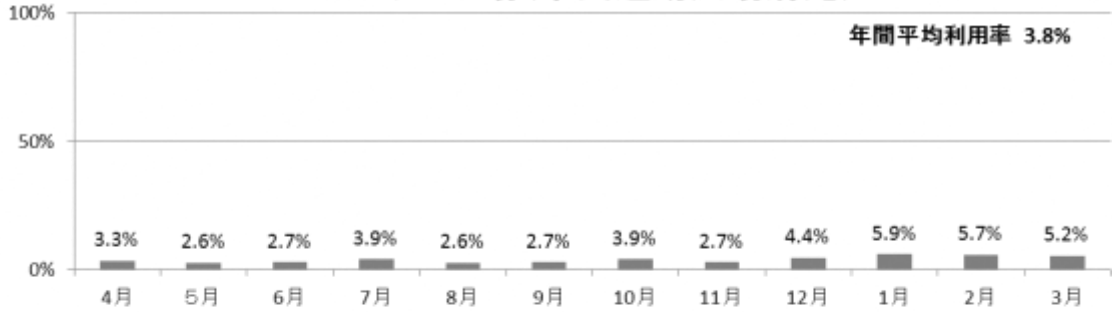

３　市民グラウンド
年間平均利用率 34.8%
100%
50%
0%
38.9%
33.9%
28.3%
40.9%
48.4%
31.7%
21.0%
34.4%
38.9%
30.2%
35.1%
35.5%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


４　市民グラウンドテニスコート
年間平均利用率 34.4%
100%
50%
0%
35.6%
38.7%
26.7%
34.9%
36.5%
32.2%
22.6%
35.6%
40.7%
36.4%
35.1%
39.2%
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

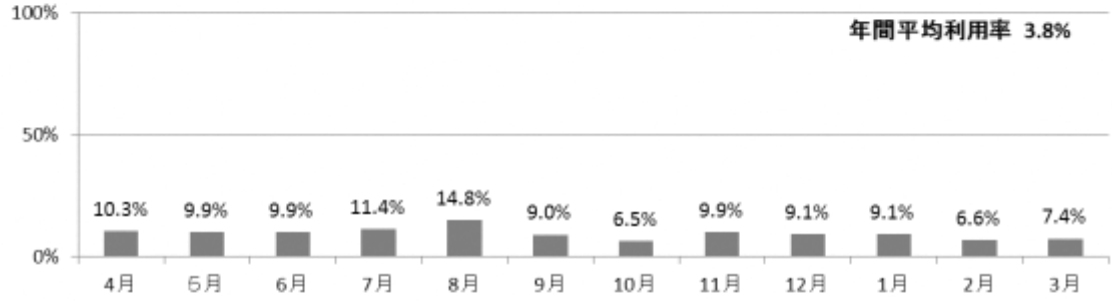
５ 清滝テニスコート（市民運動広場清滝）



６ ミニサッカー場（市民運動広場清滝）

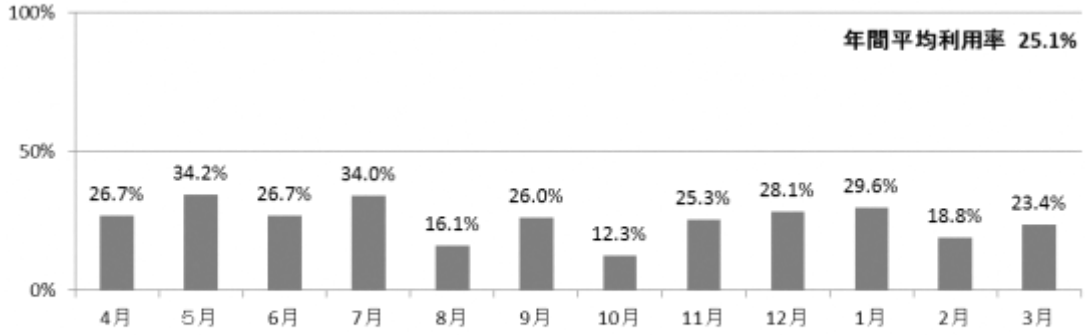


７ ゲートボール場（市民運動広場さつき）

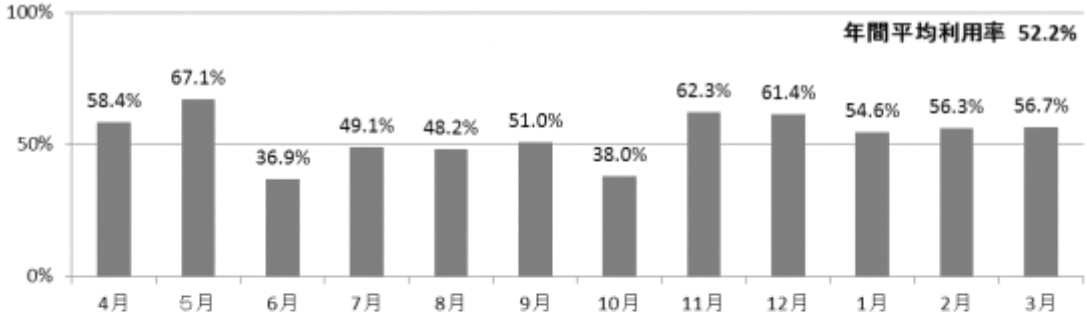


８ 多目的広場（市民運動広場さつき）

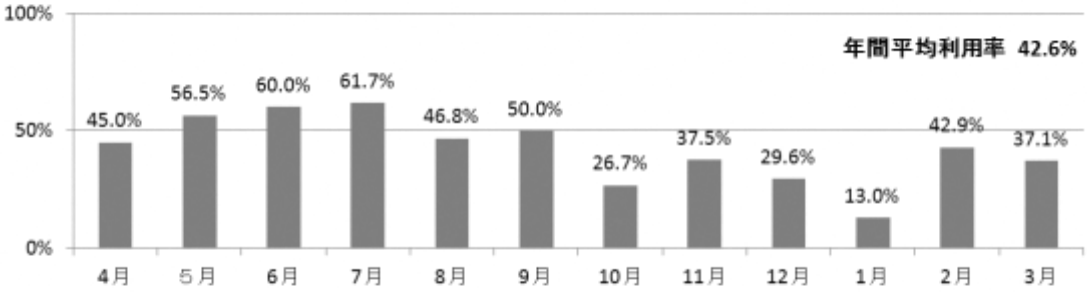
９　青少年コミュニティー運動広場



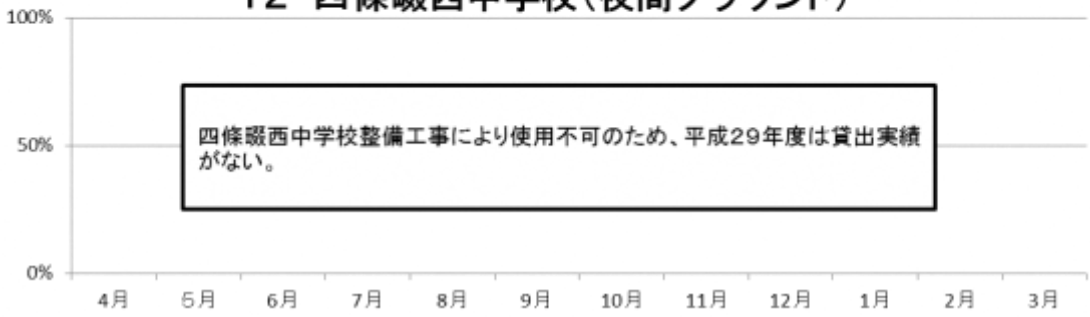
１０　水みらいセンターテニスコート



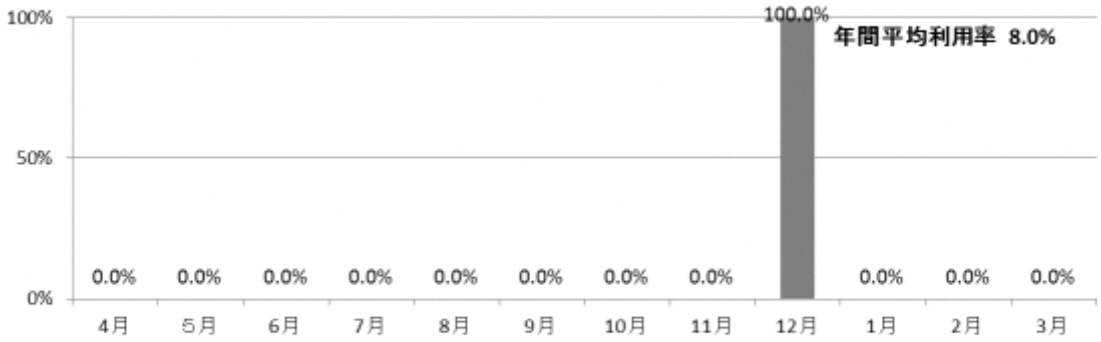
１１　四條畷中学校（夜間グラウンド）



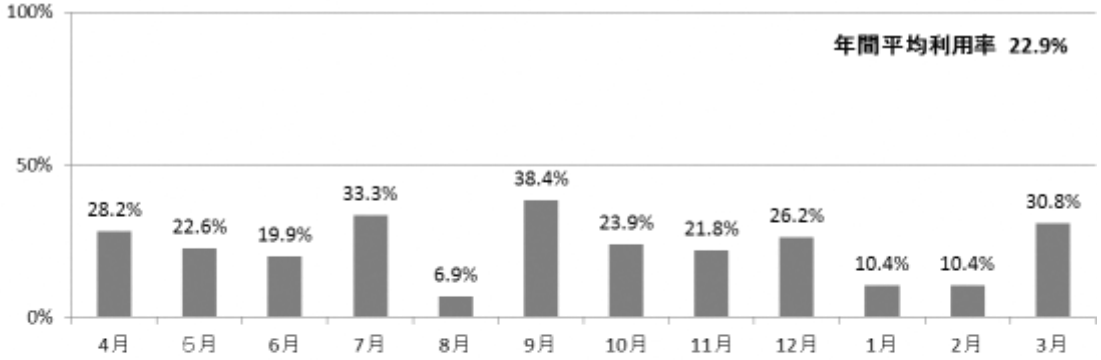
１２　四條畷西中学校（夜間グラウンド）



13　野球場・球戯場（緑の文化園）

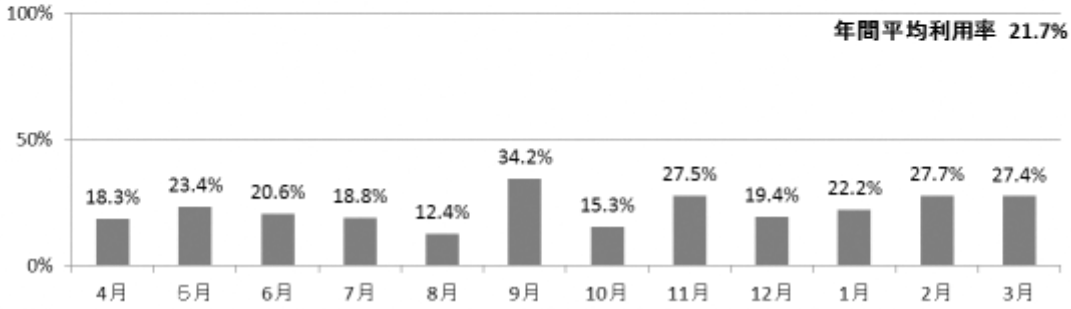


14　テニスコート（緑の文化園）

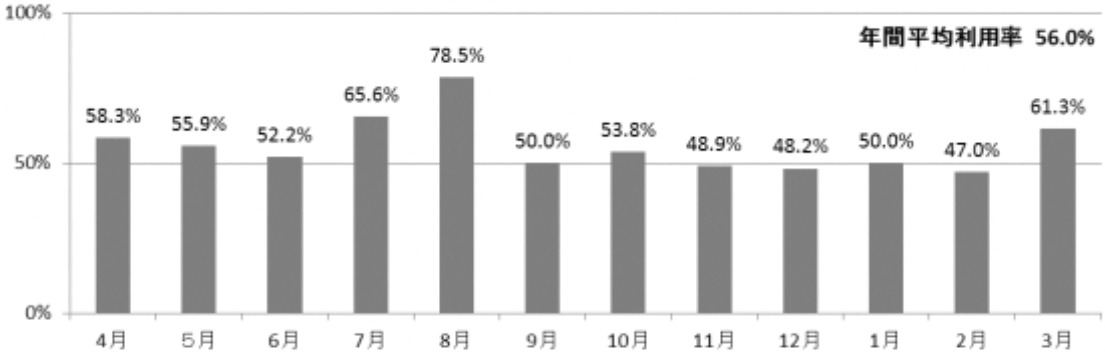


15　田原テニスコート

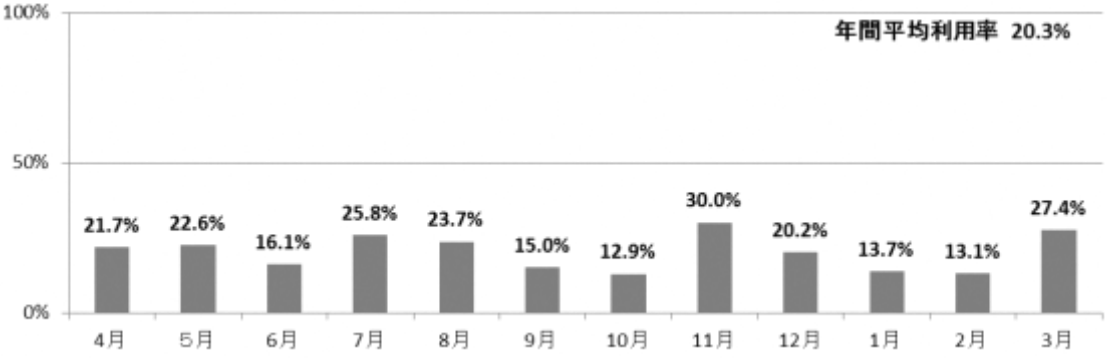
16　北谷公園グラウンド



17　人工芝運動場（総合公園）

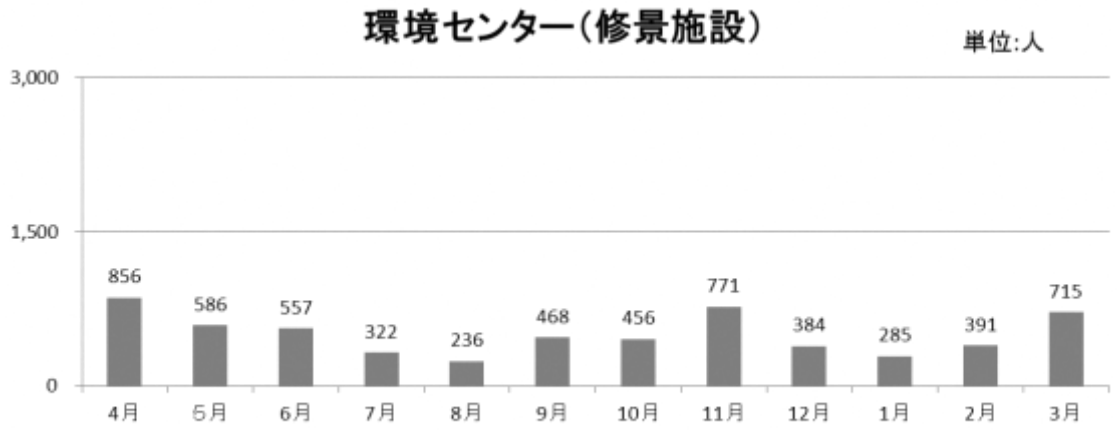


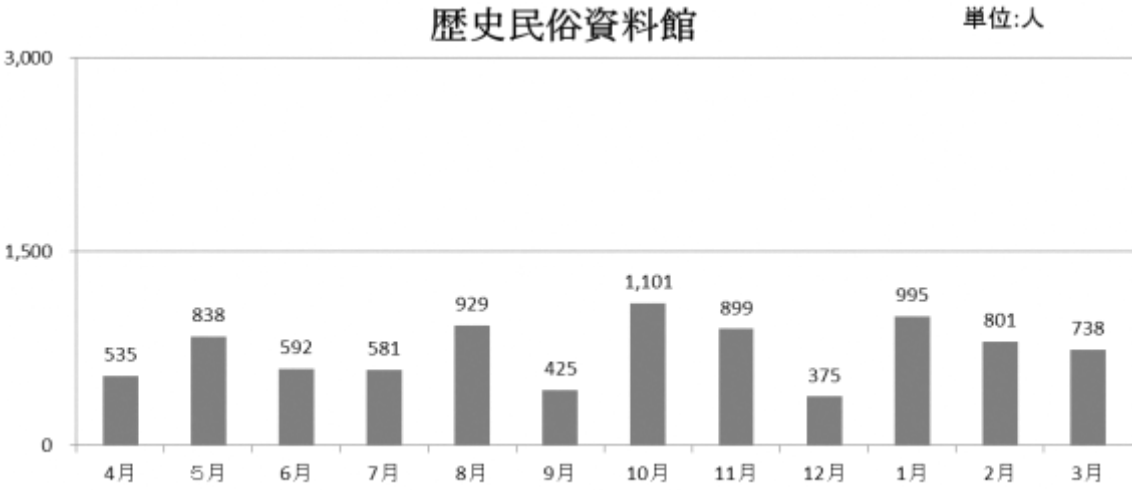
18　多目的広場（総合公園）



（８）利用率が算定できない施設の利用人数

老人福祉センター楠風荘	
開館日数	305日
利用者数（男）	16,062人
利用者数（女）	13,839人
利用者数（合計）	29,901人
日平均	98人


環境センター（修景施設）
単位:人
3,000
1,500
0
856
586
557
322
236
468
456
771
384
285
391
715
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月


歴史民俗資料館
単位:人
3,000
1,500
0
535
838
592
581
929
425
1,101
899
375
995
801
738
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

野外活動センター
単位:人
3,000
1,500
0
1,449
2,464
1,121
2,166
2,534
1,009
861
983
545
176
325
841
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

９ 公営住宅等の需要の見通しに基づく将来ストック量の推計

国土交通省が提供するストック推計プログラム（将来の「著しい困窮年収未満の世帯数」の推計）を活用し、令和 22（2040）年までの 5 年ごとの著しい困窮年収未満の世帯数と低廉かつ質が確保できる住宅等における総数の推計を行った。

著しい困窮年収未満の世帯数と低廉かつ賃が確保できる住宅等の推計

	2015 年度央	2020 年度央	2025 年度央	2030 年度央	2035 年度央	2040 年度央
著しい困窮年収未満の世帯数	2,111	1,940	1,749	1,567	1,394	1,258
低廉かつ質が確保できる 住宅等の数※	1,859	1,797	1,736	1,674	1,613	1,552
余剰ストック数	△252	△143	△13	107	219	294

国土交通省　ストック推計プログラムにより算出

※公営住宅、公社住宅等、民間賃貸住宅等の総和

編集発行　四條畷市総務部施設再編課

〒５７５－８５０１
大阪府四條畷市中野本町１番１号
Ｔ　Ｅ　Ｌ　０７２－８７７－２１２１　（代表）
　　０７４３－７１－０３３０　（代表）
Ｆ　Ａ　Ｘ　０７２－８７７－２０７４
Ｅ－ＭＡＩＬ　saihen@city.shijonawate.lg.jp
Ｕ　Ｒ　Ｌ　https://www.city.shijonawate.lg.jp/